

JILPT 調査シリーズ

No.129

2014年10月

職業資格の取得とキャリア形成に関する調査 (WEB調査結果の概要)

The Japan Institute
for
Labour Policy and Training

独立行政法人 労働政策研究・研修機構



職業資格の取得とキャリア形成に関する調査 (WEB調査結果の概要)

独立行政法人 労働政策研究・研修機構

The Japan Institute for Labour Policy and Training

まえがき

技術や経済環境が急速に変化する中で、個人の職業生涯は長期化しており、労働者自らが主体的に自己の能力開発やキャリア形成に取り組む必要性が高まっている。

このため、国においても個人主導の能力開発、特に非正規雇用労働者も含めた労働者のキャリアアップ、キャリアチェンジを支援するための措置について検討が行われ、労働政策審議会職業能力開発分科会では「中長期的なキャリア形成支援措置の対象とする教育訓練について」（2013年12月27日）が取りまとめられた。この報告書で示された方向性に基づき、職業に不可欠・重要な資格の取得をめざす訓練や、企業と連携した教育訓練機関で特に実践的な専門能力を身につけるケースなど、新たなキャリアの展開や可能性の拡大を考えている人を支援する教育訓練給付の拡充が図られることとなった。

この新たな支援制度（「中長期的キャリア形成支援措置」）の利用に当たっては、個人が効果的な教育訓練を選択できるよう、キャリア・コンサルティングを受けることとされており、このため、制度の施行までに資格等に関する知識を有するキャリア・コンサルタントを養成・確保することも急務となった。そこで、厚生労働省の要請を受け、独立行政法人労働政策研究・研修機構で、2014年3月に「職業資格の取得とキャリア形成に関する調査」を実施し、職業能力開発支援を行うキャリア・コンサルタントの研修及び相談・援助における情報提供に活用する資料となるデータの収集を行った。

本書は、この調査結果に基づき、①職業資格を取得した人がどのような意識や方法で取得のための活動を行い、どのような課題があったか、②自らの職業資格についてどのように評価しているか、③仕事をしながら資格を取得したケースでは働き方や処遇に変化がみられたか、④仕事を辞めて取得活動を行ったケース等については就職活動に効果があったか、⑤これから職業資格を取得したいと考えている人の意識やニーズはどのようなものか、等について概要を取りまとめたものである。職業能力開発支援を行うキャリア・コンサルタント及び資格取得をめざして教育訓練の受講を検討中の方々、職業資格の取得に関心を寄せておられる方々の参考となれば幸いである。

2014年10月

独立行政法人 労働政策研究・研修機構
理事長 菅野和夫

調査の企画・実施担当者（50音順）

氏 名

所 属

かなざき ゆきこ
金崎 幸子

労働政策研究・研修機構 人材育成部門 統括研究員

こすぎ れいこ
小杉 礼子

労働政策研究・研修機構 特任フェロー

ふじもと まこと
藤本 真

労働政策研究・研修機構 人材育成部門 副主任研究員

※ 本報告書は主に金崎幸子がとりまとめた。

目 次

第1章 調査の概要	1
第2章 調査結果の概要	4
第3章 資格を取得したときの状況	10
第4章 働きながら資格を取得した人の状況	24
第5章 就職活動と職業資格	32
第6章 複数資格を所持している人の状況	36
第7章 資格取得に対する評価、追加取得の予定	37
第8章 これから資格を取得したい人のニーズと意識	42
第9章 まとめ	49
付表	51
資料編	
資格別概況（85 資格区分）	56
調査票	229

第1章 調査の概要

（調査の趣旨）

職業資格の取得とキャリア形成の実態を把握し、中長期的なキャリア形成支援に向けたキャリア・コンサルティングの基礎資料とする目的で、職業資格を所持する人及び職業資格の取得を考えている人に対するWEB調査を実施した。

（調査方法、時期、回収数、集計対象）

WEB調査モニターの中から、25歳以上で一定の職業資格を有する人をスクリーニングにより抽出し、それぞれの資格について50～150サンプル、また、25歳以上で職業資格の取得を考えている未所持者1,000サンプルを目標に、調査を実施した。

スクリーニング調査は2014年3月7～19日、本調査は同年3月20～27日に実施し、回答総数は資格所持者が8,395名、取得希望の未所持者が1,011名、合計9,406名となった。この中から自由記述の資格名に基づいて今回の調査対象外の資格や内容不明のものを除いた結果、資格所持者の有効回答は8,316件となり、さらに、資格別のプロフィールを作成するため、スクリーニング時に一覧から選択された資格と自由記述欄に回答者が記述した資格名が一致したサンプルに限定して資格別集計を行うこととした。

（調査対象資格）

本調査は、中長期的キャリア形成支援措置の対象となる教育訓練の受講に当たって実施されるキャリア・コンサルティングの資料とすることを目的として実施したが、調査時点では対象となる教育訓練の指定の考え方や基準、範囲が確定していなかった。このため、対象となる可能性がある業務独占資格や名称独占資格を中心に、図表1-1の資格をリストアップし、スクリーニングによりいずれかの資格を所持していると回答した人に調査を依頼した。

したがって、本調査は、いわゆる「職業資格」と一般に考えられている資格を網羅するものではなく、また、できるだけ各資格について一定数のサンプルを得るため、上限を設けてサンプルを収集しており、実際の資格所持者の数に比例した構成にはなっていない。これらの点から、本調査の結果は、あくまで図表1-1に示したような構成の資格所持者の集団を対象とするものであるということが前提である。

また、一部の資格については、まとめた区分としてサンプルを収集しており（「はり師、きゅう師、あん摩マッサージ指圧師」、「栄養士、管理栄養士」、「看護師、准看護師」など）、分野や等級が分かれている資格についても一括した区分としている（「技術士」、「建築士」、「電気工事士」など）。制度や名称等の変更があった場合は、旧資格に対応する現行資格に位置づけている。このような等級や分野等の違いは、本来区別して取り扱うべきものであるが、調査期間や方法等の制約もあり、できるだけ多くの資格についての情報を同時に共通様式で

収集することを優先した。以下、本調査では、ひとつの資格区分として設定した資格を「資格区分」と表記する。

なお、中長期的キャリア形成支援措置の対象となる教育訓練の指定の考え方や基準、範囲を示した「雇用保険法第60条の2第1項に規定する厚生労働大臣が指定する教育訓練の指定基準」が平成26年5月16日に告示され、訓練内容の基準は、

- ①業務独占資格や名称独占資格のうち、いわゆる養成施設の課程（訓練期間は1年以上3年以内）
 - ②専修学校の職業実践専門課程（期間は2年）
 - ③専門職学位課程（期間は2年以内（資格の取得につながるものにあっては3年以内））
- となった。

図表1-1 調査対象資格区分一覧

<p>【技能検定、技術士】 <input type="checkbox"/>技能士(ものづくり、工事、整備関連分野) <input type="checkbox"/>技能士(オフィス、サービス関連分野) <input type="checkbox"/>技術士</p> <p>【介護・福祉関連】 <input type="checkbox"/>訪問介護員2級・介護職員初任者研修 <input type="checkbox"/>訪問介護員1級・介護職員基礎研修・介護職員実務者研修 <input type="checkbox"/>介護福祉士* <input type="checkbox"/>介護支援専門員(ケアマネージャー) <input type="checkbox"/>移動支援従業者(ガイドヘルパー) <input type="checkbox"/>居宅介護従業者(障がい者(児)ホームヘルパー) <input type="checkbox"/>福祉用具専門相談員 <input type="checkbox"/>精神保健福祉士* <input type="checkbox"/>社会福祉士* <input type="checkbox"/>保育士* <input type="checkbox"/>その他の介護・福祉関係の資格</p> <p>【医療関連】 <input type="checkbox"/>看護師*、准看護師* <input type="checkbox"/>保健師* <input type="checkbox"/>助産師* <input type="checkbox"/>理学療法士* <input type="checkbox"/>作業療法士* <input type="checkbox"/>言語聴覚士* <input type="checkbox"/>視能訓練士* <input type="checkbox"/>臨床検査技師* <input type="checkbox"/>はり師*、きゆう師*、あん摩マッサージ指圧師* <input type="checkbox"/>柔道整復師* <input type="checkbox"/>救急救命士* <input type="checkbox"/>臨床工学技士* <input type="checkbox"/>診療放射線技師* <input type="checkbox"/>歯科衛生士* <input type="checkbox"/>歯科技工士* <input type="checkbox"/>薬剤師 <input type="checkbox"/>登録販売者 <input type="checkbox"/>その他の医療保健関連の資格</p> <p>【生活・衛生関連】 <input type="checkbox"/>栄養士*、管理栄養士 <input type="checkbox"/>調理師* <input type="checkbox"/>製菓衛生師* <input type="checkbox"/>理容師* <input type="checkbox"/>美容師* <input type="checkbox"/>食品衛生管理者 <input type="checkbox"/>色彩検定 <input type="checkbox"/>その他の生活・衛生関連の資格</p> <p>【製造・安全衛生・車両関連】 <input type="checkbox"/>溶接技能者 <input type="checkbox"/>危険物取扱者 <input type="checkbox"/>ボイラー技士 <input type="checkbox"/>安全管理者 <input type="checkbox"/>衛生管理者 <input type="checkbox"/>玉掛け技能者 <input type="checkbox"/>フォークリフト技能者 <input type="checkbox"/>クレーン・デリック運転士 <input type="checkbox"/>普通自動車免許(二種) <input type="checkbox"/>大型自動車免許 <input type="checkbox"/>自動車整備士 <input type="checkbox"/>その他の製造・安全衛生・車両関連の資格(普通自動車免許(一種)二輪免許を除く)</p> <p>【建築・土木・電気・不動産関連】 <input type="checkbox"/>建築士* <input type="checkbox"/>測量士* <input type="checkbox"/>電気工事士* <input type="checkbox"/>電気主任技術者 <input type="checkbox"/>施工管理技士 <input type="checkbox"/>宅地建物取引主任者 <input type="checkbox"/>不動産鑑定士 <input type="checkbox"/>土地家屋調査士 <input type="checkbox"/>マンション管理士 <input type="checkbox"/>その他の建築・土木・電気・不動産関連の資格</p> <p>【IT・OA関連】 <input type="checkbox"/>基本情報技術者 <input type="checkbox"/>応用情報技術者 <input type="checkbox"/>日商PC検定 <input type="checkbox"/>IT関連企業の能力認定(JAVAプログラミング能力認定、 <input type="checkbox"/>オラクルマスター、シスコ技術者認定、マイクロソフト・オフィス・スペシャリストなど) <input type="checkbox"/>その他のIT・OA関連の資格(旧制度の資格を含む)</p> <p>【経理・財務・法務・労務関連】 <input type="checkbox"/>簿記 <input type="checkbox"/>公認会計士 <input type="checkbox"/>税理士 <input type="checkbox"/>証券アナリスト <input type="checkbox"/>ファイナンシャル・プランナー <input type="checkbox"/>中小企業診断士 <input type="checkbox"/>社会保険労務士 <input type="checkbox"/>弁理士 <input type="checkbox"/>司法書士 <input type="checkbox"/>行政書士 <input type="checkbox"/>産業カウンセラー <input type="checkbox"/>キャリアコンサルタント <input type="checkbox"/>その他の経理・財務・法務・労務関連の資格</p> <p>【事務・販売・語学・観光関連】 <input type="checkbox"/>通関士 <input type="checkbox"/>販売士 <input type="checkbox"/>消費生活アドバイザー <input type="checkbox"/>秘書検定 <input type="checkbox"/>医療事務 <input type="checkbox"/>語学検定(英検・TOEIC・TOEFLなど) <input type="checkbox"/>通訳案内士 <input type="checkbox"/>旅行業務取扱管理者 <input type="checkbox"/>その他の事務・販売・語学・観光関連の資格</p> <p>【教育関連、その他】 <input type="checkbox"/>司書 <input type="checkbox"/>学芸員 <input type="checkbox"/>幼稚園教諭 <input type="checkbox"/>小学校教諭 <input type="checkbox"/>その他の教育関連の資格 <input type="checkbox"/>臨床心理士 <input type="checkbox"/>専門職大学院学位*</p>
--

*印が中長期的なキャリア形成支援措置の対象となる資格

第2章 調査結果の概要

第1節 回答者の基本属性

資格所持者の属性をみると、性別では、男性が約6割（61.4%）、女性が約4割（38.6%）であり、年齢別には40代が最も多く（30.3%）、次いで50代（26.9%）であり、50代以上が46.8%と半数近い。最終学歴では大学卒業者が46.7%と半数近くを占めている（図表2-1）。

就業状況をみると、雇用されて働いている人が6割強（63.0%）、仕事をしていない人が約2割（20.4%）であり、雇用者のうち正社員の比率は7割強（72.6%）である（図表2-2、2-3）。

図表2-1 回答者の属性(資格所持者)

性	回答数	構成比(%)	最終学歴	回答数	構成比(%)
男性	5102	61.4	高校卒業	1252	15.1
女性	3214	38.6	専修学校・各種学校卒業	1269	15.3
年齢	回答数	構成比(%)	短大・高専卒業	936	11.3
20代	285	3.4	大学卒業	3886	46.7
30代	1621	19.5	大学院・専門職大学院(修士以上)修了	632	7.6
40代	2519	30.3	その他(中退、在学中含む)	322	3.9
50代	2241	26.9	無回答	19	0.2
60代以上	1650	19.8	合計	8316	100.0

図表2-2 回答者の就業状況(資格所持者)

就業状況	回答数	構成比(%)
雇用されて働いている	5241	63.0
自営、会社経営	1195	14.4
家業の手伝い	93	1.1
仕事をしていない	1698	20.4
無回答	89	1.1
合計	8316	100.0

図表2-3 回答者の雇用形態(資格所持者)

雇用形態	回答数	構成比(%)
正社員	3804	72.6
契約社員(フルタイム)	392	7.5
嘱託社員(定年退職後の再雇用)	120	2.3
パート・アルバイト	786	15.0
派遣社員	129	2.5
無回答	10	0.2
合計	5241	100.0

これから資格を取得したい人の属性をみると、性別では、資格所持者とほぼ同様に男性が約6割（61.2%）、女性が約4割（38.8%）であり、年齢別でも、40代が最も多いことは同様であるが（33.3%）、60代が資格所持者よりやや少なく、50代以上は41.7%となっている。最終学歴でも大学卒業者が48.4%と半数近くを占めていることは資格所持者と同様であるが、専修学校・各種学校の卒業者が6.9%と資格所持者より少ない（図表2-4）。

就業状況をみると、雇用されて働いている人が約3分の2（64.3%）、仕事をしていない人が約2割（21.4%）であり、資格所持者と大きな違いはない（図表2-5）。雇用者のうち正社員の比率は68.3%であり、資格所持者よりやや少ない（図表2-6）。

図表2-4 回答者の属性(これから資格を取得したい人)

性	回答数	構成比(%)	最終学歴	回答数	構成比(%)
男性	619	61.2	高校卒業	201	19.9
女性	392	38.8	専修学校・各種学校卒業	70	6.9
年齢	回答数	構成比(%)	短大・高専卒業	133	13.2
20代	49	4.8	大学卒業	489	48.4
30代	203	20.1	大学院・専門職大学院(修士以上)修了	65	6.4
40代	337	33.3	その他(中退、在学中含む)	51	5
50代	262	25.9	無回答	2	0.2
60代以上	160	15.8	合計	1011	100.0

図表2-5 回答者の就業状況(これから資格を取得したい人)

就業状況	回答数	構成比(%)
雇用されて働いている	650	64.3
自営、会社経営	101	10.0
家業の手伝い	15	1.5
仕事をしていない	216	21.4
無回答	29	2.9
合計	1011	100.0

図表2-6 回答者の雇用形態(これから資格を取得したい人)

雇用形態	回答数	構成比(%)
正社員	444	68.3
契約社員(フルタイム)	51	7.8
嘱託社員(定年退職後の再雇用)	10	1.5
パート・アルバイト	122	18.8
派遣社員	23	3.5
合計	650	100.0

第2節 資格区分別構成

この調査は、スクリーニング調査において図表1-1の資格区分で所持している資格を選択し、複数資格を所持している人については原則として最も重視している資格を1つ選び、その資格について本調査の質問に回答してもらうという流れで実施した。ただし、類似した名称の資格との混同や一覧表の資格区分の選択違いなども想定されたため、本調査冒頭に資格の正式名称を自由記述方式で記入してもらうこととした。双方を突き合わせた結果、他に名称が類似した資格が存在する資格区分を中心に、選択した資格と記述資格とが一致しないサンプルがみられた。資格別集計は、スクリーニングで選択した資格区分と回答者により記入された資格名称が一致したサンプルについてのみ実施することとし、不一致サンプルを除いた後25以上のサンプル数が得られた85の資格区分（その他区分を除く）を対象とした。

スクリーニング時に提示した分野別にみた内訳は図表2-7、個別資格区分ごとのサンプル数は図表2-8の通りである。以下、本稿で資格別の状況について記述する場合は、特に断りがない限り、この85の資格区分のデータ（サンプル数の合計6455件）に基づいて分析した結果である。

図表2-7 資格区分別集計対象の分野別内訳

分野	度数	構成比 (%)
技能検定、技術士	127	2.0
介護・福祉	626	9.7
医療	1307	20.2
生活・衛生	472	7.3
製造・安全衛生・車両	906	14.0
建築・土木・電気・不動産	732	11.3
I T・O A	325	5.0
経理・財務・法務・労務	819	12.7
事務・販売・語学・観光	643	10.0
教育、その他	498	7.7
合計	6455	100.0

図表2-8 資格区分別集計対象のサンプル数

技能検定、技術士	127	普通自動車免許(二種)	57
技能士(ものづくり、工事、整備関連分野)	54	大型自動車免許	88
技能士(オフィス、サービス関連分野)	29	自動車整備士	102
技術士	44	建築・土木・電気・不動産関連	732
介護・福祉関連	626	建築士	114
訪問介護員2級・介護職員初任者研修	111	測量士	85
訪問介護員1級・介護職員基礎研修・介護職員実務者研修	65	電気工事士	103
介護福祉士	68	電気主任技術者	101
介護支援専門員(ケアマネージャー)	55	施工管理技士	101
移動支援従業者(ガイドヘルパー)	35	宅地建物取引主任者	110
福祉用具専門相談員	44	不動産鑑定士	25
精神保健福祉士	97	土地家屋調査士	47
社会福祉士	48	マンション管理士	46
保育士	103	IT・OA関連	325
医療関連	1307	基本情報技術者	83
看護師、准看護師	107	応用情報技術者	65
保健師	90	日商PC検定	82
助産師	44	IT関連企業の能力認定	95
理学療法士	117	経理・財務・法務・労務関連	819
作業療法士	70	簿記	96
言語聴覚士	42	公認会計士	51
臨床検査技師	64	税理士	55
はり師、きゅう師、あん摩マッサージ指圧師	108	証券アナリスト	47
柔道整復師	86	ファイナンシャル・プランナー	101
救急救命士	58	中小企業診断士	58
臨床工学技士	43	社会保険労務士	101
診療放射線技師	109	弁理士	35
歯科衛生士	87	司法書士	67
歯科技工士	71	行政書士	116
薬剤師	116	産業カウンセラー	49
登録販売者	95	キャリアコンサルタント	43
生活・衛生関連	472	事務・販売・語学・観光関連	643
栄養士、管理栄養士	104	通関士	53
調理師	99	販売士	90
製菓衛生師	37	消費生活アドバイザー	43
理容師	56	秘書検定	95
美容師	53	医療事務	96
食品衛生管理者	42	語学検定(英検・TOEIC・TOEFLなど)	103
色彩検定	81	通訳案内士	48
製造・安全衛生・車両関連	906	旅行業務取扱管理者	115
溶接技能者	50	教育関連、その他	498
危険物取扱者	109	司書	105
ボイラー技士	97	学芸員	96
安全管理者	44	幼稚園教諭	99
衛生管理者	99	小学校教諭	91
玉掛け技能者	85	臨床心理士	50
フォークリフト技能者	95	専門職大学院学位	57
クレーン・デリック運転士	80	合計	6455

第3節 調査結果の概要

(1) 職業資格所持者の全体概況

ここでは、職業資格を所持している人全体の状況について、主要項目の集計結果を要約する。資格別の状況も含めた詳細については、第3章以下で具体的に述べる。

① 職業資格を取得したときの状況 (N=8316)

資格取得の時期は、働きながら資格を取得した人が6割弱(56.6%)、在学中が3割(30.6%)、仕事を辞めて、または求職活動をしながら取得した人が合わせて1割(5.2%、4.5%)という構成になっている。

資格取得の動機は、「仕事上資格があるほうが有利」(35.2%)、「資格が必要な職業に就くため」(31.1%)、「自分自身の勉強や自己啓発のため」(27.8%)という回答が3割前後あり、上位を占めている。

選んだ資格の魅力・メリットは「自分の経験や知識を生かせる」(38.2%)、「自分の適性や志向に合っている」(30.9%)が3割を超え、他の項目は回答が分散している。

資格取得学習前の準備として、学校や教育訓練機関の情報を集めた人が4割弱(36.5%)、「特に準備しなかった」という人は4割強(42.3%)である。勉強方法は「自学自習」が最も多く33.0%、次いで「学校」が30.5%となっている。

資格取得に関して課題となったこと、苦労したことは「仕事との両立」とであると回答した人が最も多く、その一方で、「特にない」という人も半数近く(45.0%)いる。

② 在職中に資格を取った人の状況 (N=4709)

勤務先の支援制度として最も多いのは「学費や受験料の補助」(31.1%)、次いで「相談や情報提供」(16.2%)であり、労働時間や配置などの配慮はいずれも1割に満たない。

制度がある場合の利用状況としても、最も高いのは「学費や受験料の補助」で、8割以上(83.5%)が利用している。「相談や情報提供」(72.0%)、「残業の免除」(70.1%)も利用率は高い。

あれば役立つ制度としても「学費や受験料の補助」が最も多い(56.4%)。

資格取得活動に対する職場の対応としては、「特別の対応なし」が最も多く、半数弱(45.7%)、「積極的に応援してくれた」は4人に1人(25.0%)である。

資格を取ったことによる働き方や処遇の変化は「特に変化なし」が約6割(57.9%)、収入面の変化は「特に変化なし」が7割(70.5%)と、変化がないとする人が多い。変化があった点としては、「周囲からの評価が高まった」(14.5%)、「社内で担当分野が広がった」(10.6%)、「資格手当がつくようになった」(15.1%)などがあげられている。

中長期的な職業生活設計の見直しに関しては、「特に見直したいと思ったことはない」が

6割超（63.4%）と多い。見直しを希望したこととして最も多いのは「社内で資格を生かした仕事をする事」（11.7%）であり、この希望は4人に3人（75.1%）で実現している。

③ 仕事を辞めて、または求職活動中に資格取得した人の状況（N=803）

就職活動への資格取得の効果は「資格を活かせる仕事に就くことができた」が半数強（53.0%）、「就職したが資格取得は就職活動に効果がなかった」が15.3%である。仕事を辞めて学習に専念した人は資格を活かせる仕事に就くことができた割合が7割近い（68.1%）、求職活動中に取得した人では3割程度（35.8%）にとどまる。

④ 複数資格を所持している人の状況（N=4536）

複数の資格を所持している人は資格所持者の半数強（54.5%）であり、複数の資格を所持していることについて、仕事やキャリア形成の上で「役立った」が46.3%、「効果は特にない」が31.9%となっている。

「役立った」と評価する人では、「より広い分野の仕事に対応できるようになった」（51.7%）、「より高度な専門性が身についた」（44.7%）などをあげる人が多い。

⑤ 資格取得に対する評価、追加取得の予定（N=8316）

資格を取得したことについての総合的判断は4人に3人が肯定的評価である（「非常によかった」29.5%、「どちらかというプラス」46.1%）。最もよかったと思うことは「専門能力や知識が向上したこと」（38.5%）があげられている。

新たな資格取得に向けて「勉強中」（10.4%）、「検討中」（21.2%）と約3割が追加取得を考えている。追加取得の理由は「より高度な専門性を身につけたい」（48.0%）、「より広い分野の仕事に対応したい」（42.3%）、「新たな可能性にチャレンジしたい」（38.6%）などである。

（2）これから資格を取得したい人のニーズと意識（N=1011）

資格取得の動機は「自分自身の勉強や自己啓発」（28.3%）、「仕事上資格があるほうが有利」（26.4%）などであり、取得したい資格の魅力・メリットとしては「自分の経験や知識を生かせる」（32.7%）、「自分の適性や志向に合っている」（26.2%）などがあげられている。

資格が取得できたら職業生活設計に反映させたいこととしては、「資格を生かした仕事に就きたい」が4割強（42.8%）と最も多い。

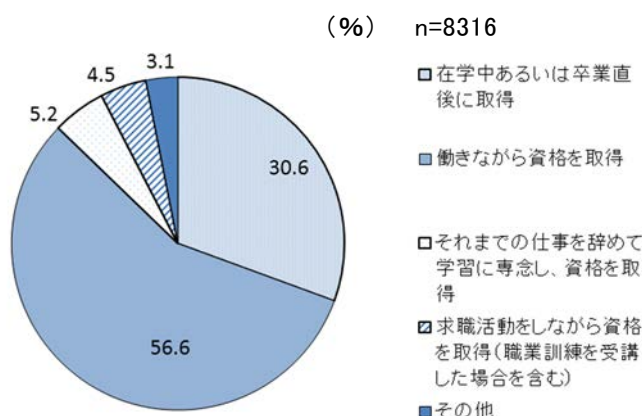
資格取得に関して課題となること、心配なこととしては、「学費、教材費などの費用負担」（42.8%）、「仕事との両立」（34.5%）、「勉強や通学のための時間」（34.3%）などがあげられており、「特にない」は1割強（13.3%）と資格所持者に比べて少ない。

第3章 資格を取得したときの状況

第1節 資格取得の時期

資格を所持している人（n=8316）の資格取得時期は、在職中が56.6%、在学中あるいは卒業直後が30.6%、仕事を辞めて学習に専念し取得した人が5.2%、求職活動中が4.5%という構成になっている（図表3-1）。

図表3-1 資格取得時期



資格取得の時点は資格によって大きく異なる。分野別にみると、有資格者であることを前提として特定の職種に入職する医療や教育関係では、在学中あるいは卒業直後に取得した人の比率が高く（以下、「在学時型」という）、技能検定・技術士、建築・土木・電気・不動産、経理・財務・法務・労務などの資格では働きながら資格を取得する人の比率が高い（以下、「在職時型」という）（図表3-2）。また、介護・福祉やIT・OAでは求職活動をしながら取得したという比率が他の資格分野と比べて高くなっている。

図表3-2 資格取得時期(資格分野別)

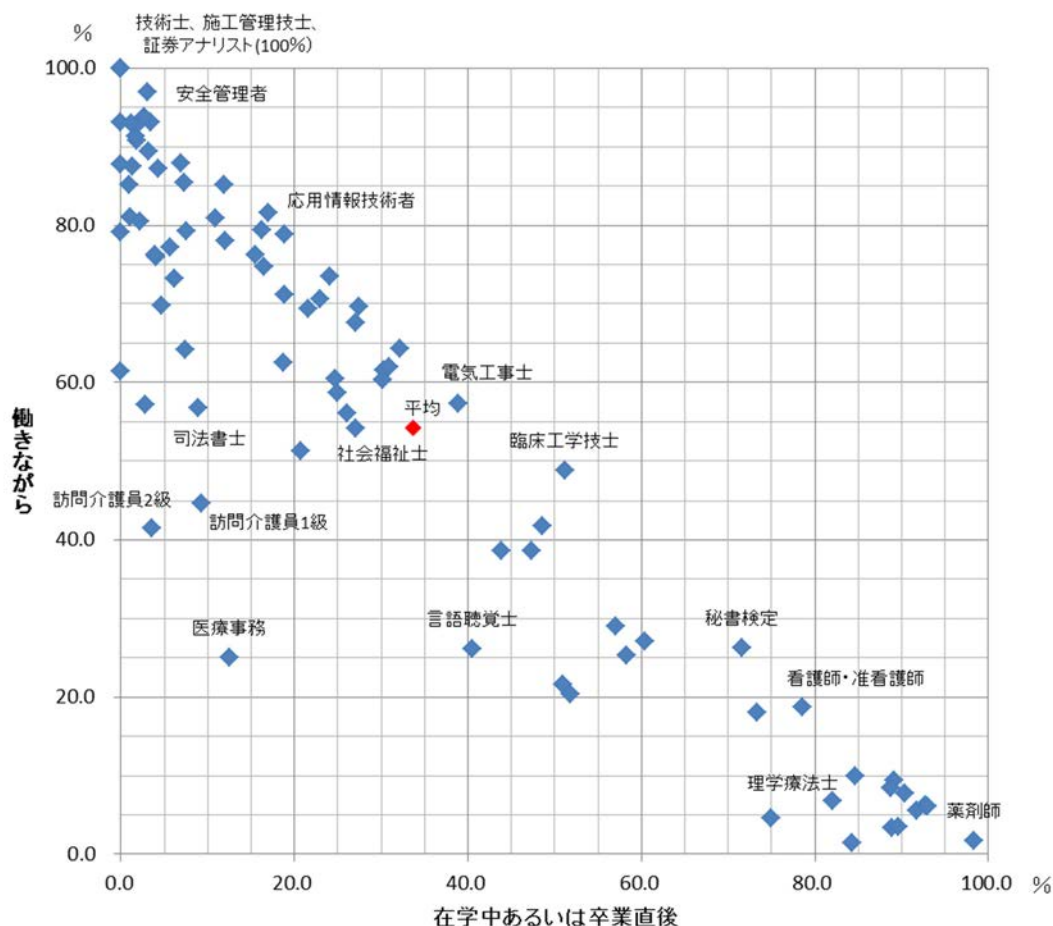
(%)

分野	在学中あるいは卒業直後に取得	働きながら資格を取得	それまでの仕事を辞めて学習に専念し、資格を取得	求職活動をしながら資格を取得(職業訓練を受講した場合を含む)	その他	合計	n=資格別集計サンプル数
技能検定、技術士	1.6	94.5	0.8	3.1	0.0	100.0	127
介護・福祉	17.7	56.4	8.3	12.8	4.8	100.0	626
医療	70.0	20.8	8.0	0.2	1.0	100.0	1307
生活・衛生	42.6	50.2	2.8	1.3	3.2	100.0	472
製造・安全衛生・車両	13.7	76.5	1.7	6.6	1.5	100.0	906
建築・土木・電気・不動産	11.9	82.8	2.5	1.2	1.6	100.0	732
IT・OA	16.9	66.8	3.1	11.7	1.5	100.0	325
経理・財務・法務・労務	16.0	68.0	9.0	2.4	4.5	100.0	819
事務・販売・語学・観光	28.1	53.5	5.8	7.3	5.3	100.0	643
教育、その他	73.5	20.3	4.4	0.2	1.6	100.0	498
合計	33.7	54.2	5.4	4.2	2.6	100.0	6455

※本表は資格別集計対象サンプルのみの集計

個別の資格区分ごとに細かくみても、資格取得時期は、大きく分けて在学時型と在職時型に分かれる（図表3-3、51 ページ付表1）。両者の中間型の資格もある。

図表3-3 資格取得時期(在学時か、在職時か)



※資格別集計対象サンプルのみ

在学時型の代表的な資格は、医療分野の資格や教育の資格であり、薬剤師、診療放射線技師、歯科衛生士、臨床検査技師などほとんどの資格で9割前後の人が在学中あるいは卒業直後に資格を取得している（図表3-4）。

一方、在職時型の資格には、一定の実務経験が求められる資格が多い。代表的な資格として、在職中に取得した比率が100%であった技術士、施工管理技士、証券アナリストのほか、衛生管理者、建築士など、実務系、技術系の資格の多くが在職中に取得されている（図表3-5）。また、IT分野や事務・販売分野など、入職時に資格要件が課されることがあまりない分野の資格、介護福祉士など近年資格制度の整備が進んできた介護等の分野にも、働きながら取得する人が多い資格がある（51 ページ付表1）。

図表3-4 在学中あるいは卒業直後に資格を取得した人の割合(多いほうから20 資格区分)
(%)

薬剤師	98.3
幼稚園教諭	92.9
学芸員	92.7
診療放射線技師	91.7
栄養士、管理栄養士	90.4
歯科衛生士	89.7
臨床検査技師	89.1
保健師	88.9
歯科技工士	88.7
小学校教諭	84.6
作業療法士	84.3
理学療法士	82.1
看護師、准看護師	78.5
助産師	75.0
司書	73.3
秘書検定	71.6
簿記	60.4
保育士	58.3
柔道整復師	57.0
はり師、きゅう師、あん摩マッサージ指圧師	51.9

図表3-5 働きながら資格を取得した人の割合(多いほうから20 資格区分)
(%)

技術士	100.0
施工管理技士	100.0
証券アナリスト	100.0
衛生管理者	97.0
建築士	93.9
安全管理者	93.2
技能士(オフィス、サービス関連分野)	93.1
玉掛け技能者	92.9
介護支援専門員(ケアマネージャー)	92.7
中小企業診断士	91.4
技能士(ものづくり、工事、整備関連分野)	90.7
登録販売者	89.5
救急救命士	87.9
産業カウンセラー	87.8
クレーン・デリック運転士	87.5
土地家屋調査士	87.2
税理士	85.5
電気主任技術者	85.1
ファイナンシャル・プランナー	85.1
応用情報技術者	81.5

両者の中間的なタイプとして、学校段階で資格を取得するケースもあるものの、実務経験を積みながら取得する人が多い資格もある。電気工事士、理容師、美容師、調理師などがあるようなタイプである（51 ページ付表 1）。

仕事を辞めて資格を取得した人の割合が他の資格と比べて相対的に高いのは、言語聴覚士、司法書士、はり師、きゅう師、あん摩マッサージ指圧師など（図表 3-6）、求職活動中に取得した人が多いのは、訪問介護員 2 級・介護職員初任者研修、訪問介護員 1 級・介護職員基礎研修・介護職員実務者研修など福祉分野の資格、医療事務などである（図表 3-7）。

図表 3-6 仕事を辞めて学習に専念し、資格を取得した人の割合（多いほうから 10 資格区分）
（％）

言語聴覚士	28.6
司法書士	26.9
はり師、きゅう師、あん摩マッサージ指圧師	25.9
医療事務	24.0
公認会計士	23.5
助産師	20.5
訪問介護員 1 級・介護職員基礎研修・介護職員実務者研修	16.9
不動産鑑定士	16.0
専門職大学院学位	15.8
訪問介護員 2 級・介護職員初任者研修	13.5

図表 3-7 求職活動をしながらか資格を取得した人の割合（多いほうから 10 資格区分）
（％）

訪問介護員 2 級・介護職員初任者研修	33.3
訪問介護員 1 級・介護職員基礎研修・介護職員実務者研修	29.2
医療事務	26.0
移動支援従業者（ガイドヘルパー）	25.7
福祉用具専門相談員	25.0
IT関連企業の能力認定	21.1
日商 PC 検定	19.5
溶接技能者	16.0
ボイラー技士	14.4
キャリアコンサルタント	14.0

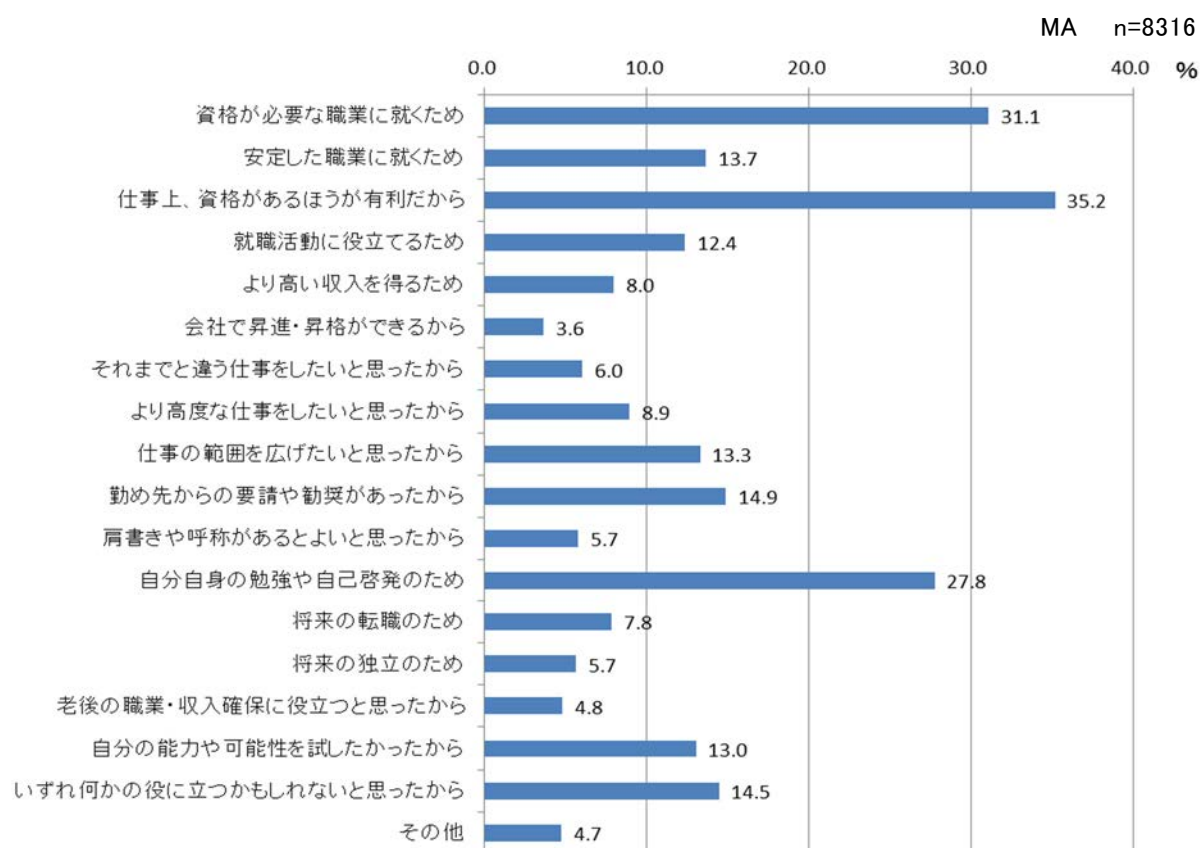
第2節 資格取得の動機、取得した資格の魅力

(1) 資格取得の動機

職業資格を取得した人は、主にどのような動機で資格を取得しようと考えたのだろうか。

全体の集計では、「仕事上資格があるほうが有利」(35.2%)、「資格が必要な職業に就くため」(31.1%)、「自分自身の勉強や自己啓発のため」(27.8%)という回答がそれぞれ3割前後あり、上位を占めている(図表3-8)。

図表3-8 資格取得の動機



当然のことながら、職業資格の取得は職業選択やキャリアプランと密接に結びついており、どのような職業生活設計を立てるかによって、個人にとっての資格の位置づけや必要性が異なってくる。したがって、資格と職業との結びつきの強さに応じて、入職時の要件となる資格の場合は「資格が必要な職業に就くため」が多く、仕事の幅を広げたり、ステップアップをめざしたりするために取得される資格の場合は「仕事上資格があるほうが有利」、自分の能力開発や将来に向けての中長期的な準備をする人が多い資格の場合は「自分自身の勉強や自己啓発のため」というように、資格取得動機にも違いがみられると考えられる。そこで、資格取得時期および資格分野別に、資格取得の動機の違いをみしてみる。

まず、資格取得時期別にみる（図表3-9）。それぞれの上位3項目をあげると、在学時に取得した人では、①「資格が必要な職業に就くため」（50.4%）、②「安定した職業に就くため」（25.8%）、③「仕事上資格があるほうが有利」（23.5%）、在職時に取得した人では①「仕事上資格があるほうが有利」（43.9%）、②「自分自身の勉強や自己啓発」（30.9%）③「勤め先の要請や勧奨」（25.1%）、仕事を辞めて資格取得に専念した人では、①「資格が必要な職業に就くため」（41.0%）、②「自分自身の勉強や自己啓発」（27.8%）、③「それまでとは違う仕事をしたいと思ったから」（26.9%）、求職活動中に資格を取得した人では、①「就職活動に役立てるため」（47.3%）、②「自分自身の勉強や自己啓発」（32.1%）、③「仕事上、資格があるほうが有利」（31.8%）となっている。資格取得時点での状況を反映し、在職時に取得した人では「勤め先からの要請や勧奨」、仕事を辞めて資格取得に専念した人では「違う仕事をしたい」、求職活動中に取得した人では「就職活動に役立てる」といった項目が上位にあがっている。

図表3-9 資格取得の動機（資格取得時期）

資格取得動機	MA (%)					合計
	在学中あるいは卒業直後に取得	働きながら資格を取得	それまでの仕事を辞めて学習に専念し、資格を取得	求職活動をしながらか資格を取得（職業訓練を受講した場合を含む）	その他	
資格が必要な職業に就くため	50.4	20.8	41.0	27.0	17.9	31.1
安定した職業に就くため	25.8	6.7	19.0	17.6	6.6	13.7
仕事上、資格があるほうが有利だから	23.5	43.9	23.8	31.8	14.8	35.2
就職活動に役立てるため	19.7	5.2	18.5	47.3	10.1	12.4
より高い収入を得るため	8.2	8.6	5.6	4.5	3.1	8.0
会社で昇進・昇格ができるから	1.0	5.7	0.0	0.0	2.7	3.6
それまでと違う仕事をしたいと思ったから	1.8	5.1	26.9	31.0	12.5	6.0
より高度な仕事をしたいと思ったから	4.8	11.3	13.0	15.0	4.7	8.9
仕事の範囲を広げたいと思ったから	4.5	18.0	11.8	13.6	7.4	13.3
勤め先からの要請や勧奨があったから	1.2	25.1	0.2	0.3	6.2	14.9
肩書きや呼称があるとよいと思ったから	4.3	6.6	4.6	5.3	8.2	5.7
自分自身の勉強や自己啓発のため	19.4	30.9	27.8	32.1	49.0	27.8
将来の転職のため	4.0	9.3	12.5	14.4	9.3	7.8
将来の独立のため	3.8	6.4	12.5	14.4	4.7	5.7
老後の職業・収入確保に役立つと思ったから	2.4	4.8	9.0	10.4	14.4	4.8
自分の能力や可能性を試したかったから	10.7	13.0	17.8	20.6	26.8	13.0
いずれ何かの役に立つかもしれないと思ったから	18.4	11.0	13.0	15.0	34.2	14.5
その他	5.4	3.5	4.9	5.6	20.6	4.7
n	2544	4709	432	374	257	8316

次に資格分野別にみる（図表3-10）。医療分野、教育分野及び生活衛生分野では「資格が必要な職業に就くため」、製造・安全衛生・車両分野では「勤め先からの要請や勧奨」、経理・財務・法務・労務分野と事務・販売・語学・観光分野では「自分自身の勉強や自己啓発」が最も多い回答となっている。その他の分野では、「仕事上資格があるほうが有利」とい

う回答が最も多い。

個別の資格区分についてみると、医療分野では、ほとんどの資格区分で「資格が必要な職業に就くため」の比率が極めて高いが、現職の消防士等が取得することが多い救急救命士では「勤め先からの要請や勧奨」が60.3%と最も多くなっている（資料編「資格別概況」参照）。

製造・安全衛生・車両分野では、安全管理者、衛生管理者、玉掛け技能者、フォークリフト技能者、クレーン・デリック運転士など、安全関係の必置資格や作業実施の必要要件となっている資格が多く、「勤め先からの要請や勧奨」が動機の第1位となっている。

自己啓発が主要な動機になっている資格としては、色彩検定、マンション管理士、中小企業診断士、語学検定、学芸員などがあげられる。

これ以外の特徴として、司法書士、土地家屋調査士では「将来の独立のため」、秘書検定では「就職活動に役立てるため」、また、栄養士・管理栄養士と普通自動車免許（二種）では、「いずれ何かの役に立つかもしれないと思ったから」が動機の第1位となっている。

図表3-10 資格取得の動機(資格分野別)

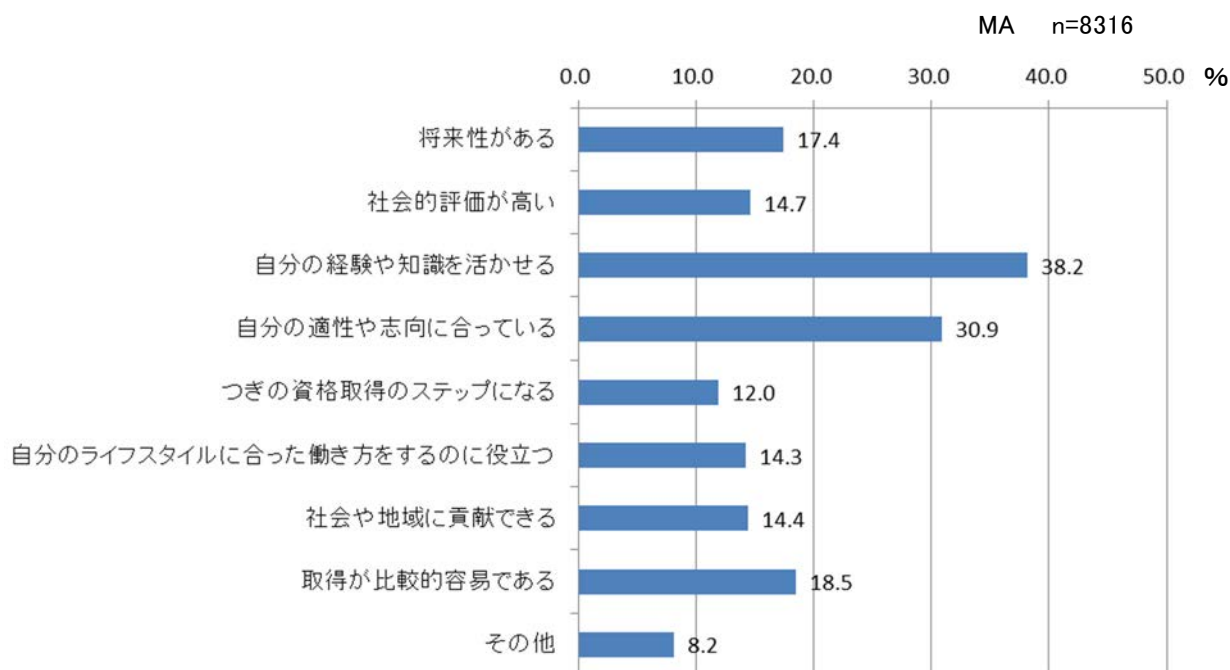
資格取得動機	MA (%)										
	技能検定、 技術士	介護・福祉	医療	生活・衛生	製造・安全衛 生・車両	建築・土木・ 電気・不動産	IT・OA	経理・財務・ 法務・労務	事務・販売・ 語学・観光	教育、その他	合計
資格が必要な職業に就くため	7.9	33.2	65.3	31.1	20.5	23.6	8.3	19.0	15.6	46.4	32.4
安定した職業に就くため	4.7	13.3	36.7	9.7	5.6	7.9	6.5	10.7	8.2	11.2	14.6
仕事上、資格があるほうが有利だから	59.8	42.0	26.1	26.5	35.5	49.3	46.2	33.3	32.5	19.1	34.3
就職活動に役立てるため	4.7	19.3	8.1	9.5	9.2	7.4	21.2	11.2	23.3	13.9	12.3
より高い収入を得るため	3.9	8.3	12.9	2.8	4.1	10.1	8.0	9.6	4.4	2.8	7.7
会社で昇進・昇格ができるから	7.1	1.9	0.9	2.5	2.6	5.5	6.2	3.4	5.1	1.0	3.0
それまでと違う仕事をしたいと思ったから	0.8	10.5	5.7	3.0	2.9	3.3	3.7	10.6	8.9	4.4	5.9
より高度な仕事をしたいと思ったから	21.3	9.1	9.4	3.2	3.3	8.6	10.2	16.5	7.3	9.0	8.9
仕事の範囲を広げたいと思ったから	16.5	20.9	6.3	8.1	10.9	15.2	10.8	20.4	16.0	5.8	12.6
勤め先からの要請や勧奨があったから	24.4	8.3	7.5	7.2	37.5	15.6	16.6	9.0	13.7	3.8	14.0
肩書きや呼称があるとよいと思ったから	19.7	7.2	3.1	6.4	2.1	7.4	4.3	9.0	7.3	6.0	5.9
自分自身の勉強や自己啓発のため	38.6	34.0	12.4	25.0	14.8	29.6	36.0	37.5	39.3	30.5	26.7
将来の転職のため	7.1	14.5	5.4	6.1	3.6	8.3	8.0	11.2	8.4	6.4	7.7
将来の独立のため	6.3	3.0	8.0	9.1	0.6	9.6	0.0	15.5	3.0	1.0	6.2
老後の職業・収入確保に役立つと思ったから	2.4	6.5	5.0	1.1	2.6	5.2	1.8	10.4	3.4	1.8	4.6
自分の能力や可能性を試したかったから	18.9	12.3	9.7	11.9	5.7	12.3	14.2	18.2	20.5	13.7	12.7
いずれ何かの役に立つかもしれないと思ったから	9.4	22.0	8.6	22.2	11.8	13.3	13.8	13.2	17.0	22.5	14.6
その他	1.6	4.3	4.1	7.4	5.7	3.1	0.9	3.8	5.3	4.6	4.4
合計	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
	127	626	1307	472	906	732	325	819	643	498	6455

※本表は資格別集計対象サンプルのみの集計

(2) 取得した資格の魅力・メリット

取得した資格について、どのような点に魅力やメリットを感じたのかをみると、全体集計では、「自分の経験や知識を生かせる」(38.2%)、「自分の適性や志向に合っている」(30.9%)が3割を超え、他の項目は回答が分散している(図表3-11)。

図表3-11 取得した資格の魅力・メリット



本節の(1)でみたように、資格を取得しようと考えた動機に関しては就職や仕事上の必要性といった職業生活設計との関連が密接であったが、どの資格を取得するかという資格の選択に当たっては、経験・知識や適性・志向といった自分自身との適合性が重視されている。

資格取得時期別にみると、在学時に取得した人および仕事を辞めて資格取得した人では「自分の適性や志向にあっている」(39.0%、40.3%)、在職時に取得した人では「自分の経験や知識を活かせる」(45.7%)、求職活動中に取得した人では「取得が比較的容易」(33.4%)をあげる人が最も多い(図表3-12)。

図表3-12 取得した資格の魅力・メリット(資格取得時期別)

MA (%)

資格の魅力・メリット	在学中あるいは卒業直後に取得	働きながら資格を取得	それまでの仕事を辞めて学習に専念し、資格を取得	求職活動をしながらか取得(職業訓練を受講した場合を含む)	その他	合計
将来性がある	25.4	13.0	20.6	17.9	13.2	17.4
社会的評価が高い	16.1	14.3	16.9	8.8	11.3	14.7
自分の経験や知識を活かせる	28.3	45.7	27.3	27.5	31.5	38.2
自分の適性や志向に合っている	39.0	26.1	40.3	26.5	28.4	30.9
つぎの資格取得のステップになる	6.6	15.0	8.1	18.2	7.0	12.0
自分のライフスタイルに合った働き方をするのに役立つ	13.2	12.9	24.1	19.8	25.7	14.3
社会や地域に貢献できる	17.8	11.2	22.5	15.2	24.5	14.4
取得が比較的容易である	15.1	19.1	17.8	33.4	21.0	18.5
その他	6.3	9.3	3.9	5.3	18.3	8.2
n	2544	4709	432	374	257	8316

資格分野別にみると、在職中に取得する人が多い資格では、「経験・知識を生かせる」という回答割合が高い傾向があるが、製造・安全衛生・車両では「取得が比較的容易」をあげる回答が多い。一方、在学時型資格のうち教育分野では「適性・志向」を、医療分野では「適性・志向」のほか「将来性がある」や「社会貢献」をあげる回答が多くなっている（図表3-13）。

また、資格区分別にみた特徴的な回答としては、歯科技工士において「適性・志向」、移動支援従事者（ガイドヘルパー）や救急救命士において「社会貢献」をあげる割合が特に高いこと、情報分野において、「次の資格取得のステップ」が他の資格と比べて高いことなどがあげられる（52 ページ付表 2、資料編「資格別概況」参照）。

図表3-13 取得した資格の魅力・メリット(資格分野別)

分野	MA (%)									合計	n
	将来性がある	社会的評価が高い	自分の経験や知識を活かせる	自分の適性や志向に合っている	つぎの資格取得のステップになる	自分のライフスタイルに合った働き方をするのに役立つ	社会や地域に貢献できる	取得が比較的容易である	その他		
技能検定、技術士	9.4	26.0	65.4	26.0	16.5	12.6	4.7	4.7	3.9	100.0	127
介護・福祉	20.0	10.1	41.2	29.4	17.4	16.1	27.5	21.1	5.9	100.0	626
医療	34.4	17.8	25.9	38.4	3.6	16.1	30.5	6.4	5.2	100.0	1307
生活・衛生	11.9	3.4	31.4	32.8	7.0	19.3	7.4	24.4	10.0	100.0	472
製造・安全衛生・車両	8.4	6.1	25.6	16.0	11.7	11.3	5.0	35.8	15.5	100.0	906
建築・土木・電気・不動産	13.5	19.4	47.3	23.2	14.2	12.8	8.2	16.5	9.6	100.0	732
IT・OA	13.5	10.8	44.6	29.2	29.2	8.3	0.9	21.5	3.4	100.0	325
経理・財務・法務・労務	16.6	20.6	46.2	35.7	14.7	15.3	12.3	14.7	5.7	100.0	819
事務・販売・語学・観光	12.1	14.3	43.1	36.7	11.0	13.5	6.1	19.6	6.8	100.0	643
教育、その他	11.0	13.5	38.4	50.8	2.0	14.3	16.5	15.7	5.6	100.0	498
合計	17.5	14.0	37.1	32.0	11.1	14.3	14.6	18.2	7.7	100.0	6455

※本表は資格別集計対象サンプルのみの集計

第3節 資格取得の準備、学習方法など

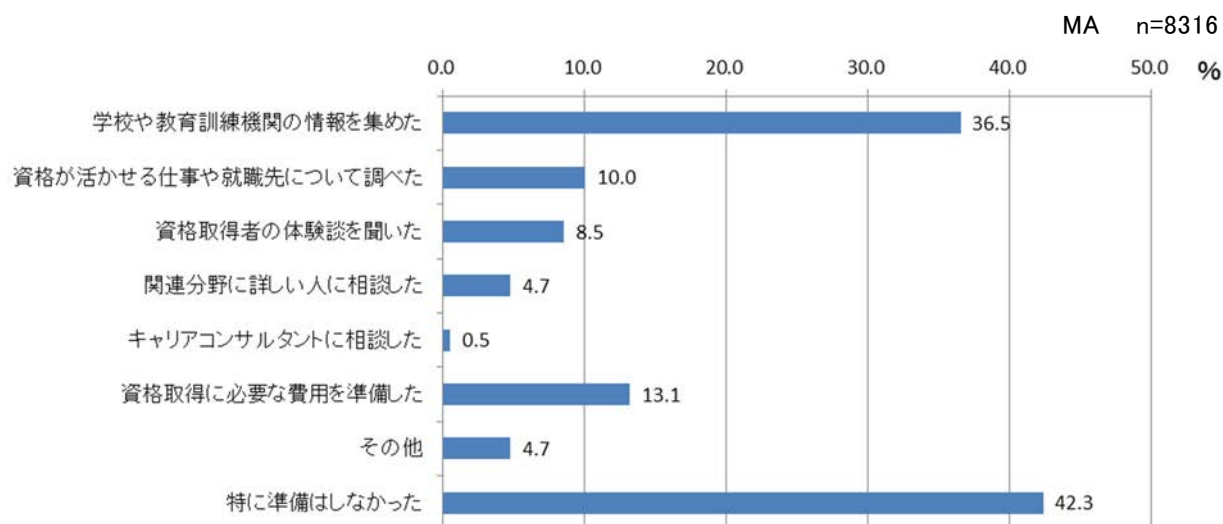
次に、資格取得のための準備や取得活動の状況についてみる。

(1) 学習をはじめる前の準備

資格取得の学習を始める前の準備として、全体集計では、「学校や教育訓練機関の情報を集めた」が4割弱(36.5%)、次いで「資格取得に必要な費用を準備した」13.1%、「資格が活かせる仕事や就職先について調べた」10.0%となっており、準備活動の中では学校等に関する情報収集を行った人が最も多いが、4割強(42.3%)の人は「特に準備しなかった」と回答している(図表3-14)。

資格区別にみると、医療分野において学校等の情報を集めたという回答割合が高く、また、「費用の準備」や「資格取得者の体験談を聞く」など事前準備をしている割合が他の分野に比べて高くなっている。医療分野の資格は、全体に修学年数が長く、実習費などの負担も生じる場合があることから、事前の情報収集の必要性を感じる人が多いものと考えられる。これに対して、在職中に資格を取るケースが多い資格では、「特に準備をしなかった」という回答が多くなっている(資料編「資格別概況」参照)。

図表3-14 学習を始める前の準備



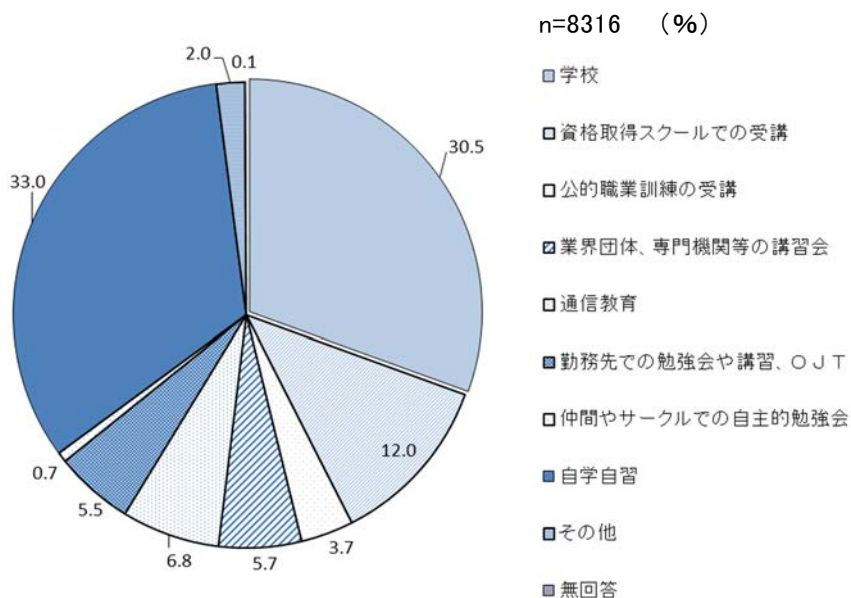
(2) 主な勉強方法

資格取得のための勉強はどのように行われたかという点をみると、主な勉強方法(1つ)としては、全体集計では、「自学自習」が最も多く33.0%、次いで「学校」が30.5%となっている(図表3-15)。

資格別にみると、医療分野では、多くの資格で「学校」が9割以上に達している一方、情報分野、施工管理技士、通訳案内士などのように「自学自習」の割合が高い資格もある。も

のづくりや安全関係の資格などでは、「勤務先での勉強会や講習、OJT」の比率が高くなっている。公認会計士や司法書士、税理士などの法務・会計関係の資格では、「資格取得スクール」をあげる人が多い（資料編「資格別概況」参照）。

図表3-15 主な勉強方法

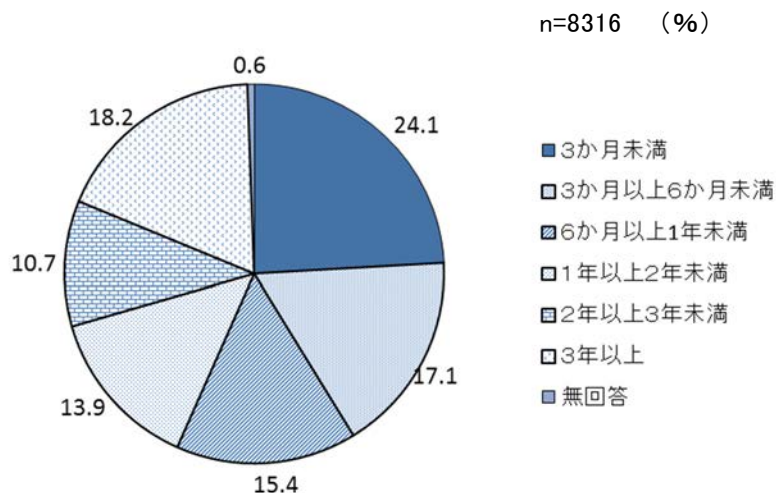


(3) 資格取得に要した期間

資格取得に要した期間をみると、全体集計では、「3か月未満」(24.1%)に次いで「3年以上」(18.2%)と取得に要する期間が長い資格と短い資格に分かれた(図表3-16)。

資格区別にみると、医療分野を中心に資格取得期間が2~3年と長い資格が多く、逆に取得期間が比較的短いのは、実務経験の上に講習等を受講することで資格を取得できる安全関係の分野、情報分野、販売分野の資格などである(資料編「資格別概況」参照)。

図表3-16 資格取得にかかった期間

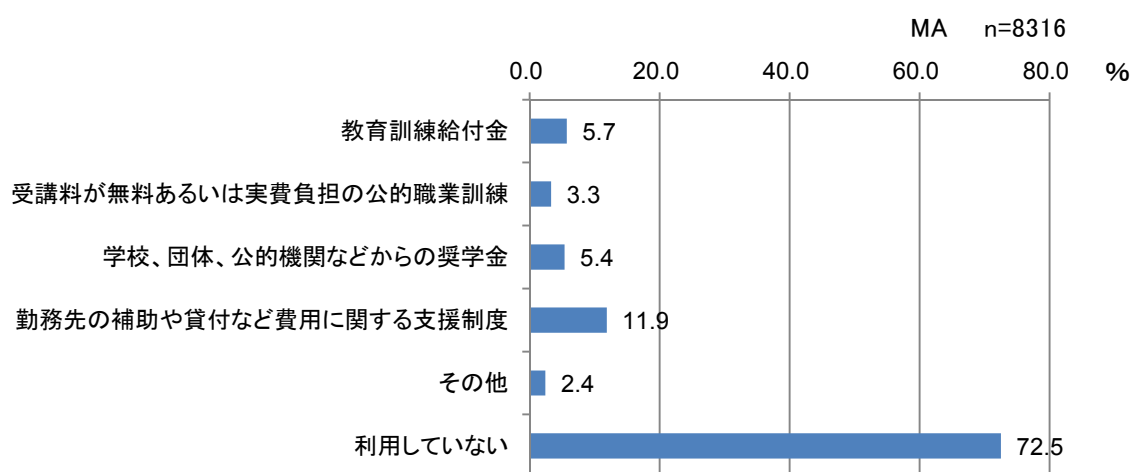


（４）利用した経済的支援

資格取得に際して、何らかの経済的支援を利用したかどうかをみると、全体の集計では 7割強（72.5%）が「利用していない」としている。利用されている支援で最も多いのは、「勤務先の補助や貸付など費用に関する支援制度」（11.9%）である（図表 3－17）。

資格区分別にみると、看護師、助産師では半数以上が「学校等の奨学金」や「勤務先の費用支援制度」など何らかの支援制度を利用しており、理学療法士や作業療法士も奨学金の利用割合が高くなっている。救急救命士、自動車整備士、施工管理技士、販売士などは勤務先の費用支援を利用する割合が平均と比べて高い傾向がみられる（資料編「資格別概況」参照）。

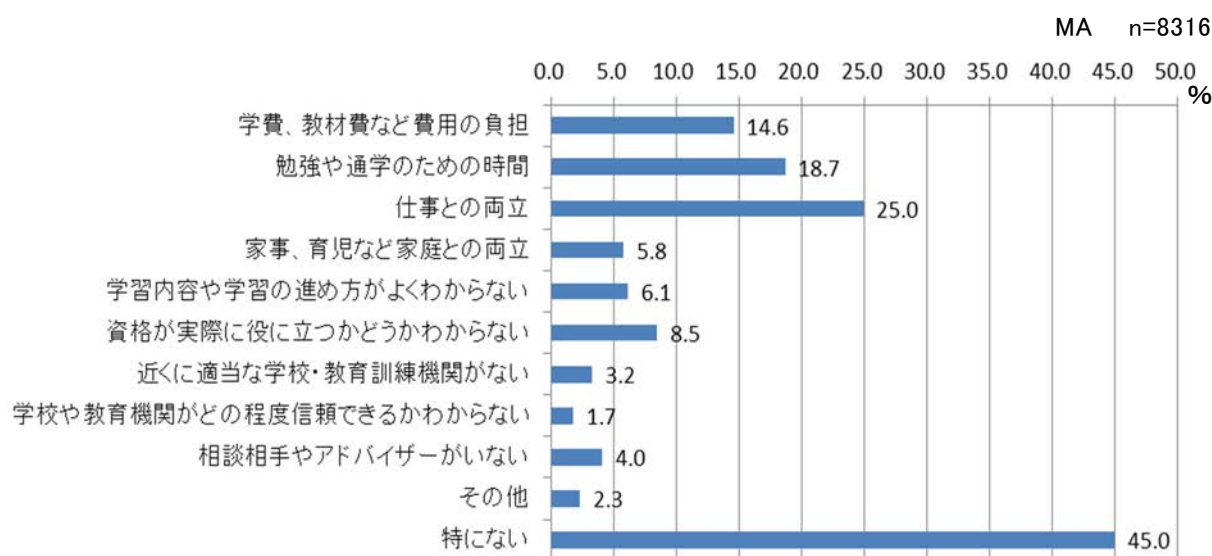
図表3－17 利用した経済的支援



第4節 資格取得に関する課題、苦勞したことなど

資格取得に関して課題となったこと、苦勞したことについてたずねた。全体集計では、「仕事との両立」が最も多く4分の1（25.0%）の人があげ、これに「勉強や通学のための時間」（18.7%）、「学費、教材費などの費用の負担」（14.6%）が続く。主に費用や時間のやり繰りが課題となった人が多いことがうかがえる。一方、「特にない」という人が半数近く（45.0%）存在する（図表3-18）。

図表3-18 資格取得に関して課題となったこと、苦勞したこと



資格取得時期によって、課題や苦勞したことに違いがあるかどうかをみると、在学中に取得した人では「学費、教材費など費用の負担」と「勉強や通学のための時間」をあげる回答がそれぞれ2割程度で最も多く、働きながら取得した人では「仕事との両立」が4割と突出して多い（図表3-19）。それまでの仕事を辞めて取得に専念した人では、「費用の負担」や「勉強や通学の時間」のほか、「資格が実際に役に立つかどうか分からない」をあげる回答が多い。また、課題や苦勞したことが「特にない」という回答の割合が最も低い。求職活動をしながらか取得した人の場合、「資格が実際に役に立つかどうか分からない」をあげる人が最も多い。

費用の負担については、求職活動中に取得した人では、仕事を辞めて取得に専念した人と比較して、課題とする回答の割合が10ポイント以上低い。両者の差は、求職活動中に資格を取得した場合、公的職業訓練を利用したケースがあると思われること、資格取得に専念した人の場合、医療分野や財務・法務など、修業年限が長く、学費等の負担が大きい資格をめざすケースが多いことなどの点も影響しているものと考えられる（第5章参照）。

図表3-19 資格取得に関して課題となったこと、苦労したこと(取得時期別)

MA (%)

課題	在学中あるいは卒業直後に取得	働きながら資格を取得	それまでの仕事を辞めて学習に専念し、資格を取得	求職活動をしなが ら資格を取得(職 業訓練を受講した 場合を含む)	その他	合計
学費、教材費など費用の負担	20.2	10.6	26.6	15.8	10.9	14.6
勉強や通学のための時間	19.4	19.1	18.8	13.1	12.8	18.7
仕事との両立	4.0	40.1	9.0	7.2	7.4	25.0
家事、育児など家庭との両立	0.5	6.4	11.8	11.0	30.4	5.8
学習内容や学習の進め方がよくわからない	5.7	6.0	9.3	6.4	6.2	6.1
資格が実際に役に立つかどうかわからない	6.9	7.3	14.4	21.7	15.2	8.5
近くに適当な学校・教育訓練機関がない	3.5	2.8	5.3	4.8	3.9	3.2
学校や教育機関がどの程度信頼できるかわからない	2.1	1.1	3.9	4.0	1.9	1.7
相談相手やアドバイザーがない	2.6	4.4	6.5	5.6	6.2	4.0
その他	1.9	1.9	3.5	4.3	7.4	2.3
特になし	56.6	40.1	34.3	42.2	41.2	45.0
合計	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
n	2544	4709	432	374	257	8316

資格区分別にみると、仕事をしながら資格を取得する人が多い介護福祉士、精神保健福祉士、社会福祉士、建築士、通関士などで「仕事との両立」が特に多く、「理学療法士」、「言語聴覚士」など医療分野の資格で「学費、教材費など費用の負担」をあげる割合が高くなっている(資料編「資格別概況」参照)。

第4章 働きながら資格を取得した人の状況

働きながら資格を取得した人（4709人）に対して、資格取得活動と職場との関係、資格取得と処遇や職業生活設計との関係についてたずねた。

なお、資格区分によっては働きながら資格を取得した人が少なく、十分なサンプル数が得られないため、個別の分析ができる資格が限定される。資格区分別の詳細な状況については、資料編の「資格別概況」を参照いただきたい。

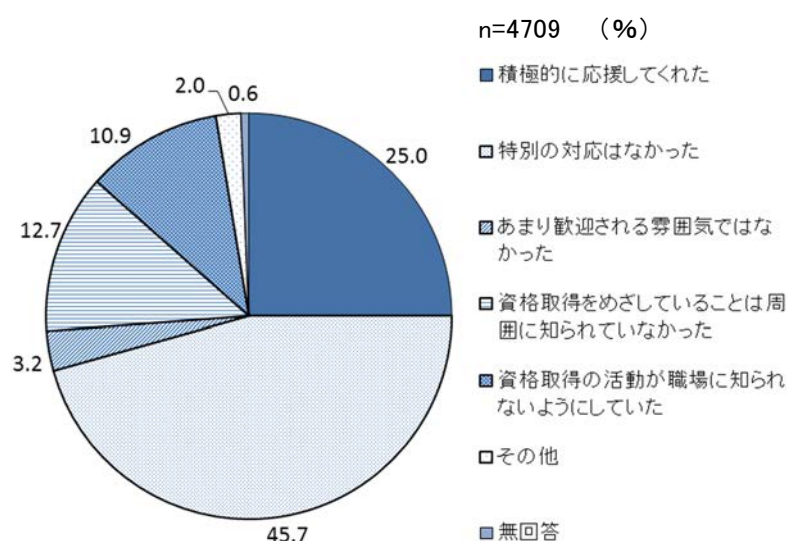
第1節 資格取得に関する職場の対応

働きながら資格を取得することに対する職場の対応はどのようなものであろうか。

全体集計では、「特別の対応はなかった」が半数弱（45.7%）と最も多く、「積極的に応援してくれた」は4人に1人（25.0%）となっている（図表4-1）。「あまり歓迎される雰囲気ではなかった」というように否定的な雰囲気を感じた人は少数であったが（3.2%）、「資格取得の活動が職場に知られないようにしていた」と、職場に対して気を使っていた人が約1割いる（10.9%）。

医療分野の資格など、入職以前に資格を取得するのが一般的で、在職中に資格を取得した人の数が少ない資格もあるため、個別の分析が難しい資格もあるが、仕事をしながら取得する人が多い資格のうち、救急救命士、理容師、美容師、自動車整備士などでは、職場が積極的に応援してくれたという回答割合が高くなっている（資料編「資格別概況」参照）。

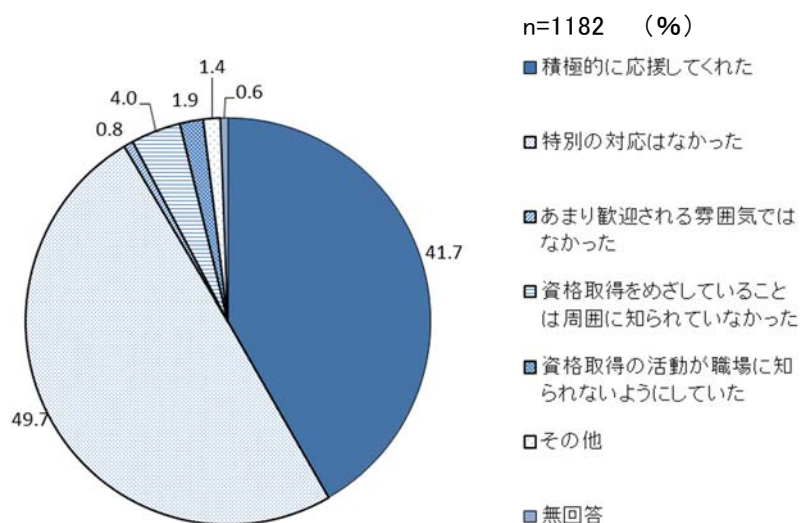
図表4-1 資格取得の活動をしていることへの職場の対応



職場側の必要性により資格を取得した場合においては、勤務先は特段の対応を講じているのだろうか。

働きながら資格取得した人のうち、資格取得の動機として「勤め先からの要請や勧奨があったから」をあげたのは、働きながら資格を取得した人（4709人）の約4人に1人（25.1%）に当たる1182人である。これらのケースにおける職場の対応状況をみると、「積極的に応援してくれた」が41.7%と全体（25.0%）に比べて大幅に高く、「あまり歓迎される雰囲気ではなかった」（0.8%）や「資格取得の活動が職場に知られないようにしていた」（1.9%）はごく少数となっているが、「特別の対応がなかった」が49.7%と約半数を占め、最も多くなっている（図表4-2）。職場の要請や勧奨に応じて資格を取得する場合においても、実際の取得活動においては、個人の対応に任せられるケースが少なくないことがうかがえる。

図表4-2 資格取得の活動をしていることへの職場の対応
（勤務先の要請・勧奨に応じて取得したケース）



第2節 勤務先の支援制度

(1) 利用できる支援制度とその利用状況

資格を取得するために勤務先で利用できる支援制度として、どのようなものがあるかをみると、全体集計で最も多いのは「学費や受験料の補助」(31.1%)、次いで「相談や情報提供」(16.2%)であり、自己啓発休暇や勤務時間短縮、残業の免除など労働時間に関する制度、勉強しやすい部署への配置などの配慮は、「制度がある」とする割合がいずれも1割未満である(図表4-3)。

制度がある場合について、その利用状況をみると、利用率が最も高いのも「学費や受験料の補助」であり、全体集計では、制度が利用できる人の8割以上(83.5%)が実際に費用補助を利用している。次いで「相談や情報提供」も72.0%と利用率が高くなっている。この2つと比べると制度が利用できるというケース自体は少ないものの、残業の免除(70.1%)、勤務時間の短縮制度(68.1%)も利用率が7割前後にのぼり、制度がある場合には、よく利用されている(図表4-3)。

図表4-3 勤務先の支援制度とその利用状況

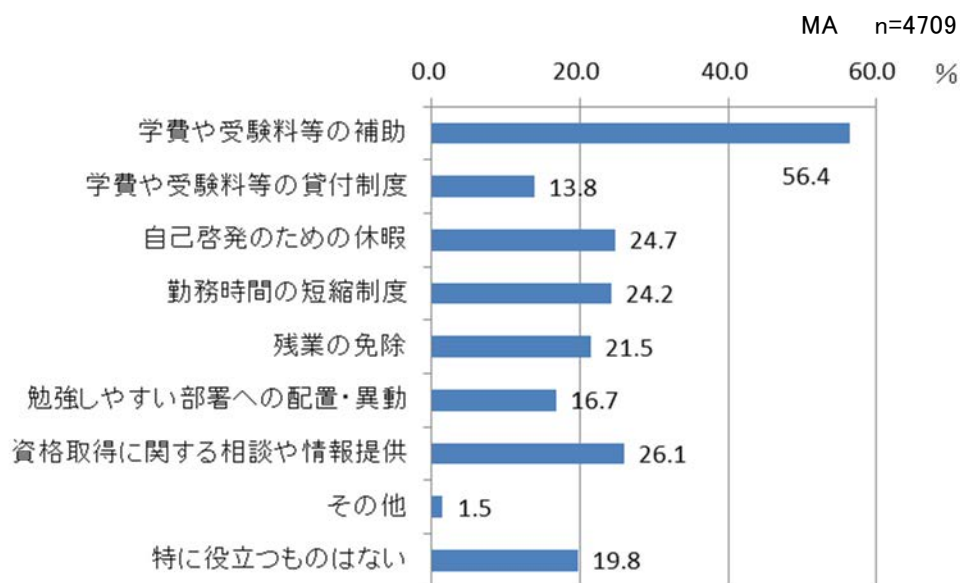
n=4709

勤務先の支援制度	制度あり (人数)	制度ありの 割合(%)	制度がある場合の 利用率(%)
学費や受験料等の補助	1466	31.1	83.5
学費や受験料等の貸付制度	276	5.9	40.2
自己啓発のための休暇	290	6.2	46.6
勤務時間の短縮制度	273	5.8	68.1
残業の免除	261	5.5	70.1
勉強しやすい部署への配置・異動	162	3.4	59.9
資格取得に関する相談や情報提供	764	16.2	72.0
その他	157	3.3	78.3

(2) あれば役立つ制度や配慮

勤務先にどのような制度や配慮があれば資格取得に役立つかという質問に対しても、「学費や受験料の補助」が最も多く、全体集計で半数強(56.4%)の人がこれをあげている(図表4-4)。また、「相談や情報提供」(26.1%)、「自己啓発のための休暇」(24.7%)、「勤務時間の短縮制度」(24.2%)、「残業の免除」(21.5%)も4人に1人程度が役立つ制度としてあげており、課題としてあげる人が多い「仕事と資格取得との両立」に向けて、労働時間に関する配慮も求められている。

図表4-4 あれば役立つ制度や配慮



第3節 働き方や処遇などの変化

資格を取ったことにより、働き方や処遇、収入には何らかの変化がみられるのだろうか。

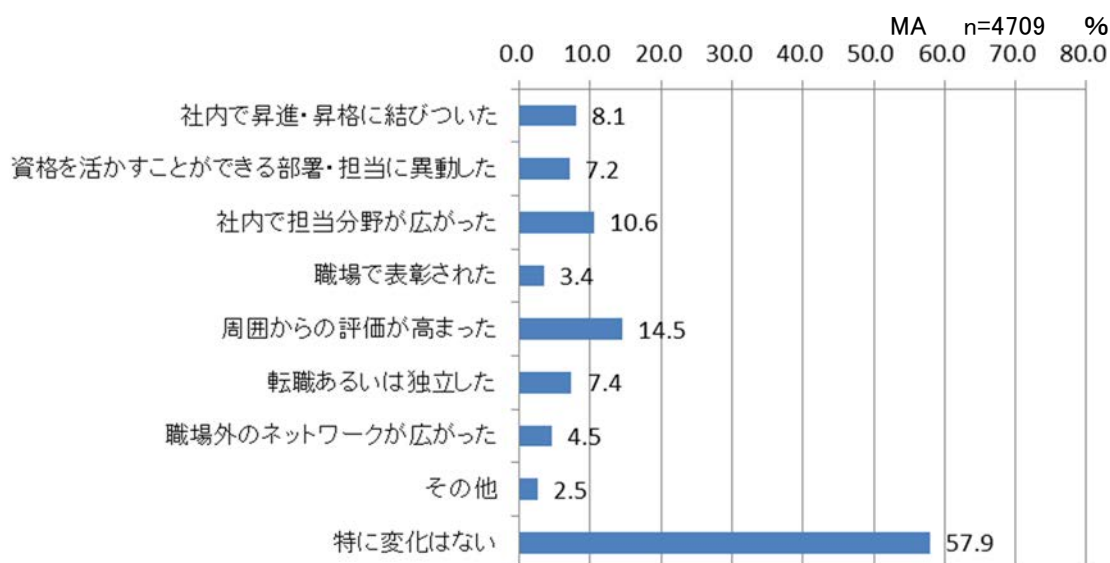
全体集計では、働き方や処遇に「特に変化なし」が約6割(57.9%)、収入面の変化は「特になし」が7割(70.5%)と、資格取得と働き方や処遇、収入面での変化が直接結びついたという回答は必ずしも多くはない(図表4-5、図表4-6)。

働き方や処遇に関して変化があった点としては、「周囲からの評価が高まった」(14.5%)、「社内で担当分野が広がった」(10.6%)など、収入面での変化としては、「資格手当がつくようになった」(15.1%)などがあげられる。

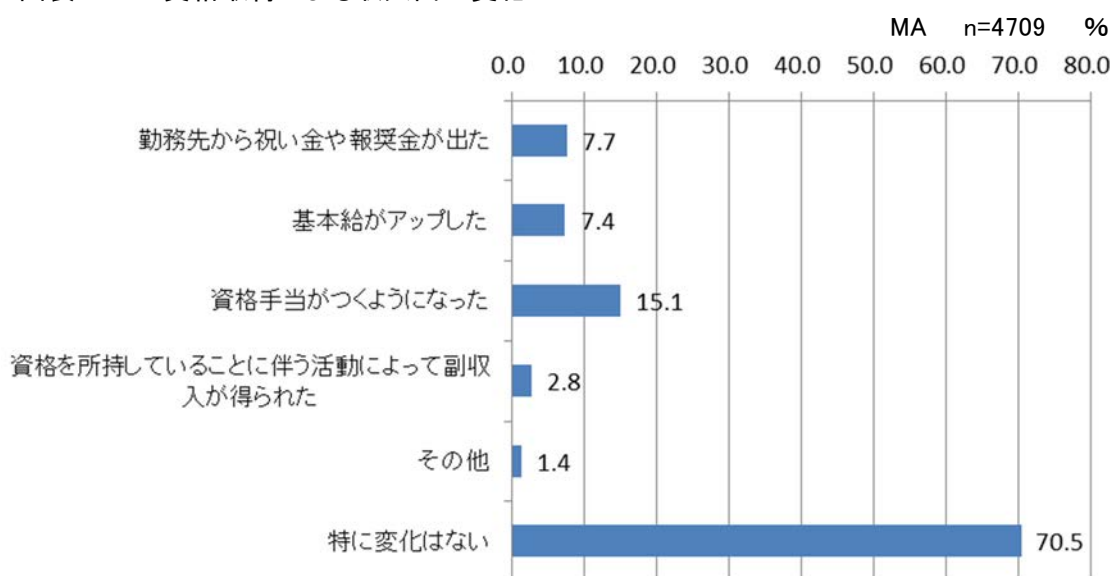
資格区分別にみると、働き方や処遇に関しては、救命救急士のように「資格を活かすことができる部署・担当に異動した」割合が半数を超えるもの、はり師、きゅう師、あん摩マッサージ指圧師や柔道整復師のように「転職あるいは独立した」という回答が3割を超えるもの、自動車整備士のように「社内で昇進・昇格に結びついた」とする割合が高いものなど、働き方や処遇が変化する割合が比較的高いものもみられる(資料編「資格別概況」参照)。

また、収入面に関しては、理容師、美容師のように「基本給がアップした」という割合が高いものの他、介護福祉士、救命救急士のように「資格手当がつくようになった」という資格は多く、また、情報分野では「勤務先から祝い金や報奨金が出た」割合が高くなっている(資料編「資格別概況」参照)。

図表4-5 資格取得による働き方や処遇の変化



図表4-6 資格取得による収入面の変化



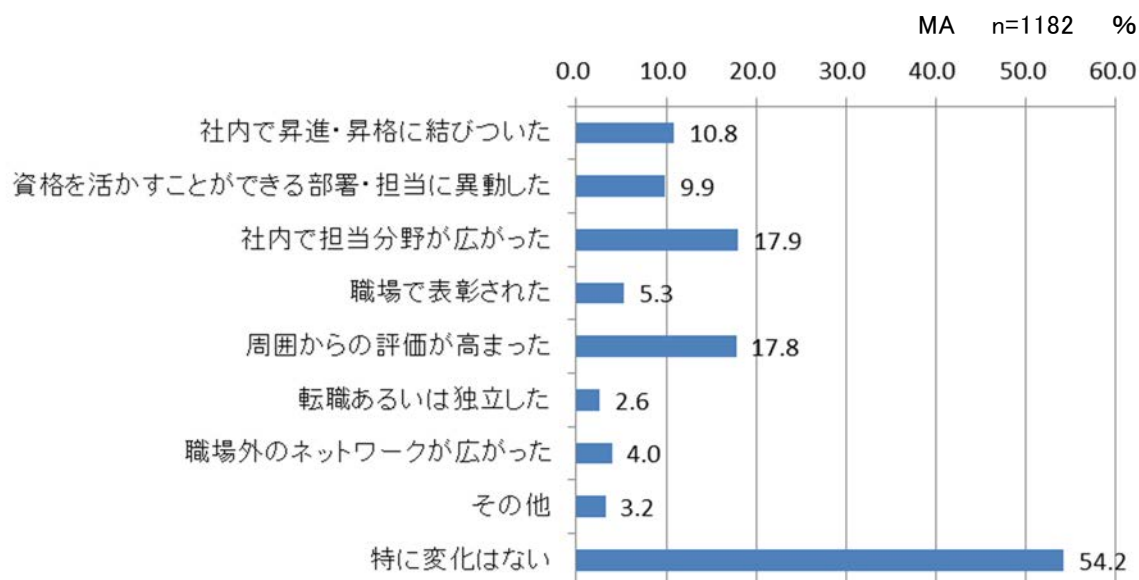
職場側の必要性により資格を取得した場合においては、資格取得が働き方や処遇等に反映されているのだろうか。

資格取得の動機として「勤め先からの要請や勧奨があったから」をあげた人（1182人）についてみると、全体と比較して、働き方の各項目に変化があった割合が高く、特に、「社内で担当分野が広がった」とする割合が高い（17.9%、全体 10.6%）。一方、「転職あるいは独立した」とする割合は低い（2.6%、全体 7.4%）。しかしながら、「特に変化はない」とする割合が 54.2%と多くを占めることにおいては、全体の傾向と大きな違いはない（図表4-7）。

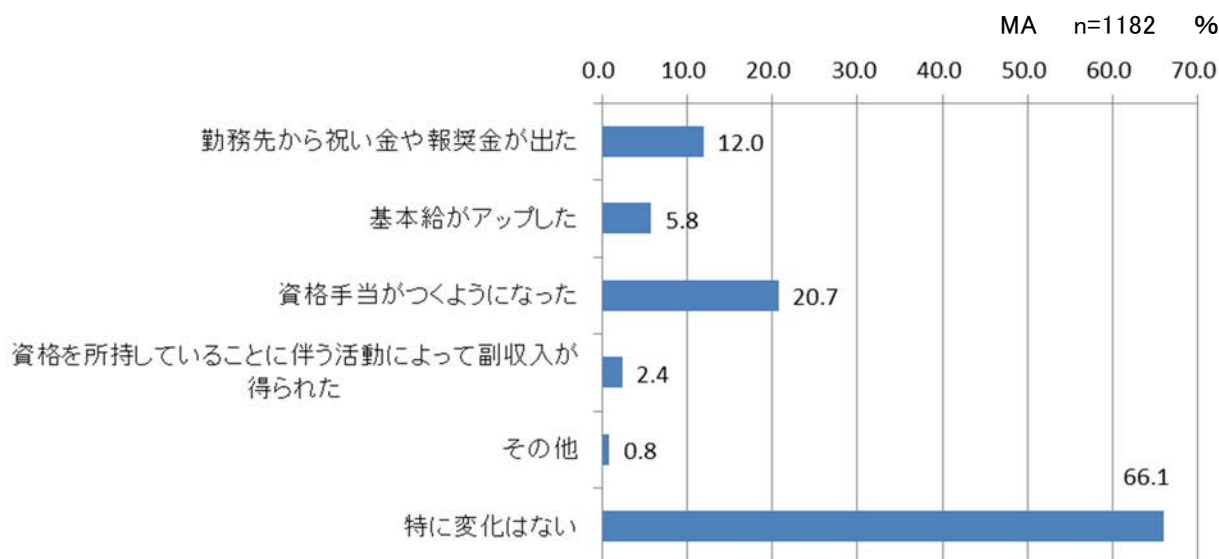
また、収入面については、「勤務先から祝い金や報奨金が出た」（12.0%、全体 7.7%）や「資格手当がつくようになった」（20.7%、全体 15.1%）は全体と比較して若干高いものの、「基

本給がアップした」とする割合はむしろ低い(5.8%、全体7.4%)。「特に変化はない」が66.1%と、あまり変化がないと考える人が大部分であり、収入面に関しても、全体の傾向と大きな違いはない(図表4-8)。

図表4-7 資格取得による働き方や処遇の変化(勤務先の要請・勸奨に応じて取得したケース)



図表4-8 資格取得による収入面の変化(勤務先の要請・勸奨に応じて取得したケース)



第4節 職業生活設計との関係

職業資格の取得と職業生活設計とはどのように関連づけて考えられているのだろうか。

資格を取得したことと関連して中長期的な職業生活設計の見直しを希望したかどうかという点に関し、全体集計では、「特に見直したいと思ったことはない」が6割超（63.4%）であり、資格取得とキャリアプランを直接関連付けている人は必ずしも多くはない（図表4-9）。

見直しを希望したこととして最も多いのは、「社内で資格を生かした仕事をする事」（11.7%）であり、「より高度なレベルの資格を取得し、専門性を高めること」（8.3%）がこれに続いている。「資格を活かせる会社に転職」（7.6%）や「独立、自営」（7.8%）など労働移動につながるキャリアプランの見直しを考えている人はそれぞれ1割弱である。

このような職業生活設計見直しの希望は、どの程度実現しているのだろうか。

全体集計でみると、「社内で資格を生かした仕事をする事」については、希望した人のうち4人に3人（75.1%）で実現している（図表4-9）。その他の項目についても、「実現した」という割合が5～6割あり、希望した人の中では、希望が実現したと評価する人の割合はかなり高くなっている。希望した人が比較的多かった「より高度なレベルの資格を取得し、専門性を高めること」は、他の項目に比べて実現率が低くなっているが、新たな資格を取得して専門性を高めることは、実現までに一定の時間がかかると考えられるため、その点を反映したものであるのかもしれない。

図表4-9 職業生活設計の見直し希望と実現状況

N=4709

職業生活設計の見直し	希望した (人数)	希望した割合 (%)	希望した場合 の実現割合 (%)
社内で資格を活かした仕事をする事	551	11.7	75.1
部署の異動や担当分野の変更・拡大	217	4.6	65.0
資格を活かせる会社に転職	360	7.6	60.6
独立、自営	366	7.8	65.8
関連分野の資格も取得し、対応できる領域を広げること	316	6.7	56.0
より高度なレベルの資格を取得し、専門性を高めること	391	8.3	49.6
資格を活かして社会貢献すること	322	6.8	60.2
その他	41	0.9	51.2
特に見直したいと思ったことはない	2984	63.4	-

仕事をしながら資格を取得した人が20名以上いる資格区分について、職業生活設計の見直し希望の状況を見ると、資格区分によって、社内で資格を活かすことを志向する資格区分、転職や独立・自営を希望する割合が高い資格区分、他の資格も併せて取得し対応領域や専門性を高めることを目指す人が多い資格区分など、資格区分によって特徴がみられる（53ペー

ジ付表3参照)。

見直し項目のそれぞれについて、希望する人の割合が20%を超える資格区分をあげると、図表4-10のようになっている。独立・自営に関しては、柔道整復師、はり師・きゅう師・あん摩マッサージ指圧師で半数以上の人が希望しており、それを前提とした資格取得活動であることがうかがえる。司法書士、税理士など経理・財務・法務・労務の資格も独立・自営志向が強いが、中小企業診断士では「社内で資格を活かした仕事」を希望する割合が高い。また、社会福祉士をはじめとする介護・福祉関係の資格区分では、転職や専門性の向上をはじめとして、職業生活設計全般に資格取得を活かしていきたいという希望が強い傾向がみられる。

図表4-10 職業生活設計の見直しを希望する割合が高い資格区分

(各項目について「希望した」という回答割合が20%を超えるもの)

社内で資格を活かした仕事		資格を活かせる会社に転職		関連分野の資格も取得し対応領域を広げる	
中小企業診断士	30.2	社会福祉士	30.8	社会福祉士	26.9
救急救命士	27.5	弁理士	25.9	産業カウンセラー	25.6
弁理士	25.9	臨床心理士	25.6	通訳案内士	20.0
臨床工学技士	23.8	キャリアコンサルタント	23.5	より高度な資格を取得し専門性を高める	
介護支援専門員(ケアマネージャー)	23.5	保育士	23.1	社会福祉士	30.8
証券アナリスト	23.4	独立・自営		産業カウンセラー	30.2
精神保健福祉士	21.6	柔道整復師	76.0	弁理士	25.9
通関士	21.4	はり師、きゅう師、あん摩マッサージ指圧師	54.5	臨床心理士	25.6
部署の異動や担当分野の拡大		土地家屋調査士	51.2	訪問介護員1級・介護職員基礎研修・介護職員実務者研修	20.7
20%以上の資格区分なし		司法書士	47.4	資格を活かし社会貢献	
		税理士	36.2	社会福祉士	30.8
		理容師	36.1	産業カウンセラー	27.9
		通訳案内士	33.3	キャリアコンサルタント	26.5
		弁理士	29.6	消費生活アドバイザー	23.3
		行政書士	25.0	臨床心理士	23.1
		社会保険労務士	24.7	保育士	23.1
		建築士	20.6	精神保健福祉士	20.3

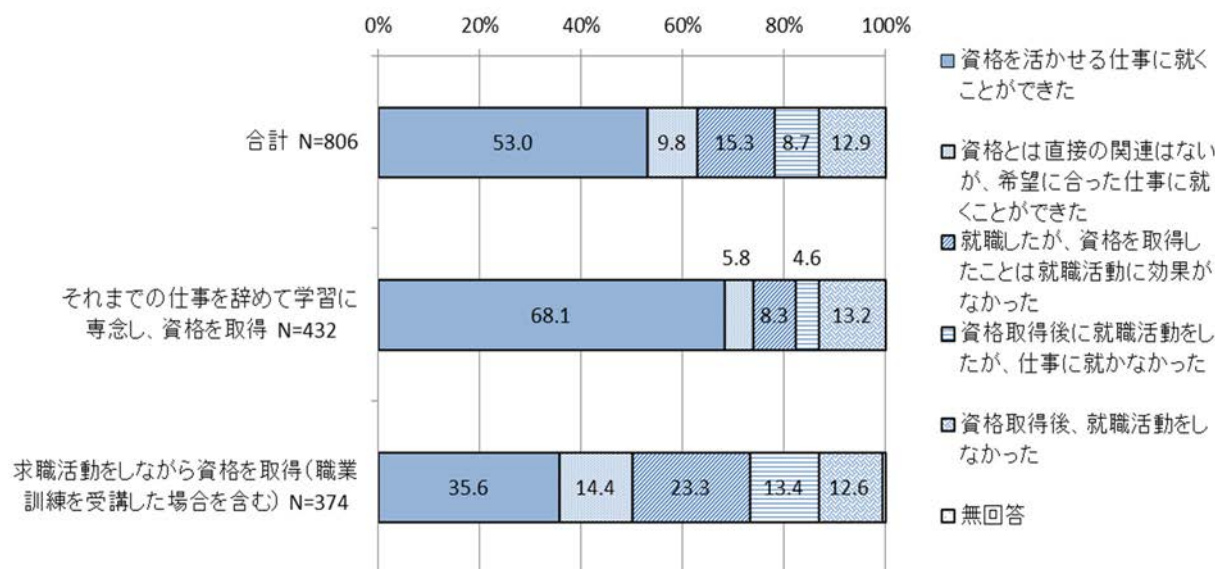
※仕事をしながら資格を取得した人が20名以上いる資格区分について集計

第5章 就職活動と職業資格

新たな就職をめざす場合、職業資格の取得は就職活動にどのような効果があるのだろうか。仕事を辞めて学習に専念し、資格を取得した人及び就職活動をしながら資格を取得した人（計 806 人）に、就職活動への資格取得の効果をたずねたところ、「資格を活かせる仕事に就くことができた」が半数強（53.0%）であり、「資格とは直接の関連はないが希望に合った仕事に就くことができた」（9.8%）と合わせると、約 3 分の 2 の人で希望に応じた就職が実現している（図表 5-1）。一方、「就職したが資格取得は就職活動に効果がなかった」という人は 15.3%であった。

資格取得時の状況別にみると、仕事を辞めて学習に専念した人（432 人）と就職活動中に取得した人（374 人）とで、傾向が大きく異なっている。仕事を辞めて学習に専念した人では、資格を活かせる仕事に就くことができた割合が約 3 人に 2 人であるが（68.1%）、就職活動中に取得した人では 3 人に 1 人程度（35.6%）にとどまっている。就職活動中に取得した人では、「就職したが、資格を取得したことは就職活動に効果がなかった」（23.3%）と「資格取得後に就職活動をしたが、仕事に就かなかった」（13.4%）という割合が、仕事を辞めて学習に専念した人に比べてかなり高く、「資格取得後、就職活動をしなかった」割合はどちらもほぼ同水準になっている。

図表5-1 就職活動への資格取得の効果



このように、仕事を辞めて資格取得に専念した人と、就職活動をしながら資格を取得した人とで傾向に違いがみられるため、その背景について検討する。

まず、属性別の内訳についてみると、性別では、仕事を辞めて資格取得に専念した人も就職活動をしながら資格を取得した人も資格取得者全体と比較して女性の比率が高く、さらに、

仕事を辞めて資格取得した人のほうが求職活動中に資格を取得した人より若干女性の比率が高い。年齢別にみると、仕事を辞めて資格取得に専念した人は30代、40代の比率が高く、求職活動中に資格を取得した人は50代以上の比率が高い（図表5-2）。

最終学歴では、求職活動中に資格を取得した人は、仕事を辞めて資格取得に専念した人及び資格取得者全体の状況と比較して、高校卒業者及びその他（中退等）の割合が高く、専修学校・各種学校卒業者及び大学院修了者の比率が低い（図表5-3）。

図表5-2 退職して、あるいは求職中に資格取得した人の状況（性別・年齢別内訳）
（％）

性別 年齢	それまでの仕事を 辞めて学習に専 念し、資格を取得	求職活動をしなが ら資格を取得（職 業訓練を受講した 場合を含む）	資格取得者 全体
男性	49.3	52.1	61.4
女性	50.7	47.9	38.6
20代	2.1	1.1	3.4
30代	22.7	16.8	19.5
40代	34.5	31.6	30.4
50代	25.9	29.1	26.9
60代以上	14.8	21.4	19.8
合計	100.0	100.0	100.0
n	432	374	8316

図表5-3 退職して、あるいは求職中に資格取得した人の状況（最終学歴別内訳）
（％）

学歴	それまでの仕事を 辞めて学習に専 念し、資格を取得	求職活動をしなが ら資格を取得（職 業訓練を受講した 場合を含む）	資格取得者 全体
高校卒業	15.1	25.5	15.1
専修学校・各種学校卒業	18.4	9.1	15.3
短大・高専卒業	11.2	11.8	11.3
大学卒業	44.2	42.6	46.7
大学院・専門職大学院（修士以上）修了	9.3	2.1	7.6
その他（中退、在学中含む）	1.9	8.8	3.9
無回答	0.0	0.0	0.2
合計	100.0	100.0	100.0
n	432	374	8316

取得した資格分野別の状況をみると、仕事を辞めて資格取得に専念した人では、医療及び経理・財務・法務・労務関係の資格を取得した人の比率が高く、求職活動中に資格を取得し

た人では、介護・福祉及び製造・安全・車両関係の資格を取得した人の比率が高い（図表5-4）。このような資格分野別の内訳の違いが、就職活動への効果の違いに反映されているものと考えられる。

図表5-4 退職して、あるいは求職中に資格取得した人の状況（資格分野別内訳）
（%）

分野	それまでの仕事を辞めて学習に専念し、資格を取得	求職活動をしなが ら資格を取得（職 業訓練を受講した 場合を含む）	資格別集計対象 サンプル全体
技能検定、技術士	0.3	1.5	2.0
介護・福祉	15.0	29.9	9.7
医療	30.1	1.1	20.2
生活・衛生	3.8	2.2	7.3
製造・安全衛生・車両	4.3	22.4	14.0
建築・土木・電気・不動産	5.2	3.4	11.3
IT・OA	2.9	14.2	5.0
経理・財務・法務・労務	21.4	7.5	12.7
事務・販売・語学・観光	10.7	17.5	10.0
教育、その他	6.4	0.4	7.7
合計	100.0	100.0	100.0
n	346	268	6455

※資格別集計対象サンプルのみ

そこで、取得した資格の分野別に、就職活動への効果をみると、「資格を活かせる仕事に就くことができた」とする割合が医療分野では9割を超え、逆に、IT・OA、製造・安全・車両ではこの割合が2～3割となっており、分野間の差が大きい（図表5-5）。

図表5-5 資格分野別にみた就職活動への資格取得の効果

（%）

分野	資格を活かせる仕事に就くことができた	資格とは直接の関連はないが、希望に合った仕事に就くことができた	就職したが、資格を取得したことは就職活動に効果がなかった	資格取得後に就職活動をしたが、仕事に就かなかった	資格取得後、就職活動をしなかった	合計	n
介護・福祉	57.3	8.4	13.7	10.7	9.9	100.0	131
医療	94.4	0.9	1.9	0.0	2.8	100.0	107
生活・衛生	52.6	10.5	10.5	5.3	21.1	100.0	19
製造・安全衛生・車両	32.4	13.5	32.4	13.5	8.1	100.0	74
建築・土木・電気・不動産	55.6	3.7	14.8	0.0	25.9	100.0	27
IT・OA	25.0	22.9	25.0	20.8	6.3	100.0	48
経理・財務・法務・労務	58.5	6.4	13.8	3.2	18.1	100.0	94
事務・販売・語学・観光	54.8	9.5	16.7	7.1	11.9	100.0	84
教育、その他	56.5	13.0	17.4	0.0	13.0	100.0	23
資格別集計対象サンプル 計	57.5	9.2	15.2	7.4	10.8	100.0	612

※資格別集計対象サンプルのみ。

サンプル数が少ない「技能検定、技術士」区分は記載していない（分野別合計には含む）。

このように、仕事を辞めて資格取得に専念した人では、医療分野の資格を取得した人の割合が高く（図表5-4）、医療分野の資格を取得した人は「資格を活かせる仕事につくことができた」とする比率が高い（図表5-5）。このような分野間の就職状況の違いが、仕事を辞めて資格取得に専念した人と求職活動中に資格を取得した人との違いに反映したものとみられる。

最後に、資格取得の動機や、その資格を選択したポイントとなる資格の魅力・メリットに関する考えについて、仕事を辞めて資格取得に専念した人と求職活動中に資格を取得した人を比較してみる（15～18ページの第3章第2節参照）。

仕事を辞めて資格取得に専念した人では、資格取得の動機として、「資格が必要な職業に就くため」とする回答が最も多く（41.0%）、資格取得者全体（31.1%）を約10ポイント上回っている。一方、求職活動中に資格を取得した人では、その状況を反映して、最も回答が多い動機は「就職活動に役立てるため」であり（47.3%）、仕事を辞めて資格取得に専念した人（18.5%）及び資格取得者全体（12.4%）を大きく上回っている（15ページ図表3-9）。

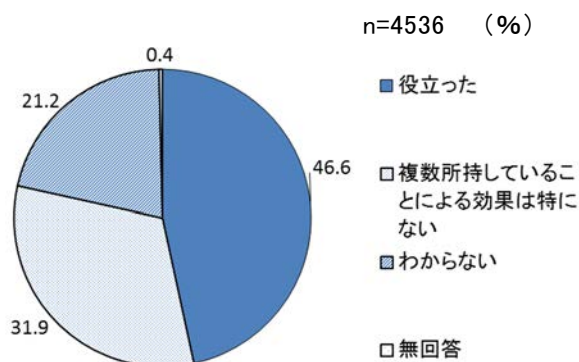
取得した資格の魅力・メリットに関しては、仕事を辞めて資格取得に専念した人では、「自分の適性や志向に合っている」（40.3%）といった自分自身との適合性を重視しているのに対し、求職活動中に資格を取得した人では、「取得が容易である」（33.4%）という回答が最も多くなっており、当面の就職活動に役立てるために、早めに取得できる資格を選択していることがうかがえる（17ページ図表3-12）。

第6章 複数資格を所持している人の状況

スクリーニング調査時に、複数の資格を所持していると回答した人は、資格所持者の半数強（4536人、54.5%）であった。なお、ここでいう「複数資格」は、スクリーニング時に、「所持している資格」として資格一覧から2つ以上の資格区分をチェックした場合についてカウントしている。このため、例えば一級建築士と二級建築士のように、同じ資格区分で等級等の異なる資格を所持していても、ここでは複数資格所持者としてカウントされていない。各資格区分で併せて所持している他の主な資格区分については、資格区分別概況に掲載している。

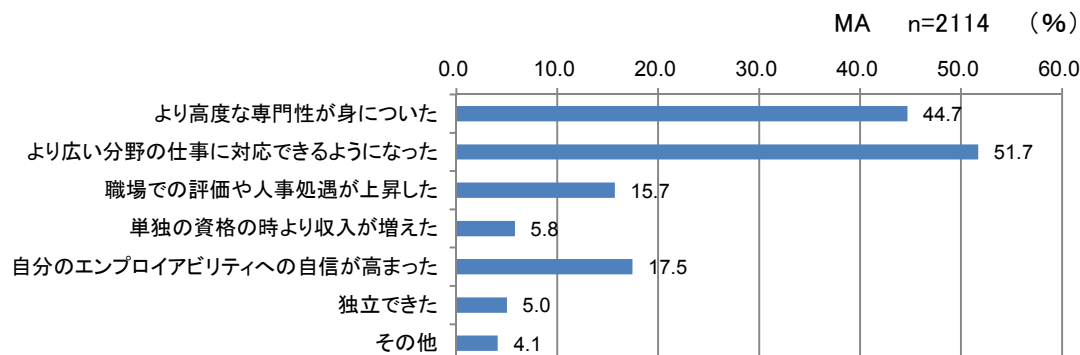
仕事やキャリア形成の上で複数の資格を所持していることが役立ったかどうかの評価として、全体の集計をみると、「役立った」とする人が半数近く（46.6%）であり、「効果は特にない」が約3割（31.9%）であった（図表6-1）。

図表6-1 複数資格を所持していることは仕事やキャリア形成の上で役立ったか



「役立った」と評価する人（2114人）に、どのように役立ったかたずねたところでは、「より広い分野の仕事に対応できるようになった」（51.7%）、「より高度な専門性が身についた」（44.7%）をあげる回答が多くなっており、職業能力の「広がり」と「深まり」の両面が評価されている（図表6-2）。

図表6-2 複数資格を所持していることはどのように役立ったか



第7章 資格取得に対する評価、追加取得の予定

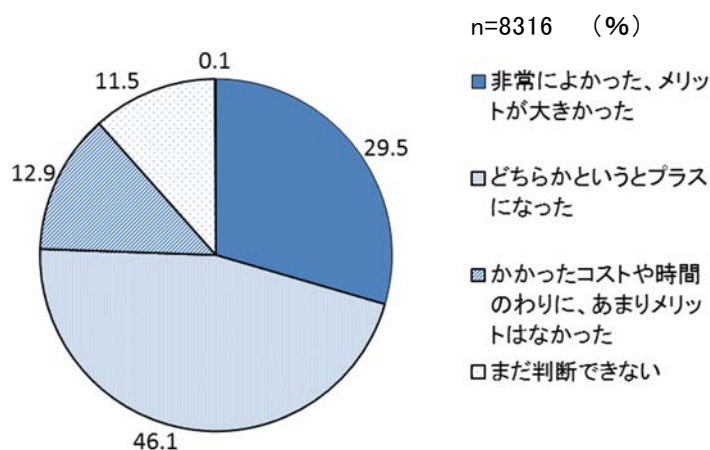
第1節 資格取得に対する評価

資格を所持している人は、自分がその資格を取得したことについて、総合的に判断してどのように評価しているかをたずねた。

全体集計でみると、「非常によかった、メリットが大きかった」(29.5%)、「どちらかというプラスになった」(46.1%)を合わせて4人に3人が肯定的評価となっている(図表7-1)。

資格分野別にみると、医療分野において、「非常によかった」と高く評価する割合が半数を超え、満足度が高くなっている。(図表7-2)

図表7-1 資格を取得したことについての総合的評価



図表7-2 資格を取得したことについての総合的評価(資格分野別)

MA (%)

分野	非常によかった、メリットが大きかった	どちらかというプラスになった	かかったコストや時間のわりに、あまりメリットはなかった	まだ判断できない	無回答	合計	n
技能検定、技術士	26.0	54.3	13.4	6.3	0.0	100.0	127
介護・福祉	27.3	49.0	13.4	10.2	0.0	100.0	626
医療	52.8	34.7	7.1	5.1	0.3	100.0	1307
生活・衛生	21.6	46.4	17.6	14.4	0.0	100.0	472
製造・安全衛生・車両	16.7	54.4	14.9	13.9	0.1	100.0	906
建築・土木・電気・不動産	30.2	47.1	12.2	10.4	0.1	100.0	732
IT・OA	16.9	57.5	15.1	10.5	0.0	100.0	325
経理・財務・法務・労務	31.6	45.1	11.1	12.2	0.0	100.0	819
事務・販売・語学・観光	19.0	49.5	17.1	14.5	0.0	100.0	643
教育、その他	34.7	36.7	16.3	12.2	0.0	100.0	498
合計	30.6	45.6	12.9	10.8	0.1	100.0	6455

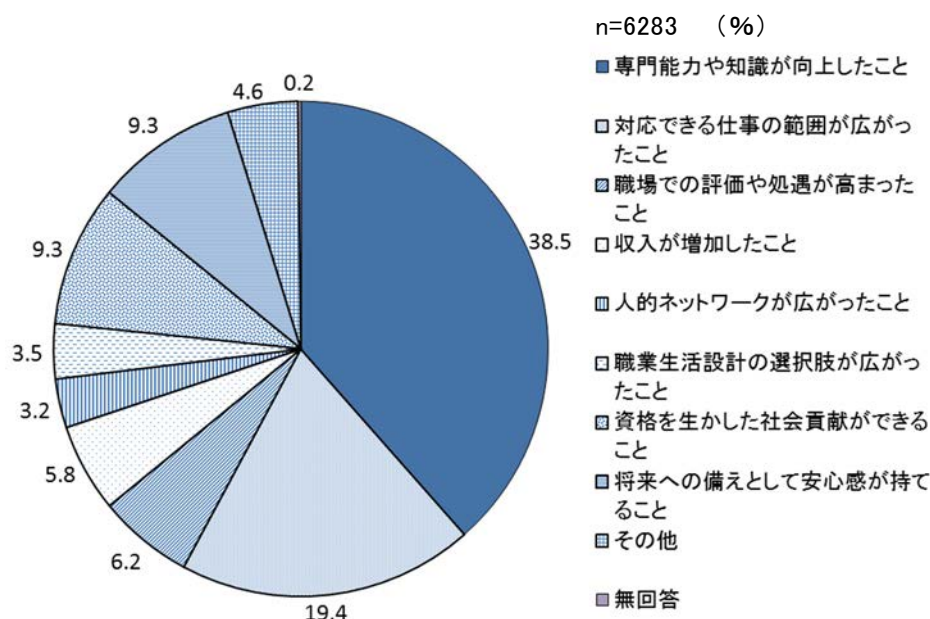
※本表は資格別集計対象サンプルのみの集計

資格区分別にみると、おおむねどの資格も肯定的評価の割合が高いが、特に、作業療法士、理学療法士、助産師、不動産鑑定士では「非常によかった」の比率が7割を超えるなど、資格取得に対する評価が高くなっている（54 ページ付表4）。

「非常によかった、メリットが大きかった」及び「どちらかというプラスになった」と肯定的な評価をする人（計 6283 人）に対して「最もよかった」と思うことをたずねたところ、「専門能力や知識が向上したこと」（38.5%）が最も多く、次いで、「対応できる仕事の範囲が広がったこと」（19.4%）をあげる回答が多くなっている（図表7-3）。

在職中に資格を取得した人の状況の項でみたように（第4章 27～29 ページ）、資格取得と処遇などの変化が必ずしも直接に結びついていないことを反映して、「職場での評価や処遇が高まったこと」（6.2%）や「収入が増加したこと」（5.8%）などの実際的メリットよりも、「資格を活かした社会貢献ができること」（9.3%）や「将来への備えとして安心感が持てること」（9.3%）といった、広い視野で評価する人の割合が高くなっている。

図表7-3 資格を取得して最もよかったこと



資格分野別にみると、「最もよかった」と思うこととして、製造・安全衛生・車両関係を除き、「専門能力や知識が向上したこと」とする回答が最も多い（図表7-4）。製造・安全衛生・車両では「対応できる仕事の範囲が広がったこと」が「専門能力や知識」を若干上回り、最も多くなっている。資格分野による特徴としては、医療では「資格を生かした社会貢献ができること」をあげる回答が多く、建築・土木・電気・不動産では「対応できる仕事の範囲が広がったこと」、生活・衛生では「将来への備えとして安心感が持てること」、IT・OAでは「職場での評価や処遇が高まったこと」をあげる回答の比率が他の資格と比べて高い。

図表7-4 資格を取得して最もよかったこと(資格分野別)

分野	MA (%)										合計	n
	専門能力や知識が向上したこと	対応できる仕事の範囲が広がったこと	職場での評価や処遇が高まったこと	収入が増加したこと	人的ネットワークが広がったこと	職業生活設計の選択肢が広がったこと	資格を生かした社会貢献ができること	将来への備えとして安心感が持てること	その他	無回答		
技能検定、技術士	43.1	19.6	11.8	3.9	6.9	1.0	2.9	5.9	4.9	0.0	100.0	102
介護・福祉	32.6	16.7	4.0	7.9	4.0	4.2	13.6	13.4	3.3	0.2	100.0	478
医療	43.7	12.3	2.8	8.0	2.1	2.7	17.8	8.3	2.1	0.1	100.0	1143
生活・衛生	45.8	15.0	4.4	2.5	2.8	3.4	7.5	13.7	5.0	0.0	100.0	321
製造・安全衛生・車両	29.8	33.1	7.5	5.7	2.6	3.4	3.3	10.2	4.3	0.0	100.0	644
建築・土木・電気・不動産	34.6	26.9	5.8	7.2	1.9	5.8	4.2	8.5	4.9	0.0	100.0	566
IT・OA	46.3	14.9	12.4	5.8	0.0	3.3	2.9	9.5	3.7	1.2	100.0	242
経理・財務・法務・労務	38.7	17.8	5.6	4.9	5.1	4.5	8.0	10.2	5.3	0.0	100.0	628
事務・販売・語学・観光	36.4	18.6	9.5	3.4	4.8	3.9	4.8	9.1	9.1	0.5	100.0	440
教育、その他	43.0	15.4	4.2	2.8	4.8	3.9	13.2	6.5	6.2	0.0	100.0	356
合計	38.7	19.1	5.7	5.9	3.2	3.8	9.5	9.6	4.5	0.1	100.0	4920

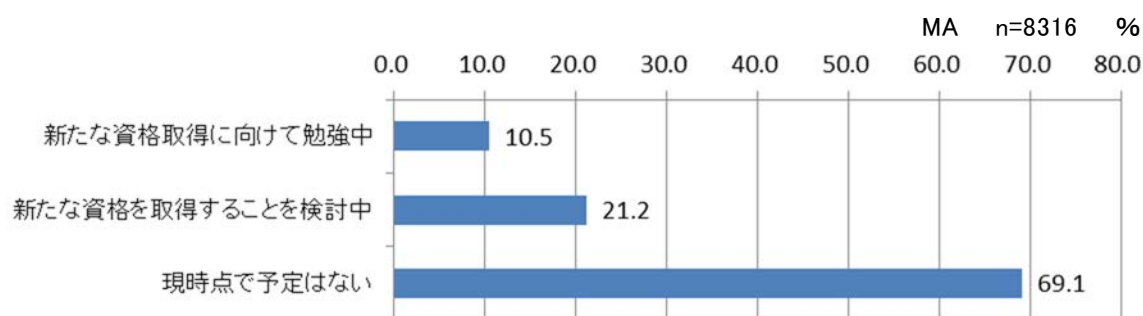
※本表は資格別集計対象サンプルのみの集計

第2節 新たな資格取得の予定

資格を所持している人のうち、今後さらに新たな資格を取得したいと考えている人はどれくらいいるのだろうか。全体集計でみると、「新たな資格取得に向けて勉強中」が10.5%、「新たな資格を取得することを検討中」が21.2%と、約3割が追加取得を考えている（図表7-5）。

資格分野別にみると、介護・福祉分野の資格を所持している人において、「勉強中」及び「検討中」との回答割合が最も高い（図表7-6）。

図表7-5 新たな資格取得の予定



※「勉強中」と「検討中」は複数回答可（複数回答者78人）

図表7-6 新たな資格取得の予定(資格分野別)

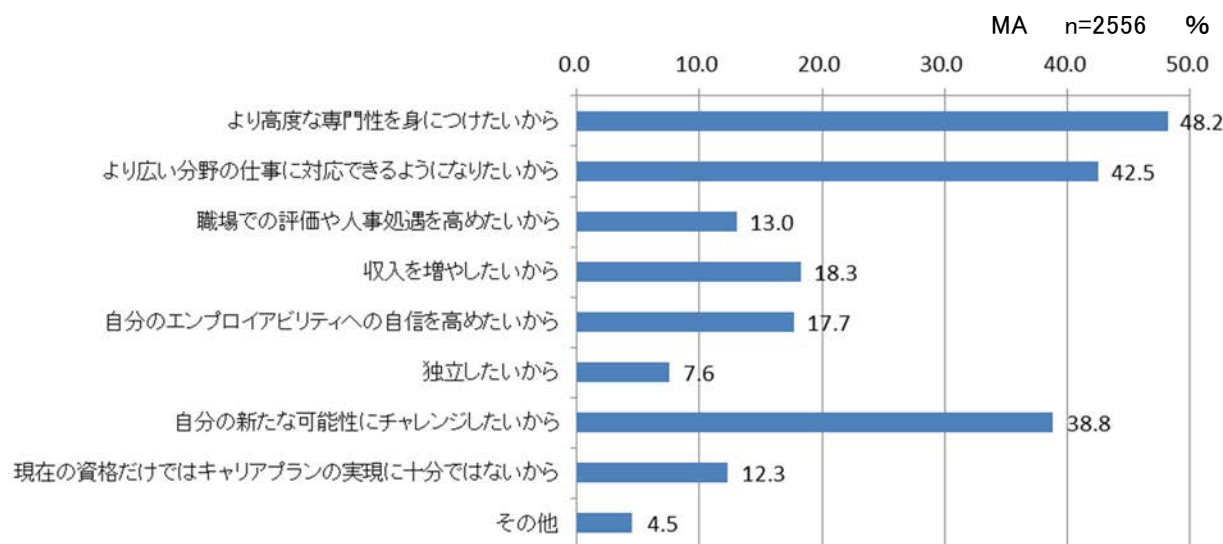
分野	MA (%)			合計	n
	新たな資格取得に向けて勉強中	新たな資格を取得することを検討中	現時点で予定はない		
技能検定、技術士	14.2	22.0	65.4	100.0	127
介護・福祉	14.9	27.0	59.6	100.0	626
医療	6.8	19.6	74.1	100.0	1307
生活・衛生	6.8	17.4	76.9	100.0	472
製造・安全衛生・車両	6.0	17.3	77.4	100.0	906
建築・土木・電気・不動産	9.8	18.9	72.1	100.0	732
IT・OA	12.3	25.5	63.1	100.0	325
経理・財務・法務・労務	14.2	23.4	63.2	100.0	819
事務・販売・語学・観光	11.2	23.8	65.5	100.0	643
教育、その他	6.6	16.5	77.5	100.0	498
合計	9.6	20.8	70.4	100.0	6455

※本表は資格別集計対象サンプルのみの集計

「新たな資格取得に向けて勉強中」または「新たな資格を取得することを検討中」とする人（2556人）に対して、新たな資格の取得を考える理由をたずねた。最も多かった回答は、「より高度な専門性を身につけたい」（48.2%）であり、半数近くの人がこれをあげている。次いで、「より広い分野の仕事に対応したい」（42.5%）、「新たな可能性にチャレンジしたい」（38.8%）などが多く、専門性の向上や可能性の拡大をめざす姿勢がうかがえる（図表7-7）。

資格分野別にみても、全体の傾向とほぼ同様であるが、事務・販売・語学・観光分野の資格を所持している人において、「自分の新たな可能性にチャレンジしたい」との回答が特に多い（図表7-8）。

図表7-7 新たな資格取得を考える理由



図表7-8 新たな資格取得を考える理由（資格分野別）

分野	MA (%)									合計	n
	より高度な専門性を身につけたいから	より広い分野の仕事に対応できるようになりたいから	職場での評価や人事処遇を高めたいから	収入を増やしたいから	自分のエンプロイアビリティへの自信を高めたいから	独立したいから	自分の新たな可能性にチャレンジしたいから	現在の資格だけではキャリアプランの実現に十分ではないから	その他		
技能検定、技術士	54.5	45.5	9.1	13.6	18.2	11.4	43.2	15.9	2.3	100.0	44
介護・福祉	53.4	51.0	16.7	27.5	23.5	8.0	37.8	15.9	3.6	100.0	251
医療	48.2	51.2	11.8	17.5	14.8	4.7	37.0	10.4	2.1	100.0	338
生活・衛生	39.4	32.1	4.6	14.7	22.9	9.2	43.1	10.1	11.0	100.0	109
製造・安全衛生・車両	42.0	42.9	11.7	21.5	14.1	6.8	32.2	15.6	3.9	100.0	205
建築・土木・電気・不動産	43.8	39.4	10.8	19.2	11.8	4.4	36.5	10.8	3.0	100.0	203
IT・OA	50.0	35.8	19.2	15.0	15.0	2.5	32.5	10.0	3.3	100.0	120
経理・財務・法務・労務	53.7	47.7	10.0	13.0	16.7	9.7	36.0	12.3	3.3	100.0	300
事務・販売・語学・観光	47.7	35.9	11.8	14.1	19.1	6.4	52.7	9.5	8.2	100.0	220
教育、その他	43.8	50.9	17.9	17.9	26.8	13.4	34.8	12.5	5.4	100.0	112
合計	48.1	44.5	12.4	17.9	17.6	7.1	38.3	12.1	4.3	100.0	1902

※本表は資格別集計対象サンプルのみの集計

第8章 これから資格を取得したい人のニーズと意識

最後に、これから職業資格を取得したいと考えている人（1011人）のニーズや意識についてみる。

第1節 取得したいと考えている資格

取得したいと考えている資格として多くあがったのは、語学検定（126人）、ファイナンシャル・プランナー（104人）、簿記（101人）、宅地建物取引主任者（82人）、IT関連企業の能力認定（82人）、社会保険労務士（70人）などである。（図表8-1）

このうち最も取得したい資格は、語学検定（75人）を筆頭に、簿記（62人）、ファイナンシャル・プランナー（51人）などとなっており、全体としてビジネス系の資格をあげる人が多くなっている。

図表8-1 取得したいと考える人が多い資格区分（取得したい人が多い順に30資格区分）

資格区分	取得したい （人数）	最も取得した い（人数）
語学検定（英検・TOEIC・TOEFLなど）	126	75
ファイナンシャル・プランナー	104	51
簿記	101	62
宅地建物取引主任者	82	44
IT関連企業の能力認定	82	36
社会保険労務士	70	39
行政書士	65	21
大型自動車免許	63	29
ITパスポート	61	19
医療事務	61	27
技術士	58	31
基本情報技術者	53	13
調理師	51	18
危険物取り扱い者	51	14
フォークリフト技能者	49	14
栄養士、管理栄養士	47	22
マンション管理士	47	19
中小企業診断士	46	21
司書	43	14
技能士（ものづくり、工事、整備関連分野）	39	9
消費生活アドバイザー	38	15
普通自動車免許（二種）	36	11
司法書士	35	17
電気工事士	34	15
色彩検定	32	12
訪問介護員2級・介護職員初任者研修	31	15
日商PC検定	31	8
保育士	30	13
社会福祉士	29	7
衛生管理者	29	8

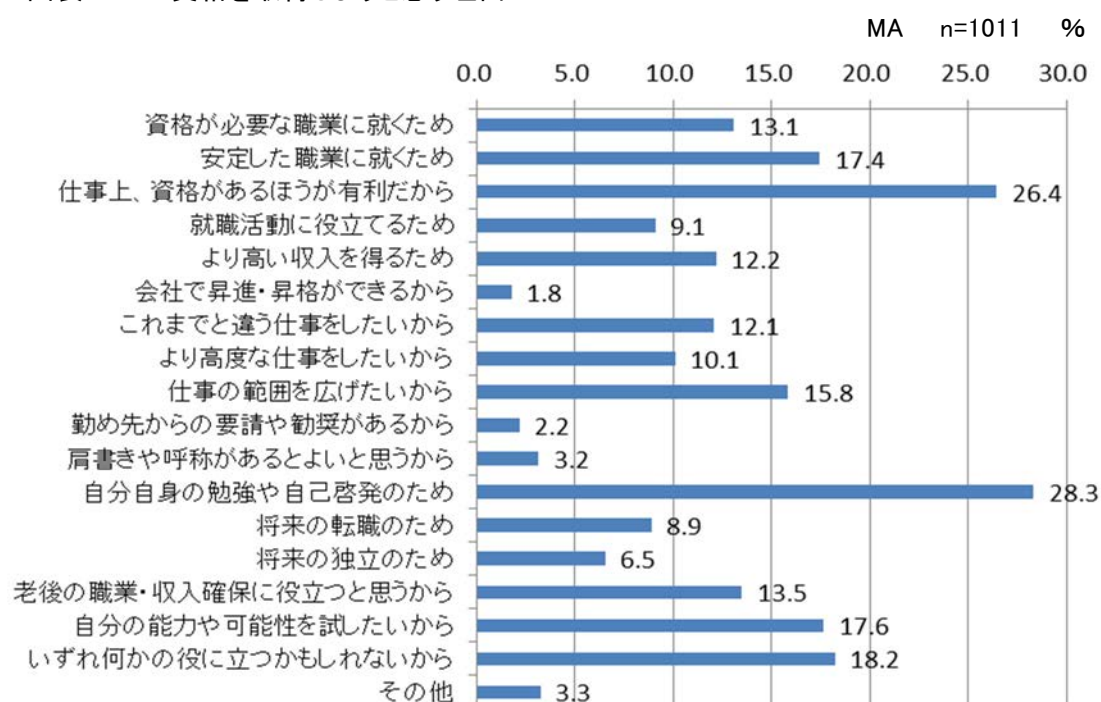
※資格別集計の対象としていない資格区分を含む。「その他」区分は除く。

第2節 資格取得の動機、取得したい資格の魅力

(1) 資格取得の動機

資格を取得しようと思う理由は「自分自身の勉強や自己啓発」(28.3%)、「仕事上資格があるほうが有利」(26.4%)、「いずれ何かの役に立つかもしれないから」(18.2%) などとなっており、すでに資格を所持している人と比べると、就職や仕事に直接つながる回答が少なく、また、全体に回答が分散している(図表8-2)。

図表8-2 資格を取得しようと思う理由



属性別にみると、男女間では「勉強や自己啓発」で差が大きく(女性が多い)、年齢層別では、20~30代の比較的若い層で「安定した仕事に就く」や「仕事上、資格があるほうが有利」、「より高い収入を得る」などをあげる回答割合が高く、60代では他の年齢層に比べて「自分の能力や可能性を試したい」とする割合が高いといった傾向がみられる(図表8-3)。

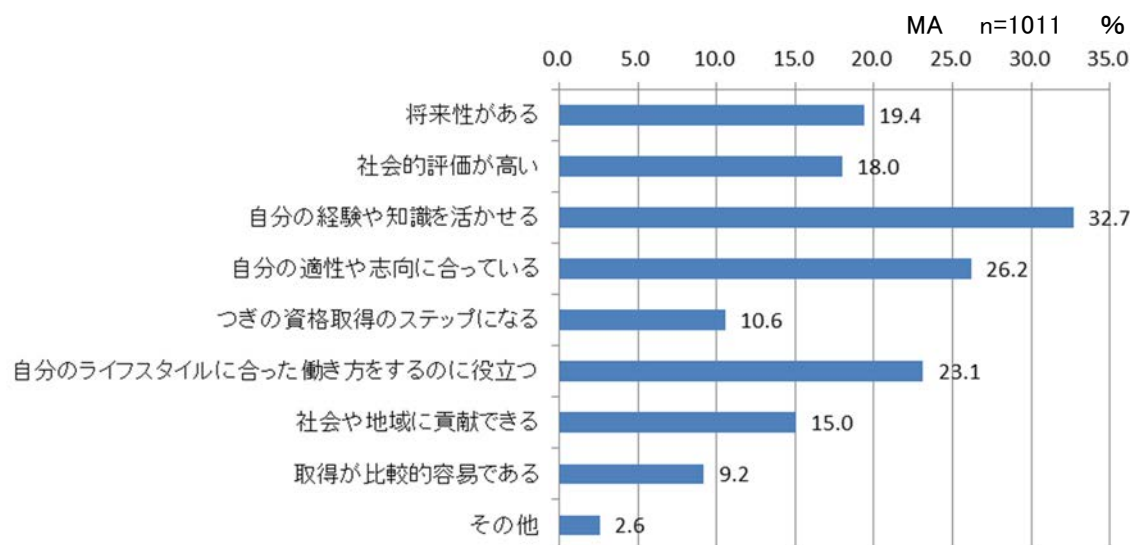
図表8-3 資格を取得しようと思う理由(属性別)

取得動機	MA (%)							
	男	女	20代	30代	40代	50代	60代以上	合計
資格が必要な職業に就くため	12.0	14.8	16.3	18.7	13.4	9.2	10.6	13.1
安定した職業に就くため	17.0	18.1	20.4	26.1	15.4	17.9	8.8	17.4
仕事上、資格があるほうが有利だから	27.3	25.0	36.7	36.9	28.5	22.1	12.5	26.4
就職活動に役立てるため	7.3	12.0	10.2	11.8	8.6	8.4	7.5	9.1
より高い収入を得るため	12.8	11.2	22.4	16.3	13.1	10.3	5.0	12.2
会社で昇進・昇格ができるから	1.9	1.5	6.1	2.0	2.1	1.1	0.6	1.8
これまでと違う仕事をしたいから	12.0	12.2	2.0	13.8	11.0	12.6	14.4	12.1
より高度な仕事をしたいから	10.7	9.2	10.2	16.3	7.7	9.2	8.8	10.1
仕事の範囲を広げたいから	16.2	15.3	12.2	22.7	15.4	14.5	11.3	15.8
勤め先からの要請や勧奨があるから	2.7	1.3	4.1	1.5	4.7	0.4	0.0	2.2
肩書きや呼称があるとよいと思うから	3.4	2.8	2.0	5.4	3.3	2.7	1.3	3.2
自分自身の勉強や自己啓発のため	23.7	35.5	30.6	28.6	24.6	28.6	34.4	28.3
将来の転職のため	7.8	10.7	18.4	14.3	8.6	7.6	1.9	8.9
将来の独立のため	7.6	4.8	2.0	8.9	6.5	8.4	1.9	6.5
老後の職業・収入確保に役立つと思うから	13.1	14.0	6.1	7.4	9.2	19.1	23.1	13.5
自分の能力や可能性を試したいから	15.2	21.4	16.3	15.3	14.8	14.9	31.3	17.6
いずれ何かの役に立つかもしれないから	16.5	20.9	20.4	19.7	18.7	16.0	18.1	18.2
その他	3.2	3.3	2.0	0.5	2.4	5.0	6.3	3.3
合計	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
n	619	392	49	203	337	262	160	1011

(2) 取得したい資格の魅力、メリット

取得したいと考えている資格の魅力・メリットとしては、「自分の経験や知識を活かせる」(32.7%)、「自分の適性や志向に合っている」(26.2%)をあげる回答が多く、これはすでに資格を所持している人と共通の傾向であるが、資格所持者と比べると、「自分のライフスタイルに合った働き方をするのに役立つ」(23.1%)が多く、逆に、「取得が比較的容易である」(9.2%)が少なくなっている(図表8-4)。

図表8-4 取得したい資格に感じる魅力・メリット



属性別にみると、男女別では、「経験・知識を活かせる」や「適性・志向に合っている」が上位であることは共通しているが、女性では「ライフスタイルに合った働き方」、男性では「社会的評価が高い」をあげる割合が高い。年齢層別では、若い年齢層ほど「将来性」や「社会的評価」をあげる割合が高い（図表8-5）。

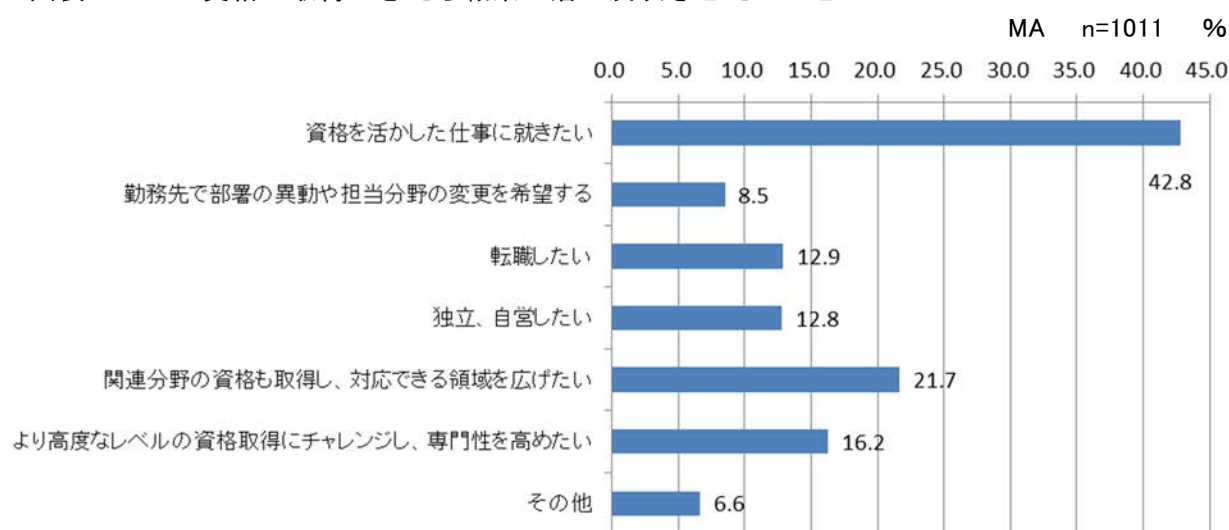
図表8-5 取得したい資格に感じる魅力・メリット(属性別)

魅力・メリット	MA (%)							
	男	女	20代	30代	40代	50代	60代以上	合計
将来性がある	16.8	23.5	40.8	26.6	20.2	15.6	8.1	19.4
社会的評価が高い	20.8	13.5	26.5	21.7	19.0	14.9	13.8	18.0
自分の経験や知識を活かせる	33.0	32.4	22.4	32.5	29.1	32.1	45.0	32.7
自分の適性や志向に合っている	23.6	30.4	20.4	29.6	24.6	26.0	27.5	26.2
つぎの資格取得のステップになる	9.4	12.5	8.2	16.3	11.6	8.0	6.3	10.6
自分のライフスタイルに合った働き方をするのに役立つ	20.2	27.8	10.2	25.1	21.7	23.7	26.9	23.1
社会や地域に貢献できる	13.2	17.9	10.2	12.8	9.5	17.9	26.3	15.0
取得が比較的容易である	11.3	5.9	10.2	5.9	8.6	12.2	9.4	9.2
その他	2.3	3.1	4.1	0.5	2.7	3.4	3.1	2.6
合計	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
n	619	392	49	203	337	262	160	1011

第3節 資格取得と職業生活設計との関係

資格が取得できたら職業生活設計に反映させたいこととしては、「資格を活かした仕事に就きたい」が最も多く、4割強（42.8%）の人が希望しており、「関連分野の資格も取得し、対応できる領域を広げたい」が2割強（21.7%）となっている。「転職したい」（12.9%）や「独立、自営したい」（12.8%）といった労働移動を伴う希望は、それぞれ1割強となっている（図表8-6）。

図表8-6 資格が取得できたら職業生活に反映させたいこと



属性別にみると、男女別では、女性において「資格を活かした仕事に就きたい」をあげる比率が男性を大きく上回り、年齢層別では、「転職したい」をあげる比率が若年層ほど、「独立、自営したい」をあげる比率が高齢層ほど高い（図表8-7）。

図表8-7 資格が取得できたら職業生活に反映させたいこと(属性別)

MA (%)

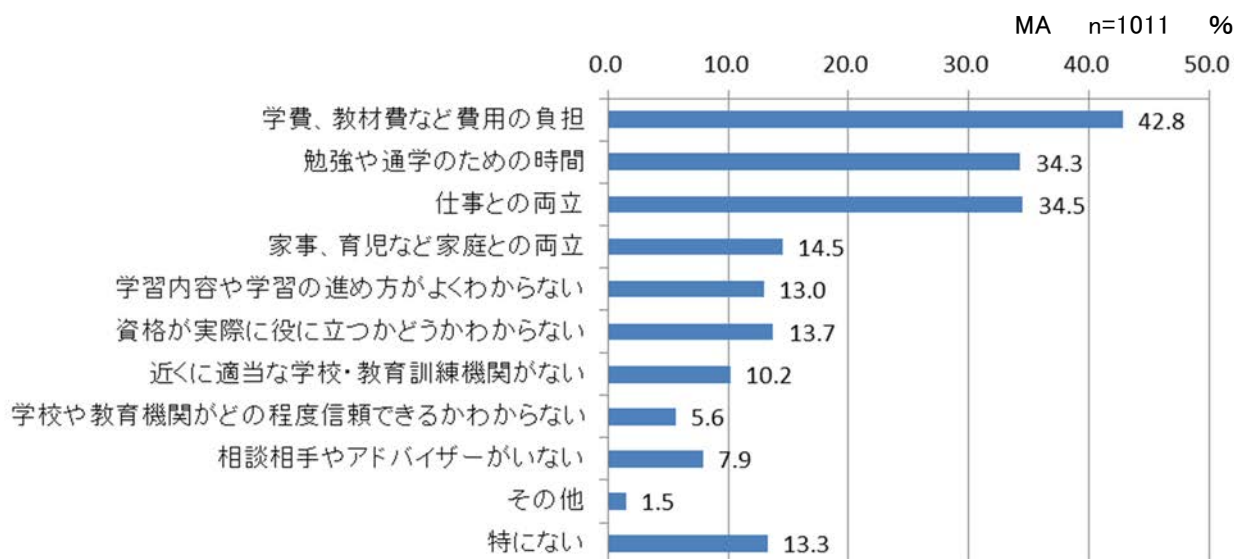
職業生活設計への反映希望	男	女	20代	30代	40代	50代	60代以上	合計
資格を活かした仕事に就きたい	35.5	54.3	46.9	53.2	41.2	38.9	38.1	42.8
部署の異動や担当分野の変更を希望	10.2	5.9	12.2	9.9	11.0	6.9	3.1	8.5
転職したい	12.6	13.3	28.6	14.8	14.2	12.2	3.8	12.9
独立、自営したい	14.2	10.5	8.2	12.8	10.7	14.9	15.0	12.8
関連分野の資格取得、対応領域を広げたい	24.2	17.6	24.5	19.2	22.0	22.9	21.3	21.7
より高度なレベルの資格取得、専門性を高めたい	17.8	13.8	16.3	17.2	12.8	16.4	21.9	16.2
その他	7.1	5.9	0.0	2.5	5.6	8.4	13.1	6.6
合計	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
n	619	392	49	203	337	262	160	1011

第4節 資格取得に関する課題、心配なこと

これから資格を取得したいと考えている人は、資格取得に関して、どのようなことを課題と感じ、心配しているのだろうか。

最も多くあげられたのが「学費、教材費などの費用負担」(42.8%)で4割を超え、次いで「仕事との両立」(34.5%)、「勉強や通学のための時間」(34.3%)などの回答が多くなっている(図表8-8)。このように、費用負担が大きな心配事となっているほか、全般に課題や心配を感じるとしている項目が多く、「特にない」が1割強(13.3%)と、資格所持者全体の回答(「資格取得に関して課題になったこと、苦勞したこと」は「特にない」45.0%)と比べると少なくなっている。

図表8-8 資格取得に関する課題、心配なこと



属性別にみると、男女別では、女性において「費用負担」、「家事、育児など家庭との両立」をあげる比率が男性を大幅に上回り、年齢層別では、30～40代の中年層で課題をあげる割合が高く、費用の負担、勉強時間の確保、仕事や家庭との両立など、資格取得のための活動に伴う生活への影響について不安を感じていることがうかがえる(図表8-9)。また、20代では(サンプル数は少ないが)、「学習内容や学習の進め方がよくわからない」、「相談相手やアドバイザーがない」をあげる割合が他の年齢層より高い。

図表8-9 資格取得に関する課題、心配なこと(属性別)

MA (%)

課題、心配なこと	男	女	20代	30代	40代	50代	60代以上	合計
学費、教材費など費用の負担	37.3	51.5	34.7	53.7	43.6	41.6	31.9	42.8
勉強や通学のための時間	35.1	33.2	36.7	40.4	37.7	35.5	16.9	34.3
仕事との両立	39.1	27.3	32.7	40.4	37.1	37.8	16.9	34.5
家事、育児など家庭との両立	3.6	31.9	14.3	27.6	19.0	6.9	1.3	14.5
学習内容や学習の進め方がよくわからない	11.0	16.1	20.4	18.2	12.5	8.8	11.9	13.0
資格が実際に役に立つかどうかわからない	12.4	15.8	10.2	13.8	14.2	16.4	9.4	13.7
近くに適当な学校・教育訓練機関がない	7.8	14.0	12.2	8.9	9.2	8.4	16.3	10.2
学校や教育機関がどの程度信頼できるかわからない	4.8	6.9	8.2	5.9	5.9	3.4	7.5	5.6
相談相手やアドバイザーがいない	7.6	8.4	12.2	8.9	8.6	5.3	8.1	7.9
その他	1.1	2.0	6.1	0.0	0.6	1.1	4.4	1.5
特になし	16.2	8.7	12.2	5.4	11.0	16.0	23.8	13.3
合計	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
n	619	392	49	203	337	262	160	1011

第9章 まとめ

本調査は、中長期的なキャリア形成支援に向けたキャリア・コンサルティングの基礎資料とする目的で、職業資格の取得活動の実態と職業資格の取得に当たっての課題やニーズを把握したものである。調査結果に基づき、職業資格を取得した人がどのような意識や方法で取得のための活動を行い、どのような課題があったか（第3章）、仕事をしながら資格を取得したケースでは働き方や処遇に変化がみられたか（第4章）、仕事を辞めて取得活動を行ったケース等については就職活動に効果があったか（第5章）、自らの職業資格についてどのように評価しているか（第7章）、これから職業資格を取得したいと考えている人の意識やニーズはどのようなものか（第8章）等について、それぞれの章に取りまとめてきた。本章では、全体のまとめとして、職業資格取得への支援において今後必要と考えられる配慮や課題について整理する。

今回の調査では、6割近くの人が在職中に資格を取得していた。資格によって取得時期は大きく異なり、医療分野などのいわゆる業務独占資格では入職前に資格を取得していることが前提となっているが、福祉分野、ものづくり分野などの技能・技術の資格、ビジネス実務分野など、働きながら職業資格を取得する人が多数を占める資格も多く、働きながら取得した人においては「仕事との両立」が最も大きな課題となっている。

職場の側では、資格取得の活動に特別の対応をしないというケースが多く、職場からの要請や勧奨により取得したという場合においても、約半数は特別の対応はなかったとしている。また、支援制度を設けている企業も必ずしも多くはないが、学費や受講料の補助をはじめ、制度がある場合の利用率は高い。勤務時間の短縮や残業の免除など労働時間面での支援制度を設けている職場は少数であるが、働きながら資格を取得する人の最大の課題である「仕事との両立」が図られるよう、学習しやすい環境への配慮が進むことが望まれる。

職業資格を取得したことにより、働き方や処遇、収入面で変化があったという人は必ずしも多くない。同様に、資格の取得と関連して職業生活設計を見直したいと考えた人も必ずしも多くはない。しかしながら、資格によっては、資格を活かすことができる部署に異動した、資格手当がつくようになったといった回答が多くみられるものもある。在職中の資格取得が職場においてもっと評価されるようになれば、個人の主体的な職業能力開発や職業生活設計への反映に向けた意欲も高まるのではないかと考えられる。

新たな就職をめざす場合の職業資格の効果について、半数以上の人が「資格を活かせる仕事に就くことができた」と評価している。ただし、求職活動中に資格を取得した人に限定すると、「資格を取得したことは就職活動に効果がなかった」という人が2割強、結果的に就職しなかった人が約4人に1人いる。求職中に資格を取得した人は、就職活動に役立てたいと考え、取得が比較的容易な資格を選択する傾向がみられるが、自分の適性・志向や地域の

労働市場の状況に照らして有効な選択となっているか、助言や情報提供を受けられるよう支援していくことが必要である。

これから資格を取得したいと考えている人は、資格取得に関してさまざまな課題を感じており、特に 30～40 代の中年層においては、費用の負担、時間の確保、仕事との両立など、資格取得のための活動に伴う生活への影響を心配する人が多い。また、「資格が実際に役に立つかどうかわからない」、「学習内容や学習の進め方がよくわからない」といった声もあり、費用補助や両立への配慮といった資格取得活動全般への支援と併せて、それぞれの資格に関する具体的な情報提供が重要である。

付表1 資格区分別集計【資格取得の時期】

(%)

資格区分	在学中あるいは卒業直後に取得	働きながら資格を取得	それまでの仕事を辞めて学習に専念し、資格を取得	求職活動しながら資格を取得(職業訓練を受講した場合を含む)	その他	計	n
技能士(ものづくり、工事、整備関連分野)	1.9	90.7	1.9	5.6	0.0	100.0	54
技能士(オフィス、サービス関連分野)	3.4	93.1	0.0	3.4	0.0	100.0	29
技術士	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	100.0	44
訪問介護員2級・介護職員初任者研修	3.6	41.4	13.5	33.3	8.1	100.0	111
訪問介護員1級・介護職員基礎研修・介護職員実務者研修	9.2	44.6	16.9	29.2	0.0	100.0	65
介護福祉士	16.2	79.4	4.4	0.0	0.0	100.0	68
介護支援専門員(ケアマネージャー)	1.8	92.7	3.6	1.8	0.0	100.0	55
移動支援従業者(ガイドヘルパー)	2.9	57.1	2.9	25.7	11.4	100.0	35
福祉用具専門相談員	0.0	61.4	6.8	25.0	6.8	100.0	44
精神保健福祉士	15.5	76.3	7.2	0.0	1.0	100.0	97
社会福祉士	27.1	54.2	10.4	0.0	8.3	100.0	48
保育士	58.3	25.2	4.9	2.9	8.7	100.0	103
看護師、准看護師	78.5	18.7	2.8	0.0	0.0	100.0	107
保健師	88.9	3.3	5.6	0.0	2.2	100.0	90
助産師	75.0	4.5	20.5	0.0	0.0	100.0	44
理学療法士	82.1	6.8	10.3	0.0	0.9	100.0	117
作業療法士	84.3	1.4	11.4	0.0	2.9	100.0	70
言語聴覚士	40.5	26.2	28.6	2.4	2.4	100.0	42
臨床検査技師	89.1	9.4	1.6	0.0	0.0	100.0	64
はり師、きゅう師、あん摩マッサージ指圧師	51.9	20.4	25.9	0.9	0.9	100.0	108
柔道整復師	57.0	29.1	12.8	0.0	1.2	100.0	86
救急救命士	6.9	87.9	1.7	0.0	3.4	100.0	58
臨床工学技士	51.2	48.8	0.0	0.0	0.0	100.0	43
診療放射線技師	91.7	5.5	2.8	0.0	0.0	100.0	109
歯科衛生士	89.7	3.4	6.9	0.0	0.0	100.0	87
歯科技工士	88.7	8.5	2.8	0.0	0.0	100.0	71
薬剤師	98.3	1.7	0.0	0.0	0.0	100.0	116
登録販売者	3.2	89.5	3.2	1.1	3.2	100.0	95
栄養士、管理栄養士	90.4	7.7	1.0	0.0	1.0	100.0	104
調理師	30.3	61.6	4.0	1.0	3.0	100.0	99
製菓衛生師	27.0	67.6	0.0	0.0	5.4	100.0	37
理容師	32.1	64.3	1.8	0.0	1.8	100.0	56
美容師	30.2	60.4	0.0	3.8	5.7	100.0	53
食品衛生管理者	31.0	61.9	2.4	2.4	2.4	100.0	42
色彩検定	24.7	60.5	7.4	2.5	4.9	100.0	81
溶接技能者	26.0	56.0	0.0	16.0	2.0	100.0	50
危険物取扱者	22.9	70.6	0.0	5.5	0.9	100.0	109
ボイラー技士	6.2	73.2	4.1	14.4	2.1	100.0	97
安全管理者	0.0	93.2	0.0	4.5	2.3	100.0	44
衛生管理者	3.0	97.0	0.0	0.0	0.0	100.0	99
玉掛け技能者	1.2	92.9	0.0	4.7	1.2	100.0	85
フォークリフト技能者	1.1	81.1	4.2	9.5	4.2	100.0	95
クレーン・デリック運転士	1.3	87.5	2.5	7.5	1.3	100.0	80
普通自動車免許(二種)	47.4	38.6	5.3	5.3	3.5	100.0	57
大型自動車免許	21.6	69.3	2.3	5.7	1.1	100.0	88
自動車整備士	27.5	69.6	0.0	2.9	0.0	100.0	102
建築士	2.6	93.9	1.8	0.0	1.8	100.0	114
測量士	18.8	78.8	0.0	1.2	1.2	100.0	85
電気工事士	38.8	57.3	1.0	1.9	1.0	100.0	103
電気主任技術者	11.9	85.1	1.0	1.0	1.0	100.0	101
施工管理技士	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	100.0	101
宅地建物取引主任者	10.9	80.9	3.6	0.9	3.6	100.0	110
不動産鑑定士	4.0	76.0	16.0	0.0	4.0	100.0	25
土地家屋調査士	4.3	87.2	8.5	0.0	0.0	100.0	47
マンション管理士	2.2	80.4	4.3	8.7	4.3	100.0	46
基本情報技術者	24.1	73.5	0.0	2.4	0.0	100.0	83
応用情報技術者	16.9	81.5	1.5	0.0	0.0	100.0	65
日商PC検定	20.7	51.2	3.7	19.5	4.9	100.0	82
IT関連企業の能力認定	7.4	64.2	6.3	21.1	1.1	100.0	95
簿記	60.4	27.1	5.2	3.1	4.2	100.0	96
公認会計士	51.0	21.6	23.5	2.0	2.0	100.0	51
税理士	7.3	85.5	1.8	1.8	3.6	100.0	55
証券アナリスト	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	100.0	47
ファイナンシャル・プランナー	1.0	85.1	5.0	2.0	6.9	100.0	101
中小企業診断士	1.7	91.4	5.2	1.7	0.0	100.0	58
社会保険労務士	4.0	76.2	11.9	2.0	5.9	100.0	101
弁理士	5.7	77.1	8.6	2.9	5.7	100.0	35
司法書士	9.0	56.7	26.9	0.0	7.5	100.0	67
行政書士	25.0	58.6	7.8	1.7	6.9	100.0	116
産業カウンセラー	0.0	87.8	8.2	2.0	2.0	100.0	49
キャリアコンサルタント	0.0	79.1	4.7	14.0	2.3	100.0	43
通関士	7.5	79.2	5.7	7.5	0.0	100.0	53
販売士	18.9	71.1	1.1	6.7	2.2	100.0	90
消費生活アドバイザー	4.7	69.8	9.3	7.0	9.3	100.0	43
秘書検定	71.6	26.3	1.1	1.1	0.0	100.0	95
医療事務	12.5	25.0	24.0	26.0	12.5	100.0	96
語学検定(英検・TOEIC・TOEFLなど)	48.5	41.7	0.0	1.9	7.8	100.0	103
通訳案内士	18.8	62.5	4.2	4.2	10.4	100.0	48
旅行業務取扱管理者	16.5	74.8	2.6	3.5	2.6	100.0	115
司書	73.3	18.1	3.8	1.0	3.8	100.0	105
学芸員	92.7	6.3	1.0	0.0	0.0	100.0	96
幼稚園教諭	92.9	6.1	1.0	0.0	0.0	100.0	99
小学校教諭	84.6	9.9	3.3	0.0	2.2	100.0	91
臨床心理士	12.0	78.0	8.0	0.0	2.0	100.0	50
専門職大学院学位	43.9	38.6	15.8	0.0	1.8	100.0	57

付表2 資格区分別集計【取得した資格の魅力、メリット】

MA (%)

資格区分	将来性がある	社会的評価が高い	自分の経験や知識を活かせる	自分の適性や志向に合っている	つぎの資格取得のステップになる	自分のライフスタイルに合った働き方をするのに役立つ	社会や地域に貢献できる	取得が比較的容易である	その他	n
技能士(ものづくり、工事、整備関連分野)	7.4	5.6	68.5	22.2	16.7	7.4	0.0	5.6	3.7	54
技能士(オフィス、サービス関連分野)	3.4	13.8	62.1	37.9	31.0	27.6	6.9	6.9	3.4	29
技術士	15.9	59.1	63.6	22.7	6.8	9.1	9.1	2.3	4.5	44
訪問介護員2級・介護職員初任者研修	22.5	4.5	18.9	12.6	11.7	21.6	31.5	41.4	9.0	111
訪問介護員1級・介護職員基礎研修・介護職員実務者研修	20.0	7.7	26.2	18.5	32.3	12.3	24.6	18.5	6.2	65
介護福祉士	29.4	16.2	39.7	27.9	36.8	16.2	23.5	13.2	4.4	68
介護支援専門員(ケアマネージャー)	30.9	20.0	72.7	20.0	16.4	18.2	18.2	7.3	5.5	55
移動支援従事者(ガイドヘルパー)	11.4	8.6	22.9	11.4	8.6	17.1	54.3	28.6	8.6	35
福祉用具専門相談員	13.6	9.1	36.4	11.4	27.3	6.8	11.4	43.2	4.5	44
精神保健福祉士	12.4	11.3	64.9	50.5	13.4	12.4	33.0	11.3	5.2	97
社会福祉士	12.5	12.5	54.2	50.0	16.7	14.6	45.8	2.1	2.1	48
保育士	21.4	6.8	38.8	44.7	4.9	19.4	16.5	19.4	5.8	103
看護師、准看護師	55.1	24.3	22.4	24.3	6.5	15.9	29.0	7.5	3.7	107
保健師	45.6	21.1	36.7	34.4	10.0	22.2	40.0	6.7	4.4	90
助産師	45.5	29.5	25.0	47.7	2.3	11.4	34.1	0.0	4.5	44
理学療法士	46.2	35.0	10.3	45.3	2.6	12.8	44.4	0.9	2.6	117
作業療法士	50.0	17.1	20.0	45.7	0.0	20.0	38.6	2.9	2.9	70
言語聴覚士	26.2	7.1	28.6	59.5	4.8	26.2	33.3	2.4	9.5	42
臨床検査技師	21.9	7.8	20.3	40.6	4.7	12.5	20.3	10.9	4.7	64
はり師、きゅう師、あん摩マッサージ指圧師	13.9	9.3	24.1	48.1	1.9	26.9	31.5	8.3	7.4	108
柔道整復師	24.4	11.6	27.9	33.7	4.7	17.4	45.3	2.3	3.5	86
救急救命士	19.0	25.9	53.4	39.7	1.7	6.9	50.0	3.4	1.7	58
臨床工学技士	48.8	11.6	37.2	25.6	4.7	7.0	25.6	9.3	9.3	43
診療放射線技師	34.9	18.3	11.0	39.4	0.9	11.0	30.3	8.3	5.5	109
歯科衛生士	39.1	9.2	17.2	26.4	0.0	17.2	12.6	10.3	8.0	87
歯科技工士	18.3	8.5	5.6	63.4	1.4	11.3	19.7	5.6	4.2	71
薬剤師	41.4	28.4	28.4	37.1	1.7	17.2	26.7	3.4	2.6	116
登録販売者	14.7	7.4	61.1	20.0	9.5	14.7	8.4	16.8	11.6	95
栄養士、管理栄養士	15.4	4.8	26.9	43.3	8.7	15.4	9.6	22.1	1.0	104
調理師	16.2	8.1	41.4	29.3	6.1	18.2	8.1	34.3	4.0	99
製菓衛生師	0.0	0.0	51.4	13.5	5.4	21.6	0.0	21.6	13.5	37
理容師	8.9	0.0	17.9	19.6	0.0	17.9	16.1	8.9	25.0	56
美容師	30.2	3.8	22.6	37.7	3.8	17.0	7.5	7.5	13.2	53
食品衛生管理者	4.8	2.4	28.6	9.5	7.1	28.6	7.1	47.6	14.3	42
色彩検定	1.2	0.0	32.1	50.6	13.6	22.2	1.2	25.9	12.3	81
溶接技能者	14.0	10.0	20.0	8.0	18.0	12.0	8.0	40.0	10.0	50
危険物取扱者	5.5	4.6	33.9	9.2	6.4	7.3	3.7	42.2	15.6	109
ボイラー技士	4.1	7.2	33.0	20.6	24.7	10.3	4.1	40.2	10.3	97
安全管理者	11.4	13.6	34.1	18.2	4.5	6.8	6.8	36.4	22.7	44
衛生管理者	3.0	8.1	26.3	11.1	11.1	5.1	8.1	29.3	26.3	99
玉掛け技能者	4.7	3.5	16.5	7.1	7.1	5.9	2.4	48.2	24.7	85
フォークリフト技能者	9.5	1.1	17.9	9.5	5.3	10.5	1.1	46.3	21.1	95
クレーン・デリック運転士	8.8	5.0	21.3	16.3	11.3	7.5	6.3	30.0	18.8	80
普通自動車免許(二種)	12.3	7.0	8.8	14.0	7.0	31.6	12.3	42.1	8.8	57
大型自動車免許	17.0	3.4	13.6	21.6	10.2	15.9	6.8	38.6	4.5	88
自動車整備士	8.8	8.8	46.1	36.3	19.6	16.7	1.0	6.9	6.9	102
建築士	17.5	29.8	45.6	28.9	9.6	14.0	14.0	1.8	7.0	114
測量士	8.2	12.9	44.7	21.2	16.5	12.9	7.1	29.4	8.2	85
電気工事士	9.7	8.7	35.0	24.3	14.6	9.7	1.9	28.2	11.7	103
電気主任技術者	16.8	30.7	64.4	19.8	20.8	9.9	9.9	11.9	5.0	101
施工管理技士	4.0	18.8	58.4	18.8	13.9	9.9	1.0	9.9	12.9	101
宅地建物取引主任者	19.1	16.4	38.2	20.0	8.2	16.4	6.4	26.4	11.8	110
不動産鑑定士	20.0	44.0	48.0	40.0	8.0	16.0	12.0	4.0	4.0	25
土地家屋調査士	19.1	12.8	40.4	25.5	12.8	17.0	19.1	10.6	10.6	47
マンション管理士	13.0	6.5	50.0	23.9	26.1	15.2	13.0	17.4	13.0	46
基本情報技術者	14.5	8.4	41.0	26.5	34.9	0.0	0.0	18.1	2.4	83
応用情報技術者	7.7	7.7	61.5	21.5	38.5	3.1	0.0	13.8	1.5	65
日商PC検定	19.5	8.5	34.1	35.4	25.6	18.3	3.7	29.3	2.4	82
IT関連企業の能力認定	11.6	16.8	45.3	31.6	21.1	10.5	0.0	23.2	6.3	95
簿記	19.8	11.5	27.1	21.9	16.7	8.3	1.0	15.6	10.4	96
公認会計士	27.5	58.8	23.5	43.1	7.8	9.8	9.8	2.0	3.9	51
税理士	12.7	29.1	49.1	32.7	0.0	10.9	12.7	9.1	0.0	55
証券アナリスト	21.3	23.4	53.2	31.9	6.4	4.3	4.3	8.5	10.6	47
ファイナンシャル・プランナー	15.8	8.9	49.5	19.8	16.8	13.9	5.9	11.9	6.9	101
中小企業診断士	12.1	20.7	56.9	51.7	10.3	17.2	17.2	6.9	13.8	58
社会保険労務士	24.8	21.8	51.5	36.6	9.9	17.8	17.8	8.9	5.0	101
弁理士	34.3	34.3	65.7	51.4	2.9	11.4	5.7	0.0	8.6	35
司法書士	11.9	41.8	49.3	43.3	3.0	26.9	22.4	7.5	3.0	67
行政書士	8.6	8.6	37.9	29.3	42.2	15.5	6.9	46.6	2.6	116
産業カウンセラー	4.1	10.2	51.0	65.3	16.3	20.4	28.6	10.2	2.0	49
キャリアコンサルタント	14.0	7.0	65.1	37.2	9.3	27.9	30.2	14.0	2.3	43
通関士	17.0	20.8	47.2	24.5	9.4	5.7	3.8	9.4	13.2	53
販売士	5.6	11.1	43.3	21.1	20.0	7.8	1.1	27.8	7.8	90
消費生活アドバイザー	7.0	23.3	60.5	34.9	16.3	11.6	32.6	7.0	2.3	43
秘書検定	5.3	10.5	38.9	50.5	10.5	7.4	2.1	28.4	6.3	95
医療事務	25.0	6.3	18.8	36.5	8.3	31.3	6.3	28.1	4.2	96
語学検定(英検・TOEIC・TOEFLなど)	12.6	24.3	32.0	31.1	11.7	8.7	1.0	21.4	10.7	103
通訳案内士	12.5	22.9	70.8	47.9	6.3	20.8	20.8	6.3	0.0	48
旅行業務取扱管理者	11.3	7.8	56.5	44.3	7.0	13.9	2.6	12.2	7.0	115
司書	3.8	3.8	37.1	57.1	1.9	17.1	12.4	24.8	5.7	105
学芸員	1.0	3.1	35.4	60.4	1.0	13.5	17.7	27.1	4.2	96
幼稚園教諭	12.1	6.1	28.3	50.5	4.0	6.1	12.1	15.2	5.1	99
小学校教諭	19.8	24.2	40.7	47.3	1.1	11.0	18.7	11.0	6.6	91
臨床心理士	18.0	28.0	66.0	52.0	0.0	24.0	34.0	2.0	4.0	50
専門職大学院学位	19.3	31.6	35.1	28.1	3.5	21.1	10.5	0.0	8.8	57

付表3 資格区分別集計【職業生活設計の見直し希望】
 (働きながら資格を取得した人が20人以上の資格区分)

MA (%)

資格区分	n (働きながら 資格を取得し た人の数)	社内で資格 を活かした仕 事をする事	部署の異動 や担当分野 の変更・拡大	資格を活か せる会社に 転職	独立、自営	関連分野の 資格も取得 し、対応でき る領域を広 げること	より高度なレ ベルの資格 を取得し、専 門性を高め ること	資格を活か して社会貢 献すること	その他	特に見直し たいと思っ たこと はない
技能士(ものづくり、工事、整備関連分野)	49	14.3	4.1	2.0	0.0	4.1	8.2	2.0	2.0	75.5
技能士(オフィス、サービス関連分野)	27	11.1	0.0	7.4	7.4	7.4	14.8	14.8	0.0	70.4
技術士	44	4.5	0.0	0.0	9.1	11.4	13.6	13.6	2.3	65.9
訪問介護員2級・介護職員初任者研修	46	10.9	4.3	10.9	0.0	4.3	6.5	2.2	0.0	69.6
訪問介護員1級・介護職員基礎研修・介護職員実務者研修	29	13.8	10.3	6.9	3.4	13.8	20.7	10.3	3.4	41.4
介護福祉士	54	13.0	3.7	14.8	3.7	9.3	14.8	11.1	1.9	59.3
介護支援専門員(ケアマネージャー)	51	23.5	2.0	17.6	3.9	9.8	2.0	11.8	0.0	49.0
移動支援従業者(ガイドヘルパー)	20	0.0	0.0	10.0	0.0	5.0	5.0	15.0	0.0	70.0
福祉用具専門相談員	27	3.7	0.0	3.7	7.4	14.8	11.1	14.8	0.0	59.3
精神保健福祉士	74	21.6	1.4	14.9	6.8	18.9	13.5	20.3	0.0	44.6
社会福祉士	26	3.8	0.0	30.8	3.8	26.9	30.8	30.8	0.0	38.5
保育士	26	0.0	0.0	23.1	3.8	3.8	3.8	23.1	0.0	53.8
看護師、准看護師	20	15.0	5.0	5.0	0.0	0.0	0.0	10.0	0.0	65.0
はり師、きゅう師、あん摩マッサージ指圧師	22	4.5	4.5	4.5	54.5	9.1	9.1	18.2	0.0	22.7
柔道整復師	25	4.0	0.0	8.0	76.0	0.0	0.0	8.0	0.0	16.0
救急救命士	51	27.5	13.7	3.9	0.0	3.9	9.8	15.7	0.0	51.0
臨床工学技士	21	23.8	9.5	14.3	0.0	4.8	14.3	4.8	0.0	57.1
登録販売者	85	12.9	4.7	4.7	2.4	5.9	4.7	7.1	0.0	72.9
調理師	61	3.3	0.0	4.9	6.6	3.3	1.6	1.6	3.3	78.7
製菓衛生師	25	4.0	0.0	0.0	16.0	12.0	4.0	0.0	0.0	64.0
理容師	36	2.8	0.0	0.0	36.1	0.0	0.0	2.8	0.0	58.3
美容師	32	3.1	0.0	6.3	18.8	0.0	3.1	0.0	0.0	71.9
食品衛生管理者	26	15.4	11.5	3.8	11.5	3.8	0.0	0.0	3.8	53.8
色彩検定	49	6.1	0.0	10.2	8.2	8.2	16.3	6.1	2.0	59.2
溶接技能者	28	3.6	7.1	3.6	0.0	0.0	17.9	3.6	0.0	75.0
危険物取扱者	77	11.7	1.3	1.3	1.3	0.0	0.0	1.3	0.0	84.4
ボイラー技士	71	5.6	2.8	4.2	0.0	8.5	8.5	1.4	2.8	71.8
安全管理者	41	14.6	4.9	0.0	0.0	4.9	2.4	2.4	2.4	75.6
衛生管理者	96	11.5	6.3	0.0	1.0	2.1	2.1	2.1	0.0	84.4
玉掛け技能者	79	8.9	1.3	0.0	0.0	0.0	3.8	0.0	0.0	88.6
フォークリフト技能者	77	9.1	2.6	5.2	0.0	1.3	0.0	1.3	0.0	83.1
クレーン・デリック運転士	70	11.4	4.3	1.4	0.0	5.7	2.9	0.0	0.0	84.3
普通自動車免許(二種)	22	4.5	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	9.1	0.0	90.9
大型自動車免許	61	9.8	3.3	4.9	3.3	0.0	1.6	1.6	0.0	78.7
自動車整備士	71	14.1	8.5	0.0	4.2	5.6	8.5	1.4	0.0	67.6
建築士	107	7.5	2.8	11.2	20.6	3.7	4.7	6.5	1.9	55.1
測量士	67	9.0	3.0	3.0	7.5	9.0	10.4	7.5	1.5	73.1
電気工事士	59	6.8	1.7	6.8	0.0	6.8	5.1	0.0	1.7	81.4
電気主任技術者	86	8.1	2.3	7.0	4.7	8.1	8.1	5.8	0.0	72.1
施工管理技士	101	11.9	5.0	3.0	3.0	10.9	12.9	1.0	0.0	67.3
宅地建物取引主任者	89	9.0	1.1	7.9	4.5	2.2	4.5	3.4	0.0	75.3
土地家屋調査士	41	7.3	0.0	0.0	51.2	2.4	2.4	2.4	0.0	39.0
マンション管理士	37	0.0	2.7	10.8	2.7	8.1	5.4	2.7	2.7	70.3
基本情報技術者	61	4.9	4.9	4.9	0.0	3.3	6.6	0.0	0.0	80.3
応用情報技術者	53	11.3	5.7	0.0	1.9	3.8	11.3	0.0	1.9	69.8
日商PC検定	42	14.3	4.8	11.9	0.0	9.5	19.0	7.1	0.0	54.8
IT関連企業の能力認定	61	9.8	8.2	3.3	0.0	6.6	4.9	1.6	0.0	78.7
簿記	26	3.8	7.7	7.7	0.0	3.8	3.8	0.0	0.0	73.1
税理士	47	10.6	2.1	8.5	36.2	8.5	8.5	14.9	2.1	36.2
証券アナリスト	47	23.4	17.0	17.0	0.0	2.1	12.8	0.0	2.1	53.2
ファイナンシャル・プランナー	86	10.5	3.5	3.5	4.7	1.2	5.8	4.7	0.0	76.7
中小企業診断士	53	30.2	11.3	15.1	17.0	18.9	17.0	13.2	0.0	26.4
社会保険労務士	77	14.3	7.8	13.0	24.7	18.2	13.0	14.3	2.6	42.9
弁理士	27	25.9	11.1	25.9	29.6	3.7	25.9	14.8	3.7	11.1
司法書士	38	0.0	0.0	10.5	47.4	2.6	7.9	7.9	0.0	36.8
行政書士	68	4.4	1.5	7.4	25.0	10.3	5.9	7.4	1.5	50.0
産業カウンセラー	43	18.6	11.6	14.0	4.7	25.6	30.2	27.9	0.0	37.2
キャリアコンサルタント	34	11.8	0.0	23.5	14.7	17.6	17.6	26.5	2.9	35.3
通関士	42	21.4	9.5	7.1	0.0	9.5	4.8	2.4	0.0	61.9
販売士	64	6.3	1.6	3.1	1.6	4.7	7.8	4.7	1.6	82.8
消費生活アドバイザー	30	10.0	3.3	10.0	3.3	10.0	10.0	23.3	0.0	53.3
秘書検定	25	8.0	0.0	0.0	0.0	0.0	8.0	0.0	0.0	84.0
医療事務	24	12.5	4.2	16.7	0.0	4.2	8.3	4.2	4.2	66.7
語学検定(英検・TOEIC・TOEFLなど)	43	2.3	2.3	2.3	2.3	4.7	9.3	2.3	2.3	79.1
通訳案内士	30	0.0	3.3	6.7	33.3	20.0	16.7	6.7	0.0	60.0
旅行業務取扱管理者	86	14.0	5.8	7.0	5.8	0.0	3.5	2.3	0.0	70.9
臨床心理士	39	17.9	7.7	25.6	7.7	15.4	25.6	23.1	0.0	33.3
専門職大学院学位	22	13.6	9.1	9.1	4.5	4.5	9.1	4.5	9.1	50.0

付表4 資格区分別集計【資格取得の総合的評価】

(%)

資格区分	非常によかった、メリットが大きかった	どちらかというとプラスになった	かかったコストや時間のわりに、あまりメリットはなかった	まだ判断できない	無回答	合計	n
技能士(ものづくり、工事、整備関連分野)	16.7	61.1	16.7	5.6	0.0	100.0	54
技能士(オフィス、サービス関連分野)	24.1	51.7	13.8	10.3	0.0	100.0	29
技術士	38.6	47.7	9.1	4.5	0.0	100.0	44
訪問介護員2級・介護職員初任者研修	18.0	55.9	17.1	9.0	0.0	100.0	111
訪問介護員1級・介護職員基礎研修・介護職員実務者研修	30.8	47.7	12.3	9.2	0.0	100.0	65
介護福祉士	29.4	48.5	14.7	7.4	0.0	100.0	68
介護支援専門員(ケアマネージャー)	18.2	54.5	14.5	12.7	0.0	100.0	55
移動支援従業者(ガイドヘルパー)	17.1	54.3	5.7	22.9	0.0	100.0	35
福祉用具専門相談員	4.5	52.3	18.2	25.0	0.0	100.0	44
精神保健福祉士	37.1	45.4	11.3	6.2	0.0	100.0	97
社会福祉士	31.3	45.8	18.8	4.2	0.0	100.0	48
保育士	40.8	41.7	8.7	8.7	0.0	100.0	103
看護師、准看護師	65.4	30.8	0.9	1.9	0.9	100.0	107
保健師	43.3	42.2	5.6	7.8	1.1	100.0	90
助産師	70.5	27.3	2.3	0.0	0.0	100.0	44
理学療法士	72.6	22.2	4.3	0.9	0.0	100.0	117
作業療法士	78.6	18.6	2.9	0.0	0.0	100.0	70
言語聴覚士	64.3	28.6	4.8	2.4	0.0	100.0	42
臨床検査技師	40.6	35.9	12.5	9.4	1.6	100.0	64
はり師、きゆう師、あん摩マッサージ指圧師	48.1	32.4	9.3	10.2	0.0	100.0	108
柔道整復師	54.7	33.7	7.0	4.7	0.0	100.0	86
救急救命士	48.3	37.9	6.9	6.9	0.0	100.0	58
臨床工学技士	41.9	46.5	11.6	0.0	0.0	100.0	43
診療放射線技師	58.7	34.9	0.9	5.5	0.0	100.0	109
歯科衛生士	42.5	41.4	9.2	6.9	0.0	100.0	87
歯科技工士	31.0	39.4	23.9	5.6	0.0	100.0	71
薬剤師	57.8	31.9	5.2	4.3	0.9	100.0	116
登録販売者	23.2	53.7	12.6	10.5	0.0	100.0	95
栄養士、管理栄養士	15.4	50.0	24.0	10.6	0.0	100.0	104
調理師	20.2	49.5	14.1	16.2	0.0	100.0	99
製菓衛生師	8.1	48.6	32.4	10.8	0.0	100.0	37
理容師	55.4	26.8	7.1	10.7	0.0	100.0	56
美容師	34.0	39.6	15.1	11.3	0.0	100.0	53
食品衛生管理者	23.8	40.5	4.8	31.0	0.0	100.0	42
色彩検定	4.9	58.0	22.2	14.8	0.0	100.0	81
溶接技能者	12.0	64.0	16.0	8.0	0.0	100.0	50
危険物取扱者	12.8	47.7	19.3	20.2	0.0	100.0	109
ボイラー技士	13.4	50.5	15.5	20.6	0.0	100.0	97
安全管理者	22.7	50.0	20.5	6.8	0.0	100.0	44
衛生管理者	8.1	61.6	19.2	11.1	0.0	100.0	99
玉掛け技能者	11.8	56.5	11.8	18.8	1.2	100.0	85
フォークリフト技能者	16.8	55.8	13.7	13.7	0.0	100.0	95
クレーン・デリック運転士	12.5	57.5	15.0	15.0	0.0	100.0	80
普通自動車免許(二種)	43.9	35.1	3.5	17.5	0.0	100.0	57
大型自動車免許	15.9	54.5	17.0	12.5	0.0	100.0	88
自動車整備士	24.5	60.8	10.8	3.9	0.0	100.0	102
建築士	47.4	32.5	13.2	6.1	0.9	100.0	114
測量士	14.1	63.5	8.2	14.1	0.0	100.0	85
電気工事士	16.5	59.2	7.8	16.5	0.0	100.0	103
電気主任技術者	25.7	54.5	13.9	5.9	0.0	100.0	101
施工管理技士	34.7	41.6	14.9	8.9	0.0	100.0	101
宅地建物取引主任者	26.4	54.5	9.1	10.0	0.0	100.0	110
不動産鑑定士	76.0	12.0	12.0	0.0	0.0	100.0	25
土地家屋調査士	57.4	31.9	8.5	2.1	0.0	100.0	47
マンション管理士	4.3	39.1	28.3	28.3	0.0	100.0	46
基本情報技術者	12.0	55.4	21.7	10.8	0.0	100.0	83
応用情報技術者	12.3	69.2	9.2	9.2	0.0	100.0	65
日商PC検定	26.8	56.1	9.8	7.3	0.0	100.0	82
IT関連企業の能力認定	15.8	52.6	17.9	13.7	0.0	100.0	95
簿記	21.9	55.2	8.3	14.6	0.0	100.0	96
公認会計士	62.7	27.5	5.9	3.9	0.0	100.0	51
税理士	43.6	34.5	7.3	14.5	0.0	100.0	55
証券アナリスト	29.8	53.2	12.8	4.3	0.0	100.0	47
ファイナンシャル・プランナー	13.9	55.4	13.9	16.8	0.0	100.0	101
中小企業診断士	39.7	48.3	6.9	5.2	0.0	100.0	58
社会保険労務士	31.7	45.5	12.9	9.9	0.0	100.0	101
弁理士	54.3	31.4	5.7	8.6	0.0	100.0	35
司法書士	46.3	38.8	6.0	9.0	0.0	100.0	67
行政書士	17.2	44.0	17.2	21.6	0.0	100.0	116
産業カウンセラー	34.7	36.7	14.3	14.3	0.0	100.0	49
キャリアコンサルタント	27.9	51.2	14.0	7.0	0.0	100.0	43
通関士	28.3	49.1	11.3	11.3	0.0	100.0	53
販売士	5.6	46.7	25.6	22.2	0.0	100.0	90
消費生活アドバイザー	46.5	39.5	4.7	9.3	0.0	100.0	43
秘書検定	8.4	57.9	20.0	13.7	0.0	100.0	95
医療事務	14.6	45.8	29.2	10.4	0.0	100.0	96
語学検定(英検・TOEIC・TOEFLなど)	16.5	61.2	5.8	16.5	0.0	100.0	103
通訳案内士	29.2	37.5	16.7	16.7	0.0	100.0	48
旅行業務取扱管理者	25.2	46.1	15.7	13.0	0.0	100.0	115
司書	34.3	30.5	21.0	14.3	0.0	100.0	105
学芸員	6.3	41.7	18.8	33.3	0.0	100.0	96
幼稚園教諭	27.3	47.5	18.2	7.1	0.0	100.0	99
小学校教諭	60.4	28.6	9.9	1.1	0.0	100.0	91
臨床心理士	60.0	32.0	4.0	4.0	0.0	100.0	50
専門職大学院学位	33.3	38.6	21.1	7.0	0.0	100.0	57

資料編

資格別概況(85資格区分)

資格区分	ページ	クレーン・デリック運転士	142
技能士(ものづくり、工事、整備関連分野)	58	普通自動車免許(二種)	144
技能士(オフィス、サービス関連分野)	60	大型自動車免許	146
技術士	62	自動車整備士	148
訪問介護員2級・介護職員初任者研修	64	建築士	150
訪問介護員1級・介護職員基礎研修・介護職員実務者研修	66	測量士	152
介護福祉士	68	電気工事士	154
介護支援専門員(ケアマネージャー)	70	電気主任技術者	156
移動支援従業者(ガイドヘルパー)	72	施工管理技士	158
福祉用具専門相談員	74	宅地建物取引主任者	160
精神保健福祉士	76	不動産鑑定士	162
社会福祉士	78	土地家屋調査士	164
保育士	80	マンション管理士	166
看護師、准看護師	82	基本情報技術者	168
保健師	84	応用情報技術者	170
助産師	86	日商PC検定	172
理学療法士	88	IT関連企業の能力認定	174
作業療法士	90	簿記	176
言語聴覚士	92	公認会計士	178
臨床検査技師	94	税理士	180
はり師、きゅう師、あん摩マッサージ指圧師	96	証券アナリスト	182
柔道整復師	98	ファイナンシャル・プランナー	184
救急救命士	100	中小企業診断士	186
臨床工学技士	102	社会保険労務士	188
診療放射線技師	104	弁理士	190
歯科衛生士	106	司法書士	192
歯科技工士	108	行政書士	194
薬剤師	110	産業カウンセラー	196
登録販売者	112	キャリアコンサルタント	198
栄養士、管理栄養士	114	通関士	200
調理師	116	販売士	202
製菓衛生師	118	消費生活アドバイザー	204
理容師	120	秘書検定	206
美容師	122	医療事務	208
食品衛生管理者	124	語学検定(英検・TOEIC・TOEFLなど)	210
色彩検定	126	通訳案内士	212
溶接技能者	128	旅行業務取扱管理者	214
危険物取扱者	130	司書	216
ボイラー技士	132	学芸員	218
安全管理者	134	幼稚園教諭	220
衛生管理者	136	小学校教諭	222
玉掛け技能者	138	臨床心理士	224
フォークリフト技能者	140	専門職大学院学位	226

◇資格別概況表の見方

一部の資格についてはまとめた区分としてサンプルを収集しており、分野や等級が分かれる資格についても一括した区分としている。また、制度や名称の変更があった場合には、旧資格に対応する現行資格に位置づけている。したがって、レベルや位置づけが異なる資格が同一区分に含まれている場合があることに留意の上、データを参照いただきたい。

【回答者の属性】

学歴欄の「その他」には、中退、在学中を含む。

就業状態の「正規比率」は、雇用者のうち「正社員」の割合

- ・SAは単一回答、MAは複数回答
- ・①～⑮について、「その他」のデータは省略

【資格取得時の状況】

②資格取得動機(回答の多い順にトップ5)

第5位が同率の場合は、項目名を略記して併記している。

⑧資格取得に関して、課題となったこと、苦勞したこと(回答の多い順にトップ3及び「特にない」)

第3位が同率の場合は、項目名を略記して併記している。

【在職中に資格を取得した人の状況】

⑨～⑪ サンプル数が20未満の場合は実数を掲載(斜字)

【他の資格との関係】

⑭他の資格も所持している人の割合

スクリーニング時に、「所持している資格」として資格一覧から2つ以上の資格区分をチェックした場合についてカウントしている。このため、例えば一級建築士と二級建築士のように、同じ資格区分で等級等の異なる資格を所持していても、ここでは複数資格所持者としてカウントされていない。

また、複数資格を所持している人については、原則として最も重視している資格を1つ選び、その資格について本調査の質問に回答してもらうという流れで実施した。資格別概況表は各資格区分で回答した人についての集計であるので、その資格を所持していても他の資格区分で回答した人の数は含まない。

他の主な所持資格

所持していると回答があった他の資格のうち、原則として資格別集計の対象とした資格区分について、主なものを掲載した。各資格区分のサンプル数や他資格所持者の数に応じ、掲載対象とした下限人数は異なる。

⑮今後、新たな資格の取得を予定している人の割合

勉強中あるいは検討中と回答した人の割合(複数回答)

【資格と仕事との関係】

⑯現在従事している職業(大分類で多い順にトップ3)

第3位が同率の場合は、項目名を略記して併記している。

【資格取得とキャリア形成に関する特徴】

各資格区分の回答者の属性や資格取得時の状況、在職中に資格を取得した場合の職場との関係や働き方等の変化、資格取得に対する自己評価等について、特徴的な点を中心に要約した。

あくまで本調査の回答者のデータにみる傾向であり、サンプル数が少ない資格区分もあるため、当該資格の一般的状況を表わすものではないという点に留意いただきたい。

技能士(ものづくり、工事、整備関連分野)

表の数字は構成比(%)

回答者の属性 (54人)

性別	男性	87.0	女性	13.0						
年齢	20代	3.7	30代	9.3	40代	29.6	50代	31.5	60代以上	25.9
学歴	高校卒	37.0	短大・専修等卒	16.7	大学卒	37.0	大学院卒	3.7	その他	5.6
就業状態	雇用者	68.5	(正規比率	89.2)	自営	9.3	不就業	20.4	不明	1.9

【資格取得時の状況】

①資格を取った時期

SA N=54

在学中・卒業直後	働きながら	仕事を辞めて学習に専念	求職活動中
1.9%	90.7%	1.9%	5.6%

②資格取得動機(回答の多い順にトップ5)

MA N=54

工作上、資格がある ほうが有利だから	勤め先からの要請や 勧奨があったから	自分自身の勉強や 自己啓発のため	仕事の範囲を広げたい と思ったから	自分の能力や可能性を 試したかったから
64.8%	25.9%	25.9%	16.7%	14.8%

③資格の魅力、メリット

MA N=54

将来性がある	社会的評価が 高い	経験や知識を 活かせる	適性や志向に 合う	次の資格取得 のステップに なる	ライフスタイル に合った働 き方に役立つ	社会や地域に 貢献できる	取得が比較的 容易
7.4%	5.6%	68.5%	22.2%	16.7%	7.4%	-	5.6%

④学習を始める前の準備

MA N=54

学校や教育訓練 機関の情報収集	資格が活かせる 仕事や就職先の 情報収集	資格取得者の体 験談を聞いた	関連分野に詳 しい人に相談	キャリアコンサ ルタントに相談	必要な費用を 準備	特に準備せず
27.8%	-	18.5%	16.7%	-	5.6%	38.9%

⑤資格取得に要した期間

SA N=54

3か月未満	3か月～6か月未満	6か月～1年未満	1年～2年未満	2年～3年未満	3年以上
25.9%	29.6%	18.5%	14.8%	3.7%	7.4%

⑥資格取得の主な勉強方法

SA N=54

学校	資格取得 スクール	公的職業訓練	業界団体等 の講習会	通信教育	勤務先の勉強 会、OJT	自主的勉強会	自学自習
3.7%	-	9.3%	7.4%	-	38.9%	3.7%	37.0%

⑦利用した経済的支援

MA N=54

教育訓練給付金	無料・実費の 公的職業訓練	学校、団体、公的 機関等の奨学金	勤務先の補助 や貸付制度	利用せず
-	13.0%	-	31.5%	51.9%

⑧資格取得に関して、課題となったこと、苦労したこと(回答の多い順にトップ3及び「特にない」)

MA N=54

仕事との両立	費用の負担、勉強や通学の時間、家庭との両立、 実際に役立つか	特にない
40.7%	5.6%	44.4%

【在職中に資格を取得した人の状況】

⑨資格取得活動への職場の対応

SA N=49

積極的に応援	特別の対応なし	あまり歓迎されない 雰囲気	周囲に知られて いなかった	職場に知られない ようにしていた
44.9%	40.8%	-	4.1%	6.1%

⑩資格取得による働き方や処遇の変化

MA N=49

社内で昇進・昇格に結びついた	資格を活かせる部署・担当に異動	社内で担当分野が広がった	職場で表彰された	周囲からの評価が高まった	転職あるいは独立した	職場外のネットワークが広がった	特に変化なし
12.2%	4.1%	10.2%	12.2%	18.4%	-	2.0%	57.1%

⑪資格取得による収入面での変化

MA N=49

勤務先から祝い金や報奨金が出た	基本給がアップした	資格手当がついた	資格所持に伴う活動による副収入を得た	特に変化なし
10.2%	8.2%	8.2%	2.0%	73.5%

【資格取得に対する自己評価】

⑫資格を取得したことについての総合的判断

SA N=54

非常によかった、 メリット大	どちらかという プラス	コストや時間の割に メリット小	まだ判断できない
16.7%	61.1%	16.7%	5.6%

⑬資格を取得して最もよかったと思う点

SA N=42

専門能力や知識が向上	仕事の範囲が拡大	評価や処遇が上昇	収入が増加	人的ネットワーク	職業生活設計のひろがり	社会貢献ができること	将来への備え
45.2%	23.8%	14.3%	4.8%	2.4%	2.4%	-	2.4%

【他の資格との関係】

⑭他の資格も所持している人の割合

57.4%

N= 54

他の主な所持資格(4名以上)

フォークリフト技能者、溶接技能者、普通自動車免許(二種)、電気工事士、危険物取扱者、玉掛け技能者

⑮今後、新たな資格の取得を予定している人の割合

勉強中 5.6%

検討中 14.8%

N=54

【資格と仕事との関係】

⑯現在従事している職業(大分類で多い順トップ3)

SA N=42

専門的・技術的職業	管理的職業	生産工程の職業
40.5%	23.8%	21.4%

【資格取得とキャリア形成に関する特徴】

男性比率が高い。資格取得時期は在職時が9割。資格取得の動機として3人に2人が「仕事上有利」をあげ、資格の魅力・メリットとしては「経験や知識を活かせる」をあげる人が7割弱と突出して多い。主な勉強方法としては「勤務先の勉強会、OJT」が最も多く、3割の人が費用に関して「勤務先の補助や貸付制度」を利用している。職場が積極的に応援してくれたという割合は比較的高く、「表彰された」人が1割強。収入面の変化はあまり大きくない。総合的判断は「どちらかというプラス」が約6割。

技能士(オフィス、サービス関連分野)

表の数字は構成比(%)

回答者の属性 29人

性別	男性	79.3	女性	20.7						
年齢	20代	-	30代	20.7	40代	41.4	50代	31.0	60代以上	6.9
学歴	高校卒	27.6	短大・専修等卒	10.3	大学卒	51.7	大学院卒	6.9	その他	3.4
就業状態	雇用者	82.8	(正規比率	95.8)	自営	10.3	不就業	6.9	その他	-

【資格取得時の状況】

①資格を取った時期 SA N=29

在学中・卒業直後	働きながら	仕事を辞めて学習に専念	求職活動中
3.4%	93.1%	-	3.4%

②資格取得動機(回答の多い順にトップ5) MA N=29

自分自身の勉強や自己啓発のため	仕事上、資格があるほうが有利だから	より高度な仕事をしたいと思ったから	自分の能力や可能性を試したかったから	いずれ何かの役に立つかもしれないと思ったから
51.7%	48.3%	24.1%	24.1%	24.1%

③資格の魅力、メリット MA N=29

将来性がある	社会的評価が高い	経験や知識を活かせる	適性や志向に合う	次の資格取得のステップになる	ライフスタイルに合った働き方に役立つ	社会や地域に貢献できる	取得が比較的容易
3.4%	13.8%	62.1%	37.9%	31.0%	27.6%	6.9%	6.9%

④学習を始める前の準備 MA N=29

学校や教育訓練機関の情報収集	資格が活かせる仕事や就職先の情報収集	資格取得者の体験談を聞いた	関連分野に詳しい人に相談	キャリアコンサルタントに相談	必要な費用を準備	特に準備せず
41.4%	3.4%	3.4%	-	3.4%	17.2%	44.8%

⑤資格取得に要した期間 SA N=29

3か月未満	3か月～6か月未満	6か月～1年未満	1年～2年未満	2年～3年未満	3年以上
24.1%	24.1%	20.7%	17.2%	10.3%	3.4%

⑥資格取得の主な勉強方法 SA N=29

学校	資格取得スクール	公的職業訓練	業界団体等の講習会	通信教育	勤務先の勉強会、OJT	自主的勉強会	自学自習
3.4%	10.3%	-	10.3%	10.3%	6.9%	-	58.6%

⑦利用した経済的支援 MA N=29

教育訓練給付金	無料・実費の公的職業訓練	学校、団体、公的機関等の奨学金	勤務先の補助や貸付制度	利用せず
-	-	-	3.4%	86.2%

⑧資格取得に関して、課題となったこと、苦労したこと(回答の多い順にトップ3及び「特にない」) MA N=29

仕事との両立	勉強や通学のための時間	相談相手やアドバイザーがいない	特にない
37.9%	17.2%	17.2%	41.4%

【在職中に資格を取得した人の状況】

⑨資格取得活動への職場の対応

SA N=27

積極的に応援	特別な対応なし	あまり歓迎されない 雰囲気	周囲に知られて いなかった	職場に知られない ようにしていた
7.4%	44.4%	-	33.3%	11.1%

⑩資格取得による働き方や処遇の変化

MA N=27

社内で昇進・昇格に結びついた	資格を活かせる部署・担当に異動	社内で担当分野が広がった	職場で表彰された	周囲からの評価が高まった	転職あるいは独立した	職場外のネットワークが広がった	特に変化なし
-	-	3.7%	3.7%	14.8%	7.4%	-	70.4%

⑪資格取得による収入面での変化

MA N=27

勤務先から祝い金や報奨金が出た	基本給がアップした	資格手当がついた	資格所持に伴う活動による副収入を得た	特に変化なし
-	3.7%	3.7%	-	92.6%

【資格取得に対する自己評価】

⑫資格を取得したことについての総合的判断

SA N=29

非常によかった、 メリット大	どちらかという プラス	コストや時間の割に メリット小	まだ判断できない
24.1%	51.7%	13.8%	10.3%

⑬資格を取得して最もよかったと思う点

SA N=22

専門能力や知識が向上	仕事の範囲が拡大	評価や処遇が上昇	収入が増加	人的ネットワーク	職業生活設計のひろがり	社会貢献ができること	将来への備え
59.1%	18.2%	4.5%	-	-	-	9.1%	4.5%

【他の資格との関係】

⑭他の資格も所持している人の割合

82.8%

N= 29

他の主な所持資格(3名以上)

ファイナンシャル・プランナー、簿記、行政書士、危険物取扱者、衛生管理者、フォークリフト技能者、宅地建物取引主任者、語学検定

⑮今後、新たな資格の取得を予定している人の割合

勉強中 34.5%

検討中 31.0%

N=29

【資格と仕事との関係】

⑯現在従事している職業（大分類で多い順トップ3）

SA N=27

専門的・技術的職業	事務的職業	管理的職業
37.0%	25.9%	22.2%

【資格取得とキャリア形成に関する特徴】

男女比は約4:1。雇用者比率、正規比率が高い。資格取得の動機として5割強が「自分の勉強や自己啓発」次いで5割弱が「仕事上有利」をあげ、資格の魅力・メリットとしては「経験や知識を活かせる」をあげる人が6割強と多い。ものづくり系の技能士と異なり、職場の応援を受けるケースは少なく、処遇との結びつきも弱く、資格取得が個人の活動となっている傾向がうかがえる。総合的評価としては肯定的な判断をする人が多く、今後新たな資格取得活動を予定している人の割合が高い。

技術士

表の数字は構成比(%)

回答者の属性 44人

性別	男性	97.7	女性	2.3						
年齢	20代	-	30代	6.8	40代	31.8	50代	25.0	60代以上	36.4
学歴	高校卒	2.3	短大・専修等卒	6.8	大学卒	52.3	大学院卒	36.4	その他	2.3
就業状態	雇用者	84.1	(正規比率	86.5)	自営	9.1	不就業	6.8	その他	-

【資格取得時の状況】

①資格を取った時期

SA N=44

在学中・卒業直後	働きながら	仕事を辞めて学習に専念	求職活動中
-	100.0%	-	-

②資格取得動機(回答の多い順にトップ5)

MA N=44

工作上、資格がある ほうが有利だから	自分自身の勉強や 自己啓発のため	肩書きや呼称があると よいと思ったから	より高度な仕事をした いと思ったから	勤め先からの要請や 勸奨があったから
61.4%	45.5%	34.1%	29.5%	27.3%

③資格の魅力、メリット

MA N=44

将来性がある	社会的評価が 高い	経験や知識を 活かせる	適性や志向に 合う	次の資格取得 のステップに なる	ライフスタイル に合った働 き方に役立つ	社会や地域に 貢献できる	取得が比較的 容易
15.9%	59.1%	63.6%	22.7%	6.8%	9.1%	9.1%	2.3%

④学習を始める前の準備

MA N=44

学校や教育訓練 機関の情報収集	資格が活かせる 仕事や就職先の 情報収集	資格取得者の体 験談を聞いた	関連分野に詳 しい人に相談	キャリアコンサ ルタントに相談	必要な費用を 準備	特に準備せず
31.8%	4.5%	38.6%	22.7%	-	6.8%	25.0%

⑤資格取得に要した期間

SA N=44

3か月未満	3か月～6か月未満	6か月～1年未満	1年～2年未満	2年～3年未満	3年以上
4.5%	11.4%	20.5%	29.5%	9.1%	22.7%

⑥資格取得の主な勉強方法

SA N=44

学校	資格取得 スクール	公的職業訓練	業界団体等 の講習会	通信教育	勤務先の勉強 会、OJT	自主的勉強会	自学自習
-	2.3%	-	2.3%	6.8%	9.1%	4.5%	72.7%

⑦利用した経済的支援

MA N=44

教育訓練給付金	無料・実費の 公的職業訓練	学校、団体、公的 機関等の奨学金	勤務先の補助 や貸付制度	利用せず
-	2.3%	2.3%	9.1%	77.3%

⑧資格取得に関して、課題となったこと、苦労したこと(回答の多い順にトップ3及び「特にない」)

MA N=44

仕事との両立	勉強や通学のための時間	学習内容や学習の進め方が よくわからない	特にない
47.7%	20.5%	15.9%	29.5%

【在職中に資格を取得した人の状況】

⑨資格取得活動への職場の対応

SA N=44

積極的に応援	特別な対応なし	あまり歓迎されない 雰囲気	周囲に知られて いなかった	職場に知られない ようにしていた
11.4%	61.4%	2.3%	9.1%	13.6%

⑩資格取得による働き方や処遇の変化

MA N=44

社内で昇進・昇格に結びついた	資格を活かせる部署・担当に異動	社内で担当分野が広がった	職場で表彰された	周囲からの評価が高まった	転職あるいは独立した	職場外のネットワークが広がった	特に変化なし
18.2%	4.5%	6.8%	6.8%	25.0%	2.3%	15.9%	47.7%

⑪資格取得による収入面での変化

MA N=44

勤務先から祝い金や報奨金が出た	基本給がアップした	資格手当がついた	資格所持に伴う活動による副収入を得た	特に変化なし
18.2%	6.8%	15.9%	6.8%	61.4%

【資格取得に対する自己評価】

⑫資格を取得したことについての総合的判断

SA N=44

非常によかった、 メリット大	どちらかという プラス	コストや時間の割に メリット小	まだ判断できない
38.6%	47.7%	9.1%	4.5%

⑬資格を取得して最もよかったと思う点

SA N=38

専門能力や知識が向上	仕事の範囲が拡大	評価や処遇が上昇	収入が増加	人的ネットワーク	職業生活設計のひろがり	社会貢献ができること	将来への備え
31.6%	15.8%	13.2%	5.3%	15.8%	-	2.6%	10.5%

【他の資格との関係】

⑭他の資格も所持している人の割合

68.2%

N= 44

他の主な所持資格(4名以上)

施工管理技士、危険物取扱者、普通自動車免許(二種)、宅地建物取引主任者、基本情報技術者、語学検定

⑮今後、新たな資格の取得を予定している人の割合

勉強中 11.4%

検討中 25.0%

N=44

【資格と仕事との関係】

⑯現在従事している職業(大分類で多い順トップ3)

SA N=41

専門的・技術的職業	管理的職業	事務的職業、販売・営業の職業、サービスの職業、建設の職業、その他の職業
58.5%	29.3%	2.4%

【資格取得とキャリア形成に関する特徴】

ほとんどが男性。雇用者比率、正規比率が高く、不就業が少ない。働きながら資格取得した人が100%。資格取得動機としては「仕事上有利」が6割超、資格の魅力・メリットとしては「経験や知識を活かせる」6割超に続いて「社会的評価が高い」も約6割の人があげている。職場からは特別な支援を受けていない人が大半であるが、「周囲からの評価が高まった」「社内で昇進・昇格」「祝い金や報奨金が出た」など働き方等に反映されるケースも比較的多く、総合的な評価は肯定的な割合が高い。

訪問介護員 2 級・介護職員初任者研修

表の数字は構成比(%)

回答者の属性 (111 人)

性別	男性	35.1	女性	64.9						
年齢	20代	1.8	30代	17.1	40代	26.1	50代	34.2	60代以上	20.7
学歴	高校卒	34.2	短大・専修等卒	22.5	大学卒	37.8	大学院卒	1.8	その他・不明	3.6
就業状態	雇用者	65.8	(正規比率	37.0)	自営	5.4	不就業	26.1	その他・不明	2.7

【資格取得時の状況】

①資格を取った時期

SA N=111

在学中・卒業直後	働きながら	仕事を辞めて学習に専念	求職活動中
3.6%	41.4%	13.5%	33.3%

②資格取得動機(回答の多い順にトップ5)

MA N=111

いずれ何かの役に 立つかもしれない と思ったから	自分自身の勉強や 自己啓発のため	仕事上、資格がある ほうが有利だから	就職活動に役立てる ため	資格が必要な職業に 就くため
32.4%	30.6%	27.9%	27.9%	27.0%

③資格の魅力、メリット

MA N=111

将来性がある	社会的評価が 高い	経験や知識を 活かせる	適性や志向に 合う	次の資格取得 のステップに なる	ライフスタイルに 合った働き方に 役立つ	社会や地域に 貢献できる	取得が比較的 容易
22.5%	4.5%	18.9%	12.6%	11.7%	21.6%	31.5%	41.4%

④学習を始める前の準備

MA N=111

学校や教育訓練 機関の情報収集	資格が活かせる 仕事や就職先の 情報収集	資格取得者の体 験談を聞いた	関連分野に詳 しい人に相談	キャリアコンサ ルタントに相談	必要な費用を 準備	特に準備せず
41.4%	11.7%	8.1%	2.7%	1.8%	20.7%	36.0%

⑤資格取得に要した期間

SA N=111

3か月未満	3か月～6か月未満	6か月～1年未満	1年～2年未満	2年～3年未満	3年以上
40.5%	48.6%	10.8%	-	-	-

⑥資格取得の主な勉強方法

SA N=111

学校	資格取得 スクール	公的職業訓練	業界団体等 の講習会	通信教育	勤務先の勉強 会、OJT	自主的勉強会	自学自習
9.0%	55.9%	11.7%	12.6%	5.4%	0.9%	-	2.7%

⑦利用した経済的支援

MA N=111

教育訓練給付金	無料・実費の 公的職業訓練	学校、団体、公的 機関等の奨学金	勤務先の補助 や貸付制度	利用せず
-	11.7%	1.8%	7.2%	62.2%

⑧資格取得に関して、課題となったこと、苦労したこと(回答の多い順にトップ3及び「特にない」)

MA N=111

仕事との両立	学費、教材費など 費用の負担	資格が実際に役に立つか どうかかわからない	特にない
22.5%	19.8%	18.9%	35.1%

【在職中に資格を取得した人の状況】

⑨資格取得活動への職場の対応

SA N=46

積極的に応援	特別の対応なし	あまり歓迎されない 雰囲気	周囲に知られて いなかった	職場に知られない ようにしていた
21.7%	32.6%	4.3%	19.6%	19.6%

⑩資格取得による働き方や処遇の変化

MA N=46

社内で昇進・昇格に結びついた	資格を活かせる部署・担当に異動	社内で担当分野が広がった	職場で表彰された	周囲からの評価が高まった	転職あるいは独立した	職場外のネットワークが広がった	特に変化なし
4.3%	8.7%	2.2%	-	8.7%	8.7%	4.3%	69.6%

⑪資格取得による収入面での変化

MA N=46

勤務先から祝い金や報奨金が出た	基本給がアップした	資格手当がついた	資格所持に伴う活動による副収入を得た	特に変化なし
-	6.5%	6.5%	6.5%	78.3%

【資格取得に対する自己評価】

⑫資格を取得したことについての総合的判断

SA N=111

非常によかった、 メリット大	どちらかという プラス	コストや時間の割に メリット小	まだ判断できない
18.0%	55.9%	17.1%	9.0%

⑬資格を取得して最もよかったと思う点

SA N=82

専門能力や知識が向上	仕事の範囲が拡大	評価や処遇が上昇	収入が増加	人的ネットワーク	職業生活設計のひろがり	社会貢献ができること	将来への備え
18.3%	11.0%	2.4%	6.1%	2.4%	4.9%	22.0%	30.5%

【他の資格との関係】

⑭他の資格も所持している人の割合

9.9%

N=111

他の主な所持資格

⑮今後、新たな資格の取得を予定している人の割合

勉強中 10.8%

検討中 28.8%

N=111

【資格と仕事との関係】

⑯現在従事している職業（大分類で多い順トップ3）

SA N=81

サービスの職業	専門的・技術的職業	事務的職業
43.2%	22.2%	12.3%

【資格取得とキャリア形成に関する特徴】

女性比率がやや高い。求職活動をしながら資格を取得した人の割合が調査対象資格区分の中で最も高い。取得動機について、「就職活動に役立てる」という回答割合が平均より高いが、「いずれ何かの役に立つかも」、「自分の勉強や自己啓発」という中長期的な目的をあげる回答がそれを上回る。「資格が比較的容易」という点が魅力・メリットと感じられており、介護分野での入門資格として、とりあえず取得した人も多い傾向がうかがえる。総合的評価は「どちらかというプラス」が半数強。

訪問介護員1級・介護職員基礎研修・介護職員実務者研修

表の数字は構成比(%)

回答者の属性 (65人)

性別	男性	53.8	女性	46.2						
年齢	20代	1.5	30代	24.6	40代	35.4	50代	29.2	60代以上	9.2
学歴	高校卒	29.2	短大・専修等卒	30.8	大学卒	30.8	大学院卒	1.5	その他・不明	7.7
就業状態	雇用者	80.0	(正規比率	65.4)	自営	6.2	不就業	10.8	その他・不明	3.1

【資格取得時の状況】

①資格を取った時期

SA N=65

在学中・卒業直後	働きながら	仕事を辞めて学習に専念	求職活動中
9.2%	44.6%	16.9%	29.2%

②資格取得動機(回答の多い順にトップ5)

MA N=65

工作上、資格がある ほうが有利だから	就職活動に役立てる ため	自分自身の勉強や 自己啓発のため	資格が必要な職業に 就くため	安定した職業に 就くため
32.3%	32.3%	29.2%	21.5%	16.9%

③資格の魅力、メリット

MA N=65

将来性がある	社会的評価が 高い	経験や知識を 活かせる	適性や志向に 合う	次の資格取得 のステップに なる	ライフスタイル に合った働 き方に役立つ	社会や地域に 貢献できる	取得が比較的 容易
20.0%	7.7%	26.2%	18.5%	32.3%	12.3%	24.6%	18.5%

④学習を始める前の準備

MA N=65

学校や教育訓練 機関の情報収集	資格が活かせる 仕事や就職先の 情報収集	資格取得者の体 験談を聞いた	関連分野に詳 しい人に相談	キャリアコンサ ルタントに相談	必要な費用を 準備	特に準備せず
40.0%	12.3%	6.2%	4.6%	1.5%	13.8%	47.7%

⑤資格取得に要した期間

SA N=65

3か月未満	3か月～6か月未満	6か月～1年未満	1年～2年未満	2年～3年未満	3年以上
10.8%	38.5%	41.5%	4.6%	3.1%	1.5%

⑥資格取得の主な勉強方法

SA N=65

学校	資格取得 スクール	公的職業訓練	業界団体等 の講習会	通信教育	勤務先の勉強 会、OJT	自主的勉強会	自学自習
21.5%	27.7%	33.8%	6.2%	4.6%	-	-	4.6%

⑦利用した経済的支援

MA N=65

教育訓練給付金	無料・実費の 公的職業訓練	学校、団体、公的 機関等の奨学金	勤務先の補助 や貸付制度	利用せず
-	21.5%	4.6%	6.2%	46.2%

⑧資格取得に関して、課題となったこと、苦勞したこと(回答の多い順にトップ3及び「特にない」)

MA N=65

学費、教材費など 費用の負担	仕事との両立	勉強や通学のための時間	特にない
26.2%	21.5%	12.3%	38.5%

【在職中に資格を取得した人の状況】

⑨資格取得活動への職場の対応

SA N=29

積極的に応援	特別の対応なし	あまり歓迎されない 雰囲気	周囲に知られて いなかった	職場に知られない ようにしていた
34.5%	41.4%	3.4%	6.9%	10.3%

⑩資格取得による働き方や処遇の変化

MA N=29

社内で昇進・昇格に結びついた	資格を活かせる部署・担当に異動	社内で担当分野が広がった	職場で表彰された	周囲からの評価が高まった	転職あるいは独立した	職場外のネットワークが広がった	特に変化なし
24.1%	13.8%	3.4%	-	13.8%	17.2%	13.8%	34.5%

⑪資格取得による収入面での変化

MA N=29

勤務先から祝い金や報奨金が出た	基本給がアップした	資格手当がついた	資格所持に伴う活動による副収入を得た	特に変化なし
3.4%	10.3%	37.9%	3.4%	58.6%

【資格取得に対する自己評価】

⑫資格を取得したことについての総合的判断

SA N=65

非常によかった、メリット大	どちらかというプラス	コストや時間の割にメリット小	まだ判断できない
30.8%	47.7%	12.3%	9.2%

⑬資格を取得して最もよかったと思う点

SA N=51

専門能力や知識が向上	仕事の範囲が拡大	評価や処遇が上昇	収入が増加	人的ネットワーク	職業生活設計のひろがり	社会貢献ができること	将来への備え
31.4%	19.6%	5.9%	11.8%	5.9%	2.0%	9.8%	11.8%

【他の資格との関係】

⑭他の資格も所持している人の割合

78.5%

N= 65

他の主な所持資格(5名以上)

訪問介護員 2 級・介護職員初任者研修、介護福祉士、普通自動車免許（二種）、介護支援専門員（ケアマネージャー）、移動支援従業者（ガイドヘルパー）、簿記、社会福祉士

⑮今後、新たな資格の取得を予定している人の割合

勉強中 27.7%

検討中 33.8%

N=65

【資格と仕事との関係】

⑯現在従事している職業（大分類で多い順トップ3）

SA N=57

サービスの職業	専門的・技術的職業	管理的職業、事務的職業
40.4%	29.8%	8.8%

【資格取得とキャリア形成に関する特徴】

男女比はほぼ半々。求職活動中に資格を取得した人の割合が訪問介護員 2 級に次いで高い。資格取得動機では、「仕事上有利」「就職活動に役立てる」が上位にきており、就業と関連する目的意識がより明確となっている。在職中に資格取得した人の場合、「社内で昇進・昇格」、「転職・独立」、「資格手当がついた」とする割合が高く、資格を取得したことが、働き方や処遇、収入面に反映されやすい傾向がみられる。新たな資格取得を予定している人の割合が高い。総合的評価は 8 割弱が肯定的。

介護福祉士

表の数字は構成比(%)

回答者の属性 (68人)

性別	男性	35.3	女性	64.7						
年齢	20代	1.5	30代	29.4	40代	39.7	50代	29.4	60代以上	-
学歴	高校卒	22.1	短大・専修等卒	41.2	大学卒	32.4	大学院卒	-	その他	4.4
就業状態	雇用者	79.4	(正規比率	66.7)	自営	-	不就業	17.6	その他・不明	2.9

【資格取得時の状況】

①資格を取った時期

SA N=68

在学中・卒業直後	働きながら	仕事を辞めて学習に専念	求職活動中
16.2%	79.4%	4.4%	-

②資格取得動機(回答の多い順にトップ5)

MA N=68

工作上、資格がある ほうが有利だから	自分自身の勉強や 自己啓発のため	資格が必要な職業に 就くため	安定した職業に 就くため	就職活動に役立てる ため
66.2%	33.8%	25.0%	22.1%	19.1%

③資格の魅力、メリット

MA N=68

将来性がある	社会的評価が 高い	経験や知識を 活かせる	適性や志向に 合う	次の資格取得 のステップに なる	ライフスタイル に合った働 き方に役立つ	社会や地域に 貢献できる	取得が比較的 容易
29.4%	16.2%	39.7%	27.9%	36.8%	16.2%	23.5%	13.2%

④学習を始める前の準備

MA N=68

学校や教育訓練 機関の情報収集	資格が活かせる 仕事や就職先の 情報収集	資格取得者の体 験談を聞いた	関連分野に詳 しい人に相談	キャリアコンサ ルタントに相談	必要な費用を 準備	特に準備せず
50.0%	14.7%	19.1%	5.9%	2.9%	32.4%	23.5%

⑤資格取得に要した期間

SA N=68

3か月未満	3か月～6か月未満	6か月～1年未満	1年～2年未満	2年～3年未満	3年以上
10.3%	13.2%	25.0%	17.6%	20.6%	13.2%

⑥資格取得の主な勉強方法

SA N=68

学校	資格取得 スクール	公的職業訓練	業界団体等 の講習会	通信教育	勤務先の勉強 会、OJT	自主的勉強会	自学自習
23.5%	11.8%	-	1.5%	11.8%	2.9%	-	48.5%

⑦利用した経済的支援

MA N=68

教育訓練給付金	無料・実費の 公的職業訓練	学校、団体、公的 機関等の奨学金	勤務先の補助 や貸付制度	利用せず
-	5.9%	7.4%	4.4%	73.5%

⑧資格取得に関して、課題となったこと、苦労したこと(回答の多い順にトップ3及び「特にない」)

MA N=68

仕事との両立	勉強や通学のための時間	学費、教材費など費用 の負担	特にない
42.6%	26.5%	25.0%	22.1%

【在職中に資格を取得した人の状況】

⑨資格取得活動への職場の対応

SA N=54

積極的に応援	特別の対応なし	あまり歓迎されない 雰囲気	周囲に知られて いなかった	職場に知られない ようにしていた
24.1%	50.0%	3.7%	5.6%	11.1%

⑩資格取得による働き方や処遇の変化

MA N=54

社内で昇進・昇格に結びついた	資格を活かせる部署・担当に異動	社内で担当分野が広がった	職場で表彰された	周囲からの評価が高まった	転職あるいは独立した	職場外のネットワークが広がった	特に変化なし
11.1%	3.7%	3.7%	3.7%	11.1%	5.6%	1.9%	61.1%

⑪資格取得による収入面での変化

MA N=54

勤務先から祝い金や報奨金が出た	基本給がアップした	資格手当がついた	資格所持に伴う活動による副収入を得た	特に変化なし
3.7%	11.1%	42.6%	1.9%	46.3%

【資格取得に対する自己評価】

⑫資格を取得したことについての総合的判断

SA N=68

非常によかった、メリット大	どちらかというプラス	コストや時間の割にメリット小	まだ判断できない
29.4%	48.5%	14.7%	7.4%

⑬資格を取得して最もよかったと思う点

SA N=53

専門能力や知識が向上	仕事の範囲が拡大	評価や処遇が上昇	収入が増加	人的ネットワーク	職業生活設計のひろがり	社会貢献ができること	将来への備え
28.3%	9.4%	1.9%	24.5%	1.9%	7.5%	7.5%	15.1%

【他の資格との関係】

⑭他の資格も所持している人の割合

47.1%

N= 68

他の主な所持資格(4名以上)

訪問介護員2級・介護職員初任者研修、普通自動車免許(二種)、簿記、基本情報技術者、語学検定

⑮今後、新たな資格の取得を予定している人の割合

勉強中 22.1%

検討中 32.4%

N=68

【資格と仕事との関係】

⑯現在従事している職業(大分類で多い順トップ3)

SA N=55

サービスの職業	専門的・技術的職業	事務的職業
58.2%	25.5%	7.3%

【資格取得とキャリア形成に関する特徴】

女性比率がやや高い。在職時に取得した人が8割。取得動機として「仕事上有利」をあげる人が多く、働きながら資格取得した人の4割強が「資格手当がついた」としており、資格取得が収入面に反映されている。「転職・独立」の比率は比較的低く、在職中の職場で資格が活用されるケースが多いことがうかがえる。3人に1人が資格の魅力・メリットとして「次の資格のステップ」をあげ、新たな資格を取得予定の人の割合が高い。取得時の課題は「仕事との両立」。全体的評価は8割弱が肯定的判断。

介護支援専門員(ケアマネージャー)

表の数字は構成比(%)

回答者の属性 (55人)

性別	男性	27.3	女性	72.7						
年齢	20代	1.8	30代	21.8	40代	25.5	50代	43.6	60代以上	7.3
学歴	高校卒	12.7	短大・専修等卒	41.8	大学卒	38.2	大学院卒	5.5	その他	1.8
就業状態	雇用者	80.0	(正規比率	75.0)	自営	7.3	不就業	12.7	その他	-

【資格取得時の状況】

①資格を取った時期

SA N=55

在学中・卒業直後	働きながら	仕事を辞めて学習に専念	求職活動中
1.8%	92.7%	3.6%	1.8%

②資格取得動機(回答の多い順にトップ5)

MA N=55

工作上、資格がある ほうが有利だから	自分自身の勉強や 自己啓発のため	仕事の範囲を広げたい と思ったから	将来の転職のため	資格が必要な職業に 就くため
67.3%	38.2%	34.5%	32.7%	25.5%

③資格の魅力、メリット

MA N=55

将来性がある	社会的評価が 高い	経験や知識を 活かせる	適性や志向に 合う	次の資格取得 のステップに なる	ライフスタイル に合った働 き方に役立つ	社会や地域に 貢献できる	取得が比較的 容易
30.9%	20.0%	72.7%	20.0%	16.4%	18.2%	18.2%	7.3%

④学習を始める前の準備

MA N=55

学校や教育訓練 機関の情報収集	資格が活かせる 仕事や就職先の 情報収集	資格取得者の体 験談を聞いた	関連分野に詳 しい人に相談	キャリアコンサ ルタントに相談	必要な費用を 準備	特に準備せず
27.3%	10.9%	9.1%	-	-	16.4%	38.2%

⑤資格取得に要した期間

SA N=55

3か月未満	3か月～6か月未満	6か月～1年未満	1年～2年未満	2年～3年未満	3年以上
18.2%	34.5%	23.6%	20.0%	1.8%	1.8%

⑥資格取得の主な勉強方法

SA N=55

学校	資格取得 スクール	公的職業訓練	業界団体等 の講習会	通信教育	勤務先の勉強 会、OJT	自主的勉強会	自学自習
1.8%	-	-	1.8%	16.4%	5.5%	-	74.5%

⑦利用した経済的支援

MA N=55

教育訓練給付金	無料・実費の 公的職業訓練	学校、団体、公的 機関等の奨学金	勤務先の補助 や貸付制度	利用せず
-	5.5%	-	5.5%	87.3%

⑧資格取得に関して、課題となったこと、苦労したこと(回答の多い順にトップ3及び「特にない」)

MA N=55

仕事との両立	勉強や通学のための時間	家事、育児など 家庭との両立	特にない
60.0%	14.5%	12.7%	21.8%

【在職中に資格を取得した人の状況】

⑨資格取得活動への職場の対応

SA N=51

積極的に応援	特別の対応なし	あまり歓迎されない 雰囲気	周囲に知られて いなかった	職場に知られない ようにしていた
15.7%	56.9%	2.0%	7.8%	15.7%

⑩資格取得による働き方や処遇の変化

MA N=51

社内で昇進・昇格に結びついた	資格を活かせる部署・担当に異動	社内で担当分野が広がった	職場で表彰された	周囲からの評価が高まった	転職あるいは独立した	職場外のネットワークが広がった	特に変化なし
5.9%	13.7%	11.8%	-	19.6%	11.8%	3.9%	41.2%

⑪資格取得による収入面での変化

MA N=51

勤務先から祝い金や報奨金が出た	基本給がアップした	資格手当がついた	資格所持に伴う活動による副収入を得た	特に変化なし
5.9%	9.8%	11.8%	3.9%	68.6%

【資格取得に対する自己評価】

⑫資格を取得したことについての総合的判断

SA N=55

非常によかった、メリット大	どちらかというプラス	コストや時間の割にメリット小	まだ判断できない
18.2%	54.5%	14.5%	12.7%

⑬資格を取得して最もよかったと思う点

SA N=40

専門能力や知識が向上	仕事の範囲が拡大	評価や処遇が上昇	収入が増加	人的ネットワーク	職業生活設計のひろがり	社会貢献ができること	将来への備え
45.0%	27.5%	2.5%	5.0%	2.5%	2.5%	5.0%	10.0%

【他の資格との関係】

⑭他の資格も所持している人の割合

92.7%

N= 55

他の主な所持資格(4名以上)

介護福祉士、看護師・准看護師、訪問介護員 2 級・介護職員初任者研修、普通自動車免許(二種)、医療事務、社会福祉士、簿記

⑮今後、新たな資格の取得を予定している人の割合

勉強中 14.5%

検討中 25.5%

N=55

【資格と仕事との関係】

⑯現在従事している職業(大分類で多い順トップ3)

SA N=48

専門的・技術的職業	サービスの職業	管理的職業
60.4%	25.0%	8.3%

【資格取得とキャリア形成に関する特徴】

女性が多い。9割以上が働きながら資格を取得。取得動機として「仕事上有利」が7割弱、資格の魅力・メリットとして「経験や知識を活かせる」が7割強にのぼり、それまでの仕事経験と密接に結びついている。このため、資格取得の課題として「仕事との両立」をあげる人が6割と多い。職場の応援はあまり受けていないが、2割が「周囲からの評価が高まった」としている。介護・福祉、医療分野などの他の資格を所持する割合が高い傾向がみられる。全体的評価としては7割強が肯定的判断。

移動支援従業者(ガイドヘルパー)

表の数字は構成比(%)

回答者の属性 (35人)

性別	男性	31.4	女性	68.6						
年齢	20代	-	30代	14.3	40代	20.0	50代	45.7	60代以上	20.0
学歴	高校卒	17.1	短大・専修等卒	34.3	大学卒	45.7	大学院卒	-	不明	2.9
就業状態	雇用者	57.1	(正規比率	30.0)	自営	14.3	不就業	17.1	不明	11.4

【資格取得時の状況】

①資格を取った時期

SA N=35

在学中・卒業直後	働きながら	仕事を辞めて学習に専念	求職活動中
2.9%	57.1%	2.9%	25.7%

②資格取得動機(回答の多い順にトップ5)

MA N=35

自分自身の勉強や自己啓発のため	仕事の範囲を広げたいと思ったから	いずれ何かの役に立つかもしれないと思ったから	資格が必要な職業に就くため	仕事上、資格があるほうが有利だから
34.3%	31.4%	31.4%	28.6%	25.7%

③資格の魅力、メリット

MA N=35

将来性がある	社会的評価が高い	経験や知識を活かせる	適性や志向に合う	次の資格取得のステップになる	ライフスタイルに合った働き方に役立つ	社会や地域に貢献できる	取得が比較的容易
11.4%	8.6%	22.9%	11.4%	8.6%	17.1%	54.3%	28.6%

④学習を始める前の準備

MA N=35

学校や教育訓練機関の情報収集	資格を活かせる仕事や就職先の情報収集	資格取得者の体験談を聞いた	関連分野に詳しい人に相談	キャリアコンサルタントに相談	必要な費用を準備	特に準備せず
28.6%	8.6%	11.4%	2.9%	-	14.3%	54.3%

⑤資格取得に要した期間

SA N=35

3か月未満	3か月～6か月未満	6か月～1年未満	1年～2年未満	2年～3年未満	3年以上
80.0%	11.4%	5.7%	-	2.9%	-

⑥資格取得の主な勉強方法

SA N=35

学校	資格取得スクール	公的職業訓練	業界団体等の講習会	通信教育	勤務先の勉強会、OJT	自主的勉強会	自学自習
-	34.3%	11.4%	34.3%	2.9%	-	-	11.4%

⑦利用した経済的支援

MA N=35

教育訓練給付金	無料・実費の公的職業訓練	学校、団体、公的機関等の奨学金	勤務先の補助や貸付制度	利用せず
-	11.4%	-	-	74.3%

⑧資格取得に関して、課題となったこと、苦労したこと(回答の多い順にトップ3及び「特にない」)

MA N=35

資格が実際に役に立つかわからない	学費、教材費など費用の負担	仕事との両立	特にない
14.3%	11.4%	11.4%	54.3%

【在職中に資格を取得した人の状況】

⑨資格取得活動への職場の対応

SA N=20

積極的に応援	特別の対応なし	あまり歓迎されない 雰囲気	周囲に知られて いなかった	職場に知られない ようにしていた
10.0%	50.0%	10.0%	15.0%	10.0%

⑩資格取得による働き方や処遇の変化

MA N=20

社内で昇進・昇格に結びついた	資格を活かせる部署・担当に異動	社内で担当分野が広がった	職場で表彰された	周囲からの評価が高まった	転職あるいは独立した	職場外のネットワークが広がった	特に変化なし
-	5.0%	-	-	-	5.0%	5.0%	85.0%

⑪資格取得による収入面での変化

MA N=20

勤務先から祝い金や報奨金が出た	基本給がアップした	資格手当がついた	資格所持に伴う活動による副収入を得た	特に変化なし
-	-	-	5.0%	95.0%

【資格取得に対する自己評価】

⑫資格を取得したことについての総合的判断

SA N=35

非常によかった、メリット大	どちらかというプラス	コストや時間の割にメリット小	まだ判断できない
17.1%	54.3%	5.7%	22.9%

⑬資格を取得して最もよかったと思う点

SA N=25

専門能力や知識が向上	仕事の範囲が拡大	評価や処遇が上昇	収入が増加	人的ネットワーク	職業生活設計のひろがり	社会貢献ができること	将来への備え
16.0%	28.0%	-	4.0%	12.0%	8.0%	28.0%	4.0%

【他の資格との関係】

⑭他の資格も所持している人の割合

97.1%

N= 35

他の主な所持資格(3名以上)

訪問介護員2級・介護職員初任者研修、普通自動車免許(二種)、介護福祉士、簿記、語学検定、社会福祉士、秘書検定

⑮今後、新たな資格の取得を予定している人の割合

勉強中 8.6%

検討中 31.4%

N=35

【資格と仕事との関係】

⑯現在従事している職業(大分類で多い順トップ3)

SA N=25

サービスの職業	専門的・技術的職業	事務的職業
52.0%	36.0%	8.0%

【資格取得とキャリア形成に関する特徴】

男女比約1:2。正規比率が低い。働きながら、あるいは求職活動中に資格を取得した人が多い。取得動機として「仕事の範囲を広げたい」「いずれ何かの役に立つかも」とする人が3割を超え、他の資格を併せて所持している人の割合も高いことから、プラスアルファとして取得する人が多い傾向にあることがうかがえる。資格取得に要した期間は短く、3か月未満とする人が8割である。(サンプル数が少ないが)資格取得が処遇や収入に反映されたとする人は少数である。全体的評価は7割強が肯定的。

福祉用具専門相談員

表の数字は構成比(%)

回答者の属性 (44人)

性別	男性	61.4	女性	38.6						
年齢	20代	-	30代	13.6	40代	27.3	50代	34.1	60代以上	25.0
学歴	高校卒	22.7	短大・専修等卒	27.3	大学卒	40.9	大学院卒	-	その他	9.1
就業状態	雇用者	63.6	(正規比率	57.1)	自営	18.2	不就業	15.9	その他	2.3

【資格取得時の状況】

①資格を取った時期

SA N=44

在学中・卒業直後	働きながら	仕事を辞めて学習に専念	求職活動中
-	61.4%	6.8%	25.0%

②資格取得動機(回答の多い順にトップ5)

MA N=44

工作上、資格があるほうが有利だから	自分自身の勉強や自己啓発のため	資格が必要な職業に就くため	いずれ何かの役に立つかもしれないと思ったから	仕事の範囲を広げたいと思ったから
29.5%	29.5%	27.3%	27.3%	25.0%

③資格の魅力、メリット

MA N=44

将来性がある	社会的評価が高い	経験や知識を活かせる	適性や志向に合う	次の資格取得のステップになる	ライフスタイルに合った働き方に役立つ	社会や地域に貢献できる	取得が比較的容易
13.6%	9.1%	36.4%	11.4%	27.3%	6.8%	11.4%	43.2%

④学習を始める前の準備

MA N=44

学校や教育訓練機関の情報収集	資格が活かせる仕事や就職先の情報収集	資格取得者の体験談を聞いた	関連分野に詳しい人に相談	キャリアコンサルタントに相談	必要な費用を準備	特に準備せず
29.5%	15.9%	2.3%	-	-	15.9%	54.5%

⑤資格取得に要した期間

SA N=44

3か月未満	3か月～6か月未満	6か月～1年未満	1年～2年未満	2年～3年未満	3年以上
72.7	22.7	4.5	-	-	-

⑥資格取得の主な勉強方法

SA N=44

学校	資格取得スクール	公的職業訓練	業界団体等の講習会	通信教育	勤務先の勉強会、OJT	自主的勉強会	自学自習
6.8%	43.2%	15.9%	29.5%	-	-	-	4.5%

⑦利用した経済的支援

MA N=44

教育訓練給付金	無料・実費の公的職業訓練	学校、団体、公的機関等の奨学金	勤務先の補助や貸付制度	利用せず
-	13.6%	-	11.4%	63.6%

⑧資格取得に関して、課題となったこと、苦労したこと(回答の多い順にトップ3及び「特にない」)

MA N=44

資格が実際に役に立つかわからない	勉強や通学のための時間	仕事との両立	特にない
13.6%	11.4%	11.4%	52.3%

【在職中に資格を取得した人の状況】

⑨資格取得活動への職場の対応

SA N=27

積極的に応援	特別の対応なし	あまり歓迎されない 雰囲気	周囲に知られて いなかった	職場に知られない ようにしていた
25.9%	44.4%	3.7%	14.8%	7.4%

⑩資格取得による働き方や処遇の変化

MA N=27

社内で昇進・昇格に結びついた	資格を活かせる部署・担当に異動	社内で担当分野が広がった	職場で表彰された	周囲からの評価が高まった	転職あるいは独立した	職場外のネットワークが広がった	特に変化なし
3.7%	7.4%	11.1%	-	7.4%	-	11.1%	77.8%

⑪資格取得による収入面での変化

MA N=27

勤務先から祝い金や報奨金が出た	基本給がアップした	資格手当がついた	資格所持に伴う活動による副収入を得た	特に変化なし
-	-	3.7%	-	96.3%

【資格取得に対する自己評価】

⑫資格を取得したことについての総合的判断

SA N=44

非常によかった、メリット大	どちらかというプラス	コストや時間の割にメリット小	まだ判断できない
4.5%	52.3%	18.2%	25.0%

⑬資格を取得して最もよかったと思う点

SA N=25

専門能力や知識が向上	仕事の範囲が拡大	評価や処遇が上昇	収入が増加	人的ネットワーク	職業生活設計のひろがり	社会貢献ができること	将来への備え
40.0%	28.0%	8.0%	-	-	-	8.0%	8.0%

【他の資格との関係】

⑭他の資格も所持している人の割合

90.9%

N= 44

他の主な所持資格(4名以上)

訪問介護員2級・介護職員初任者研修、簿記、普通自動車免許(二種)、介護支援専門員(ケアマネージャー)、介護福祉士、ファイナンシャル・プランナー、大型自動車免許

⑮今後、新たな資格の取得を予定している人の割合

勉強中 11.4%

検討中 20.5%

N=44

【資格と仕事との関係】

⑯現在従事している職業(大分類で多い順トップ3)

SA N=37

専門的・技術的職業	サービスの職業	事務的職業
29.7%	29.7%	18.9%

【資格取得とキャリア形成に関する特徴】

男性がやや多い。在職中、あるいは求職活動中に資格を取得した人が多い。取得動機は仕事関連と自己啓発とに分散している。「取得が比較的容易」という点が魅力・メリットとなっており、資格取得に要した期間も短い。資格取得が処遇や収入面に反映されている人は少ない。資格取得の全体的評価として、「非常によかった」とする人の割合は高くないが、他の資格も所持している人が多いことから、仕事に必須というよりも、プラスアルファとして取得する人が多い傾向にあることがうかがえる。

精神保健福祉士

表の数字は構成比(%)

回答者の属性 (97人)

性別	男性	50.5	女性	49.5						
年齢	20代	4.1	30代	40.2	40代	35.1	50代	15.5	60代以上	5.2
学歴	高校卒	-	短大・専修等卒	16.5	大学卒	69.1	大学院卒	11.3	その他	3.1
就業状態	雇用者	88.7	(正規比率	84.9)	自営	7.2	不就業	4.1	その他	-

【資格取得時の状況】

①資格を取った時期

SA N=97

在学中・卒業直後	働きながら	仕事を辞めて学習に専念	求職活動中
15.5%	76.3%	7.2%	-

②資格取得動機(回答の多い順にトップ5)

MA N=97

工作上、資格がある ほうが有利だから	自分自身の勉強や 自己啓発のため	資格が必要な職業に 就くため	仕事の範囲を広げ たいと思ったから	より高度な仕事をし たいと思ったから
57.7%	48.5%	40.2%	36.1%	23.7%

③資格の魅力、メリット

MA N=97

将来性がある	社会的評価が 高い	経験や知識を 活かせる	適性や志向に 合う	次の資格取得 のステップに なる	ライフスタイルに 合った働き方に 役立つ	社会や地域に 貢献できる	取得が比較的 容易
12.4%	11.3%	64.9%	50.5%	13.4%	12.4%	33.0%	11.3%

④学習を始める前の準備

MA N=97

学校や教育訓練 機関の情報収集	資格が活かせる 仕事や就職先の 情報収集	資格取得者の体 験談を聞いた	関連分野に詳 しい人に相談	キャリアコンサ ルタントに相談	必要な費用を 準備	特に準備せず
76.3%	18.6%	8.2%	5.2%	-	33.0%	10.3%

⑤資格取得に要した期間

SA N=97

3か月未満	3か月～6か月未満	6か月～1年未満	1年～2年未満	2年～3年未満	3年以上
2.1%	5.2%	48.5%	24.7%	10.3%	9.3%

⑥資格取得の主な勉強方法

SA N=97

学校	資格取得 スクール	公的職業訓練	業界団体等 の講習会	通信教育	勤務先の勉強 会、OJT	自主的勉強会	自学自習
55.7%	1.0%	-	4.1%	14.4%	1.0%	1.0%	20.6%

⑦利用した経済的支援

MA N=97

教育訓練給付金	無料・実費の 公的職業訓練	学校、団体、公的 機関等の奨学金	勤務先の補助 や貸付制度	利用せず
-	1.0%	6.2%	6.2%	68.0%

⑧資格取得に関して、課題となったこと、苦労したこと(回答の多い順にトップ3及び「特にない」)

MA N=97

仕事との両立	勉強や通学のための時間	学費、教材費など費用 の負担	特にない
58.8%	33.0%	25.8%	16.5%

【在職中に資格を取得した人の状況】

⑨資格取得活動への職場の対応

SA N=74

積極的に応援	特別の対応なし	あまり歓迎されない 雰囲気	周囲に知られて いなかった	職場に知られない ようにしていた
33.8%	43.2%	8.1%	8.1%	4.1%

⑩資格取得による働き方や処遇の変化

MA N=74

社内で昇進・昇格に結びついた	資格を活かせる部署・担当に異動	社内で担当分野が広がった	職場で表彰された	周囲からの評価が高まった	転職あるいは独立した	職場外のネットワークが広がった	特に変化なし
9.5%	8.1%	14.9%	1.4%	18.9%	20.3%	17.6%	37.8%

⑪資格取得による収入面での変化

MA N=74

勤務先から祝い金や報奨金が出た	基本給がアップした	資格手当がついた	資格所持に伴う活動による副収入を得た	特に変化なし
6.8%	8.1%	12.2%	2.7%	75.7%

【資格取得に対する自己評価】

⑫資格を取得したことについての総合的判断

SA N=97

非常によかった、メリット大	どちらかというプラス	コストや時間の割にメリット小	まだ判断できない
37.1%	45.4%	11.3%	6.2%

⑬資格を取得して最もよかったと思う点

SA N=80

専門能力や知識が向上	仕事の範囲が拡大	評価や処遇が上昇	収入が増加	人的ネットワーク	職業生活設計のひろがり	社会貢献ができること	将来への備え
45.0%	18.8%	5.0%	6.3%	6.3%	6.3%	5.0%	3.8%

【他の資格との関係】

⑭他の資格も所持している人の割合

83.5%

N= 97

他の主な所持資格(6名以上)

社会福祉士、介護支援専門員(ケアマネージャー)、訪問介護員2級・介護職員初任者研修、介護福祉士、簿記、大型自動車免許、語学検定、普通自動車免許(二種)、移動支援従事者(ガイドヘルパー)、保育士、産業カウンセラー

⑮今後、新たな資格の取得を予定している人の割合

勉強中 17.5%

検討中 27.8%

N=97

【資格と仕事との関係】

⑯現在従事している職業(大分類で多い順トップ3)

SA N=93

専門的・技術的職業	事務的職業	サービスの職業
69.9%	11.8%	9.7%

【資格取得とキャリア形成に関する特徴】

男女比ほぼ半々、正規比率が高い。4人に3人が在職中に取得。取得動機として「仕事上有利」をあげる人が6割弱。在職中取得した人の2割が「転職・独立した」としており、資格取得が労働移動に結びついた割合が比較的高い。資格の魅力・メリットとして、「経験・知識」や「適性・志向」といった自分自身との適合性をあげる人が多い。学習を始める前の準備として、4人に3人は「学校や教育訓練機関の情報収集」を行うなど、事前準備をした人の割合が高い。全体的評価は8割強が肯定的判断。

社会福祉士

表の数字は構成比(%)

回答者の属性 (48人)

性別	男性	47.9	女性	52.1						
年齢	20代	10.4	30代	35.4	40代	33.3	50代	14.6	60代以上	6.3
学歴	高校卒	2.1	短大・専修等卒	8.3	大学卒	85.4	大学院卒	4.2	その他	-
就業状態	雇用者	79.2	(正規比率	73.7)	自営	6.3	不就業	6.3	その他・不明	8.3

【資格取得時の状況】

①資格を取った時期

SA N=48

在学中・卒業直後	働きながら	仕事を辞めて学習に専念	求職活動中
27.1%	54.2%	10.4%	-

②資格取得動機(回答の多い順にトップ5)

MA N=48

工作上、資格があるほうが有利だから	資格が必要な職業に就くため	自分自身の勉強や自己啓発のため	より高度な仕事をしたいと思ったから	将来の転職のため
54.2%	37.5%	35.4%	27.1%	27.1%

③資格の魅力、メリット

MA N=48

将来性がある	社会的評価が高い	経験や知識を活かせる	適性や志向に合う	次の資格取得のステップになる	ライフスタイルに合った働き方に役立つ	社会や地域に貢献できる	取得が比較的容易
12.5%	12.5%	54.2%	50.0%	16.7%	14.6%	45.8%	2.1%

④学習を始める前の準備

MA N=48

学校や教育訓練機関の情報収集	資格を活かせる仕事や就職先の情報収集	資格取得者の体験談を聞いた	関連分野に詳しい人に相談	キャリアコンサルタントに相談	必要な費用を準備	特に準備せず
54.2%	18.8%	14.6%	4.2%	-	25.0%	27.1%

⑤資格取得に要した期間

SA N=48

3か月未満	3か月～6か月未満	6か月～1年未満	1年～2年未満	2年～3年未満	3年以上
6.3%	6.3%	20.8%	25.0%	10.4%	31.3%

⑥資格取得の主な勉強方法

SA N=48

学校	資格取得スクール	公的職業訓練	業界団体等の講習会	通信教育	勤務先の勉強会、OJT	自主的勉強会	自学自習
37.5%	10.4%	-	-	16.7%	-	4.2%	31.3%

⑦利用した経済的支援

MA N=48

教育訓練給付金	無料・実費の公的職業訓練	学校、団体、公的機関等の奨学金	勤務先の補助や貸付制度	利用せず
-	-	6.3%	8.3%	72.9%

⑧資格取得に関して、課題となったこと、苦勞したこと(回答の多い順にトップ3及び「特にない」)

MA N=48

仕事との両立	勉強や通学のための時間	学費、教材費など費用の負担	特にない
52.1%	29.2%	22.9%	22.9%

【在職中に資格を取得した人の状況】

⑨資格取得活動への職場の対応

SA N=26

積極的に応援	特別の対応なし	あまり歓迎されない 雰囲気	周囲に知られて いなかった	職場に知られない ようにしていた
11.5%	50.0%	7.7%	15.4%	11.5%

⑩資格取得による働き方や処遇の変化

MA N=26

社内で昇進・昇格に結びついた	資格を活かせる部署・担当に異動	社内で担当分野が広がった	職場で表彰された	周囲からの評価が高まった	転職あるいは独立した	職場外のネットワークが広がった	特に変化なし
3.8%	7.7%	7.7%	3.8%	15.4%	23.1%	11.5%	42.3%

⑪資格取得による収入面での変化

MA N=26

勤務先から祝い金や報奨金が出た	基本給がアップした	資格手当がついた	資格所持に伴う活動による副収入を得た	特に変化なし
7.7%	7.7%	7.7%	-	76.9%

【資格取得に対する自己評価】

⑫資格を取得したことについての総合的判断

SA N=48

非常によかった、 メリット大	どちらかという プラス	コストや時間の割に メリット小	まだ判断できない
31.3%	45.8%	18.8%	4.2%

⑬資格を取得して最もよかったと思う点

SA N=37

専門能力や知識が向上	仕事の範囲が拡大	評価や処遇が上昇	収入が増加	人的ネットワーク	職業生活設計のひろがり	社会貢献ができること	将来への備え
32.4%	18.9%	8.1%	5.4%	5.4%	2.7%	16.2%	5.4%

【他の資格との関係】

⑭他の資格も所持している人の割合

70.8%

N= 48

他の主な所持資格(5名以上)

訪問介護員2級・介護職員初任者研修、介護福祉士、介護支援専門員(ケアマネージャー)、大型自動車免許、簿記、語学検定

⑮今後、新たな資格の取得を予定している人の割合

勉強中 12.5%

検討中 35.4%

N=48

【資格と仕事との関係】

⑯現在従事している職業(大分類で多い順トップ3)

SA N=43

専門的・技術的職業	事務的職業	管理的職業
60.5%	20.9%	7.0%

【資格取得とキャリア形成に関する特徴】

男女比ほぼ半々。半数強が在職時、約4分の1が在学時に資格取得。資格の魅力・メリットとして半数の人が「経験・知識」や「適性・志向」といった自分との適合性をあげ、「社会や地域に貢献」も多い。取得に要した期間が長い人が多く、「仕事や就職先の情報収集」「資格取得者の体験談を聞いた」などの準備をした割合が比較的高い。在職中に資格取得した場合、「転職・独立した」が2割を超え、労働移動と結びついた人の割合が他と比べて高い。全体的評価は4人に3人が肯定的判断。

保育士

表の数字は構成比(%)

回答者の属性 (103人)

性別	男性	1.9	女性	98.1						
年齢	20代	4.9	30代	29.1	40代	28.2	50代	21.4	60代以上	16.5
学歴	高校卒	3.9	短大・専修等卒	64.1	大学卒	29.1	大学院卒	1.9	その他	1.0
就業状態	雇用者	58.3	(正規比率	38.3)	自営	3.9	不就業	33.0	その他・不明	4.9

【資格取得時の状況】

①資格を取った時期

SA N=103

在学中・卒業直後	働きながら	仕事を辞めて学習に専念	求職活動中
58.3%	25.2%	4.9%	2.9%

②資格取得動機(回答の多い順にトップ5)

MA N=103

資格が必要な職業に就くため	いずれ何かの役に立つかもしれないと思ったから	自分自身の勉強や自己啓発のため	仕事上、資格があるほうが有利だから	安定した職業に就くため
52.4%	28.2%	26.2%	24.3%	11.7%

③資格の魅力、メリット

MA N=103

将来性がある	社会的評価が高い	経験や知識を活かせる	適性や志向に合う	次の資格取得のステップになる	ライフスタイルに合った働き方に役立つ	社会や地域に貢献できる	取得が比較的容易
21.4%	6.8%	38.8%	44.7%	4.9%	19.4%	16.5%	19.4%

④学習を始める前の準備

MA N=103

学校や教育訓練機関の情報収集	資格を活かせる仕事や就職先の情報収集	資格取得者の体験談を聞いた	関連分野に詳しい人に相談	キャリアコンサルタントに相談	必要な費用を準備	特に準備せず
54.4%	8.7%	4.9%	1.0%	-	8.7%	33.0%

⑤資格取得に要した期間

SA N=103

3か月未満	3か月～6か月未満	6か月～1年未満	1年～2年未満	2年～3年未満	3年以上
2.9%	1.9%	10.7%	42.7%	29.1%	11.7%

⑥資格取得の主な勉強方法

SA N=103

学校	資格取得スクール	公的職業訓練	業界団体等の講習会	通信教育	勤務先の勉強会、OJT	自主的勉強会	自学自習
61.2%	3.9%	-	2.9%	17.5%	-	-	14.6%

⑦利用した経済的支援

MA N=103

教育訓練給付金	無料・実費の公的職業訓練	学校、団体、公的機関等の奨学金	勤務先の補助や貸付制度	利用せず
-	1.0%	7.8%	1.9%	78.6%

⑧資格取得に関して、課題となったこと、苦労したこと(回答の多い順にトップ3及び「特にない」)

MA N=103

仕事との両立	家事、育児など家庭との両立	学費、教材費など費用の負担	特にない
17.5%	16.5%	14.6%	45.6%

【在職中に資格を取得した人の状況】

⑨資格取得活動への職場の対応

SA N=26

積極的に応援	特別の対応なし	あまり歓迎されない 雰囲気	周囲に知られて いなかった	職場に知られない ようにしていた
30.8%	23.1%	3.8%	26.9%	15.4%

⑩資格取得による働き方や処遇の変化

MA N=26

社内で昇進・昇格に結びついた	資格を活かせる部署・担当に異動	社内で担当分野が広がった	職場で表彰された	周囲からの評価が高まった	転職あるいは独立した	職場外のネットワークが広がった	特に変化なし
3.8%	-	3.8%	3.8%	23.1%	11.5%	-	61.5%

⑪資格取得による収入面での変化

MA N=26

勤務先から祝い金や報奨金が出た	基本給がアップした	資格手当がついた	資格所持に伴う活動による副収入を得た	特に変化なし
-	7.7	15.4	3.8	69.2

【資格取得に対する自己評価】

⑫資格を取得したことについての総合的判断

SA N=103

非常によかった、 メリット大	どちらかという プラス	コストや時間の割に メリット小	まだ判断できない
40.8%	41.7%	8.7%	8.7%

⑬資格を取得して最もよかったと思う点

SA N=85

専門能力や知識が向上	仕事の範囲が拡大	評価や処遇が上昇	収入が増加	人的ネットワーク	職業生活設計のひろがり	社会貢献ができること	将来への備え
35.3%	10.6%	3.5%	4.7%	2.4%	2.4%	20.0%	15.3%

【他の資格との関係】

⑭他の資格も所持している人の割合

55.3%

N= 103

他の主な所持資格(5名以上)

幼稚園教諭、簿記、普通自動車免許(二種)、訪問介護員2級・介護職員初任者研修、小学校教諭

⑮今後、新たな資格の取得を予定している人の割合

勉強中 8.7%

検討中 14.6%

N=103

【資格と仕事との関係】

⑯現在従事している職業(大分類で多い順トップ3)

SA N=65

専門的・技術的職業	事務的職業	その他
46.2%	27.7%	10.8%

【資格取得とキャリア形成に関する特徴】

女性比率が高い。回答者の3分の1が不就業であり、雇用者のうち正規比率も低い。資格取得は6割近くが在学時であるが、在職時の人も4人に1人の割合で存在する。資格取得の動機としては、「資格が必要な職業に就くため」をあげる人が半数を超えるが、「いずれ何かの役に立つかも」「自分自身の勉強や自己啓発」といった中長期的な目的をあげる人も多い。資格取得に対する総合的評価は、「非常によかった」が4割であり、肯定的判断が8割を超える。

看護師、准看護師

表の数字は構成比(%)

回答者の属性 107人

性別	男性	3.7	女性	96.3						
年齢	20代	1.9	30代	27.1	40代	46.7	50代	18.7	60代以上	5.6
学歴	高校卒	2.8	短大・専修等卒	89.7	大学卒	5.6	大学院卒	-	その他	1.9
就業状態	雇用者	67.3	(正規比率	56.9)	自営	0.9	不就業	29.9	その他	1.9

【資格取得時の状況】

①資格を取った時期

SA N=107

在学中・卒業直後	働きながら	仕事を辞めて学習に専念	求職活動中
78.5%	18.7%	2.8%	-

②資格取得動機(回答の多い順にトップ5)

MA N=107

資格が必要な職業に就くため	安定した職業に就くため	仕事上、資格があるほうが有利だから	より高い収入を得るため	就職活動、自己啓発、老後に役立つ、能力を試す
73.8%	56.1%	22.4%	22.4%	9.3%

③資格の魅力、メリット

MA N=107

将来性がある	社会的評価が高い	経験や知識を活かせる	適性や志向に合う	次の資格取得のステップになる	ライフスタイルに合った働き方に役立つ	社会や地域に貢献できる	取得が比較的容易
55.1%	24.3%	22.4%	24.3%	6.5%	15.9%	29.0%	7.5%

④学習を始める前の準備

MA N=107

学校や教育訓練機関の情報収集	資格が活かせる仕事や就職先の情報収集	資格取得者の体験談を聞いた	関連分野に詳しい人に相談	キャリアコンサルタントに相談	必要な費用を準備	特に準備せず
49.5%	12.1%	6.5%	2.8%	-	5.6%	39.3%

⑤資格取得に要した期間

SA N=107

3か月未満	3か月～6か月未満	6か月～1年未満	1年～2年未満	2年～3年未満	3年以上
-	-	-	7.5%	30.8%	60.7%

⑥資格取得の主な勉強方法

SA N=107

学校	資格取得スクール	公的職業訓練	業界団体等の講習会	通信教育	勤務先の勉強会、OJT	自主的勉強会	自学自習
89.7%	-	-	0.9%	-	-	-	8.4%

⑦利用した経済的支援

MA N=107

教育訓練給付金	無料・実費の公的職業訓練	学校、団体、公的機関等の奨学金	勤務先の補助や貸付制度	利用せず
2.8%	-	32.7%	17.8%	46.7%

⑧資格取得に関して、課題となったこと、苦労したこと(回答の多い順にトップ3及び「特にない」)

MA N=107

学費、教材費など費用の負担	勉強や通学のための時間	仕事との両立	特にない
24.3%	24.3%	18.7%	47.7%

【在職中に資格を取得した人の状況】

⑨資格取得活動への職場の対応

SA N=20

積極的に応援	特別の対応なし	あまり歓迎されない 雰囲気	周囲に知られて いなかった	職場に知られない ようにしていた
45.0%	50.0%	-	-	5.0%

⑩資格取得による働き方や処遇の変化

MA N=20

社内で昇進・昇格に結びついた	資格を活かせる部署・担当に異動	社内で担当分野が広がった	職場で表彰された	周囲からの評価が高まった	転職あるいは独立した	職場外のネットワークが広がった	特に変化なし
5.0%	20.0%	10.0%	-	20.0%	10.0%	5.0%	40.0%

⑪資格取得による収入面での変化

MA N=20

勤務先から祝い金や報奨金が出た	基本給がアップした	資格手当がついた	資格所持に伴う活動による副収入を得た	特に変化なし
-	65.0%	45.0%	5.0%	25.0%

【資格取得に対する自己評価】

⑫資格を取得したことについての総合的判断

SA N=107

非常によかった、 メリット大	どちらかという プラス	コストや時間の割に メリット小	まだ判断できない
65.4%	30.8%	0.9%	1.9%

⑬資格を取得して最もよかったと思う点

SA N=103

専門能力や知識が向上	仕事の範囲が拡大	評価や処遇が上昇	収入が増加	人的ネットワーク	職業生活設計のひろがり	社会貢献ができること	将来への備え
29.1%	13.6%	-	20.4%	1.9%	2.9%	19.4%	11.7%

【他の資格との関係】

⑭他の資格も所持している人の割合

0.0%

N= 107

他の主な所持資格(6名以上)

(看護師資格と保健師、助産師資格等を併せ所持している場合、他方の資格区分で回答されている。)

⑮今後、新たな資格の取得を予定している人の割合

勉強中 2.8%

検討中 9.3%

N=107

【資格と仕事との関係】

⑯現在従事している職業(大分類で多い順トップ3)

SA N=75

専門的・技術的職業	サービスの職業	事務的職業
86.7%	8.0%	2.7%

【資格取得とキャリア形成に関する特徴】

女性比率が高い。資格取得は8割弱が在学時。資格取得の動機としては4人に3人が「資格が必要な職業に就くため」をあげ、「安定した職業に就くため」も6割弱の人があげている。資格の魅力・メリットとして、半数以上の人が「将来性がある」をあげている。在職中に資格取得した人では(サンプル数は少ないが)、「職場が積極的に応援してくれた」割合が高く、資格取得が基本給のアップや資格手当に結びついている。総合的評価として、「非常によかった」とする人の割合が3人に2人と高い。

保健師

表の数字は構成比(%)

回答者の属性 90人

性別	男性	6.7	女性	93.3						
年齢	20代	16.7	30代	37.8	40代	26.7	50代	13.3	60代以上	5.6
学歴	高校卒	-	短大・専修等卒	42.2	大学卒	50.0	大学院卒	5.6	その他	2.2
就業状態	雇用者	82.2	(正規比率	89.2)	自営	3.3	不就業	14.4	その他	-

【資格取得時の状況】

①資格を取った時期

SA N=90

在学中・卒業直後	働きながら	仕事を辞めて学習に専念	求職活動中
88.9%	3.3%	5.6%	-

②資格取得動機(回答の多い順にトップ5)

MA N=90

資格が必要な職業に就くため	仕事上、資格があるほうが有利だから	安定した職業に就くため	自分自身の勉強や自己啓発のため	いずれ何かの役に立つかもしれないと思ったから
68.9%	43.3%	42.2%	23.3%	17.8%

③資格の魅力、メリット

MA N=90

将来性がある	社会的評価が高い	経験や知識を活かせる	適性や志向に合う	次の資格取得のステップになる	ライフスタイルに合った働き方に役立つ	社会や地域に貢献できる	取得が比較的容易
45.6%	21.1%	36.7%	34.4%	10.0%	22.2%	40.0%	6.7%

④学習を始める前の準備

MA N=90

学校や教育訓練機関の情報収集	資格を活かせる仕事や就職先の情報収集	資格取得者の体験談を聞いた	関連分野に詳しい人に相談	キャリアコンサルタントに相談	必要な費用を準備	特に準備せず
51.1%	20.0%	5.6%	2.2%	-	7.8%	31.1%

⑤資格取得に要した期間

SA N=90

3か月未満	3か月～6か月未満	6か月～1年未満	1年～2年未満	2年～3年未満	3年以上
2.2%	1.1%	24.4%	14.4%	5.6%	52.2%

⑥資格取得の主な勉強方法

SA N=90

学校	資格取得スクール	公的職業訓練	業界団体等の講習会	通信教育	勤務先の勉強会、OJT	自主的勉強会	自学自習
91.1%	-	-	-	-	-	-	8.9%

⑦利用した経済的支援

MA N=90

教育訓練給付金	無料・実費の公的職業訓練	学校、団体、公的機関等の奨学金	勤務先の補助や貸付制度	利用せず
-	-	27.8%	-	71.1%

⑧資格取得に関して、課題となったこと、苦労したこと(回答の多い順にトップ3及び「特にない」)

MA N=90

勉強や通学のための時間	学費、教材費など費用の負担	学習内容や学習の進め方がよくわからない	特にない
24.4%	23.3%	5.6%	54.4%

【在職中に資格を取得した人の状況】 ……サンプル数が少ないため回答の実数を掲載

⑨資格取得活動への職場の対応

SA N=3

積極的に応援	特別の対応なし	あまり歓迎されない 雰囲気	周囲に知られて いなかった	職場に知られない ようにしていた
-	1	-	1	1

⑩資格取得による働き方や処遇の変化

MA N=3

社内で昇進・昇格に結びついた	資格を活かせる部署・担当に異動	社内で担当分野が広がった	職場で表彰された	周囲からの評価が高まった	転職あるいは独立した	職場外のネットワークが広がった	特に変化なし
-	-	-	-	-	-	-	3

⑪資格取得による収入面での変化

MA N=3

勤務先から祝い金や報奨金が出た	基本給がアップした	資格手当がついた	資格所持に伴う活動による副収入を得た	特に変化なし
-	-	-	-	3

【資格取得に対する自己評価】

⑫資格を取得したことについての総合的判断

SA N=90

非常によかった、メリット大	どちらかというプラス	コストや時間の割にメリット小	まだ判断できない
43.3%	42.2%	5.6%	7.8%

⑬資格を取得して最もよかったと思う点

SA N=77

専門能力や知識が向上	仕事の範囲が拡大	評価や処遇が上昇	収入が増加	人的ネットワーク	職業生活設計のひろがり	社会貢献ができること	将来への備え
42.9%	24.7%	1.3%	2.6%	2.6%	6.5%	11.7%	7.8%

【他の資格との関係】

⑭他の資格も所持している人の割合

96.7%

N= 90

他の主な所持資格(6名以上)

看護師・准看護師、衛生管理者、介護支援専門員(ケアマネージャー)、普通自動車免許(二種)、精神保健福祉士

⑮今後、新たな資格の取得を予定している人の割合

勉強中 6.7%

検討中 23.3%

N=90

【資格と仕事との関係】

⑯現在従事している職業(大分類で多い順トップ3)

SA N=77

専門的・技術的職業	管理的職業	サービスの職業
92.2%	3.9%	2.6%

【資格取得とキャリア形成に関する特徴】

女性比率が高い。雇用者比率、正規比率が高い。ほとんどが専門的・技術的職業に従事。資格取得は9割弱が在学時。動機としては7割弱が「資格が必要な職業に就くため」をあげ、「仕事上有利」、「安定した職業に就くため」が4割強で続く。資格の魅力・メリットとしては、看護師資格と同様、「将来性」、次いで「社会や地域に貢献」「経験や知識を活かせる」の割合が高くなっている。看護師資格をはじめ、他資格を所持している人の割合が高い。総合的評価は肯定的判断が8割を超える。

助産師

表の数字は構成比(%)

回答者の属性 (44人)

性別	男性	-	女性	100.0						
年齢	20代	4.5	30代	18.2	40代	45.5	50代	27.3	60代以上	4.5
学歴	高校卒	-	短大・専修等卒	54.5	大学卒	18.2	大学院卒	18.2	その他・不明	9.1
就業状態	雇用者	79.5	(正規比率	91.4)	自営	9.1	不就業	11.4	その他	-

【資格取得時の状況】

①資格を取った時期

SA N=44

在学中・卒業直後	働きながら	仕事を辞めて学習に専念	求職活動中
75.0%	4.5%	20.5%	-

②資格取得動機(回答の多い順にトップ5)

MA N=44

資格が必要な職業に就くため	安定した職業に就くため	より高度な仕事をしたいと思ったから	工作上、資格があるほうが有利だから	自分自身の勉強や自己啓発のため
68.2%	43.2%	29.5%	22.7%	20.5%

③資格の魅力、メリット

MA N=44

将来性がある	社会的評価が高い	経験や知識を活かせる	適性や志向に合う	次の資格取得のステップになる	ライフスタイルに合った働き方に役立つ	社会や地域に貢献できる	取得が比較的容易
45.5%	29.5%	25.0%	47.7%	2.3%	11.4%	34.1%	-

④学習を始める前の準備

MA N=44

学校や教育訓練機関の情報収集	資格を活かせる仕事や就職先の情報収集	資格取得者の体験談を聞いた	関連分野に詳しい人に相談	キャリアコンサルタントに相談	必要な費用を準備	特に準備せず
52.3%	20.5%	18.2%	4.5%	-	25.0%	18.2%

⑤資格取得に要した期間

SA N=44

3か月未満	3か月～6か月未満	6か月～1年未満	1年～2年未満	2年～3年未満	3年以上
4.5%	-	31.8%	31.8%	-	31.8%

⑥資格取得の主な勉強方法

SA N=44

学校	資格取得スクール	公的職業訓練	業界団体等の講習会	通信教育	勤務先の勉強会、OJT	自主的勉強会	自学自習
81.8%	2.3%	-	-	-	-	-	15.9%

⑦利用した経済的支援

MA N=44

教育訓練給付金	無料・実費の公的職業訓練	学校、団体、公的機関等の奨学金	勤務先の補助や貸付制度	利用せず
2.3%	-	36.4%	18.2%	43.2%

⑧資格取得に関して、課題となったこと、苦労したこと(回答の多い順にトップ3及び「特にない」)

MA N=44

勉強や通学のための時間	学費、教材費など費用の負担	学習内容や学習の進め方がよくわからない	特にない
36.4%	15.9%	6.8%	40.9%

【在職中に資格を取得した人の状況】 ……サンプル数が少ないため回答の実数を掲載

⑨資格取得活動への職場の対応

SA N=2

積極的に応援	特別の対応なし	あまり歓迎されない 雰囲気	周囲に知られて いなかった	職場に知られない ようにしていた
2	-	-	-	-

⑩資格取得による働き方や処遇の変化

MA N=2

社内で昇進・昇格に結びついた	資格を活かせる部署・担当に異動	社内で担当分野が広がった	職場で表彰された	周囲からの評価が高まった	転職あるいは独立した	職場外のネットワークが広がった	特に変化なし
-	1	1	-	-	-	1	1

⑪資格取得による収入面での変化

MA N=2

勤務先から祝い金や報奨金が出た	基本給がアップした	資格手当がついた	資格所持に伴う活動による副収入を得た	特に変化なし
-	1	1	-	1

【資格取得に対する自己評価】

⑫資格を取得したことについての総合的判断

SA N=44

非常によかった、 メリット大	どちらかというと プラス	コストや時間の割に メリット小	まだ判断できない
70.5%	27.3%	2.3%	-

⑬資格を取得して最もよかったと思う点

SA N=43

専門能力や知識が向上	仕事の範囲が拡大	評価や処遇が上昇	収入が増加	人的ネットワーク	職業生活設計のひろがり	社会貢献ができること	将来への備え
48.8%	18.6%	2.3%	-	-	4.7%	18.6%	2.3%

【他の資格との関係】

⑭他の資格も所持している人の割合

100.0%

N= 44

他の主な所持資格(4名以上)

看護師・准看護師、普通自動車免許(二種)、介護支援専門員(ケアマネージャー)

⑮今後、新たな資格の取得を予定している人の割合

勉強中 6.8%

検討中 20.5%

N=44

【資格と仕事との関係】

⑯現在従事している職業(大分類で多い順トップ3)

SA N=39

専門的・技術的職業	その他	-
97.4%	2.6%	-

【資格取得とキャリア形成に関する特徴】

女性比率 100%。不就業が少なく、正規比率が高い。ほとんどが専門的・技術的職業に従事。資格取得は4人に3人が在学時であり、仕事を辞めて取得活動に専念した人が2割いる。資格取得の動機は7割弱が「資格が必要な職業に就くため」をあげ、「安定した職業に就くため」が4割強で続く。資格の魅力・メリットとしては、「適性や志向」をあげる人が最も多く、次いで「将来性」。看護師資格取得が前提となっているため、全員が複数資格所持者。総合的評価は「非常によかった」が7割。

理学療法士

表の数字は構成比(%)

回答者の属性 (117人)

性別	男性	62.4	女性	37.6						
年齢	20代	16.2	30代	47.0	40代	26.5	50代	8.5	60代以上	1.7
学歴	高校卒	-	短大・専修等卒	65.8	大学卒	25.6	大学院卒	5.1	その他	3.4
就業状態	雇用者	96.6	(正規比率	90.9)	自営	1.7	不就業	1.7	その他	-

【資格取得時の状況】

①資格を取った時期

SA N=117

在学中・卒業直後	働きながら	仕事を辞めて学習に専念	求職活動中
82.1%	6.8%	10.3%	-

②資格取得動機(回答の多い順にトップ5)

MA N=117

資格が必要な職業に就くため	安定した職業に就くため	仕事上、資格があるほうが有利だから	それまでと違う仕事をしたいと思ったから	自分の能力や可能性を試したかったから
75.2%	50.4%	14.5%	12.0%	12.0%

③資格の魅力、メリット

MA N=117

将来性がある	社会的評価が高い	経験や知識を活かせる	適性や志向に合う	次の資格取得のステップになる	ライフスタイルに合った働き方に役立つ	社会や地域に貢献できる	取得が比較的容易
46.2%	35.0%	10.3%	45.3%	2.6%	12.8%	44.4%	0.9%

④学習を始める前の準備

MA N=117

学校や教育訓練機関の情報収集	資格が活かせる仕事や就職先の情報収集	資格取得者の体験談を聞いた	関連分野に詳しい人に相談	キャリアコンサルタントに相談	必要な費用を準備	特に準備せず
70.1%	23.9%	11.1%	10.3%	-	13.7%	19.0%

⑤資格取得に要した期間

SA N=117

3か月未満	3か月～6か月未満	6か月～1年未満	1年～2年未満	2年～3年未満	3年以上
1.7%	-	-	1.7%	12.8%	83.8%

⑥資格取得の主な勉強方法

SA N=117

学校	資格取得スクール	公的職業訓練	業界団体等の講習会	通信教育	勤務先の勉強会、OJT	自主的勉強会	自学自習
95.7%	0.9%	-	-	-	-	0.9%	2.6%

⑦利用した経済的支援

MA N=117

教育訓練給付金	無料・実費の公的職業訓練	学校、団体、公的機関等の奨学金	勤務先の補助や貸付制度	利用せず
-	1.7%	37.6%	1.7%	53.0%

⑧資格取得に関して、課題となったこと、苦労したこと(回答の多い順にトップ3及び「特にない」)

MA N=117

学費、教材費など費用の負担	勉強や通学のための時間	学習内容や学習の進め方がよくわからない	特にない
47.0%	41.0%	15.4%	29.1%

【在職中に資格を取得した人の状況】 ……サンプル数が少ないため回答の実数を掲載

⑨資格取得活動への職場の対応

SA N=8

積極的に応援	特別の対応なし	あまり歓迎されない 雰囲気	周囲に知られて いなかった	職場に知られない ようにしていた
2	3	1	2	-

⑩資格取得による働き方や処遇の変化

MA N=8

社内で昇進・昇格に結びついた	資格を活かせる部署・担当に異動	社内で担当分野が広がった	職場で表彰された	周囲からの評価が高まった	転職あるいは独立した	職場外のネットワークが広がった	特に変化なし
1	-	-	-	-	2	-	5

⑪資格取得による収入面での変化

MA N=8

勤務先から祝い金や報奨金が出た	基本給がアップした	資格手当がついた	資格所持に伴う活動による副収入を得た	特に変化なし
-	3	3	-	4

【資格取得に対する自己評価】

⑫資格を取得したことについての総合的判断

SA N=117

非常によかった、メリット大	どちらかというとプラス	コストや時間の割にメリット小	まだ判断できない
72.6%	22.2%	4.3%	0.9%

⑬資格を取得して最もよかったと思う点

SA N=111

専門能力や知識が向上	仕事の範囲が拡大	評価や処遇が上昇	収入が増加	人的ネットワーク	職業生活設計のひろがり	社会貢献ができること	将来への備え
42.3%	8.1%	4.5%	9.9%	-	1.8%	24.3%	7.2%

【他の資格との関係】

⑭他の資格も所持している人の割合

41.0%

N= 117

他の主な所持資格(6名以上)

介護支援専門員(ケアマネージャー)、普通自動車免許(二種)、簿記、訪問介護員2級・介護職員初任者研修

⑮今後、新たな資格の取得を予定している人の割合

勉強中 10.3%

検討中 24.8%

N=117

【資格と仕事との関係】

⑯現在従事している職業(大分類で多い順トップ3)

SA N=115

専門的・技術的職業	管理的職業	サービスの職業
94.8%	2.6%	2.6%

【資格取得とキャリア形成に関する特徴】

男性がやや多い。不就業が少なく、正規比率が高い。ほとんどが専門的・技術的職業に従事。在学時に取得した人が8割超。資格取得の動機としては4人に3人が「資格が必要な職業に就くため」をあげ、「安定した職業に就くため」が約5割で続く。勉強の中心は学校であり、学習前の準備としても7割が「学校等の情報収集」を行っている。課題や苦勞として、「学費・教材費など費用の負担」をあげる割合が他と比べて高い。総合的評価は「非常によかった」が7割を超える。

作業療法士

表の数字は構成比(%)

回答者の属性 (70人)

性別	男性	34.3	女性	65.7						
年齢	20代	20.0	30代	34.3	40代	35.7	50代	8.6	60代以上	1.4
学歴	高校卒	-	短大・専修等卒	62.9	大学卒	25.7	大学院卒	10.0	その他	1.4
就業状態	雇用者	94.3	(正規比率	90.9)	自営	-	不就業	5.7	その他	-

【資格取得時の状況】

①資格を取った時期

SA N=70

在学中・卒業直後	働きながら	仕事を辞めて学習に専念	求職活動中
84.3%	1.4%	11.4%	-

②資格取得動機 (回答の多い順にトップ5)

MA N=70

資格が必要な職業に就くため	安定した職業に就くため	仕事上、資格があるほうが有利だから	自分自身の勉強や自己啓発のため	収入、高度な仕事、能力を試す
80.0%	51.4%	22.9%	15.7%	14.3%

③資格の魅力、メリット

MA N=70

将来性がある	社会的評価が高い	経験や知識を活かせる	適性や志向に合う	次の資格取得のステップになる	ライフスタイルに合った働き方に役立つ	社会や地域に貢献できる	取得が比較的容易
50.0%	17.1%	20.0%	45.7%	-	20.0%	38.6%	2.9%

④学習を始める前の準備

MA N=70

学校や教育訓練機関の情報収集	資格を活かせる仕事や就職先の情報収集	資格取得者の体験談を聞いた	関連分野に詳しい人に相談	キャリアコンサルタントに相談	必要な費用を準備	特に準備せず
64.3%	24.3%	17.1%	14.3%	-	11.4%	17.1%

⑤資格取得に要した期間

SA N=70

3か月未満	3か月～6か月未満	6か月～1年未満	1年～2年未満	2年～3年未満	3年以上
1.4%	-	1.4%	1.4%	7.1%	88.6%

⑥資格取得の主な勉強方法

SA N=70

学校	資格取得スクール	公的職業訓練	業界団体等の講習会	通信教育	勤務先の勉強会、OJT	自主的勉強会	自学自習
94.3%	-	-	-	1.4%	-	1.4%	2.9%

⑦利用した経済的支援

MA N=70

教育訓練給付金	無料・実費の公的職業訓練	学校、団体、公的機関等の奨学金	勤務先の補助や貸付制度	利用せず
-	-	35.7%	2.9%	55.7%

⑧資格取得に関して、課題となったこと、苦労したこと (回答の多い順にトップ3及び「特にない」)

MA N=70

学費、教材費など費用の負担	勉強や通学のための時間	学習内容や学習の進め方がよくわからない	特にない
31.4%	28.6%	11.4%	35.7%

【在職中に資格を取得した人の状況】 ……サンプル数が少ないため回答の実数を掲載

⑨資格取得活動への職場の対応

SA N=1

積極的に応援	特別の対応なし	あまり歓迎されない 雰囲気	周囲に知られて いなかった	職場に知られない ようにしていた
1	-	-	-	-

⑩資格取得による働き方や処遇の変化

MA N=1

社内で昇進・昇格に結びついた	資格を活かせる部署・担当に異動	社内で担当分野が広がった	職場で表彰された	周囲からの評価が高まった	転職あるいは独立した	職場外のネットワークが広がった	特に変化なし
-	-	-	-	-	-	-	1

⑪資格取得による収入面での変化

MA N=1

勤務先から祝い金や報奨金が出た	基本給がアップした	資格手当がついた	資格所持に伴う活動による副収入を得た	特に変化なし
-	-	-	-	1

【資格取得に対する自己評価】

⑫資格を取得したことについての総合的判断

SA N=70

非常によかった、メリット大	どちらかというとプラス	コストや時間の割にメリット小	まだ判断できない
78.6%	18.6%	2.9%	-

⑬資格を取得して最もよかったと思う点

SA N=68

専門能力や知識が向上	仕事の範囲が拡大	評価や処遇が上昇	収入が増加	人的ネットワーク	職業生活設計のひろがり	社会貢献ができること	将来への備え
36.8%	8.8%	1.5%	10.3%	2.9%	1.5%	23.5%	11.8%

【他の資格との関係】

⑭他の資格も所持している人の割合

60.0%

N= 70

他の主な所持資格(4名以上)

介護支援専門員(ケアマネージャー)、普通自動車免許(二種)、簿記

⑮今後、新たな資格の取得を予定している人の割合

勉強中 11.4%

検討中 28.6%

N=70

【資格と仕事との関係】

⑯現在従事している職業(大分類で多い順トップ3)

SA N=66

専門的・技術的職業	管理的職業	サービスの職業、生産工程の職業
93.9%	3.0%	1.5%

【資格取得とキャリア形成に関する特徴】

女性がやや多い。不就業が少なく、正規比率が高い。ほとんどが専門的・技術的職業に従事。在学時に取得した人が8割超。資格取得の動機としては8割が「資格が必要な職業に就くため」をあげ、「安定した職業に就くため」が半数強で続く。勉強の中心は学校であり、学習前の準備として3人に2人が「学校等の情報収集」、4人に1人が「仕事や就職先の情報収集」を行っている。資格取得に対する総合的判断は「非常によかった」が8割近くに達する。

言語聴覚士

表の数字は構成比(%)

回答者の属性 (42人)

性別	男性	38.1	女性	61.9						
年齢	20代	9.5	30代	57.1	40代	26.2	50代	4.8	60代以上	2.4
学歴	高校卒	-	短大・専修等卒	40.5	大学卒	42.9	大学院卒	11.9	その他	4.8
就業状態	雇用者	95.2	(正規比率	80.0)	自営	-	不就業	4.8	その他	-

【資格取得時の状況】

①資格を取った時期

SA N=42

在学中・卒業直後	働きながら	仕事を辞めて学習に専念	求職活動中
40.5%	26.2%	28.6%	2.4%

②資格取得動機 (回答の多い順にトップ5)

MA N=42

資格が必要な職業に就くため	安定した職業に就くため	自分自身の勉強や自己啓発のため	工作上、資格があるほうが有利だから	高度な仕事、能力を試す
71.4%	35.7%	26.2%	21.4%	19.0%

③資格の魅力、メリット

MA N=42

将来性がある	社会的評価が高い	経験や知識を活かせる	適性や志向に合う	次の資格取得のステップになる	ライフスタイルに合った働き方に役立つ	社会や地域に貢献できる	取得が比較的容易
26.2%	7.1%	28.6%	59.5%	4.8%	26.2%	33.3%	2.4%

④学習を始める前の準備

MA N=42

学校や教育訓練機関の情報収集	資格を活かせる仕事や就職先の情報収集	資格取得者の体験談を聞いた	関連分野に詳しい人に相談	キャリアコンサルタントに相談	必要な費用を準備	特に準備せず
69.0%	19.0%	11.9%	2.4%	-	16.7%	16.7%

⑤資格取得に要した期間

SA N=42

3か月未満	3か月～6か月未満	6か月～1年未満	1年～2年未満	2年～3年未満	3年以上
-	4.8%	2.4%	23.8%	35.7%	33.3%

⑥資格取得の主な勉強方法

SA N=42

学校	資格取得スクール	公的職業訓練	業界団体等の講習会	通信教育	勤務先の勉強会、OJT	自主的勉強会	自学自習
76.2%	-	-	-	-	-	2.4%	21.4%

⑦利用した経済的支援

MA N=42

教育訓練給付金	無料・実費の公的職業訓練	学校、団体、公的機関等の奨学金	勤務先の補助や貸付制度	利用せず
-	-	16.7%	-	76.2%

⑧資格取得に関して、課題となったこと、苦労したこと (回答の多い順にトップ3及び「特にない」)

MA N=42

学費、教材費など費用の負担	勉強や通学のための時間、仕事との両立、学習内容や学習の進め方	特にない
42.9%	23.8%	16.7%

【在職中に資格を取得した人の状況】 ……サンプル数が少ないため回答の実数を掲載

⑨資格取得活動への職場の対応

SA N=11

積極的に応援	特別の対応なし	あまり歓迎されない 雰囲気	周囲に知られて いなかった	職場に知られない ようにしていた
4	6	-	-	1

⑩資格取得による働き方や処遇の変化

MA N=11

社内で昇進・昇格に結びついた	資格を活かせる部署・担当に異動	社内で担当分野が広がった	職場で表彰された	周囲からの評価が高まった	転職あるいは独立した	職場外のネットワークが広がった	特に変化なし
-	4	-	-	4	2	3	2

⑪資格取得による収入面での変化

MA N=11

勤務先から祝い金や報奨金が出た	基本給がアップした	資格手当がついた	資格所持に伴う活動による副収入を得た	特に変化なし
-	2	2	2	5

【資格取得に対する自己評価】

⑫資格を取得したことについての総合的判断

SA N=42

非常によかった、 メリット大	どちらかというと プラス	コストや時間の割に メリット小	まだ判断できない
64.3%	28.6%	4.8%	2.4%

⑬資格を取得して最もよかったと思う点

SA N=39

専門能力や知識が向上	仕事の範囲が拡大	評価や処遇が上昇	収入が増加	人的ネットワーク	職業生活設計のひろがり	社会貢献ができること	将来への備え
46.2%	2.6%	-	2.6%	2.6%	2.6%	30.8%	10.3%

【他の資格との関係】

⑭他の資格も所持している人の割合

42.9%

N= 42

他の主な所持資格(4名以上)

語学検定、普通自動車免許(二種)、介護支援専門員(ケアマネージャー)

⑮今後、新たな資格の取得を予定している人の割合

勉強中 11.9%

検討中 21.4%

N=42

【資格と仕事との関係】

⑯現在従事している職業(大分類で多い順トップ3)

SA N=40

専門的・技術的職業	-	-
100.0%	-	-

【資格取得とキャリア形成に関する特徴】

女性がやや多い。不就業が少なく、正規比率、専門的・技術的職業に従事する比率が高い。在学時取得者の割合が4割、仕事を辞めて学習に専念した人と在職時に取得した人の割合がそれぞれ4人に1人前後であり、理学療法士や作業療法士と比較して資格取得時の状況が分かれている。課題になったことも、「費用の負担」のほか、「勉強や通学の時間」や「仕事との両立」、「学習の進め方」など多様である。総合的評価は3人に2人が「非常によかった」としている。

臨床検査技師

表の数字は構成比(%)

回答者の属性 (64人)

性別	男性	25.0	女性	75.0						
年齢	20代	7.8	30代	12.5	40代	25.0	50代	39.1	60代以上	15.6
学歴	高校卒	-	短大・専修等卒	53.1	大学卒	35.9	大学院卒	9.4	その他	1.6
就業状態	雇用者	68.8	(正規比率	63.6)	自営	3.1	不就業	26.6	その他	1.6

【資格取得時の状況】

①資格を取った時期

SA N=64

在学中・卒業直後	働きながら	仕事を辞めて学習に専念	求職活動中
89.1%	9.4%	1.6%	-

②資格取得動機(回答の多い順にトップ5)

MA N=64

資格が必要な職業に就くため	安定した職業に就くため	仕事上、資格があるほうが有利だから	いずれ何かの役に立つかもしれないと思ったから	就職活動に役立てるため
65.6%	40.6%	28.1%	14.1%	10.9%

③資格の魅力、メリット

MA N=64

将来性がある	社会的評価が高い	経験や知識を活かせる	適性や志向に合う	次の資格取得のステップになる	ライフスタイルに合った働き方に役立つ	社会や地域に貢献できる	取得が比較的容易
21.9%	7.8%	20.3%	40.6%	4.7%	12.5%	20.3%	10.9%

④学習を始める前の準備

MA N=64

学校や教育訓練機関の情報収集	資格を活かせる仕事や就職先の情報収集	資格取得者の体験談を聞いた	関連分野に詳しい人に相談	キャリアコンサルタントに相談	必要な費用を準備	特に準備せず
51.6%	17.2%	6.3%	3.1%	1.6%	6.3%	26.6%

⑤資格取得に要した期間

SA N=64

3か月未満	3か月～6か月未満	6か月～1年未満	1年～2年未満	2年～3年未満	3年以上
4.7%	3.1%	3.1%	4.7%	28.1%	54.7%

⑥資格取得の主な勉強方法

SA N=64

学校	資格取得スクール	公的職業訓練	業界団体等の講習会	通信教育	勤務先の勉強会、OJT	自主的勉強会	自学自習
90.6%	-	-	1.6%	-	1.6%	-	6.3%

⑦利用した経済的支援

MA N=64

教育訓練給付金	無料・実費の公的職業訓練	学校、団体、公的機関等の奨学金	勤務先の補助や貸付制度	利用せず
-	-	15.6%	6.3%	78.1%

⑧資格取得に関して、課題となったこと、苦労したこと(回答の多い順にトップ3及び「特にない」)

MA N=64

学費、教材費など費用の負担	勉強や通学のための時間	学習内容や学習の進め方がよくわからない	特にない
20.3%	18.8%	7.8%	59.4%

【在職中に資格を取得した人の状況】 ……サンプル数が少ないため回答の実数を掲載

⑨資格取得活動への職場の対応

SA N=6

積極的に応援	特別の対応なし	あまり歓迎されない 雰囲気	周囲に知られて いなかった	職場に知られない ようにしていた
4	1	-	-	-

⑩資格取得による働き方や処遇の変化

MA N=6

社内で昇進・昇格に結びついた	資格を活かせる部署・担当に異動	社内で担当分野が広がった	職場で表彰された	周囲からの評価が高まった	転職あるいは独立した	職場外のネットワークが広がった	特に変化なし
1	3	-	-	1	1	-	2

⑪資格取得による収入面での変化

MA N=6

勤務先から祝い金や報奨金が出た	基本給がアップした	資格手当がついた	資格所持に伴う活動による副収入を得た	特に変化なし
1	1	4	-	2

【資格取得に対する自己評価】

⑫資格を取得したことについての総合的判断

SA N=64

非常によかった、メリット大	どちらかというプラス	コストや時間の割にメリット小	まだ判断できない
40.6%	35.9%	12.5%	9.4%

⑬資格を取得して最もよかったと思う点

SA N=49

専門能力や知識が向上	仕事の範囲が拡大	評価や処遇が上昇	収入が増加	人的ネットワーク	職業生活設計のひろがり	社会貢献ができること	将来への備え
46.9%	12.2%	6.1%	4.1%	2.0%	4.1%	14.3%	4.1%

【他の資格との関係】

⑭他の資格も所持している人の割合

43.8%

N= 64

他の主な所持資格(5名以上)

薬剤師、語学検定、危険物取扱者、普通自動車免許(二種)

⑮今後、新たな資格の取得を予定している人の割合

勉強中 4.7%

検討中 9.4%

N=64

【資格と仕事との関係】

⑯現在従事している職業(大分類で多い順トップ3)

SA N=47

専門的・技術的職業	管理的職業、事務的職業、サービスの職業
80.9%	6.4%

【資格取得とキャリア形成に関する特徴】

男女比 1:3 で女性が多い。4人に1人が不就業。就業者は8割が専門的・技術的職業に従事。資格取得時期は在学時が約9割。資格取得の動機としては3人に2人が「資格が必要な職業に就くため」をあげ、「安定した職業に就くため」が約4割で続く。資格の魅力・メリットとしては、約4割の人が「適性や志向に合う」をあげ、最も多い。勉強の中心は学校であり、学習前の準備として半数強が「学校等の情報収集」を行っている。総合的評価は「非常によかった」が4割。

はり師、きゆう師、あん摩マッサージ指圧師

表の数字は構成比(%)

回答者の属性 (108人)

性別	男性	76.9	女性	23.1						
年齢	20代	3.7	30代	16.7	40代	44.4	50代	28.7	60代以上	6.5
学歴	高校卒	4.6	短大・専修等卒	72.2	大学卒	16.7	大学院卒	2.8	その他	3.7
就業状態	雇用者	22.2	(正規比率	70.8)	自営	65.7	不就業	6.5	その他・不明	5.6

【資格取得時の状況】

①資格を取った時期

SA N=108

在学中・卒業直後	働きながら	仕事を辞めて学習に専念	求職活動中
51.9%	20.4%	25.9%	0.9%

②資格取得動機(回答の多い順にトップ5)

MA N=108

資格が必要な職業に就くため	将来の独立のため	仕事上、資格があるほうが有利だから	それまでと違う仕事をしたいと思ったから	老後の職業・収入確保に役立つと思ったから
63.9%	39.8%	21.3%	17.6%	15.7%

③資格の魅力、メリット

MA N=108

将来性がある	社会的評価が高い	経験や知識を活かせる	適性や志向に合う	次の資格取得のステップになる	ライフスタイルに合った働き方に役立つ	社会や地域に貢献できる	取得が比較的容易
13.9%	9.3%	24.1%	48.1%	1.9%	26.9%	31.5%	8.3%

④学習を始める前の準備

MA N=108

学校や教育訓練機関の情報収集	資格が活かせる仕事や就職先の情報収集	資格取得者の体験談を聞いた	関連分野に詳しい人に相談	キャリアコンサルタントに相談	必要な費用を準備	特に準備せず
52.8%	12.0%	13.0%	13.9%	-	24.1%	25.0%

⑤資格取得に要した期間

SA N=108

3か月未満	3か月～6か月未満	6か月～1年未満	1年～2年未満	2年～3年未満	3年以上
0.9%	1.9%	6.5%	3.7%	29.6%	56.5%

⑥資格取得の主な勉強方法

SA N=108

学校	資格取得スクール	公的職業訓練	業界団体等の講習会	通信教育	勤務先の勉強会、OJT	自主的勉強会	自学自習
88.9%	0.9%	2.8%	0.9%	-	0.9%	-	3.7%

⑦利用した経済的支援

MA N=108

教育訓練給付金	無料・実費の公的職業訓練	学校、団体、公的機関等の奨学金	勤務先の補助や貸付制度	利用せず
-	3.7%	10.2%	2.8%	79.6%

⑧資格取得に関して、課題となったこと、苦労したこと(回答の多い順にトップ3及び「特にない」)

MA N=108

学費、教材費など費用の負担	勉強や通学のための時間	仕事との両立	特にない
39.8%	33.3%	28.7%	28.7%

【在職中に資格を取得した人の状況】

⑨資格取得活動への職場の対応

SA N=22

積極的に応援	特別の対応なし	あまり歓迎されない 雰囲気	周囲に知られて いなかった	職場に知られない ようにしていた
40.9%	40.9%	-	4.5%	4.5%

⑩資格取得による働き方や処遇の変化

MA N=22

社内で昇進・昇格に結びついた	資格を活かせる部署・担当に異動	社内で担当分野が広がった	職場で表彰された	周囲からの評価が高まった	転職あるいは独立した	職場外のネットワークが広がった	特に変化なし
18.2%	9.1%	13.6%	-	9.1%	36.4%	9.1%	40.9%

⑪資格取得による収入面での変化

MA N=22

勤務先から祝い金や報奨金が出た	基本給がアップした	資格手当がついた	資格所持に伴う活動による副収入を得た	特に変化なし
4.5%	22.7%	22.7%	22.7%	54.5%

【資格取得に対する自己評価】

⑫資格を取得したことについての総合的判断

SA N=108

非常によかった、メリット大	どちらかというプラス	コストや時間の割にメリット小	まだ判断できない
48.1%	32.4%	9.3%	10.2%

⑬資格を取得して最もよかったと思う点

SA N=87

専門能力や知識が向上	仕事の範囲が拡大	評価や処遇が上昇	収入が増加	人的ネットワーク	職業生活設計のひろがり	社会貢献ができること	将来への備え
46.0%	10.3%	-	8.0%	5.7%	-	23.0%	4.6%

【他の資格との関係】

⑭他の資格も所持している人の割合

57.4%

N= 108

他の主な所持資格(5名以上)

介護支援専門員(ケアマネージャー)、普通自動車免許(二種)、簿記、柔道整復師、危険物取扱者、訪問介護員2級・介護職員初任者研修、宅地建物取引主任者

⑮今後、新たな資格の取得を予定している人の割合

勉強中 5.6%

検討中 21.3%

N=108

【資格と仕事との関係】

⑯現在従事している職業(大分類で多い順トップ3)

SA N=100

専門的・技術的職業	サービスの職業	その他の職業
80.0%	7.0%	4.0%

【資格取得とキャリア形成に関する特徴】

男女比3:1で男性が多い。3人に2人が自営。在学時に資格を取得した人の割合が約半数、仕事を辞めて学習に専念した人が4人に1人、在職時に取得した人が5人に1人と取得時の状況は多様である。取得動機として「資格が必要な職業に就くため」が6割強であるが、次いで4割が「将来の独立のため」であり、在職時取得者の4割弱が実際に「転職・独立した」としており、独立・自営につながっている。総合的評価は半数弱が「非常によかった」としている。

柔道整復師

表の数字は構成比(%)

回答者の属性 (86人)

性別	男性	95.3	女性	4.7						
年齢	20代	5.8	30代	17.4	40代	33.7	50代	34.9	60代以上	8.1
学歴	高校卒	4.7	短大・専修等卒	79.1	大学卒	12.8	大学院卒	2.3	その他	1.2
就業状態	雇用者	16.3	(正規比率	92.9)	自営	81.4	不就業	-	その他	2.3

【資格取得時の状況】

①資格を取った時期

SA N=86

在学中・卒業直後	働きながら	仕事を辞めて学習に専念	求職活動中
57.0%	29.1%	12.8%	-

②資格取得動機(回答の多い順にトップ5)

MA N=86

資格が必要な職業に就くため	将来の独立のため	安定した職業に就くため	工作上、資格があるほうが有利だから	より高い収入を得るため
67.4%	38.4%	23.3%	17.4%	16.3%

③資格の魅力、メリット

MA N=86

将来性がある	社会的評価が高い	経験や知識を活かせる	適性や志向に合う	次の資格取得のステップになる	ライフスタイルに合った働き方に役立つ	社会や地域に貢献できる	取得が比較的容易
24.4%	11.6%	27.9%	33.7%	4.7%	17.4%	45.3%	2.3%

④学習を始める前の準備

MA N=86

学校や教育訓練機関の情報収集	資格を活かせる仕事や就職先の情報収集	資格取得者の体験談を聞いた	関連分野に詳しい人に相談	キャリアコンサルタントに相談	必要な費用を準備	特に準備せず
46.5%	15.1%	22.1%	14.0%	-	19.8%	23.3%

⑤資格取得に要した期間

SA N=86

3か月未満	3か月～6か月未満	6か月～1年未満	1年～2年未満	2年～3年未満	3年以上
1.2%	1.2%	1.2%	7.0%	37.2%	51.2%

⑥資格取得の主な勉強方法

SA N=86

学校	資格取得スクール	公的職業訓練	業界団体等の講習会	通信教育	勤務先の勉強会、OJT	自主的勉強会	自学自習
94.2%	1.2%	-	-	-	-	-	4.7%

⑦利用した経済的支援

MA N=86

教育訓練給付金	無料・実費の公的職業訓練	学校、団体、公的機関等の奨学金	勤務先の補助や貸付制度	利用せず
-	-	5.8%	3.5%	84.9%

⑧資格取得に関して、課題となったこと、苦勞したこと(回答の多い順にトップ3及び「特にない」)

MA N=86

仕事との両立	学費、教材費など費用の負担	勉強や通学のための時間	特にない
41.9%	33.7%	23.3%	30.2%

【在職中に資格を取得した人の状況】

⑨資格取得活動への職場の対応

SA N=25

積極的に応援	特別の対応なし	あまり歓迎されない 雰囲気	周囲に知られて いなかった	職場に知られない ようにしていた
60.0%	28.0%	-	-	4.0%

⑩資格取得による働き方や処遇の変化

MA N=25

社内で昇進・昇格に結びついた	資格を活かせる部署・担当に異動	社内で担当分野が広がった	職場で表彰された	周囲からの評価が高まった	転職あるいは独立した	職場外のネットワークが広がった	特に変化なし
16.0%	4.0%	-	-	16.0%	32.0%	-	36.0%

⑪資格取得による収入面での変化

MA N=25

勤務先から祝い金や報奨金が出た	基本給がアップした	資格手当がついた	資格所持に伴う活動による副収入を得た	特に変化なし
4.0%	48.0%	12.0%	4.0%	32.0%

【資格取得に対する自己評価】

⑫資格を取得したことについての総合的判断

SA N=86

非常によかった、メリット大	どちらかというプラス	コストや時間の割にメリット小	まだ判断できない
54.7%	33.7%	7.0%	4.7%

⑬資格を取得して最もよかったと思う点

SA N=76

専門能力や知識が向上	仕事の範囲が拡大	評価や処遇が上昇	収入が増加	人的ネットワーク	職業生活設計のひろがり	社会貢献ができること	将来への備え
39.5%	10.5%	1.3%	11.8%	3.9%	1.3%	26.3%	5.3%

【他の資格との関係】

⑭他の資格も所持している人の割合

45.3%

N= 86

他の主な所持資格(4名以上)

はり師・きゅう師・あん摩マッサージ指圧師、介護支援専門員(ケアマネージャー)、危険物取扱者、大型自動車免許

⑮今後、新たな資格の取得を予定している人の割合

勉強中 9.3%

検討中 18.6%

N=86

【資格と仕事との関係】

⑯現在従事している職業(大分類で多い順トップ3)

SA N=86

専門的・技術的職業	管理的職業	サービスの職業
89.5%	4.7%	2.3%

【資格取得とキャリア形成に関する特徴】

男性比率が高い。8割が自営。在学時取得者が6割弱、在職時取得者が3割となっている。取得動機として3人に2人が「資格が必要な職業に就くため」をあげているが、次いで4割弱が「将来の独立のため」をあげ、在職時取得者の3割強が実際に「転職・独立した」としている。はり師、きゅう師、あん摩マッサージ指圧師と同様、独立・自営につながる資格となっている。資格取得に対する総合的判断は半数以上が「非常によかった」としている。

救急救命士

表の数字は構成比(%)

回答者の属性 58人

性別	男性	98.3	女性	1.7						
年齢	20代	1.7	30代	31.0	40代	29.3	50代	36.2	60代以上	1.7
学歴	高校卒	41.4	短大・専修等卒	20.7	大学卒	32.8	大学院卒	1.7	その他	3.4
就業状態	雇用者	98.3	(正規比率	100.0)	自営	1.7	不就業	-	その他	-

【資格取得時の状況】

①資格を取った時期

SA N=58

在学中・卒業直後	働きながら	仕事を辞めて学習に専念	求職活動中
6.9%	87.9%	1.7%	-

②資格取得動機(回答の多い順にトップ5)

MA N=58

勤め先からの要請や 勧奨があったから	より高度な仕事をし たいと思ったから	仕事上、資格がある ほうが有利だから	自分自身の勉強や 自己啓発のため	自分の能力や可能性を 試したかったから
60.3%	39.7%	32.8%	31.0%	27.6%

③資格の魅力、メリット

MA N=58

将来性がある	社会的評価が 高い	経験や知識を 活かせる	適性や志向に 合う	次の資格取得 のステップに なる	ライフスタイルに 合った働き方に 役立つ	社会や地域に 貢献できる	取得が比較的 容易
19.0%	25.9%	53.4%	39.7%	1.7%	6.9%	50.0%	3.4%

④学習を始める前の準備

MA N=58

学校や教育訓練 機関の情報収集	資格が活かせる 仕事や就職先の 情報収集	資格取得者の体 験談を聞いた	関連分野に詳 しい人に相談	キャリアコンサル タントに相談	必要な費用を 準備	特に準備せず
25.9%	5.2%	24.1%	6.9%	-	13.8%	44.8%

⑤資格取得に要した期間

SA N=58

3か月未満	3か月～6か月未満	6か月～1年未満	1年～2年未満	2年～3年未満	3年以上
6.9%	8.6%	58.6%	12.1%	6.9%	6.9%

⑥資格取得の主な勉強方法

SA N=58

学校	資格取得 スクール	公的職業訓練	業界団体等 の講習会	通信教育	勤務先の勉強 会、OJT	自主的勉強会	自学自習
27.6%	5.2%	27.6%	5.2%	-	10.3%	-	15.5%

⑦利用した経済的支援

MA N=58

教育訓練給付金	無料・実費の 公的職業訓練	学校、団体、公的 機関等の奨学金	勤務先の補助 や貸付制度	利用せず
-	3.4%	1.7%	34.5%	44.8%

⑧資格取得に関して、課題となったこと、苦勞したこと(回答の多い順にトップ3及び「特にない」)

MA N=58

仕事との両立	勉強や通学のための時間	家事、育児など 家庭との両立	特にない
25.9%	20.7%	13.8%	39.7%

【在職中に資格を取得した人の状況】

⑨資格取得活動への職場の対応

SA N=51

積極的に応援	特別の対応なし	あまり歓迎されない 雰囲気	周囲に知られて いなかった	職場に知られない ようにしていた
56.9%	35.3%	-	-	2.0%

⑩資格取得による働き方や処遇の変化

MA N=51

社内で昇進・昇格に結びついた	資格を活かせる部署・担当に異動	社内で担当分野が広がった	職場で表彰された	周囲からの評価が高まった	転職あるいは独立した	職場外のネットワークが広がった	特に変化なし
9.8%	54.9%	3.9%	3.9%	15.7%	2.0%	11.8%	29.4%

⑪資格取得による収入面での変化

MA N=51

勤務先から祝い金や報奨金が出た	基本給がアップした	資格手当がついた	資格所持に伴う活動による副収入を得た	特に変化なし
2.0	13.7	41.2	3.9	45.1

【資格取得に対する自己評価】

⑫資格を取得したことについての総合的判断

SA N=58

非常によかった、 メリット大	どちらかという プラス	コストや時間の割に メリット小	まだ判断できない
48.3%	37.9%	6.9%	6.9%

⑬資格を取得して最もよかったと思う点

SA N=50

専門能力や知識が向上	仕事の範囲が拡大	評価や処遇が上昇	収入が増加	人的ネットワーク	職業生活設計のひろがり	社会貢献ができること	将来への備え
64.0%	12.0%	2.0%	8.0%	2.0%	-	8.0%	2.0%

【他の資格との関係】

⑭他の資格も所持している人の割合

82.8%

N= 58

他の主な所持資格(4名以上)

大型自動車免許、危険物取扱者、普通自動車免許(二種)、玉掛け技能者、看護師・准看護師、クレーン・デリック運転士、衛生管理者、電気工事士、簿記

⑮今後、新たな資格の取得を予定している人の割合

勉強中 5.2%

検討中 20.7%

N=58

【資格と仕事との関係】

⑯現在従事している職業(大分類で多い順トップ3)

SA N=58

保安の職業	専門的・技術的職業	その他の職業
75.9%	17.2%	3.4%

【資格取得とキャリア形成に関する特徴】

男性比率が高い。在職時取得者が9割近く、医療分野の資格としては数少ない在職時取得型の資格。3人に2人が保安の職業(消防士など)に従事しており、取得動機として「勤め先からの勧奨や要請」をあげる人が6割にのぼる。このため、職場が「積極的に応援してくれた」割合も高く、資格取得後は半数以上が「資格を活かせる部署・担当に異動」、「資格手当がついた」人も4割を超えており、資格取得が職場での働き方に大きく寄与することがうかがえる。総合的判断も9割近くが肯定的判断。

臨床工学技士

表の数字は構成比(%)

回答者の属性 (43人)

性別	男性	86.0	女性	14.0						
年齢	20代	9.3	30代	32.6	40代	16.3	50代	37.2	60代以上	4.7
学歴	高校卒	2.3	短大・専修等卒	67.4	大学卒	27.9	大学院卒	2.3	その他	-
就業状態	雇用者	93.0	(正規比率	92.5)	自営	4.7	不就業	-	その他	-

【資格取得時の状況】

①資格を取った時期

SA N=43

在学中・卒業直後	働きながら	仕事を辞めて学習に専念	求職活動中
51.2%	48.8%	-	-

②資格取得動機(回答の多い順にトップ5)

MA N=43

資格が必要な職業に就くため	仕事上、資格があるほうが有利だから	安定した職業に就くため	自分自身の勉強や自己啓発のため	自分の能力や可能性を試したかったから
53.5%	34.9%	30.2%	16.3%	14.0%

③資格の魅力、メリット

MA N=43

将来性がある	社会的評価が高い	経験や知識を活かせる	適性や志向に合う	次の資格取得のステップになる	ライフスタイルに合った働き方に役立つ	社会や地域に貢献できる	取得が比較的容易
48.8%	11.6%	37.2%	25.6%	4.7%	7.0%	25.6%	9.3%

④学習を始める前の準備

MA N=43

学校や教育訓練機関の情報収集	資格を活かせる仕事や就職先の情報収集	資格取得者の体験談を聞いた	関連分野に詳しい人に相談	キャリアコンサルタントに相談	必要な費用を準備	特に準備せず
51.2%	14.0%	7.0%	4.7%	-	16.3%	39.5%

⑤資格取得に要した期間

SA N=43

3か月未満	3か月～6か月未満	6か月～1年未満	1年～2年未満	2年～3年未満	3年以上
4.7%	7.0%	23.3%	7.0%	18.6%	39.5%

⑥資格取得の主な勉強方法

SA N=43

学校	資格取得スクール	公的職業訓練	業界団体等の講習会	通信教育	勤務先の勉強会、OJT	自主的勉強会	自学自習
58.1%	2.3%	-	14.0%	-	4.7%	-	20.9%

⑦利用した経済的支援

MA N=43

教育訓練給付金	無料・実費の公的職業訓練	学校、団体、公的機関等の奨学金	勤務先の補助や貸付制度	利用せず
-	-	11.6%	16.3%	72.1%

⑧資格取得に関して、課題となったこと、苦勞したこと(回答の多い順にトップ3及び「特にない」)

MA N=43

学費、教材費など費用の負担	仕事との両立	勉強や通学のための時間	特にない
32.6%	32.6%	23.3%	32.6%

【在職中に資格を取得した人の状況】

⑨資格取得活動への職場の対応

SA N=21

積極的に応援	特別の対応なし	あまり歓迎されない 雰囲気	周囲に知られて いなかった	職場に知られない ようにしていた
38.1%	42.9%	14.3%	-	4.8%

⑩資格取得による働き方や処遇の変化

MA N=21

社内で昇進・昇格に結びついた	資格を活かせる部署・担当に異動	社内で担当分野が広がった	職場で表彰された	周囲からの評価が高まった	転職あるいは独立した	職場外のネットワークが広がった	特に変化なし
9.5%	23.8%	9.5%	-	19.0%	9.5%	4.8%	38.1%

⑪資格取得による収入面での変化

MA N=21

勤務先から祝い金や報奨金が出た	基本給がアップした	資格手当がついた	資格所持に伴う活動による副収入を得た	特に変化なし
-	28.6%	23.8%	4.8%	47.6%

【資格取得に対する自己評価】

⑫資格を取得したことについての総合的判断

SA N=43

非常によかった、メリット大	どちらかというプラス	コストや時間の割にメリット小	まだ判断できない
41.9	46.5	11.6	-

⑬資格を取得して最もよかったと思う点

SA N=38

専門能力や知識が向上	仕事の範囲が拡大	評価や処遇が上昇	収入が増加	人的ネットワーク	職業生活設計のひろがり	社会貢献ができること	将来への備え
47.4%	15.8%	5.3%	7.9%	2.6%	2.6%	13.2%	5.3%

【他の資格との関係】

⑭他の資格も所持している人の割合

51.2%

N= 43

他の主な所持資格(3名以上)

看護師・准看護師、臨床検査技師、普通自動車免許(二種)、危険物取扱者、語学検定

⑮今後、新たな資格の取得を予定している人の割合

勉強中 11.6%

検討中 25.6%

N=43

【資格と仕事との関係】

⑯現在従事している職業(大分類で多い順トップ3)

SA N=42

専門的・技術的職業	販売・営業の職業	管理的職業、事務的職業
88.1%	4.8%	2.4%

【資格取得とキャリア形成に関する特徴】

男性比率が高く、雇用者比率および正規比率が高い。資格取得時期は、在学時と在職時がほぼ半々。資格取得動機としては「資格が必要な職業に就くため」が半数を超えて最も多く、資格の魅力・メリットとしては半数近くが「将来性」をあげている。在職中に資格取得した人は、職場が「積極的に応援してくれた」ケースが比較的多く、4人に1人程度は「資格を活かせる部署に異動」「基本給のアップ」「資格手当」など、資格取得が処遇面に反映されている。総合的評価も9割近くが肯定的判断。

診療放射線技師

表の数字は構成比(%)

回答者の属性 (109人)

性別	男性	79.8	女性	20.2						
年齢	20代	1.8	30代	34.9	40代	32.1	50代	22.0	60代以上	9.2
学歴	高校卒	-	短大・専修等卒	71.6	大学卒	22.9	大学院卒	3.7	その他	1.8
就業状態	雇用者	95.4	(正規比率	93.3)	自営	1.8	不就業	1.8	その他・不明	0.9

【資格取得時の状況】

①資格を取った時期

SA N=109

在学中・卒業直後	働きながら	仕事を辞めて学習に専念	求職活動中
91.7%	5.5%	2.8%	-

②資格取得動機(回答の多い順にトップ5)

MA N=109

資格が必要な職業に就くため	安定した職業に就くため	仕事上、資格があるほうが有利だから	より高い収入を得るため	就職活動に役立てるため
83.5%	53.2%	15.6%	11.0%	9.2%

③資格の魅力、メリット

MA N=109

将来性がある	社会的評価が高い	経験や知識を活かせる	適性や志向に合う	次の資格取得のステップになる	ライフスタイルに合った働き方に役立つ	社会や地域に貢献できる	取得が比較的容易
34.9%	18.3%	11.0%	39.4%	0.9%	11.0%	30.3%	8.3%

④学習を始める前の準備

MA N=109

学校や教育訓練機関の情報収集	資格を活かせる仕事や就職先の情報収集	資格取得者の体験談を聞いた	関連分野に詳しい人に相談	キャリアコンサルタントに相談	必要な費用を準備	特に準備せず
67.0%	15.6%	4.6%	3.7%	-	5.5%	22.9%

⑤資格取得に要した期間

SA N=109

3か月未満	3か月～6か月未満	6か月～1年未満	1年～2年未満	2年～3年未満	3年以上
0.9%	-	-	0.9%	25.7%	71.6%

⑥資格取得の主な勉強方法

SA N=109

学校	資格取得スクール	公的職業訓練	業界団体等の講習会	通信教育	勤務先の勉強会、OJT	自主的勉強会	自学自習
94.5%	-	-	-	-	-	0.9%	4.6%

⑦利用した経済的支援

MA N=109

教育訓練給付金	無料・実費の公的職業訓練	学校、団体、公的機関等の奨学金	勤務先の補助や貸付制度	利用せず
-	-	14.7%	5.5%	72.5%

⑧資格取得に関して、課題となったこと、苦労したこと(回答の多い順にトップ3及び「特にない」)

MA N=109

学費、教材費など費用の負担	勉強や通学のための時間	仕事との両立	特にない
31.2%	26.6%	13.8%	40.4%

【在職中に資格を取得した人の状況】 ……サンプル数が少ないため回答の実数を掲載

⑨資格取得活動への職場の対応

SA N=6

積極的に応援	特別の対応なし	あまり歓迎されない 雰囲気	周囲に知られて いなかった	職場に知られない ようにしていた
5	1	-	-	-

⑩資格取得による働き方や処遇の変化

MA N=6

社内で昇進・昇格に結びついた	資格を活かせる部署・担当に異動	社内で担当分野が広がった	職場で表彰された	周囲からの評価が高まった	転職あるいは独立した	職場外のネットワークが広がった	特に変化なし
-	2	1	1	-	1	-	1

⑪資格取得による収入面での変化

MA N=6

勤務先から祝い金や報奨金が出た	基本給がアップした	資格手当がついた	資格所持に伴う活動による副収入を得た	特に変化なし
1	5	4	-	-

【資格取得に対する自己評価】

⑫資格を取得したことについての総合的判断

SA N=109

非常によかった、メリット大	どちらかというとプラス	コストや時間の割にメリット小	まだ判断できない
58.7 %	34.9 %	0.9 %	5.5 %

⑬資格を取得して最もよかったと思う点

SA N=102

専門能力や知識が向上	仕事の範囲が拡大	評価や処遇が上昇	収入が増加	人的ネットワーク	職業生活設計のひろがり	社会貢献ができること	将来への備え
57.8 %	4.9 %	3.9 %	2.9 %	2.0 %	1.0 %	14.7 %	9.8 %

【他の資格との関係】

⑭他の資格も所持している人の割合

24.8%

N= 109

他の主な所持資格(4名以上)

普通自動車免許(二種)、大型自動車免許、危険物取扱者、衛生管理者

⑮今後、新たな資格の取得を予定している人の割合

勉強中 7.3%

検討中 14.7%

N=109

【資格と仕事との関係】

⑯現在従事している職業(大分類で多い順トップ3)

SA N=106

専門的・技術的職業	管理的職業	-
98.1 %	1.9 %	-

【資格取得とキャリア形成に関する特徴】

男性比率が高い。不就業が少なく、雇用者比率、正規比率、専門的・技術的職業従事者の比率がきわめて高い。取得時期は在学時が9割を超え、取得動機としては「資格が必要な職業に就くため」が8割超、「安定した職業に就くため」が5割超と、就業への意識が高いことがうかがえる。資格取得に要する期間が長く、勉強の中心は学校であり、学習前の準備として3人に2人が「学校等の情報収集」を行っている。総合的評価では、6割弱が「非常によかった」としている。

歯科衛生士

表の数字は構成比(%)

回答者の属性 (87人)

性別	男性	1.1	女性	98.9						
年齢	20代	6.9	30代	23.0	40代	40.2	50代	24.1	60代以上	5.7
学歴	高校卒	1.1	短大・専修等卒	85.1	大学卒	10.3	大学院卒	-	その他	3.4
就業状態	雇用者	80.5	(正規比率	68.6)	自営	5.7	不就業	8.0	その他	5.7

【資格取得時の状況】

①資格を取った時期

SA N=87

在学中・卒業直後	働きながら	仕事を辞めて学習に専念	求職活動中
89.7%	3.4%	6.9%	-

②資格取得動機 (回答の多い順にトップ5)

MA N=87

資格が必要な職業に就くため	安定した職業に就くため	仕事上、資格があるほうが有利だから	より高い収入を得るため	就職活動、いずれ役立つ
63.2%	42.5%	29.9%	13.8%	11.5%

③資格の魅力、メリット

MA N=87

将来性がある	社会的評価が高い	経験や知識を活かせる	適性や志向に合う	次の資格取得のステップになる	ライフスタイルに合った働き方に役立つ	社会や地域に貢献できる	取得が比較的容易
39.1%	9.2%	17.2%	26.4%	-	17.2%	12.6%	10.3%

④学習を始める前の準備

MA N=87

学校や教育訓練機関の情報収集	資格を活かせる仕事や就職先の情報収集	資格取得者の体験談を聞いた	関連分野に詳しい人に相談	キャリアコンサルタントに相談	必要な費用を準備	特に準備せず
56.3%	11.5%	5.7%	3.4%	-	6.9%	26.4%

⑤資格取得に要した期間

SA N=87

3か月未満	3か月～6か月未満	6か月～1年未満	1年～2年未満	2年～3年未満	3年以上
1.1%	3.4%	3.4%	44.8%	39.1%	8.0%

⑥資格取得の主な勉強方法

SA N=87

学校	資格取得スクール	公的職業訓練	業界団体等の講習会	通信教育	勤務先の勉強会、OJT	自主的勉強会	自学自習
94.3%	2.3%	-	-	1.1%	-	-	1.1%

⑦利用した経済的支援

MA N=87

教育訓練給付金	無料・実費の公的職業訓練	学校、団体、公的機関等の奨学金	勤務先の補助や貸付制度	利用せず
-	-	5.7%	-	94.3%

⑧資格取得に関して、課題となったこと、苦労したこと (回答の多い順にトップ3及び「特にない」)

MA N=87

学費、教材費など費用の負担	勉強や通学のための時間	家事、育児など家庭との両立	特にない
20.7%	16.1%	4.6%	62.1%

【在職中に資格を取得した人の状況】 ……サンプル数が少ないため回答の実数を掲載

⑨資格取得活動への職場の対応

SA N=3

積極的に応援	特別の対応なし	あまり歓迎されない 雰囲気	周囲に知られて いなかった	職場に知られない ようにしていた
2	-	1	-	-

⑩資格取得による働き方や処遇の変化

MA N=3

社内で昇進・昇格に結びついた	資格を活かせる部署・担当に異動	社内で担当分野が広がった	職場で表彰された	周囲からの評価が高まった	転職あるいは独立した	職場外のネットワークが広がった	特に変化なし
-	-	-	-	-	-	1	2

⑪資格取得による収入面での変化

MA N=3

勤務先から祝い金や報奨金が出た	基本給がアップした	資格手当がついた	資格所持に伴う活動による副収入を得た	特に変化なし
1	1	1	-	-

【資格取得に対する自己評価】

⑫資格を取得したことについての総合的判断

SA N=87

非常によかった、 メリット大	どちらかという プラス	コストや時間の割に メリット小	まだ判断できない
42.5 %	41.4 %	9.2 %	6.9 %

⑬資格を取得して最もよかったと思う点

SA N=73

専門能力や知識が向上	仕事の範囲が拡大	評価や処遇が上昇	収入が増加	人的ネットワーク	職業生活設計のひろがり	社会貢献ができること	将来への備え
39.7 %	16.4 %	5.5 %	11.0 %	2.7 %	4.1 %	12.3 %	6.8 %

【他の資格との関係】

⑭他の資格も所持している人の割合

55.2%

N= 87

他の主な所持資格(4名以上)

介護支援専門員(ケアマネージャー)、簿記、訪問介護員2級・介護職員初任者研修、秘書検定、普通自動車免許(二種)、社会福祉士、介護福祉士、医療事務

⑮今後、新たな資格の取得を予定している人の割合

勉強中 3.4%

検討中 34.5%

N=87

【資格と仕事との関係】

⑯現在従事している職業(大分類で多い順トップ3)

SA N=80

専門的・技術的職業	事務的職業	サービスの職業
73.8 %	8.8 %	5.0 %

【資格取得とキャリア形成に関する特徴】

ほとんどが女性。不就業は1割未満。資格取得時期は約9割が在学時。取得動機としては「資格が必要な職業に就くため」が6割強、「安定した職業に就くため」が4割強であり、就業への意識が高いことがうかがえる。資格の魅力・メリットとしては、「将来性」をあげる人が約4割と最も多い。勉強の中心は学校であり、学習前の準備として6割弱が「学校等の情報収集」を行っている。資格取得の総合的評価では、4割強が「非常によかった」としている。

歯科技工士

表の数字は構成比(%)

回答者の属性 (71人)

性別	男性	84.5	女性	15.5						
年齢	20代	-	30代	14.1	40代	32.4	50代	47.9	60代以上	5.6
学歴	高校卒	1.4	短大・専修等卒	90.1	大学卒	1.4	大学院卒	4.2	その他	2.8
就業状態	雇用者	52.1	(正規比率	94.6)	自営	42.3	不就業	4.2	その他	1.4

【資格取得時の状況】

①資格を取った時期

SA N=71

在学中・卒業直後	働きながら	仕事を辞めて学習に専念	求職活動中
88.7%	8.5%	2.8%	-

②資格取得動機 (回答の多い順にトップ5)

MA N=71

資格が必要な職業に就くため	安定した職業に就くため	仕事上、資格があるほうが有利だから	将来の独立のため	就職活動、より高い収入
81.7%	26.8%	15.5%	14.1%	12.7%

③資格の魅力、メリット

MA N=71

将来性がある	社会的評価が高い	経験や知識を活かせる	適性や志向に合う	次の資格取得のステップになる	ライフスタイルに合った働き方に役立つ	社会や地域に貢献できる	取得が比較的容易
18.3%	8.5%	5.6%	63.4%	1.4%	11.3%	19.7%	5.6%

④学習を始める前の準備

MA N=71

学校や教育訓練機関の情報収集	資格を活かせる仕事や就職先の情報収集	資格取得者の体験談を聞いた	関連分野に詳しい人に相談	キャリアコンサルタントに相談	必要な費用を準備	特に準備せず
49.3%	15.5%	7.0%	7.0%	-	14.1%	26.8%

⑤資格取得に要した期間

SA N=71

3か月未満	3か月～6か月未満	6か月～1年未満	1年～2年未満	2年～3年未満	3年以上
2.8%	1.4%	1.4%	38.0%	46.5%	9.9%

⑥資格取得の主な勉強方法

SA N=71

学校	資格取得スクール	公的職業訓練	業界団体等の講習会	通信教育	勤務先の勉強会、OJT	自主的勉強会	自学自習
94.4%	1.4%	-	1.4%	-	-	-	2.8%

⑦利用した経済的支援

MA N=71

教育訓練給付金	無料・実費の公的職業訓練	学校、団体、公的機関等の奨学金	勤務先の補助や貸付制度	利用せず
-	-	5.6%	1.4%	88.7%

⑧資格取得に関して、課題となったこと、苦労したこと (回答の多い順にトップ3及び「特にない」)

MA N=71

学費、教材費など費用の負担	勉強や通学のための時間	仕事との両立	特にない
28.2%	26.8%	14.1%	42.3%

【在職中に資格を取得した人の状況】 ……サンプル数が少ないため回答の実数を掲載

⑨資格取得活動への職場の対応

SA N=6

積極的に応援	特別の対応なし	あまり歓迎されない 雰囲気	周囲に知られて いなかった	職場に知られない ようにしていた
1	4	-	1	-

⑩資格取得による働き方や処遇の変化

MA N=6

社内で昇進・昇格に結びついた	資格を活かせる部署・担当に異動	社内で担当分野が広がった	職場で表彰された	周囲からの評価が高まった	転職あるいは独立した	職場外のネットワークが広がった	特に変化なし
-	-	1	-	-	1	-	3

⑪資格取得による収入面での変化

MA N=6

勤務先から祝い金や報奨金が出た	基本給がアップした	資格手当がついた	資格所持に伴う活動による副収入を得た	特に変化なし
-	2	1	-	4

【資格取得に対する自己評価】

⑫資格を取得したことについての総合的判断

SA N=71

非常によかった、メリット大	どちらかというプラス	コストや時間の割にメリット小	まだ判断できない
31.0%	39.4%	23.9%	5.6%

⑬資格を取得して最もよかったと思う点

SA N=50

専門能力や知識が向上	仕事の範囲が拡大	評価や処遇が上昇	収入が増加	人的ネットワーク	職業生活設計のひろがり	社会貢献ができること	将来への備え
52.0%	6.0%	-	2.0%	2.0%	2.0%	24.0%	8.0%

【他の資格との関係】

⑭他の資格も所持している人の割合

38.0%

N= 71

他の主な所持資格(4名以上)

普通自動車免許(二種)、訪問介護員2級・介護職員初任者研修、大型自動車免許

⑮今後、新たな資格の取得を予定している人の割合

勉強中 5.6%

検討中 12.7%

N=71

【資格と仕事との関係】

⑯現在従事している職業(大分類で多い順トップ3)

SA N=68

専門的・技術的職業	サービスの職業	管理的職業、販売・営業の職業
76.5%	8.8%	4.4%

【資格取得とキャリア形成に関する特徴】

男性比率が高い。自営が4割強と自営比率が比較的高い。資格取得時期は9割弱が在学時。資格取得動機としては、「資格が必要な職業に就くため」が8割強に達し、資格の魅力・メリットとしては「適性や志向に合う」が6割超と集中しており、資格取得の目的意識が明確な人が多いことがうかがえる。総合的判断は7割が肯定的であるが、4人に1人は「かかったコストや時間の割にメリット小」との判断。

薬剤師

表の数字は構成比(%)

回答者の属性 (116人)

性別	男性	42.2	女性	57.8						
年齢	20代	3.4	30代	30.2	40代	30.2	50代	25.0	60代以上	11.2
学歴	高校卒	-	短大・専修等卒	-	大学卒	75.9	大学院卒	21.6	その他	2.6
就業状態	雇用者	79.3	(正規比率	77.2)	自営	2.6	不就業	16.4	その他・不明	1.7

【資格取得時の状況】

①資格を取った時期

SA N=116

在学中・卒業直後	働きながら	仕事を辞めて学習に専念	求職活動中
98.3%	1.7%	-	-

②資格取得動機(回答の多い順にトップ5)

MA N=116

資格が必要な職業に就くため	安定した職業に就くため	仕事上、資格があるほうが有利だから	いずれ何かの役に立つかもしれないと思ったから	より高い収入を得るため
62.1%	49.1%	26.7%	20.7%	17.2%

③資格の魅力、メリット

MA N=116

将来性がある	社会的評価が高い	経験や知識を活かせる	適性や志向に合う	次の資格取得のステップになる	ライフスタイルに合った働き方に役立つ	社会や地域に貢献できる	取得が比較的容易
41.4%	28.4%	28.4%	37.1%	1.7%	17.2%	26.7%	3.4%

④学習を始める前の準備

MA N=116

学校や教育訓練機関の情報収集	資格が活かせる仕事や就職先の情報収集	資格取得者の体験談を聞いた	関連分野に詳しい人に相談	キャリアコンサルタントに相談	必要な費用を準備	特に準備せず
37.9%	12.9%	1.7%	2.6%	0.9%	5.2%	45.7%

⑤資格取得に要した期間

SA N=116

3か月未満	3か月～6か月未満	6か月～1年未満	1年～2年未満	2年～3年未満	3年以上
8.6%	4.3%	2.6%	2.6%	0.9%	81.0%

⑥資格取得の主な勉強方法

SA N=116

学校	資格取得スクール	公的職業訓練	業界団体等の講習会	通信教育	勤務先の勉強会、OJT	自主的勉強会	自学自習
82.8%	-	-	-	-	-	0.9%	15.5%

⑦利用した経済的支援

MA N=116

教育訓練給付金	無料・実費の公的職業訓練	学校、団体、公的機関等の奨学金	勤務先の補助や貸付制度	利用せず
-	0.9%	17.2%	-	80.2%

⑧資格取得に関して、課題となったこと、苦労したこと(回答の多い順にトップ3及び「特にない」)

MA N=116

勉強や通学のための時間	学費、教材費など費用の負担	学習内容や学習の進め方がよくわからない	特にない
31.0%	27.6%	7.8%	52.6%

【在職中に資格を取得した人の状況】 ……サンプル数が少ないため回答の実数を掲載

⑨資格取得活動への職場の対応

SA N=2

積極的に応援	特別の対応なし	あまり歓迎されない 雰囲気	周囲に知られて いなかった	職場に知られない ようにしていた
-	2	-	-	-

⑩資格取得による働き方や処遇の変化

MA N=2

社内で昇進・昇格に結びついた	資格を活かせる部署・担当に異動	社内で担当分野が広がった	職場で表彰された	周囲からの評価が高まった	転職あるいは独立した	職場外のネットワークが広がった	特に変化なし
-	-	-	-	-	-	-	2

⑪資格取得による収入面での変化

MA N=2

勤務先から祝い金や報奨金が出た	基本給がアップした	資格手当がついた	資格所持に伴う活動による副収入を得た	特に変化なし
-	-	-	-	2

【資格取得に対する自己評価】

⑫資格を取得したことについての総合的判断

SA N=116

非常によかった、 メリット大	どちらかという プラス	コストや時間の割に メリット小	まだ判断できない
57.8 %	31.9 %	5.2 %	4.3 %

⑬資格を取得して最もよかったと思う点

SA N=104

専門能力や知識が向上	仕事の範囲が拡大	評価や処遇が上昇	収入が増加	人的ネットワーク	職業生活設計のひろがり	社会貢献ができること	将来への備え
44.2 %	9.6 %	5.8 %	2.9 %	1.0 %	5.8 %	16.3 %	13.5 %

【他の資格との関係】

⑭他の資格も所持している人の割合

0.0%

N= 116

他の主な所持資格

(臨床検査技師として回答された中に薬剤師資格所持者が含まれている。)

⑮今後、新たな資格の取得を予定している人の割合

勉強中 4.3%

検討中 12.1%

N=116

【資格と仕事との関係】

⑯現在従事している職業（大分類で多い順トップ3）

SA N=96

専門的・技術的職業	管理的職業	事務的職業
80.2 %	10.4 %	5.2 %

【資格取得とキャリア形成に関する特徴】

女性がやや多い。在職者の8割が専門的・技術的職業に従事。ほとんどが在学時に資格を取得。資格取得動機としては「資格が必要な職業に就くため」が6割強、「安定した職業に就くため」が約5割であり、就職との結びつきが強いが、「いずれ何かの役に立つかもしれないから」という回答も2割あり、意識が多様であることがうかがえる。総合的評価では、6割弱が「非常によかった」としており、肯定的判断が9割と高い。

登録販売者

表の数字は構成比(%)

回答者の属性 (95人)

性別	男性	56.8	女性	43.2						
年齢	20代	9.5	30代	31.6	40代	42.1	50代	11.6	60代以上	5.3
学歴	高校卒	29.5	短大・専修等卒	24.2	大学卒	40.0	大学院卒	2.1	その他	4.2
就業状態	雇用者	66.3	(正規比率	76.2)	自営	21.1	不就業	9.5	その他・不明	3.2

【資格取得時の状況】

①資格を取った時期

SA N=95

在学中・卒業直後	働きながら	仕事を辞めて学習に専念	求職活動中
3.2%	89.5%	3.2%	1.1%

②資格取得動機(回答の多い順にトップ5)

MA N=95

工作上、資格がある ほうが有利だから	勤め先からの要請や 勧奨があったから	資格が必要な職業に 就くため	自分自身の勉強や 自己啓発のため	仕事の範囲を広げ たいと思ったから
53.7%	40.0%	32.6%	30.5%	20.0%

③資格の魅力、メリット

MA N=95

将来性がある	社会的評価が 高い	経験や知識を 活かせる	適性や志向に 合う	次の資格取得 のステップに なる	ライフスタイルに 合った働き方に 役立つ	社会や地域に 貢献できる	取得が比較的 容易
14.7%	7.4%	61.1%	20.0%	9.5%	14.7%	8.4%	16.8%

④学習を始める前の準備

MA N=95

学校や教育訓練 機関の情報収集	資格が活かせる 仕事や就職先の 情報収集	資格取得者の体 験談を聞いた	関連分野に詳 しい人に相談	キャリアコンサ ルタントに相談	必要な費用を 準備	特に準備せず
28.4%	5.3%	6.3%	12.6%	1.1%	16.8%	35.8%

⑤資格取得に要した期間

SA N=95

3か月未満	3か月～6か月未満	6か月～1年未満	1年～2年未満	2年～3年未満	3年以上
14.7%	29.5%	29.5%	14.7%	6.3%	5.3%

⑥資格取得の主な勉強方法

SA N=95

学校	資格取得 スクール	公的職業訓練	業界団体等 の講習会	通信教育	勤務先の勉強 会、OJT	自主的勉強会	自学自習
4.2%	6.3%	-	6.3%	9.5%	20.0%	-	52.6%

⑦利用した経済的支援

MA N=95

教育訓練給付金	無料・実費の 公的職業訓練	学校、団体、公的 機関等の奨学金	勤務先の補助 や貸付制度	利用せず
-	1.1%	2.1%	16.8%	78.9%

⑧資格取得に関して、課題となったこと、苦労したこと(回答の多い順にトップ3及び「特にない」)

MA N=95

仕事との両立	勉強や通学のための時間	学費、教材費など費用 の負担	特にない
43.2%	21.1%	12.6%	30.5%

【在職中に資格を取得した人の状況】

⑨資格取得活動への職場の対応

SA N=85

積極的に応援	特別の対応なし	あまり歓迎されない 雰囲気	周囲に知られて いなかった	職場に知られない ようにしていた
49.4%	38.8%	1.2%	3.5%	3.5%

⑩資格取得による働き方や処遇の変化

MA N=85

社内で昇進・昇格に結びついた	資格を活かせる部署・担当に異動	社内で担当分野が広がった	職場で表彰された	周囲からの評価が高まった	転職あるいは独立した	職場外のネットワークが広がった	特に変化なし
11.8%	7.1%	15.3%	3.5%	21.2%	5.9%	2.4%	58.8%

⑪資格取得による収入面での変化

MA N=85

勤務先から祝い金や報奨金が出た	基本給がアップした	資格手当がついた	資格所持に伴う活動による副収入を得た	特に変化なし
4.7%	5.9%	47.1%	4.7%	42.4%

【資格取得に対する自己評価】

⑫資格を取得したことについての総合的判断

SA N=95

非常によかった、メリット大	どちらかというプラス	コストや時間の割にメリット小	まだ判断できない
23.2%	53.7%	12.6%	10.5%

⑬資格を取得して最もよかったと思う点

SA N=73

専門能力や知識が向上	仕事の範囲が拡大	評価や処遇が上昇	収入が増加	人的ネットワーク	職業生活設計のひろがり	社会貢献ができること	将来への備え
31.5%	26.0%	4.1%	12.3%	-	2.7%	4.1%	13.7%

【他の資格との関係】

⑭他の資格も所持している人の割合

57.9%

N= 95

他の主な所持資格(5名以上)

医療事務、簿記、普通自動車免許(二種)、はり師・きゅう師・あん摩マッサージ指圧師、柔道整復師、食品衛生管理者、危険物取扱者、衛生管理者、宅地建物取引主任者、秘書検定、語学検定

⑮今後、新たな資格の取得を予定している人の割合

勉強中 7.4%

検討中 22.1%

N=95

【資格と仕事との関係】

⑯現在従事している職業(大分類で多い順トップ3)

SA N=85

販売・営業の職業	専門的・技術的職業	事務的職業
47.1%	23.5%	10.6%

【資格取得とキャリア形成に関する特徴】

男女比は男性がやや多い。在職時取得者が約9割。取得動機として、「仕事上有利」が5割強、「勤め先からの要請や勧奨」が4割であり、資格の魅力・メリットとしては「経験や知識を活かせる」が6割強と、現職において資格を活かすことを志向している人が多いことがうかがえる。「職場が積極的に応援」が約半数、働き方には大きな変化がない場合が多いが、「資格手当がついた」とする回答が半数近くに達し、収入面には資格取得が反映される傾向がみられる。総合的評価は4人に3人が肯定的。

栄養士、管理栄養士

表の数字は構成比(%)

回答者の属性 (104人)

性別	男性	3.8	女性	96.2						
年齢	20代	4.8	30代	28.8	40代	24.0	50代	25.0	60代以上	17.3
学歴	高校卒	-	短大・専修等卒	73.1	大学卒	26.0	大学院卒	1.0	その他	-
就業状態	雇用者	39.4	(正規比率	41.5)	自営	3.8	不就業	52.9	その他・不明	3.8

【資格取得時の状況】

①資格を取った時期

SA N=104

在学中・卒業直後	働きながら	仕事を辞めて学習に専念	求職活動中
90.4%	7.7%	1.0%	-

②資格取得動機(回答の多い順にトップ5)

MA N=104

いずれ何かの役に立つかもしれないと思ったから	資格が必要な職業に就くため	自分自身の勉強や自己啓発のため	就職活動に役立つため	仕事上、資格があるほうが有利だから
40.4%	33.7%	23.1%	21.2%	16.3%

③資格の魅力、メリット

MA N=104

将来性がある	社会的評価が高い	経験や知識を活かせる	適性や志向に合う	次の資格取得のステップになる	ライフスタイルに合った働き方に役立つ	社会や地域に貢献できる	取得が比較的容易
15.4%	4.8%	26.9%	43.3%	8.7%	15.4%	9.6%	22.1%

④学習を始める前の準備

MA N=104

学校や教育訓練機関の情報収集	資格を活かせる仕事や就職先の情報収集	資格取得者の体験談を聞いた	関連分野に詳しい人に相談	キャリアコンサルタントに相談	必要な費用を準備	特に準備せず
33.7%	13.5%	1.0%	2.9%	-	1.9%	52.9%

⑤資格取得に要した期間

SA N=104

3か月未満	3か月～6か月未満	6か月～1年未満	1年～2年未満	2年～3年未満	3年以上
3.8%	1.9%	3.8%	42.3%	26.0%	22.1%

⑥資格取得の主な勉強方法

SA N=104

学校	資格取得スクール	公的職業訓練	業界団体等の講習会	通信教育	勤務先の勉強会、OJT	自主的勉強会	自学自習
92.3%	1.0%	-	-	-	-	-	5.8%

⑦利用した経済的支援

MA N=104

教育訓練給付金	無料・実費の公的職業訓練	学校、団体、公的機関等の奨学金	勤務先の補助や貸付制度	利用せず
-	-	7.7%	-	91.3%

⑧資格取得に関して、課題となったこと、苦労したこと(回答の多い順にトップ3及び「特にない」)

MA N=104

勉強や通学のための時間	学費、教材費など費用の負担	仕事との両立、資格が実際に役に立つか	特にない
15.4%	14.4%	7.7%	58.7%

【在職中に資格を取得した人の状況】 ……サンプル数が少ないため回答の実数を掲載

⑨資格取得活動への職場の対応

SA N=8

積極的に応援	特別の対応なし	あまり歓迎されない 雰囲気	周囲に知られて いなかった	職場に知られない ようにしていた
-	7	-	1	-

⑩資格取得による働き方や処遇の変化

MA N=8

社内で昇進・昇格に結びついた	資格を活かせる部署・担当に異動	社内で担当分野が広がった	職場で表彰された	周囲からの評価が高まった	転職あるいは独立した	職場外のネットワークが広がった	特に変化なし
2	2	1	-	2	1	-	3

⑪資格取得による収入面での変化

MA N=8

勤務先から祝い金や報奨金が出た	基本給がアップした	資格手当がついた	資格所持に伴う活動による副収入を得た	特に変化なし
1	1	3	-	4

【資格取得に対する自己評価】

⑫資格を取得したことについての総合的判断

SA N=104

非常によかった、メリット大	どちらかというとプラス	コストや時間の割にメリット小	まだ判断できない
15.4 %	50.0 %	24.0 %	10.6 %

⑬資格を取得して最もよかったと思う点

SA N=68

専門能力や知識が向上	仕事の範囲が拡大	評価や処遇が上昇	収入が増加	人的ネットワーク	職業生活設計のひろがり	社会貢献ができること	将来への備え
54.4 %	7.4 %	5.9 %	-	1.5 %	2.9 %	14.7 %	13.2 %

【他の資格との関係】

⑭他の資格も所持している人の割合

6.7%

N= 104

他の主な所持資格

⑮今後、新たな資格の取得を予定している人の割合

勉強中 4.8%

検討中 9.6%

N=104

【資格と仕事との関係】

⑯現在従事している職業（大分類で多い順トップ3）

SA N=46

事務的職業	専門的・技術的職業	サービスの職業
43.5 %	28.3 %	17.4 %

【資格取得とキャリア形成に関する特徴】

女性比率が高い。不就業の比率が高く、正規比率が低い。現職は事務的職業が最も多い。9割が在学時に資格取得。取得動機として、「いずれ何かの役に立つかもしれない」が4割で最も多く、中長期的な備えとして資格を取得した人が多いことがうかがえる。資格取得に対する総合的評価は、3人に2人は肯定的だが、資格と働き方の現状が必ずしも結びついていない人が少なくないこともあり、「非常によかった」とする人の割合は小さい。

調理師

表の数字は構成比(%)

回答者の属性 (99人)

性別	男性	53.5	女性	46.5						
年齢	20代	-	30代	22.2	40代	33.3	50代	17.2	60代以上	27.3
学歴	高校卒	29.3	短大・専修等卒	35.4	大学卒	25.3	大学院卒	1.0	その他	9.1
就業状態	雇用者	46.5	(正規比率	43.5)	自営	23.2	不就業	25.3	その他・不明	5.1

【資格取得時の状況】

①資格を取った時期

SA N=99

在学中・卒業直後	働きながら	仕事を辞めて学習に専念	求職活動中
30.3%	61.6%	4.0%	1.0%

②資格取得動機(回答の多い順にトップ5)

MA N=99

工作上、資格があるほうが有利だから	自分自身の勉強や自己啓発のため	資格が必要な職業に就くため	いずれ何かの役に立つかもしれないと思ったから	肩書きや呼称があるとういと思ったから
45.5%	24.2%	23.2%	19.2%	17.2%

③資格の魅力、メリット

MA N=99

将来性がある	社会的評価が高い	経験や知識を活かせる	適性や志向に合う	次の資格取得のステップになる	ライフスタイルに合った働き方に役立つ	社会や地域に貢献できる	取得が比較的容易
16.2%	8.1%	41.4%	29.3%	6.1%	18.2%	8.1%	34.3%

④学習を始める前の準備

MA N=99

学校や教育訓練機関の情報収集	資格が活かせる仕事や就職先の情報収集	資格取得者の体験談を聞いた	関連分野に詳しい人に相談	キャリアコンサルタントに相談	必要な費用を準備	特に準備せず
32.3%	15.2%	6.1%	5.1%	1.0%	14.1%	39.4%

⑤資格取得に要した期間

SA N=99

3か月未満	3か月～6か月未満	6か月～1年未満	1年～2年未満	2年～3年未満	3年以上
25.3%	18.2%	13.1%	23.2%	15.2%	4.0%

⑥資格取得の主な勉強方法

SA N=99

学校	資格取得スクール	公的職業訓練	業界団体等の講習会	通信教育	勤務先の勉強会、OJT	自主的勉強会	自学自習
35.4%	2.0%	1.0%	7.1%	3.0%	3.0%	-	48.5%

⑦利用した経済的支援

MA N=99

教育訓練給付金	無料・実費の公的職業訓練	学校、団体、公的機関等の奨学金	勤務先の補助や貸付制度	利用せず
-	1.0%	2.0%	8.1%	87.9%

⑧資格取得に関して、課題となったこと、苦労したこと(回答の多い順にトップ3及び「特にない」)

MA N=99

仕事との両立	学費、教材費など費用の負担	勉強や通学のための時間	特にない
21.2%	15.2%	9.1%	51.5%

【在職中に資格を取得した人の状況】

⑨資格取得活動への職場の対応

SA N=61

積極的に応援	特別の対応なし	あまり歓迎されない 雰囲気	周囲に知られて いなかった	職場に知られない ようにしていた
24.6%	45.9%	1.6%	8.2%	14.8%

⑩資格取得による働き方や処遇の変化

MA N=61

社内で昇進・昇格に結びついた	資格を活かせる部署・担当に異動	社内で担当分野が広がった	職場で表彰された	周囲からの評価が高まった	転職あるいは独立した	職場外のネットワークが広がった	特に変化なし
11.5%	8.2%	8.2%	-	11.5%	8.2%	-	67.2%

⑪資格取得による収入面での変化

MA N=61

勤務先から祝い金や報奨金が出た	基本給がアップした	資格手当がついた	資格所持に伴う活動による副収入を得た	特に変化なし
-	11.5%	9.8%	1.6%	80.3%

【資格取得に対する自己評価】

⑫資格を取得したことについての総合的判断

SA N=99

非常によかった、 メリット大	どちらかという プラス	コストや時間の割に メリット小	まだ判断できない
20.2%	49.5%	14.1%	16.2%

⑬資格を取得して最もよかったと思う点

SA N=69

専門能力や知識が向上	仕事の範囲が拡大	評価や処遇が上昇	収入が増加	人的ネットワーク	職業生活設計のひろがり	社会貢献ができること	将来への備え
42.0%	17.4%	7.2%	2.9%	-	2.9%	7.2%	15.9%

【他の資格との関係】

⑭他の資格も所持している人の割合

5.1%

N= 99

他の主な所持資格

⑮今後、新たな資格の取得を予定している人の割合

勉強中 4.0%

検討中 21.2%

N=99

【資格と仕事との関係】

⑯現在従事している職業（大分類で多い順トップ3）

SA N=72

サービスの職業	販売・営業の職業	事務的職業
51.4%	13.9%	12.5%

【資格取得とキャリア形成に関する特徴】

男女比は半々よりやや男性が多い。自営、不就業がそれぞれ約4分の1。現職は約半数がサービスの職業。資格取得時点は在学時3割、在職時6割と働きながら取得した人が多い。取得動機として「仕事上有利」が最も多く、資格の魅力・メリットとしては、「経験や知識を活かせる」「取得が比較的容易」などをあげる人が多い。処遇や収入面では資格取得による変化がない人が多い。総合評価として7割は肯定的判断だが、「非常によかった」という割合は2割と比較的小さい。

製菓衛生師

表の数字は構成比(%)

回答者の属性 (37人)

性別	男性	54.1	女性	45.9						
年齢	20代	10.8	30代	16.2	40代	43.2	50代	16.2	60代以上	13.5
学歴	高校卒	10.8	短大・専修等卒	54.1	大学卒	27.0	大学院卒	2.7	その他	5.4
就業状態	雇用者	62.2	(正規比率	56.5)	自営	24.3	不就業	13.5	その他	-

【資格取得時の状況】

①資格を取った時期

SA N=37

在学中・卒業直後	働きながら	仕事を辞めて学習に専念	求職活動中
27.0%	67.6%	-	-

②資格取得動機(回答の多い順にトップ5)

MA N=37

工作上、資格があるほうが有利だから	自分自身の勉強や自己啓発のため	資格が必要な職業に就くため	将来の独立のため	勤め先からの要請や勧奨、いずれ役に立つ
40.5%	29.7%	18.9%	16.2%	13.5%

③資格の魅力、メリット

MA N=37

将来性がある	社会的評価が高い	経験や知識を活かせる	適性や志向に合う	次の資格取得のステップになる	ライフスタイルに合った働き方に役立つ	社会や地域に貢献できる	取得が比較的容易
-	-	51.4%	13.5%	5.4%	21.6%	-	21.6%

④学習を始める前の準備

MA N=37

学校や教育訓練機関の情報収集	資格を活かせる仕事や就職先の情報収集	資格取得者の体験談を聞いた	関連分野に詳しい人に相談	キャリアコンサルタントに相談	必要な費用を準備	特に準備せず
24.3%	10.8%	10.8%	5.4%	-	5.4%	40.5%

⑤資格取得に要した期間

SA N=37

3か月未満	3か月～6か月未満	6か月～1年未満	1年～2年未満	2年～3年未満	3年以上
27.0%	13.5%	18.9%	16.2%	13.5%	8.1%

⑥資格取得の主な勉強方法

SA N=37

学校	資格取得スクール	公的職業訓練	業界団体等の講習会	通信教育	勤務先の勉強会、OJT	自主的勉強会	自学自習
35.1%	2.7%	-	5.4%	5.4%	2.7%	-	48.6%

⑦利用した経済的支援

MA N=37

教育訓練給付金	無料・実費の公的職業訓練	学校、団体、公的機関等の奨学金	勤務先の補助や貸付制度	利用せず
-	2.7%	5.4%	-	89.2%

⑧資格取得に関して、課題となったこと、苦労したこと(回答の多い順にトップ3及び「特にない」)

MA N=37

仕事との両立	資格が実際に役に立つかわからない	学費、教材費など費用の負担	特にない
18.9%	13.5%	8.1%	51.4%

【在職中に資格を取得した人の状況】

⑨資格取得活動への職場の対応

SA N=25

積極的に応援	特別の対応なし	あまり歓迎されない 雰囲気	周囲に知られて いなかった	職場に知られない ようにしていた
20.0%	52.0%	4.0%	12.0%	8.0%

⑩資格取得による働き方や処遇の変化

MA N=25

社内で昇進・昇格に結びついた	資格を活かせる部署・担当に異動	社内で担当分野が広がった	職場で表彰された	周囲からの評価が高まった	転職あるいは独立した	職場外のネットワークが広がった	特に変化なし
4.0%	4.0%	4.0%	4.0%	-	-	-	84.0%

⑪資格取得による収入面での変化

MA N=25

勤務先から祝い金や報奨金が出た	基本給がアップした	資格手当がついた	資格所持に伴う活動による副収入を得た	特に変化なし
-	4.0%	8.0%	4.0%	84.0%

【資格取得に対する自己評価】

⑫資格を取得したことについての総合的判断

SA N=37

非常によかった、メリット大	どちらかというプラス	コストや時間の割にメリット小	まだ判断できない
8.1%	48.6%	32.4%	10.8%

⑬資格を取得して最もよかったと思う点

SA N=21

専門能力や知識が向上	仕事の範囲が拡大	評価や処遇が上昇	収入が増加	人的ネットワーク	職業生活設計のひろがり	社会貢献ができること	将来への備え
38.1%	23.8%	4.8%	4.8%	9.5%	9.5%	-	9.5%

【他の資格との関係】

⑭他の資格も所持している人の割合

64.9%

N= 37

他の主な所持資格(3名以上)

調理師、簿記、食品衛生管理者、技能士(ものづくり分野)、栄養士・管理栄養士、危険物取扱者、普通自動車免許(二種)、医療事務、語学検定

⑮今後、新たな資格の取得を予定している人の割合

勉強中 8.1%

検討中 29.7%

N=37

【資格と仕事との関係】

⑯現在従事している職業(大分類で多い順トップ3)

SA N=32

専門的・技術的職業	事務的職業	サービスの職業
40.6%	15.6%	15.6%

【資格取得とキャリア形成に関する特徴】

男女比は半々よりやや男性が多い。自営が4人に1人。現職は4割が専門的・技術的職業。在職時取得者が3分の2であり、資格取得動機は「仕事上有利」、資格の魅力・メリットは「経験・知識を活かせる」が多い。他の資格の所持状況から、食品関連の資格取得の一環として取り組んだ在職者が多いことがうかがえるが、処遇や収入面では大きな変化がない人が多い。総合評価として半数以上は肯定的判断であるが、「非常によかった」とする人の割合は1割未満と小さい。

理容師

表の数字は構成比(%)

回答者の属性 (56人)

性別	男性	92.9	女性	7.1						
年齢	20代	-	30代	8.9	40代	44.6	50代	23.2	60代以上	23.2
学歴	高校卒	14.3	短大・専修等卒	76.8	大学卒	5.4	大学院卒	-	その他	3.6
就業状態	雇用者	10.7	(正規比率	100.0)	自営	76.8	不就業	3.6	その他・不明	8.9

【資格取得時の状況】

①資格を取った時期

SA N=56

在学中・卒業直後	働きながら	仕事を辞めて学習に専念	求職活動中
32.1%	64.3%	1.8%	-

②資格取得動機 (回答の多い順にトップ5)

MA N=56

資格が必要な職業に就くため	安定した職業に就くため	将来の独立のため	工作上、資格があるほうが有利だから	勤め先からの要請や勧奨があったから
69.6%	16.1%	16.1%	10.7%	7.1%

③資格の魅力、メリット

MA N=56

将来性がある	社会的評価が高い	経験や知識を活かせる	適性や志向に合う	次の資格取得のステップになる	ライフスタイルに合った働き方に役立つ	社会や地域に貢献できる	取得が比較的容易
8.9%	-	17.9%	19.6%	-	17.9%	16.1%	8.9%

④学習を始める前の準備

MA N=56

学校や教育訓練機関の情報収集	資格を活かせる仕事や就職先の情報収集	資格取得者の体験談を聞いた	関連分野に詳しい人に相談	キャリアコンサルタントに相談	必要な費用を準備	特に準備せず
39.3%	10.7%	1.8%	3.6%	1.8%	10.7%	42.9%

⑤資格取得に要した期間

SA N=56

3か月未満	3か月～6か月未満	6か月～1年未満	1年～2年未満	2年～3年未満	3年以上
1.8%	3.6%	3.6%	35.7%	39.3%	16.1%

⑥資格取得の主な勉強方法

SA N=56

学校	資格取得スクール	公的職業訓練	業界団体等の講習会	通信教育	勤務先の勉強会、OJT	自主的勉強会	自学自習
55.4%	5.4%	3.6%	5.4%	12.5%	5.4%	1.8%	8.9%

⑦利用した経済的支援

MA N=56

教育訓練給付金	無料・実費の公的職業訓練	学校、団体、公的機関等の奨学金	勤務先の補助や貸付制度	利用せず
-	3.6%	7.1%	1.8%	80.4%

⑧資格取得に関して、課題となったこと、苦労したこと (回答の多い順にトップ3及び「特にない」)

MA N=56

仕事との両立	勉強や通学のための時間	資格が実際に役に立つかわからない	特にない
28.6%	10.7%	5.4%	60.7%

【在職中に資格を取得した人の状況】

⑨資格取得活動への職場の対応

SA N=36

積極的に応援	特別の対応なし	あまり歓迎されない 雰囲気	周囲に知られて いなかった	職場に知られない ようにしていた
58.3%	30.6%	2.8%	2.8%	2.8%

⑩資格取得による働き方や処遇の変化

MA N=36

社内で昇進・昇格に結びついた	資格を活かせる部署・担当に異動	社内で担当分野が広がった	職場で表彰された	周囲からの評価が高まった	転職あるいは独立した	職場外のネットワークが広がった	特に変化なし
8.3%	11.1%	13.9%	-	11.1%	5.6%	-	58.3%

⑪資格取得による収入面での変化

MA N=36

勤務先から祝い金や報奨金が出た	基本給がアップした	資格手当がついた	資格所持に伴う活動による副収入を得た	特に変化なし
2.8%	33.3%	5.6%	-	61.1%

【資格取得に対する自己評価】

⑫資格を取得したことについての総合的判断

SA N=56

非常によかった、 メリット大	どちらかという プラス	コストや時間の割に メリット小	まだ判断できない
55.4%	26.8%	7.1%	10.7%

⑬資格を取得して最もよかったと思う点

SA N=46

専門能力や知識が向上	仕事の範囲が拡大	評価や処遇が上昇	収入が増加	人的ネットワーク	職業生活設計のひろがり	社会貢献ができること	将来への備え
41.3%	13.0%	-	6.5%	2.2%	-	2.2%	23.9%

【他の資格との関係】

⑭他の資格も所持している人の割合

17.9%

N= 56

他の主な所持資格(3名以上)

簿記、美容師

⑮今後、新たな資格の取得を予定している人の割合

勉強中 3.6%

検討中 3.6%

N=56

【資格と仕事との関係】

⑯現在従事している職業(大分類で多い順トップ3)

SA N=53

サービスの職業	専門的・技術的職業	管理的職業
86.8%	11.3%	1.9%

【資格取得とキャリア形成に関する特徴】

男性比率、自営比率が高い。ほとんどがサービスの職業に従事しており、資格と職業の結びつきが強い。資格取得時点は、在学時と在職時の比率が1:2と働きながら取得した人が多い。資格取得動機は「資格が必要な職業に就くため」に7割が集中しているが、資格の魅力・メリットについては回答が分散している。在職中に資格取得した場合、職場が積極的に応援してくれた割合が6割近くにのぼり、3人に1人は基本給がアップしている。資格取得を「非常によかった」とする割合は半数を超える。

美容師

表の数字は構成比(%)

回答者の属性 53人

性別	男性	34.0	女性	66.0						
年齢	20代	1.9	30代	22.6	40代	26.4	50代	32.1	60代以上	17.0
学歴	高校卒	7.5	短大・専修等卒	83.0	大学卒	3.8	大学院卒	-	その他	5.7
就業状態	雇用者	32.1	(正規比率	29.4)	自営	45.3	不就業	20.8	その他	1.9

【資格取得時の状況】

①資格を取った時期

SA N=53

在学中・卒業直後	働きながら	仕事を辞めて学習に専念	求職活動中
30.2%	60.4%	3.8%	-

②資格取得動機(回答の多い順にトップ5)

MA N=53

資格が必要な職業に就くため	工作上、資格があるほうが有利だから	安定した職業に就くため	将来の独立のため	自分自身の勉強や自己啓発のため
52.8%	35.8%	22.6%	15.1%	11.3%

③資格の魅力、メリット

MA N=53

将来性がある	社会的評価が高い	経験や知識を活かせる	適性や志向に合う	次の資格取得のステップになる	ライフスタイルに合った働き方に役立つ	社会や地域に貢献できる	取得が比較的容易
30.2%	3.8%	22.6%	37.7%	3.8%	17.0%	7.5%	7.5%

④学習を始める前の準備

MA N=53

学校や教育訓練機関の情報収集	資格を活かせる仕事や就職先の情報収集	資格取得者の体験談を聞いた	関連分野に詳しい人に相談	キャリアコンサルタントに相談	必要な費用を準備	特に準備せず
50.9%	11.3%	9.4%	1.9%	-	-	35.8%

⑤資格取得に要した期間

SA N=53

3か月未満	3か月～6か月未満	6か月～1年未満	1年～2年未満	2年～3年未満	3年以上
3.8%	3.8%	7.5%	45.3%	22.6%	17.0%

⑥資格取得の主な勉強方法

SA N=53

学校	資格取得スクール	公的職業訓練	業界団体等の講習会	通信教育	勤務先の勉強会、OJT	自主的勉強会	自学自習
71.7%	3.8%	-	1.9%	9.4%	5.7%	-	7.5%

⑦利用した経済的支援

MA N=53

教育訓練給付金	無料・実費の公的職業訓練	学校、団体、公的機関等の奨学金	勤務先の補助や貸付制度	利用せず
-	1.9%	-	-	88.7%

⑧資格取得に関して、課題となったこと、苦勞したこと(回答の多い順にトップ3及び「特にない」)

MA N=53

仕事との両立	学費、教材費など費用の負担	勉強や通学のための時間	特にない
30.2%	13.2%	13.2%	49.1%

【在職中に資格を取得した人の状況】

⑨資格取得活動への職場の対応

SA N=32

積極的に応援	特別の対応なし	あまり歓迎されない 雰囲気	周囲に知られて いなかった	職場に知られない ようにしていた
56.3%	31.3%	3.1%	-	3.1%

⑩資格取得による働き方や処遇の変化

MA N=32

社内で昇進・昇格に結びついた	資格を活かせる部署・担当に異動	社内で担当分野が広がった	職場で表彰された	周囲からの評価が高まった	転職あるいは独立した	職場外のネットワークが広がった	特に変化なし
15.6%	3.1%	6.3%	-	15.6%	3.1%	-	59.4%

⑪資格取得による収入面での変化

MA N=32

勤務先から祝い金や報奨金が出た	基本給がアップした	資格手当がついた	資格所持に伴う活動による副収入を得た	特に変化なし
-	18.8%	3.1%	-	75.0%

【資格取得に対する自己評価】

⑫資格を取得したことについての総合的判断

SA N=53

非常によかった、メリット大	どちらかというプラス	コストや時間の割にメリット小	まだ判断できない
34.0%	39.6%	15.1%	11.3%

⑬資格を取得して最もよかったと思う点

SA N=39

専門能力や知識が向上	仕事の範囲が拡大	評価や処遇が上昇	収入が増加	人的ネットワーク	職業生活設計のひろがり	社会貢献ができること	将来への備え
38.5%	5.1%	7.7%	2.6%	7.7%	10.3%	12.8%	12.8%

【他の資格との関係】

⑭他の資格も所持している人の割合

43.4%

N= 53

他の主な所持資格(3名以上)

普通自動車免許(二種)、簿記、医療事務

⑮今後、新たな資格の取得を予定している人の割合

勉強中 1.9%

検討中 11.3%

N=53

【資格と仕事との関係】

⑯現在従事している職業(大分類で多い順トップ3)

SA N=42

サービスの職業	事務的職業	専門的・技術的職業
59.5%	11.9%	7.1%

【資格取得とキャリア形成に関する特徴】

男女比はほぼ1:2で女性が多い。半数弱が自営、雇用者の正規比率が低い。取得時点は、在学時と在職時の比率が1:2と働きながら取得した人が多い。取得動機は「資格が必要な職業に就くため」が半数強、資格の魅力・メリットは「適性や志向に合う」が4割弱で最も多い。理容師と同様、在職中に資格取得した場合、職場が積極的に応援してくれた割合が6割近くのにのぼるが、処遇や収入に反映された人は多くない。総合評価として肯定的判断が多いが、「非常によかった」とする人は3人に1人である。

食品衛生管理者

表の数字は構成比(%)

回答者の属性 (42人)

性別	男性	57.1	女性	42.9						
年齢	20代	11.9	30代	14.3	40代	26.2	50代	28.6	60代以上	19.0
学歴	高校卒	14.3	短大・専修等卒	7.1	大学卒	59.5	大学院卒	7.1	その他	11.9
就業状態	雇用者	57.1	(正規比率	50.0)	自営	14.3	不就業	21.4	その他・不明	7.1

【資格取得時の状況】

①資格を取った時期

SA N=42

在学中・卒業直後	働きながら	仕事を辞めて学習に専念	求職活動中
31.0%	61.9%	2.4%	2.4%

②資格取得動機(回答の多い順にトップ5)

MA N=42

工作上、資格がある ほうが有利だから	資格が必要な職業に 就くため	いずれ何かの役に 立つかもしれない と思ったから	勤め先からの要請や 勧奨があったから	将来の独立のため
28.6%	26.2%	19.0%	16.7%	9.5%

③資格の魅力、メリット

MA N=42

将来性がある	社会的評価が 高い	経験や知識を 活かせる	適性や志向に 合う	次の資格取得 のステップに なる	ライフスタイル に合った働 き方に役立つ	社会や地域に 貢献できる	取得が比較的 容易
4.8%	2.4%	28.6%	9.5%	7.1%	28.6%	7.1%	47.6%

④学習を始める前の準備

MA N=42

学校や教育訓練 機関の情報収集	資格が活かせる 仕事や就職先の 情報収集	資格取得者の体 験談を聞いた	関連分野に詳 しい人に相談	キャリアコンサ ルタントに相談	必要な費用を 準備	特に準備せず
16.7%	-	7.1%	-	-	14.3%	61.9%

⑤資格取得に要した期間

SA N=42

3か月未満	3か月～6か月未満	6か月～1年未満	1年～2年未満	2年～3年未満	3年以上
64.3%	-	-	7.1%	-	28.6%

⑥資格取得の主な勉強方法

SA N=42

学校	資格取得 スクール	公的職業訓練	業界団体等 の講習会	通信教育	勤務先の勉強 会、OJT	自主的勉強会	自学自習
28.6%	2.4%	9.5%	11.9%	4.8%	2.4%	2.4%	28.6%

⑦利用した経済的支援

MA N=42

教育訓練給付金	無料・実費の 公的職業訓練	学校、団体、公的 機関等の奨学金	勤務先の補助 や貸付制度	利用せず
-	2.4%	-	14.3%	83.3%

⑧資格取得に関して、課題となったこと、苦労したこと(回答の多い順にトップ3及び「特にない」)

MA N=42

仕事との両立	学費、教材費など費用 の負担	勉強や通学のための時間	特にない
16.7%	4.8%	4.8%	73.8%

【在職中に資格を取得した人の状況】

⑨資格取得活動への職場の対応

SA N=26

積極的に応援	特別の対応なし	あまり歓迎されない 雰囲気	周囲に知られて いなかった	職場に知られない ようにしていた
23.1%	53.8%	7.7%	3.8%	7.7%

⑩資格取得による働き方や処遇の変化

MA N=26

社内で昇進・昇格に結びついた	資格を活かせる部署・担当に異動	社内で担当分野が広がった	職場で表彰された	周囲からの評価が高まった	転職あるいは独立した	職場外のネットワークが広がった	特に変化なし
-	15.4%	11.5%	-	3.8%	3.8%	3.8%	69.2%

⑪資格取得による収入面での変化

MA N=26

勤務先から祝い金や報奨金が出た	基本給がアップした	資格手当がついた	資格所持に伴う活動による副収入を得た	特に変化なし
-	-	3.8%	7.7%	84.6%

【資格取得に対する自己評価】

⑫資格を取得したことについての総合的判断

SA N=42

非常によかった、 メリット大	どちらかという プラス	コストや時間の割に メリット小	まだ判断できない
23.8%	40.5%	4.8%	31.0%

⑬資格を取得して最もよかったと思う点

SA N=27

専門能力や知識が向上	仕事の範囲が拡大	評価や処遇が上昇	収入が増加	人的ネットワーク	職業生活設計のひろがり	社会貢献ができること	将来への備え
22.2%	37.0%	3.7%	3.7%	7.4%	-	11.1%	11.1%

【他の資格との関係】

⑭他の資格も所持している人の割合

52.4%

N= 42

他の主な所持資格(3名以上)

危険物取扱者、普通自動車免許(二種)、簿記、栄養士・管理栄養士、調理師、衛生管理者、語学検定

⑮今後、新たな資格の取得を予定している人の割合

勉強中 7.1%

検討中 19.0%

N=42

【資格と仕事との関係】

⑯現在従事している職業(大分類で多い順トップ3)

SA N=31

サービスの職業	管理的職業	専門的・技術的職業、事務的職業
32.3%	19.4%	16.1%

【資格取得とキャリア形成に関する特徴】

やや男性が多い。資格取得時点は、在学時と在職時の比率が1:2と在職時取得者が多い。取得動機は「仕事上有利」と「資格が必要な職業に就くため」が多く、資格の魅力・メリットとして「取得が比較的容易」をあげる人が半数近い。取得に要した期間は約3人に2人が3か月未満である。他の資格の所持状況から、在職者が食品関連の資格取得の一環として取り組むケースが多いことがうかがえるが、処遇や収入に反映された人は少なく、総合的判断は「まだ判断できない」という割合が3割を超える。

色彩検定

表の数字は構成比(%)

回答者の属性 (81人)

性別	男性	16.0	女性	84.0						
年齢	20代	8.6	30代	39.5	40代	30.9	50代	14.8	60代以上	6.2
学歴	高校卒	12.3	短大・専修等卒	25.9	大学卒	51.9	大学院卒	3.7	その他	6.2
就業状態	雇用者	51.9	(正規比率	50.0)	自営	11.1	不就業	32.1	その他・不明	4.9

【資格取得時の状況】

①資格を取った時期

SA N=81

在学中・卒業直後	働きながら	仕事を辞めて学習に専念	求職活動中
24.7%	60.5%	7.4%	2.5%

②資格取得動機(回答の多い順にトップ5)

MA N=81

自分自身の勉強や自己啓発のため	自分の能力や可能性を試したかったから	いずれ何かの役に立つかもしれないと思ったから	仕事の範囲を広げたいと思ったから	仕事上、資格があるほうが有利だから
60.5%	32.1%	32.1%	21.0%	13.6%

③資格の魅力、メリット

MA N=81

将来性がある	社会的評価が高い	経験や知識を活かせる	適性や志向に合う	次の資格取得のステップになる	ライフスタイルに合った働き方に役立つ	社会や地域に貢献できる	取得が比較的容易
1.2%	-	32.1%	50.6%	13.6%	22.2%	1.2%	25.9%

④学習を始める前の準備

MA N=81

学校や教育訓練機関の情報収集	資格が活かせる仕事や就職先の情報収集	資格取得者の体験談を聞いた	関連分野に詳しい人に相談	キャリアコンサルタントに相談	必要な費用を準備	特に準備せず
30.9%	2.5%	2.5%	-	-	8.6%	53.1%

⑤資格取得に要した期間

SA N=81

3か月未満	3か月～6か月未満	6か月～1年未満	1年～2年未満	2年～3年未満	3年以上
32.1%	39.5%	18.5%	6.2%	2.5%	-

⑥資格取得の主な勉強方法

SA N=81

学校	資格取得スクール	公的職業訓練	業界団体等の講習会	通信教育	勤務先の勉強会、OJT	自主的勉強会	自学自習
11.1%	12.3%	2.5%	1.2%	13.6%	-	-	58.0%

⑦利用した経済的支援

MA N=81

教育訓練給付金	無料・実費の公的職業訓練	学校、団体、公的機関等の奨学金	勤務先の補助や貸付制度	利用せず
-	1.2%	1.2%	6.2%	79.0%

⑧資格取得に関して、課題となったこと、苦労したこと(回答の多い順にトップ3及び「特にない」)

MA N=81

資格が実際に役に立つかわからない	勉強や通学のための時間	仕事との両立	特にない
22.2%	18.5%	17.3%	37.0%

【在職中に資格を取得した人の状況】

⑨資格取得活動への職場の対応

SA N=49

積極的に応援	特別の対応なし	あまり歓迎されない 雰囲気	周囲に知られて いなかった	職場に知られない ようにしていた
2.0%	34.7%	2.0%	38.8%	20.4%

⑩資格取得による働き方や処遇の変化

MA N=49

社内で昇進・昇格に結びついた	資格を活かせる部署・担当に異動	社内で担当分野が広がった	職場で表彰された	周囲からの評価が高まった	転職あるいは独立した	職場外のネットワークが広がった	特に変化なし
2.0%	-	4.1%	2.0%	2.0%	4.1%	2.0%	85.7%

⑪資格取得による収入面での変化

MA N=49

勤務先から祝い金や報奨金が出た	基本給がアップした	資格手当がついた	資格所持に伴う活動による副収入を得た	特に変化なし
-	2.0%	-	-	98.0%

【資格取得に対する自己評価】

⑫資格を取得したことについての総合的判断

SA N=81

非常によかった、 メリット大	どちらかという プラス	コストや時間の割に メリット小	まだ判断できない
4.9%	58.0%	22.2%	14.8%

⑬資格を取得して最もよかったと思う点

SA N=51

専門能力や知識が向上	仕事の範囲が拡大	評価や処遇が上昇	収入が増加	人的ネットワーク	職業生活設計のひろがり	社会貢献ができること	将来への備え
64.7%	15.7%	-	-	-	2.0%	-	5.9%

【他の資格との関係】

⑭他の資格も所持している人の割合

75.3%

N= 81

他の主な所持資格(5名以上)

普通自動車免許(二種)、語学検定、簿記、秘書検定、ファイナンシャル・プランナー、危険物取扱者、基本情報技術者、IT関連企業の能力認定

⑮今後、新たな資格の取得を予定している人の割合

勉強中 17.3%

検討中 29.6%

N=81

【資格と仕事との関係】

⑯現在従事している職業(大分類で多い順トップ3)

SA N=54

事務的職業	専門的・技術的職業	販売・営業の職業、サービスの職業
29.6%	27.8%	13.0%

【資格取得とキャリア形成に関する特徴】

女性比率が高く、3分の1が不就業。在職時に資格取得した人が6割と最も多い。資格取得動機として、「自分自身の勉強や自己啓発」が6割にのぼり、「自分の能力や可能性を試す」「いずれ何かの役に立つかも」といった中長期的な学習動機で取得した人が多く、仕事との結びつきは比較的弱い。資格取得に対する評価として「非常によかった」とする割合は小さいが、今後新たな資格取得に向けて「勉強中」「検討中」とする割合が比較的高く、資格取得意欲が強い人が多いことがうかがえる。

溶接技能者

表の数字は構成比(%)

回答者の属性 (50人)

性別	男性	98.0	女性	2.0						
年齢	20代	-	30代	10.0	40代	24.0	50代	28.0	60代以上	38.0
学歴	高校卒	48.0	短大・専修等卒	8.0	大学卒	36.0	大学院卒	-	その他	8.0
就業状態	雇用者	58.0	(正規比率	82.8)	自営	18.0	不就業	24.0	その他	-

【資格取得時の状況】

①資格を取った時期

SA N=50

在学中・卒業直後	働きながら	仕事を辞めて学習に専念	求職活動中
26.0%	56.0%	-	16.0%

②資格取得動機(回答の多い順にトップ5)

MA N=50

工作上、資格がある ほうが有利だから	勤め先からの要請や 勤奨があったから	資格が必要な職業に 就くため	就職活動に役立つ ため	仕事の範囲を広げたい と思ったから
34.0%	32.0%	26.0%	22.0%	16.0%

③資格の魅力、メリット

MA N=50

将来性がある	社会的評価が 高い	経験や知識を 活かせる	適性や志向に 合う	次の資格取得 のステップに なる	ライフスタイル に合った働 き方に役立つ	社会や地域に 貢献できる	取得が比較的 容易
14.0%	10.0%	20.0%	8.0%	18.0%	12.0%	8.0%	40.0%

④学習を始める前の準備

MA N=50

学校や教育訓練 機関の情報収集	資格が活かせる 仕事や就職先の 情報収集	資格取得者の体 験談を聞いた	関連分野に詳 しい人に相談	キャリアコンサ ルタントに相談	必要な費用を 準備	特に準備せず
26.0%	14.0%	8.0%	-	-	8.0%	50.0%

⑤資格取得に要した期間

SA N=50

3か月未満	3か月～6か月未満	6か月～1年未満	1年～2年未満	2年～3年未満	3年以上
74.0%	14.0%	8.0%	2.0%	2.0%	-

⑥資格取得の主な勉強方法

SA N=50

学校	資格取得 スクール	公的職業訓練	業界団体等 の講習会	通信教育	勤務先の勉強 会、OJT	自主的勉強会	自学自習
24.0%	2.0%	28.0%	8.0%	-	16.0%	4.0%	14.0%

⑦利用した経済的支援

MA N=50

教育訓練給付金	無料・実費の 公的職業訓練	学校、団体、公的 機関等の奨学金	勤務先の補助 や貸付制度	利用せず
-	14.0%	2.0%	26.0%	52.0%

⑧資格取得に関して、課題となったこと、苦労したこと(回答の多い順にトップ3及び「特にない」)

MA N=50

仕事との両立	近くに適当な学校・ 教育訓練機関がない	費用の負担、勉強や 通学の時間	特にない
10.0%	10.0%	8.0%	72.0%

【在職中に資格を取得した人の状況】

⑨資格取得活動への職場の対応

SA N=28

積極的に応援	特別の対応なし	あまり歓迎されない 雰囲気	周囲に知られて いなかった	職場に知られない ようにしていた
50.0%	42.9%	7.1%	-	-

⑩資格取得による働き方や処遇の変化

MA N=28

社内で昇進・昇格に結びついた	資格を活かせる部署・担当に異動	社内で担当分野が広がった	職場で表彰された	周囲からの評価が高まった	転職あるいは独立した	職場外のネットワークが広がった	特に変化なし
7.1%	10.7%	17.9%	3.6%	10.7%	-	3.6%	67.9%

⑪資格取得による収入面での変化

MA N=28

勤務先から祝い金や報奨金が出た	基本給がアップした	資格手当がついた	資格所持に伴う活動による副収入を得た	特に変化なし
10.7%	3.6%	25.0%	-	64.3%

【資格取得に対する自己評価】

⑫資格を取得したことについての総合的判断

SA N=50

非常によかった、 メリット大	どちらかという プラス	コストや時間の割に メリット小	まだ判断できない
12.0%	64.0%	16.0%	8.0%

⑬資格を取得して最もよかったと思う点

SA N=38

専門能力や知識が向上	仕事の範囲が拡大	評価や処遇が上昇	収入が増加	人的ネットワーク	職業生活設計のひろがり	社会貢献ができること	将来への備え
21.1%	34.2%	10.5%	5.3%	5.3%	-	5.3%	15.8%

【他の資格との関係】

⑭他の資格も所持している人の割合

84.0%

N= 50

他の主な所持資格(5名以上)

危険物取扱者、フォークリフト技能者、玉掛け技能者、普通自動車免許(二種)、安全管理者、大型自動車免許、衛生管理者、ボイラー技士、クレーン・デリック運転士、電気工事士、施工管理技士、簿記

⑮今後、新たな資格の取得を予定している人の割合

勉強中 6.0%

検討中 24.0%

N=50

【資格と仕事との関係】

⑯現在従事している職業(大分類で多い順トップ3)

SA N=38

専門的・技術的職業	管理的職業	販売・営業の職業
21.1%	15.8%	15.8%

【資格取得とキャリア形成に関する特徴】

ほとんどが男性。在職時に資格取得した人が半数を超えるが、求職活動中に取得した人もいる。資格取得動機として「仕事上有利」「勤務先の要請や勧奨」が3割を超え、資格の魅力・メリットとしては「取得が比較的容易」が4割で最も多い。勉強方法として3割弱の人が「公的職業訓練」をあげている。勤務先の要請や勧奨が多いことを反映して、半数の人が職場の積極的応援を受け、4人に1人は資格手当がついている。総合的判断としては3人に2人が「どちらかというプラス」としている。

危険物取扱者

表の数字は構成比(%)

回答者の属性 (109人)

性別	男性	89.9	女性	10.1						
年齢	20代	0.9	30代	14.7	40代	30.3	50代	23.9	60代以上	30.3
学歴	高校卒	17.4	短大・専修等卒	11.9	大学卒	51.4	大学院卒	16.5	その他	2.8
就業状態	雇用者	62.4	(正規比率	80.9)	自営	10.1	不就業	23.9	その他・不明	3.7

【資格取得時の状況】

①資格を取った時期

SA N=109

在学中・卒業直後	働きながら	仕事を辞めて学習に専念	求職活動中
22.9%	70.6%	-	5.5%

②資格取得動機(回答の多い順にトップ5)

MA N=109

工作上、資格がある ほうが有利だから	勤め先からの要請や 勧奨があったから	自分自身の勉強や 自己啓発のため	資格が必要な職業に 就くため	就職活動に役立てる ため
31.2%	25.7%	24.8%	14.7%	12.8%

③資格の魅力、メリット

MA N=109

将来性がある	社会的評価が 高い	経験や知識を 活かせる	適性や志向に 合う	次の資格取得 のステップに なる	ライフスタイル に合った働 き方に役立つ	社会や地域に 貢献できる	取得が比較的 容易
5.5%	4.6%	33.9%	9.2%	6.4%	7.3%	3.7%	42.2%

④学習を始める前の準備

MA N=109

学校や教育訓練 機関の情報収集	資格が活かせる 仕事や就職先の 情報収集	資格取得者の体 験談を聞いた	関連分野に詳 しい人に相談	キャリアコンサ ルタントに相談	必要な費用を 準備	特に準備せず
16.5%	3.7%	3.7%	0.9%	-	6.4%	62.4%

⑤資格取得に要した期間

SA N=109

3か月未満	3か月～6か月未満	6か月～1年未満	1年～2年未満	2年～3年未満	3年以上
61.5%	29.4%	2.8%	4.6%	0.9%	-

⑥資格取得の主な勉強方法

SA N=109

学校	資格取得 スクール	公的職業訓練	業界団体等 の講習会	通信教育	勤務先の勉強 会、OJT	自主的勉強会	自学自習
5.5%	2.8%	1.8%	7.3%	-	6.4%	0.9%	75.2%

⑦利用した経済的支援

MA N=109

教育訓練給付金	無料・実費の 公的職業訓練	学校、団体、公的 機関等の奨学金	勤務先の補助 や貸付制度	利用せず
-	2.8%	-	21.1%	73.4%

⑧資格取得に関して、課題となったこと、苦労したこと(回答の多い順にトップ3及び「特にない」)

MA N=109

仕事との両立	勉強や通学のための時間	資格が実際に役に立つか どうかわからない	特にない
16.5%	12.8%	11.0%	64.2%

【在職中に資格を取得した人の状況】

⑨資格取得活動への職場の対応

SA N=77

積極的に応援	特別の対応なし	あまり歓迎されない 雰囲気	周囲に知られて いなかった	職場に知られない ようにしていた
24.7%	57.1%	-	6.5%	10.4%

⑩資格取得による働き方や処遇の変化

MA N=77

社内で昇進・昇格に結びついた	資格を活かせる部署・担当に異動	社内で担当分野が広がった	職場で表彰された	周囲からの評価が高まった	転職あるいは独立した	職場外のネットワークが広がった	特に変化なし
3.9%	2.6%	11.7%	1.3%	3.9%	-	1.3%	76.6%

⑪資格取得による収入面での変化

MA N=77

勤務先から祝い金や報奨金が出た	基本給がアップした	資格手当がついた	資格所持に伴う活動による副収入を得た	特に変化なし
3.9%	-	14.3%	-	81.8%

【資格取得に対する自己評価】

⑫資格を取得したことについての総合的判断

SA N=109

非常によかった、 メリット大	どちらかという プラス	コストや時間の割に メリット小	まだ判断できない
12.8%	47.7%	19.3%	20.2%

⑬資格を取得して最もよかったと思う点

SA N=66

専門能力や知識が向上	仕事の範囲が拡大	評価や処遇が上昇	収入が増加	人的ネットワーク	職業生活設計のひろがり	社会貢献ができること	将来への備え
43.9%	16.7%	10.6%	10.6%	3.0%	1.5%	-	7.6%

【他の資格との関係】

⑭他の資格も所持している人の割合

15.6%

N= 109

他の主な所持資格(4名以上)

溶接技能者

⑮今後、新たな資格の取得を予定している人の割合

勉強中 2.8%

検討中 13.8%

N=109

【資格と仕事との関係】

⑯現在従事している職業(大分類で多い順トップ3)

SA N=81

専門的・技術的職業	販売・営業的職業	事務的職業
40.7%	14.8%	13.6%

【資格取得とキャリア形成に関する特徴】

男性比率が高い。在職時に資格取得した人が7割。資格取得動機として「仕事上有利」が最も多いが「勤務先の要請や勸奨」と「自分自身の勉強や自己啓発」を4人に1人があげている。資格の魅力・メリットとしては「取得が比較的容易」が4割強で最も多い。資格取得について、職場の対応は特にないケースが多く、処遇や収入にも特に変化がない人が大半である。資格取得に対する総合評価として、6割は肯定的判断であるが、「非常によかった」とする割合は小さい。

ボイラー技士

表の数字は構成比(%)

回答者の属性 (97人)

性別	男性	97.9	女性	2.1						
年齢	20代	1.0	30代	6.2	40代	17.5	50代	29.9	60代以上	45.4
学歴	高校卒	43.3	短大・専修等卒	7.2	大学卒	37.1	大学院卒	7.2	その他・不明	5.2
就業状態	雇用者	62.9	(正規比率	67.2)	自営	3.1	不就業	33.0	その他	1.0

【資格取得時の状況】

①資格を取った時期

SA N=97

在学中・卒業直後	働きながら	仕事を辞めて学習に専念	求職活動中
6.2%	73.2%	4.1%	14.4%

②資格取得動機(回答の多い順にトップ5)

MA N=97

工作上、資格がある ほうが有利だから	勤め先からの要請や 勧奨があったから	自分自身の勉強や 自己啓発のため	就職活動に役立つ ため	資格が必要な職業に 就くため
43.3%	25.8%	24.7%	18.6%	17.5%

③資格の魅力、メリット

MA N=97

将来性がある	社会的評価が 高い	経験や知識を 活かせる	適性や志向に 合う	次の資格取得 のステップに なる	ライフスタイル に合った働 き方に役立つ	社会や地域に 貢献できる	取得が比較的 容易
4.1%	7.2%	33.0%	20.6%	24.7%	10.3%	4.1%	40.2%

④学習を始める前の準備

MA N=97

学校や教育訓練 機関の情報収集	資格が活かせる 仕事や就職先の 情報収集	資格取得者の体 験談を聞いた	関連分野に詳 しい人に相談	キャリアコンサ ルタントに相談	必要な費用を 準備	特に準備せず
23.7%	10.3%	8.2%	3.1%	1.0%	16.5%	44.3%

⑤資格取得に要した期間

SA N=97

3か月未満	3か月～6か月未満	6か月～1年未満	1年～2年未満	2年～3年未満	3年以上
51.5%	30.9%	9.3%	5.2%	1.0%	2.1%

⑥資格取得の主な勉強方法

SA N=97

学校	資格取得 スクール	公的職業訓練	業界団体等 の講習会	通信教育	勤務先の勉強 会、OJT	自主的勉強会	自学自習
1.0%	2.1%	15.5%	8.2%	5.2%	4.1%	-	62.9%

⑦利用した経済的支援

MA N=97

教育訓練給付金	無料・実費の 公的職業訓練	学校、団体、公的 機関等の奨学金	勤務先の補助 や貸付制度	利用せず
-	11.3%	1.0%	17.5%	68.0%

⑧資格取得に関して、課題となったこと、苦勞したこと(回答の多い順にトップ3及び「特にない」)

MA N=97

資格が実際に役に立つか どうかわからない	仕事との両立	勉強や通学のための時間	特にない
17.5%	13.4%	9.3%	57.7%

【在職中に資格を取得した人の状況】

⑨資格取得活動への職場の対応

SA N=71

積極的に応援	特別の対応なし	あまり歓迎されない 雰囲気	周囲に知られて いなかった	職場に知られない ようにしていた
19.7%	50.7%	-	14.1%	14.1%

⑩資格取得による働き方や処遇の変化

MA N=71

社内で昇進・昇格に結びついた	資格を活かせる部署・担当に異動	社内で担当分野が広がった	職場で表彰された	周囲からの評価が高まった	転職あるいは独立した	職場外のネットワークが広がった	特に変化なし
7.0%	5.6%	12.7%	1.4%	9.9%	1.4%	-	70.4%

⑪資格取得による収入面での変化

MA N=71

勤務先から祝い金や報奨金が出た	基本給がアップした	資格手当がついた	資格所持に伴う活動による副収入を得た	特に変化なし
8.5%	7.0%	15.5%	-	73.2%

【資格取得に対する自己評価】

⑫資格を取得したことについての総合的判断

SA N=97

非常によかった、 メリット大	どちらかという プラス	コストや時間の割に メリット小	まだ判断できない
13.4%	50.5%	15.5%	20.6%

⑬資格を取得して最もよかったと思う点

SA N=62

専門能力や知識が向上	仕事の範囲が拡大	評価や処遇が上昇	収入が増加	人的ネットワーク	職業生活設計のひろがり	社会貢献ができること	将来への備え
41.9%	19.4%	9.7%	11.3%	3.2%	3.2%	1.6%	9.7%

【他の資格との関係】

⑭他の資格も所持している人の割合

89.7%

N= 97

他の主な所持資格(4名以上)

危険物取扱者、電気工事士、普通自動車免許(二種)、玉掛け技能者、技能士(ものづくり、工事、整備関連分野)、衛生管理者、フォークリフト技能者、大型自動車免許、簿記、施工管理技士

⑮今後、新たな資格の取得を予定している人の割合

勉強中 7.2%

検討中 20.6%

N=97

【資格と仕事との関係】

⑯現在従事している職業(大分類で多い順トップ3)

SA N=65

専門的・技術的職業	サービスの職業	事務的職業
29.2%	20.0%	10.8%

【資格取得とキャリア形成に関する特徴】

ほとんどが男性。本調査では高年齢層が多く、不就業の割合が高い。在職時取得者が7割を超えるが、求職活動中に取得した人もいる。取得動機として「仕事上有利」が4割を超え、「勤務先の要請や勸奨」「自分自身の勉強や自己啓発」が続く。資格の魅力・メリットとしては「取得が比較的容易」が4割で最も多い。職場の応援は特になかったケースが多く、処遇や収入の変化も少ない。資格取得に対する総合評価として、6割超は肯定的だが、「非常によかった」とする割合は小さい。

安全管理者

表の数字は構成比(%)

回答者の属性 (44人)

性別	男性	95.5	女性	4.5						
年齢	20代	-	30代	6.8	40代	25.0	50代	34.1	60代以上	34.1
学歴	高校卒	9.1	短大・専修等卒	20.5	大学卒	65.9	大学院卒	2.3	その他	2.3
就業状態	雇用者	70.5	(正規比率	90.3)	自営	4.5	不就業	25.0	その他	-

【資格取得時の状況】

①資格を取った時期

SA N=44

在学中・卒業直後	働きながら	仕事を辞めて学習に専念	求職活動中
-	93.2%	-	4.5%

②資格取得動機 (回答の多い順にトップ5)

MA N=44

勤め先からの要請や 勸奨があったから	仕事上、資格がある ほうが有利だから	資格が必要な職業に 就くため	自分自身の勉強や 自己啓発のため	より高度な仕事、仕事 の範囲を広げたい
65.9%	31.8%	29.5%	15.9%	9.1%

③資格の魅力、メリット

MA N=44

将来性がある	社会的評価が 高い	経験や知識を 活かせる	適性や志向に 合う	次の資格取得 のステップに なる	ライフスタイルに合った働 き方に役立つ	社会や地域に 貢献できる	取得が比較的 容易
11.4%	13.6%	34.1%	18.2%	4.5%	6.8%	6.8%	36.4%

④学習を始める前の準備

MA N=44

学校や教育訓練 機関の情報収集	資格が活かせる 仕事や就職先の 情報収集	資格取得者の体 験談を聞いた	関連分野に詳 しい人に相談	キャリアコンサ ルタントに相談	必要な費用を 準備	特に準備せず
20.5%	6.8%	11.4%	4.5%	-	6.8%	59.1%

⑤資格取得に要した期間

SA N=44

3か月未満	3か月～6か月未満	6か月～1年未満	1年～2年未満	2年～3年未満	3年以上
65.9%	11.4%	15.9%	4.5%	2.3%	-

⑥資格取得の主な勉強方法

SA N=44

学校	資格取得 スクール	公的職業訓練	業界団体等 の講習会	通信教育	勤務先の勉強 会、OJT	自主的勉強会	自学自習
-	2.3%	13.6%	20.5%	-	27.3%	-	31.8%

⑦利用した経済的支援

MA N=44

教育訓練給付金	無料・実費の 公的職業訓練	学校、団体、公的 機関等の奨学金	勤務先の補助 や貸付制度	利用せず
-	6.8%	-	36.4%	54.5%

⑧資格取得に関して、課題となったこと、苦勞したこと (回答の多い順にトップ3及び「特にない」)

MA N=44

仕事との両立	勉強や通学のための時間	費用負担、家庭との両立、教育 機関の信頼性、相談相手	特にない
29.5%	9.1%	2.3%	70.5%

【在職中に資格を取得した人の状況】

⑨資格取得活動への職場の対応

SA N=41

積極的に応援	特別の対応なし	あまり歓迎されない 雰囲気	周囲に知られて いなかった	職場に知られない ようにしていた
24.4%	63.4%	2.4%	7.3%	2.4%

⑩資格取得による働き方や処遇の変化

MA N=41

社内で昇進・昇格に結びついた	資格を活かせる部署・担当に異動	社内で担当分野が広がった	職場で表彰された	周囲からの評価が高まった	転職あるいは独立した	職場外のネットワークが広がった	特に変化なし
-	9.8	22.0	-	12.2	-	-	53.7

⑪資格取得による収入面での変化

MA N=41

勤務先から祝い金や報奨金が出た	基本給がアップした	資格手当がついた	資格所持に伴う活動による副収入を得た	特に変化なし
-	-	17.1%	-	82.9%

【資格取得に対する自己評価】

⑫資格を取得したことについての総合的判断

SA N=44

非常によかった、 メリット大	どちらかという プラス	コストや時間の割に メリット小	まだ判断できない
22.7%	50.0%	20.5%	6.8%

⑬資格を取得して最もよかったと思う点

SA N=32

専門能力や知識が向上	仕事の範囲が拡大	評価や処遇が上昇	収入が増加	人的ネットワーク	職業生活設計のひろがり	社会貢献ができること	将来への備え
43.8%	31.3%	9.4%	3.1%	3.1%	-	-	6.3%

【他の資格との関係】

⑭他の資格も所持している人の割合

86.4%

N= 44

他の主な所持資格(4名以上)

衛生管理者、危険物取扱者、玉掛け技能者、フォークリフト技能者、普通自動車免許(二種)、簿記

⑮今後、新たな資格の取得を予定している人の割合

勉強中 13.6%

検討中 31.8%

N=44

【資格と仕事との関係】

⑯現在従事している職業(大分類で多い順トップ3)

SA N=33

管理的職業	専門的・技術的職業	事務的職業
39.4%	18.2%	15.2%

【資格取得とキャリア形成に関する特徴】

ほとんどが男性。雇用者の正規比率が高い。資格取得時点は在職時が9割を超える。資格取得動機としては「勤務先の要請や勧奨」が3人に2人にのぼっている。主な勉強方法として4人に1人が「勤務先の勉強会、OJT」をあげており、在職者が現に従事している仕事との関係で取得していることがうかがえるが、「積極的に応援された」と感じている人は多くない。働き方の変化では、2割強が「社内で担当分野が広がった」としている。総合評価としては「どちらかというプラス」とする回答が半数。

衛生管理者

表の数字は構成比(%)

回答者の属性 (99人)

性別	男性	87.9	女性	12.1						
年齢	20代	1.0	30代	11.1	40代	17.2	50代	34.3	60代以上	36.4
学歴	高校卒	19.2	短大・専修等卒	6.1	大学卒	68.7	大学院卒	5.1	その他	1.0
就業状態	雇用者	68.7	(正規比率	79.4)	自営	5.1	不就業	25.3	その他	1.0

【資格取得時の状況】

①資格を取った時期

SA N=99

在学中・卒業直後	働きながら	仕事を辞めて学習に専念	求職活動中
3.0%	97.0%	-	-

②資格取得動機(回答の多い順にトップ5)

MA N=99

勤め先からの要請や 勧奨があったから	仕事上、資格がある ほうが有利だから	資格が必要な職業に 就くため	仕事の範囲を広げたい と思ったから	自分自身の勉強や 自己啓発のため
72.7%	25.3%	10.1%	8.1%	8.1%

③資格の魅力、メリット

MA N=99

将来性がある	社会的評価が 高い	経験や知識を 活かせる	適性や志向に 合う	次の資格取得 のステップに なる	ライフスタイル に合った働 き方に役立つ	社会や地域に 貢献できる	取得が比較的 容易
3.0%	8.1%	26.3%	11.1%	11.1%	5.1%	8.1%	29.3%

④学習を始める前の準備

MA N=99

学校や教育訓練 機関の情報収集	資格が活かせる 仕事や就職先の 情報収集	資格取得者の体 験談を聞いた	関連分野に詳 しい人に相談	キャリアコンサ ルタントに相談	必要な費用を 準備	特に準備せず
23.2%	5.1%	11.1%	6.1%	-	11.1%	49.5%

⑤資格取得に要した期間

SA N=99

3か月未満	3か月～6か月未満	6か月～1年未満	1年～2年未満	2年～3年未満	3年以上
53.5%	27.3%	11.1%	4.0%	1.0%	2.0%

⑥資格取得の主な勉強方法

SA N=99

学校	資格取得 スクール	公的職業訓練	業界団体等 の講習会	通信教育	勤務先の勉強 会、OJT	自主的勉強会	自学自習
4.0%	5.1%	1.0%	13.1%	5.1%	7.1%	1.0%	63.6%

⑦利用した経済的支援

MA N=99

教育訓練給付金	無料・実費の 公的職業訓練	学校、団体、公的 機関等の奨学金	勤務先の補助 や貸付制度	利用せず
-	1.0%	2.0%	33.3%	55.6%

⑧資格取得に関して、課題となったこと、苦勞したこと(回答の多い順にトップ3及び「特にない」)

MA N=99

仕事との両立	勉強や通学のための時間	学習内容や進め方、 資格が役立つか	特にない
35.4%	14.1%	7.1%	46.5%

【在職中に資格を取得した人の状況】

⑨資格取得活動への職場の対応

SA N=96

積極的に応援	特別の対応なし	あまり歓迎されない 雰囲気	周囲に知られて いなかった	職場に知られない ようにしていた
33.3%	53.1%	2.1%	7.3%	2.1%

⑩資格取得による働き方や処遇の変化

MA N=96

社内で昇進・昇格に結びついた	資格を活かせる部署・担当に異動	社内で担当分野が広がった	職場で表彰された	周囲からの評価が高まった	転職あるいは独立した	職場外のネットワークが広がった	特に変化なし
7.3%	6.3%	19.8%	1.0%	7.3%	-	1.0%	63.5%

⑪資格取得による収入面での変化

MA N=96

勤務先から祝い金や報奨金が出た	基本給がアップした	資格手当がついた	資格所持に伴う活動による副収入を得た	特に変化なし
5.2%	4.2%	11.5%	-	78.1%

【資格取得に対する自己評価】

⑫資格を取得したことについての総合的判断

SA N=99

非常によかった、 メリット大	どちらかという プラス	コストや時間の割に メリット小	まだ判断できない
8.1%	61.6%	19.2%	11.1%

⑬資格を取得して最もよかったと思う点

SA N=69

専門能力や知識が向上	仕事の範囲が拡大	評価や処遇が上昇	収入が増加	人的ネットワーク	職業生活設計のひろがり	社会貢献ができること	将来への備え
50.7%	26.1%	8.7%	4.3%	2.9%	-	4.3%	1.4%

【他の資格との関係】

⑭他の資格も所持している人の割合

12.1%

N= 99

他の主な所持資格

⑮今後、新たな資格の取得を予定している人の割合

勉強中 5.1%

検討中 13.1%

N=99

【資格と仕事との関係】

⑯現在従事している職業（大分類で多い順トップ3）

SA N=74

管理的職業	事務的職業	専門的・技術的職業
37.8%	32.4%	13.5%

【資格取得とキャリア形成に関する特徴】

男性比率が高い。在職時に取得した人がほとんどであり、資格取得動機として「勤め先の要請や勧奨」が7割を超える。3人に1人は「勤務先の補助や貸付制度」を利用。また、3人に1人は職場が積極的に応援してくれたとしているが、半数強は「特別の対応なし」。資格取得により「社内で担当分野が広がった」人は約2割、「資格手当がついた」人は約1割で、「変化なし」という割合が高い。総合評価では、「非常によかった」とする割合が小さく、6割超が「どちらかというプラス」という判断。

玉掛け技能者

表の数字は構成比(%)

回答者の属性 (85人)

性別	男性	100.0	女性	-						
年齢	20代	1.2	30代	11.8	40代	45.9	50代	17.6	60代以上	23.5
学歴	高校卒	27.1	短大・専修等卒	16.5	大学卒	41.2	大学院卒	8.2	その他	7.1
就業状態	雇用者	78.8	(正規比率	82.1)	自営	8.2	不就業	11.8	不明	1.2

【資格取得時の状況】

①資格を取った時期

SA N=85

在学中・卒業直後	働きながら	仕事を辞めて学習に専念	求職活動中
1.2%	92.9%	-	4.7%

②資格取得動機(回答の多い順にトップ5)

MA N=85

勤め先からの要請や 勧奨があったから	仕事上、資格がある ほうが有利だから	資格が必要な職業に 就くため	仕事の範囲を広げたい と思ったから	いずれ何かの役に 立つかもしれない と思ったから
57.6%	32.9%	24.7%	4.7%	4.7%

③資格の魅力、メリット

MA N=85

将来性がある	社会的評価が 高い	経験や知識を 活かせる	適性や志向に 合う	次の資格取得 のステップに なる	ライフスタイル に合った働 き方に役立つ	社会や地域に 貢献できる	取得が比較的 容易
4.7%	3.5%	16.5%	7.1%	7.1%	5.9%	2.4%	48.2%

④学習を始める前の準備

MA N=85

学校や教育訓練 機関の情報収集	資格が活かせる 仕事や就職先の 情報収集	資格取得者の体 験談を聞いた	関連分野に詳 しい人に相談	キャリアコンサ ルタントに相談	必要な費用を 準備	特に準備せず
8.2%	4.7%	11.8%	3.5%	-	4.7%	70.6%

⑤資格取得に要した期間

SA N=85

3か月未満	3か月～6か月未満	6か月～1年未満	1年～2年未満	2年～3年未満	3年以上
95.3%	2.4%	2.4%	-	-	-

⑥資格取得の主な勉強方法

SA N=85

学校	資格取得 スクール	公的職業訓練	業界団体等 の講習会	通信教育	勤務先の勉強 会、OJT	自主的勉強会	自学自習
1.2%	3.5%	17.6%	34.1%	-	28.2%	-	10.6%

⑦利用した経済的支援

MA N=85

教育訓練給付金	無料・実費の 公的職業訓練	学校、団体、公的 機関等の奨学金	勤務先の補助 や貸付制度	利用せず
-	3.5%	-	43.5%	44.7%

⑧資格取得に関して、課題となったこと、苦労したこと(回答の多い順にトップ3及び「特にない」)

MA N=85

仕事との両立	資格が実際に役に立つか どうかかわからない	近くに適当な学校・ 教育訓練機関がない	特にない
7.1%	3.5%	2.4%	83.5%

【在職中に資格を取得した人の状況】

⑨資格取得活動への職場の対応

SA N=79

積極的に応援	特別の対応なし	あまり歓迎されない 雰囲気	周囲に知られて いなかった	職場に知られない ようにしていた
46.8%	51.9%	-	-	-

⑩資格取得による働き方や処遇の変化

MA N=79

社内で昇進・昇格に結びついた	資格を活かせる部署・担当に異動	社内で担当分野が広がった	職場で表彰された	周囲からの評価が高まった	転職あるいは独立した	職場外のネットワークが広がった	特に変化なし
2.5%	3.8%	13.9%	2.5%	1.3%	1.3%	2.5%	68.4%

⑪資格取得による収入面での変化

MA N=79

勤務先から祝い金や報奨金が出た	基本給がアップした	資格手当がついた	資格所持に伴う活動による副収入を得た	特に変化なし
2.5%	1.3%	5.1%	-	91.1%

【資格取得に対する自己評価】

⑫資格を取得したことについての総合的判断

SA N=85

非常によかった、メリット大	どちらかというプラス	コストや時間の割にメリット小	まだ判断できない
11.8%	56.5%	11.8%	18.8%

⑬資格を取得して最もよかったと思う点

SA N=58

専門能力や知識が向上	仕事の範囲が拡大	評価や処遇が上昇	収入が増加	人的ネットワーク	職業生活設計のひろがり	社会貢献ができること	将来への備え
32.8%	48.3%	3.4%	-	1.7%	3.4%	1.7%	3.4%

【他の資格との関係】

⑭他の資格も所持している人の割合

70.6%

N=85

他の主な所持資格(5名以上)

フォークリフト技能者、溶接技能者、危険物取扱者、簿記、技能士（ものづくり、工事、整備関連分野）、衛生管理者、普通自動車免許（二種）

⑮今後、新たな資格の取得を予定している人の割合

勉強中 5.9%

検討中 16.5%

N=85

【資格と仕事との関係】

⑯現在従事している職業（大分類で多い順トップ3）

SA N=74

専門的・技術的職業	生産工程の職業	管理的職業
32.4%	21.6%	10.8%

【資格取得とキャリア形成に関する特徴】

本調査では男性が100%。雇用者比率、正規比率が高い。9割超が在職中に資格取得。資格取得動機としては「勤務先の要請や勧奨」が6割弱、「仕事上有利」が3割強。資格の魅力・メリットとして半数近くが「取得が比較的容易」をあげ、おおむね3か月未満で資格を取得している。取得費用で「勤務先の補助や貸付制度」を利用した人が4割を超え、職場が積極的に応援した比率も比較的高いが、処遇や収入の変化にはあまり結びついていない。総合評価は「どちらかというプラス」が6割弱。

フォークリフト技能者

表の数字は構成比(%)

回答者の属性 (95人)

性別	男性	94.7	女性	5.3						
年齢	20代	2.1	30代	23.2	40代	25.3	50代	24.2	60代以上	25.3
学歴	高校卒	35.8	短大・専修等卒	12.6	大学卒	47.4	大学院卒	1.1	その他・不明	3.2
就業状態	雇用者	73.7	(正規比率	68.6)	自営	8.4	不就業	17.9	その他	-

【資格取得時の状況】

①資格を取った時期

SA N=95

在学中・卒業直後	働きながら	仕事を辞めて学習に専念	求職活動中
1.1%	81.1%	4.2%	9.5%

②資格取得動機 (回答の多い順にトップ5)

MA N=95

勤め先からの要請や 勧奨があったから	仕事上、資格がある ほうが有利だから	資格が必要な職業に 就くため	仕事の範囲を広げたい と思ったから	就職活動、いずれ役に 立つ
46.3%	34.7%	23.2%	12.6%	9.5%

③資格の魅力、メリット

MA N=95

将来性がある	社会的評価が 高い	経験や知識を 活かせる	適性や志向に 合う	次の資格取得 のステップに なる	ライフスタイルに合った働 き方に役立つ	社会や地域に 貢献できる	取得が比較的 容易
9.5%	1.1%	17.9%	9.5%	5.3%	10.5%	1.1%	46.3%

④学習を始める前の準備

MA N=95

学校や教育訓練 機関の情報収集	資格が活かせる 仕事や就職先の 情報収集	資格取得者の体 験談を聞いた	関連分野に詳 しい人に相談	キャリアコンサ ルタントに相談	必要な費用を 準備	特に準備せず
10.5%	1.1%	9.5%	5.3%	-	7.4%	67.4%

⑤資格取得に要した期間

SA N=95

3か月未満	3か月～6か月未満	6か月～1年未満	1年～2年未満	2年～3年未満	3年以上
96.8%	2.1%	1.1%	-	-	-

⑥資格取得の主な勉強方法

SA N=95

学校	資格取得 スクール	公的職業訓練	業界団体等 の講習会	通信教育	勤務先の勉強 会、OJT	自主的勉強会	自学自習
3.2%	12.6%	9.5%	41.1%	-	14.7%	-	14.7%

⑦利用した経済的支援

MA N=95

教育訓練給付金	無料・実費の 公的職業訓練	学校、団体、公的 機関等の奨学金	勤務先の補助 や貸付制度	利用せず
-	5.3%	-	37.9%	48.4%

⑧資格取得に関して、課題となったこと、苦勞したこと (回答の多い順にトップ3及び「特にない」)

MA N=95

仕事との両立	資格が実際に役に立つか どうかわからない	費用の負担、勉強や通学 の時間、相談相手	特にない
11.6%	7.4%	3.2%	71.6%

【在職中に資格を取得した人の状況】

⑨資格取得活動への職場の対応

SA N=77

積極的に応援	特別の対応なし	あまり歓迎されない 雰囲気	周囲に知られて いなかった	職場に知られない ようにしていた
39.0%	50.6%	1.3%	2.6%	2.6%

⑩資格取得による働き方や処遇の変化

MA N=77

社内で昇進・昇格に結びついた	資格を活かせる部署・担当に異動	社内で担当分野が広がった	職場で表彰された	周囲からの評価が高まった	転職あるいは独立した	職場外のネットワークが広がった	特に変化なし
3.9%	9.1%	24.7%	-	5.2%	1.3%	2.6%	66.2%

⑪資格取得による収入面での変化

MA N=77

勤務先から祝い金や報奨金が出た	基本給がアップした	資格手当がついた	資格所持に伴う活動による副収入を得た	特に変化なし
-	1.3%	10.4%	1.3%	85.7%

【資格取得に対する自己評価】

⑫資格を取得したことについての総合的判断

SA N=95

非常によかった、メリット大	どちらかというプラス	コストや時間の割にメリット小	まだ判断できない
16.8%	55.8%	13.7%	13.7%

⑬資格を取得して最もよかったと思う点

SA N=69

専門能力や知識が向上	仕事の範囲が拡大	評価や処遇が上昇	収入が増加	人的ネットワーク	職業生活設計のひろがり	社会貢献ができること	将来への備え
8.7%	62.3%	5.8%	1.4%	1.4%	2.9%	-	10.1%

【他の資格との関係】

⑭他の資格も所持している人の割合

31.6%

N= 95

他の主な所持資格(5名以上)

溶接技能者、危険物取扱者、普通自動車免許(二種)

⑮今後、新たな資格の取得を予定している人の割合

勉強中 6.3%

検討中 15.8%

N=95

【資格と仕事との関係】

⑯現在従事している職業(大分類で多い順トップ3)

SA N=78

生産工程の職業	事務的職業	専門的・技術的職業
23.1%	15.4%	14.1%

【資格取得とキャリア形成に関する特徴】

ほとんどが男性。約 8 割が在職中、1 割が求職活動中に資格取得。資格取得動機としては「勤務先への要請や勧奨」が 5 割弱。資格の魅力・メリットとして半数近くが「取得が比較的容易」をあげ、おおむね 3 か月未満で資格を取得している。主な勉強方法として約 4 割が「業界団体等の講習会」をあげ、取得費用で「勤務先の補助や貸付制度」を利用した人が 4 割弱。職場が積極的に応援した比率も比較的高く、4 人に 1 人は「担当分野が広がった」としている。総合評価は「どちらかというプラス」が 6 割弱。

クレーン・デリック運転士

表の数字は構成比(%)

回答者の属性 (80人)

性別	男性	100.0	女性	-						
年齢	20代	2.5	30代	6.3	40代	31.3	50代	31.3	60代以上	28.8
学歴	高校卒	33.8	短大・専修等卒	15.0	大学卒	28.8	大学院卒	12.5	その他	10.0
就業状態	雇用者	70.0	(正規比率	85.7)	自営	3.8	不就業	26.3	その他	-

【資格取得時の状況】

①資格を取った時期

SA N=80

在学中・卒業直後	働きながら	仕事を辞めて学習に専念	求職活動中
1.3%	87.5%	2.5%	7.5%

②資格取得動機(回答の多い順にトップ5)

MA N=80

勤め先からの要請や 勧奨があったから	仕事上、資格がある ほうが有利だから	資格が必要な職業に 就くため	仕事の範囲を広げたい と思ったから	いずれ何かの役に 立つかもしれない と思ったから
43.8%	38.8%	15.0%	12.5%	12.5%

③資格の魅力、メリット

MA N=80

将来性がある	社会的評価が 高い	経験や知識を 活かせる	適性や志向に 合う	次の資格取得 のステップに なる	ライフスタイル に合った働 き方に役立つ	社会や地域に 貢献できる	取得が比較的 容易
8.8%	5.0%	21.3%	16.3%	11.3%	7.5%	6.3%	30.0%

④学習を始める前の準備

MA N=80

学校や教育訓練 機関の情報収集	資格が活かせる 仕事や就職先の 情報収集	資格取得者の体 験談を聞いた	関連分野に詳 しい人に相談	キャリアコンサ ルタントに相談	必要な費用を 準備	特に準備せず
18.8%	7.5%	10.0%	1.3%	-	6.3%	61.3%

⑤資格取得に要した期間

SA N=80

3か月未満	3か月～6か月未満	6か月～1年未満	1年～2年未満	2年～3年未満	3年以上
83.8%	13.8%	2.5%	-	-	-

⑥資格取得の主な勉強方法

SA N=80

学校	資格取得 スクール	公的職業訓練	業界団体等 の講習会	通信教育	勤務先の勉強 会、OJT	自主的勉強会	自学自習
5.0%	18.8%	17.5%	18.8%	-	10.0%	1.3%	25.0%

⑦利用した経済的支援

MA N=80

教育訓練給付金	無料・実費の 公的職業訓練	学校、団体、公的 機関等の奨学金	勤務先の補助 や貸付制度	利用せず
-	10.0%	1.3%	43.8%	40.0%

⑧資格取得に関して、課題となったこと、苦労したこと(回答の多い順にトップ3及び「特にない」)

MA N=80

仕事との両立	近くに適当な学校・ 教育訓練機関がない	資格が実際に役に立つか どうかわからない	特にない
21.3%	11.3%	7.5%	55.0%

【在職中に資格を取得した人の状況】

⑨資格取得活動への職場の対応

SA N=70

積極的に応援	特別の対応なし	あまり歓迎されない 雰囲気	周囲に知られて いなかった	職場に知られない ようにしていた
41.4%	45.7%	2.9%	2.9%	4.3%

⑩資格取得による働き方や処遇の変化

MA N=70

社内で昇進・昇格に結びついた	資格を活かせる部署・担当に異動	社内で担当分野が広がった	職場で表彰された	周囲からの評価が高まった	転職あるいは独立した	職場外のネットワークが広がった	特に変化なし
4.3%	8.6%	21.4%	1.4%	7.1%	-	1.4%	60.0%

⑪資格取得による収入面での変化

MA N=70

勤務先から祝い金や報奨金が出た	基本給がアップした	資格手当がついた	資格所持に伴う活動による副収入を得た	特に変化なし
5.7%	2.9%	10.0%	2.9%	80.0%

【資格取得に対する自己評価】

⑫資格を取得したことについての総合的判断

SA N=80

非常によかった、 メリット大	どちらかという プラス	コストや時間の割に メリット小	まだ判断できない
12.5%	57.5%	15.0%	15.0%

⑬資格を取得して最もよかったと思う点

SA N=56

専門能力や知識が向上	仕事の範囲が拡大	評価や処遇が上昇	収入が増加	人的ネットワーク	職業生活設計のひろがり	社会貢献ができること	将来への備え
25.0%	50.0%	10.7%	5.4%	-	3.6%	1.8%	-

【他の資格との関係】

⑭他の資格も所持している人の割合

96.3%

N= 80

他の主な所持資格(5名以上)

玉掛け技能者、フォークリフト技能者、危険物取扱者、溶接技能者、普通自動車免許(二種)、大型自動車免許、ボイラー技士、技能士(ものづくり、工事、整備関連分野)、技術士、電気工事士、語学検定

⑮今後、新たな資格の取得を予定している人の割合

勉強中 5.0%

検討中 23.8%

N=80

【資格と仕事との関係】

⑯現在従事している職業(大分類で多い順トップ3)

SA N=59

専門的・技術的職業	生産工程の職業	事務的職業
33.9%	16.9%	11.9%

【資格取得とキャリア形成に関する特徴】

本調査では男性が100%。正規比率が高い。資格取得動機としては「勤務先の要請や勧奨」が4割強、「仕事上有利」が4割弱。資格の魅力・メリットとしては「取得が比較的容易」が3割。取得費用で「勤務先の補助や貸付制度」を利用した人が4割強。職場が積極的に応援した比率も比較的高く、2割強は「担当分野が広がった」としている。他の技能系資格も所持している人が多い。総合評価は「どちらかというプラス」が6割弱。

普通自動車免許(二種)

表の数字は構成比(%)

回答者の属性 (57人)

性別	男性	71.9	女性	28.1						
年齢	20代	1.8	30代	19.3	40代	28.1	50代	17.5	60代以上	33.3
学歴	高校卒	19.3	短大・専修等卒	17.5	大学卒	56.1	大学院卒	3.5	その他	3.5
就業状態	雇用者	50.9	(正規比率	72.4)	自営	5.3	不就業	43.9	その他	-

【資格取得時の状況】

①資格を取った時期

SA N=57

在学中・卒業直後	働きながら	仕事を辞めて学習に専念	求職活動中
47.4%	38.6%	5.3%	5.3%

②資格取得動機(回答の多い順にトップ5)

MA N=57

いずれ何かの役に立つかもしれないと思ったから	仕事上、資格があるほうが有利だから	資格が必要な職業に就くため	仕事の範囲を広げたいと思ったから	自分自身の勉強や自己啓発のため
38.6%	21.1%	17.5%	14.0%	14.0%

③資格の魅力、メリット

MA N=57

将来性がある	社会的評価が高い	経験や知識を活かせる	適性や志向に合う	次の資格取得のステップになる	ライフスタイルに合った働き方に役立つ	社会や地域に貢献できる	取得が比較的容易
12.3%	7.0%	8.8%	14.0%	7.0%	31.6%	12.3%	42.1%

④学習を始める前の準備

MA N=57

学校や教育訓練機関の情報収集	資格を活かせる仕事や就職先の情報収集	資格取得者の体験談を聞いた	関連分野に詳しい人に相談	キャリアコンサルタントに相談	必要な費用を準備	特に準備せず
14.0%	-	3.5%	1.8%	-	12.3%	70.2%

⑤資格取得に要した期間

SA N=57

3か月未満	3か月～6か月未満	6か月～1年未満	1年～2年未満	2年～3年未満	3年以上
52.6%	29.8%	15.8%	-	-	-

⑥資格取得の主な勉強方法

SA N=57

学校	資格取得スクール	公的職業訓練	業界団体等の講習会	通信教育	勤務先の勉強会、OJT	自主的勉強会	自学自習
36.8%	43.9%	-	-	-	1.8%	-	14.0%

⑦利用した経済的支援

MA N=57

教育訓練給付金	無料・実費の公的職業訓練	学校、団体、公的機関等の奨学金	勤務先の補助や貸付制度	利用せず
-	-	-	7.0%	89.5%

⑧資格取得に関して、課題となったこと、苦労したこと(回答の多い順にトップ3及び「特にない」)

MA N=57

勉強や通学のための時間	仕事との両立	学費、教材費など費用の負担	特にない
14.0%	12.3%	10.5%	52.6%

【在職中に資格を取得した人の状況】

⑨資格取得活動への職場の対応

SA N=22

積極的に応援	特別の対応なし	あまり歓迎されない 雰囲気	周囲に知られて いなかった	職場に知られない ようにしていた
22.7%	50.0%	9.1%	13.6%	4.5%

⑩資格取得による働き方や処遇の変化

MA N=22

社内で昇進・昇格に結びついた	資格を活かせる部署・担当に異動	社内で担当分野が広がった	職場で表彰された	周囲からの評価が高まった	転職あるいは独立した	職場外のネットワークが広がった	特に変化なし
-	-	4.5%	-	-	-	9.1%	86.4%

⑪資格取得による収入面での変化

MA N=22

勤務先から祝い金や報奨金が出た	基本給がアップした	資格手当がついた	資格所持に伴う活動による副収入を得た	特に変化なし
-	4.5%	4.5%	-	86.4%

【資格取得に対する自己評価】

⑫資格を取得したことについての総合的判断

SA N=57

非常によかった、メリット大	どちらかというプラス	コストや時間の割にメリット小	まだ判断できない
43.9%	35.1%	3.5%	17.5%

⑬資格を取得して最もよかったと思う点

SA N=45

専門能力や知識が向上	仕事の範囲が拡大	評価や処遇が上昇	収入が増加	人的ネットワーク	職業生活設計のひろがり	社会貢献ができること	将来への備え
2.2%	31.1%	4.4%	2.2%	4.4%	2.2%	4.4%	33.3%

【他の資格との関係】

⑭他の資格も所持している人の割合

33.3%

N= 57

他の主な所持資格(4名以上)
簿記、危険物取扱者、秘書検定

⑮今後、新たな資格の取得を予定している人の割合

勉強中 5.3%

検討中 8.8%

N=57

【資格と仕事との関係】

⑯現在従事している職業（大分類で多い順トップ3）

SA N=32

専門的・技術的職業	事務的職業	管理的職業
25.0%	21.9%	18.8%

【資格取得とキャリア形成に関する特徴】

男性比率が高い。本調査の回答者では高年齢層が多く、不就業の割合が高い。在学時取得が5割弱、在職時が4割弱。取得動機は「いずれ役に立つかも」が4割弱と最も多く、資格の魅力・メリットとして「取得が比較的容易」が4割強、「ライフスタイルに合った働き方に役立つ」が3割強であり、比較的中長期の目的で資格を取得していることがうかがえる。資格が働き方や収入面に結びついた人は少ないが、「非常によかった」との評価が4割を超え、その理由として「将来への備え」があげられている。

大型自動車免許

表の数字は構成比(%)

回答者の属性 (88人)

性別	男性	93.2	女性	6.8						
年齢	20代	-	30代	9.1	40代	29.5	50代	28.4	60代以上	33.0
学歴	高校卒	39.8	短大・専修等卒	9.1	大学卒	39.8	大学院卒	3.4	その他・不明	6.8
就業状態	雇用者	61.4	(正規比率	79.6)	自営	14.8	不就業	22.7	その他	1.1

【資格取得時の状況】

①資格を取った時期

SA N=88

在学中・卒業直後	働きながら	仕事を辞めて学習に専念	求職活動中
21.6%	69.3%	2.3%	5.7%

②資格取得動機 (回答の多い順にトップ5)

MA N=88

工作上、資格がある ほうが有利だから	いずれ何かの役に 立つかもしれない と思ったから	自分自身の勉強や 自己啓発のため	勤め先からの要請や 勧奨があったから	資格が必要な職業に 就くため、仕事の 範囲を広げたい
37.5%	27.3%	19.3%	18.2%	14.8%

③資格の魅力、メリット

MA N=88

将来性がある	社会的評価が 高い	経験や知識を 活かせる	適性や志向に 合う	次の資格取得 のステップに なる	ライフスタイル に合った働 き方に役立つ	社会や地域に 貢献できる	取得が比較的 容易
17.0%	3.4%	13.6%	21.6%	10.2%	15.9%	6.8%	38.6%

④学習を始める前の準備

MA N=88

学校や教育訓練 機関の情報収集	資格が活かせる 仕事や就職先の 情報収集	資格取得者の体 験談を聞いた	関連分野に詳 しい人に相談	キャリアコンサ ルタントに相談	必要な費用を 準備	特に準備せず
12.5%	3.4%	8.0%	3.4%	-	19.3%	61.4%

⑤資格取得に要した期間

SA N=88

3か月未満	3か月～6か月未満	6か月～1年未満	1年～2年未満	2年～3年未満	3年以上
79.5%	17.0%	3.4%	-	-	-

⑥資格取得の主な勉強方法

SA N=88

学校	資格取得 スクール	公的職業訓練	業界団体等 の講習会	通信教育	勤務先の勉強 会、OJT	自主的勉強会	自学自習
38.6%	34.1%	3.4%	-	-	3.4%	-	15.9%

⑦利用した経済的支援

MA N=88

教育訓練給付金	無料・実費の 公的職業訓練	学校、団体、公的 機関等の奨学金	勤務先の補助 や貸付制度	利用せず
-	3.4%	1.1%	11.4%	79.5%

⑧資格取得に関して、課題となったこと、苦労したこと (回答の多い順にトップ3及び「特にない」)

MA N=88

仕事との両立	学費、教材費など費用 の負担	勉強や通学のための時間、 実際に役に立つか	特にない
18.2%	14.8%	5.7%	61.4%

【在職中に資格を取得した人の状況】

⑨資格取得活動への職場の対応

SA N=61

積極的に応援	特別の対応なし	あまり歓迎されない 雰囲気	周囲に知られて いなかった	職場に知られない ようにしていた
27.9%	36.1%	6.6%	11.5%	18.0%

⑩資格取得による働き方や処遇の変化

MA N=61

社内で昇進・昇格に結びついた	資格を活かせる部署・担当に異動	社内で担当分野が広がった	職場で表彰された	周囲からの評価が高まった	転職あるいは独立した	職場外のネットワークが広がった	特に変化なし
4.9%	8.2%	6.6%	4.9%	1.6%	3.3%	3.3%	78.7%

⑪資格取得による収入面での変化

MA N=61

勤務先から祝い金や報奨金が出た	基本給がアップした	資格手当がついた	資格所持に伴う活動による副収入を得た	特に変化なし
1.6%	3.3%	3.3%	-	91.8%

【資格取得に対する自己評価】

⑫資格を取得したことについての総合的判断

SA N=88

非常によかった、 メリット大	どちらかという プラス	コストや時間の割に メリット小	まだ判断できない
15.9%	54.5%	17.0%	12.5%

⑬資格を取得して最もよかったと思う点

SA N=62

専門能力や知識が向上	仕事の範囲が拡大	評価や処遇が上昇	収入が増加	人的ネットワーク	職業生活設計のひろがり	社会貢献ができること	将来への備え
4.8%	29.0%	6.5%	8.1%	3.2%	9.7%	12.9%	22.6%

【他の資格との関係】

⑭他の資格も所持している人の割合

30.7%

N= 88

他の主な所持資格(5名以上)

普通自動車免許(二種)、フォークリフト技能者

⑮今後、新たな資格の取得を予定している人の割合

勉強中 5.7%

検討中 13.6%

N=88

【資格と仕事との関係】

⑯現在従事している職業(大分類で多い順トップ3)

SA N=68

事務的職業	輸送・機械運転の職業	販売・営業の職業
20.6%	16.2%	14.7%

【資格取得とキャリア形成に関する特徴】

男性比率が高い。在職時に取得した人が約7割。取得動機は「仕事上有利」が4割弱、「いずれ役に立つかも」が3割弱。資格の魅力・メリットとして「取得が比較的容易」が4割弱。資格取得の活動が職場に知られないようにしていたという人が2割近くあり、比較的高い。資格取得が働き方や収入に結びついた人は少ない。資格取得の総合評価としては、「どちらかというプラス」が半数強で、約7割が肯定的判断。

自動車整備士

表の数字は構成比(%)

回答者の属性 (102人)

性別	男性	94.1	女性	5.9						
年齢	20代	1.0	30代	6.9	40代	32.4	50代	24.5	60代以上	35.3
学歴	高校卒	35.3	短大・専修等卒	33.3	大学卒	21.6	大学院卒	2.0	その他	7.8
就業状態	雇用者	57.8	(正規比率	74.6)	自営	19.6	不就業	20.6	その他	2.0

【資格取得時の状況】

①資格を取った時期

SA N=102

在学中・卒業直後	働きながら	仕事を辞めて学習に専念	求職活動中
27.5%	69.6%	-	2.9%

②資格取得動機(回答の多い順にトップ5)

MA N=102

工作上、資格がある ほうが有利だから	資格が必要な職業に 就くため	勤め先からの要請や 勧奨があったから	自分自身の勉強や 自己啓発のため	仕事の範囲を広げたい と思ったから
52.0%	38.2%	22.5%	22.5%	9.8%

③資格の魅力、メリット

MA N=102

将来性がある	社会的評価が 高い	経験や知識を 活かせる	適性や志向に 合う	次の資格取得 のステップに なる	ライフスタイルに 合った働き方に 役立つ	社会や地域に 貢献できる	取得が比較的 容易
8.8%	8.8%	46.1%	36.3%	19.6%	16.7%	1.0%	6.9%

④学習を始める前の準備

MA N=102

学校や教育訓練 機関の情報収集	資格が活かせる 仕事や就職先の 情報収集	資格取得者の体 験談を聞いた	関連分野に詳 しい人に相談	キャリアコンサ ルタントに相談	必要な費用を 準備	特に準備せず
30.4%	10.8%	6.9%	2.9%	-	10.8%	42.2%

⑤資格取得に要した期間

SA N=102

3か月未満	3か月～6か月未満	6か月～1年未満	1年～2年未満	2年～3年未満	3年以上
13.7%	21.6%	25.5%	18.6%	12.7%	6.9%

⑥資格取得の主な勉強方法

SA N=102

学校	資格取得 スクール	公的職業訓練	業界団体等 の講習会	通信教育	勤務先の勉強 会、OJT	自主的勉強会	自学自習
24.5%	3.9%	8.8%	28.4%	1.0%	19.6%	-	12.7%

⑦利用した経済的支援

MA N=102

教育訓練給付金	無料・実費の 公的職業訓練	学校、団体、公的 機関等の奨学金	勤務先の補助 や貸付制度	利用せず
-	4.9%	1.0%	20.6%	70.6%

⑧資格取得に関して、課題となったこと、苦労したこと(回答の多い順にトップ3及び「特にない」)

MA N=102

仕事との両立	勉強や通学のための時間	学費、教材費など費用 の負担	特にない
28.4%	18.6%	11.8%	46.1%

【在職中に資格を取得した人の状況】

⑨資格取得活動への職場の対応

SA N=71

積極的に応援	特別の対応なし	あまり歓迎されない 雰囲気	周囲に知られて いなかった	職場に知られない ようにしていた
40.8%	40.8%	2.8%	14.1%	1.4%

⑩資格取得による働き方や処遇の変化

MA N=71

社内で昇進・昇格に結びついた	資格を活かせる部署・担当に異動	社内で担当分野が広がった	職場で表彰された	周囲からの評価が高まった	転職あるいは独立した	職場外のネットワークが広がった	特に変化なし
23.9%	8.5%	8.5%	4.2%	11.3%	-	1.4%	54.9%

⑪資格取得による収入面での変化

MA N=71

勤務先から祝い金や報奨金が出た	基本給がアップした	資格手当がついた	資格所持に伴う活動による副収入を得た	特に変化なし
9.9%	9.9%	33.8%	-	54.9%

【資格取得に対する自己評価】

⑫資格を取得したことについての総合的判断

SA N=102

非常によかった、 メリット大	どちらかという プラス	コストや時間の割に メリット小	まだ判断できない
24.5%	60.8%	10.8%	3.9%

⑬資格を取得して最もよかったと思う点

SA N=87

専門能力や知識が向上	仕事の範囲が拡大	評価や処遇が上昇	収入が増加	人的ネットワーク	職業生活設計のひろがり	社会貢献ができること	将来への備え
42.5%	20.7%	4.6%	8.0%	2.3%	6.9%	3.4%	9.2%

【他の資格との関係】

⑭他の資格も所持している人の割合

81.4%

N= 102

他の主な所持資格(6名以上)

大型自動車免許、普通自動車免許(二種)、危険物取扱者、溶接技能者、フォークリフト技能者、技能士(ものづくり)、玉掛け技能者、ボイラー技士、衛生管理者、電気工事士、技術士、クレーン・デリック運転士、宅地建物取引主任者

⑮今後、新たな資格の取得を予定している人の割合

勉強中 6.9%

検討中 17.6%

N=102

【資格と仕事との関係】

⑯現在従事している職業(大分類で多い順トップ3)

SA N=81

専門的・技術的職業	サービスの職業	販売・営業の職業
23.5%	19.8%	16.0%

【資格取得とキャリア形成に関する特徴】

ほとんどが男性。資格取得時期は在職時が約7割、在学時が3割弱。取得動機としては「仕事上有利」が半数を超え、資格の魅力・メリットとしては「経験や知識を活かせる」が半数弱で最も多い。職場が積極的に応援してくれたという割合は4割と比較的高く、4人に1人近くが「社内で昇進・昇格に結びついた」、3人に1人が「資格手当がついた」としている。総合的評価として、「非常によかった」「どちらかというプラス」を合わせて8割を超え、肯定的に判断する比率が高い。

建築士

表の数字は構成比(%)

回答者の属性 (114人)

性別	男性	76.3	女性	23.7						
年齢	20代	-	30代	12.3	40代	20.2	50代	26.3	60代以上	41.2
学歴	高校卒	16.7	短大・専修等卒	15.8	大学卒	62.3	大学院卒	3.5	その他	1.8
就業状態	雇用者	42.1	(正規比率	70.8)	自営	37.7	不就業	19.3	その他	0.9

【資格取得時の状況】

①資格を取った時期

SA N=114

在学中・卒業直後	働きながら	仕事を辞めて学習に専念	求職活動中
2.6%	93.9%	1.8%	-

②資格取得動機(回答の多い順にトップ5)

MA N=114

工作上、資格がある ほうが有利だから	資格が必要な職業に 就くため	自分自身の勉強や 自己啓発のため	仕事の範囲を広げたい と思ったから	より高度な仕事をした いと思ったから
57.0%	44.7%	21.9%	16.7%	14.9%

③資格の魅力、メリット

MA N=114

将来性がある	社会的評価が 高い	経験や知識を 活かせる	適性や志向に 合う	次の資格取得 のステップに なる	ライフスタイルに合った働 き方に役立つ	社会や地域に 貢献できる	取得が比較的 容易
17.5%	29.8%	45.6%	28.9%	9.6%	14.0%	14.0%	1.8%

④学習を始める前の準備

MA N=114

学校や教育訓練 機関の情報収集	資格が活かせる 仕事や就職先の 情報収集	資格取得者の体 験談を聞いた	関連分野に詳 しい人に相談	キャリアコンサ ルタントに相談	必要な費用を 準備	特に準備せず
36.8%	8.8%	5.3%	3.5%	-	11.4%	47.4%

⑤資格取得に要した期間

SA N=114

3か月未満	3か月～6か月未満	6か月～1年未満	1年～2年未満	2年～3年未満	3年以上
8.8%	8.8%	18.4%	17.5%	15.8%	28.9%

⑥資格取得の主な勉強方法

SA N=114

学校	資格取得 スクール	公的職業訓練	業界団体等 の講習会	通信教育	勤務先の勉強 会、OJT	自主的勉強会	自学自習
8.8%	30.7%	-	1.8%	0.9%	3.5%	-	50.9%

⑦利用した経済的支援

MA N=114

教育訓練給付金	無料・実費の 公的職業訓練	学校、団体、公的 機関等の奨学金	勤務先の補助 や貸付制度	利用せず
-	-	-	2.6%	89.5%

⑧資格取得に関して、課題となったこと、苦労したこと(回答の多い順にトップ3及び「特にない」)

MA N=114

仕事との両立	勉強や通学のための時間	学費、教材費など費用 の負担	特にない
57.9%	28.9%	14.0%	30.7%

【在職中に資格を取得した人の状況】

⑨資格取得活動への職場の対応

SA N=107

積極的に応援	特別の対応なし	あまり歓迎されない 雰囲気	周囲に知られて いなかった	職場に知られない ようにしていた
21.5%	57.0%	3.7%	4.7%	8.4%

⑩資格取得による働き方や処遇の変化

MA N=107

社内で昇進・昇格に結びついた	資格を活かせる部署・担当に異動	社内で担当分野が広がった	職場で表彰された	周囲からの評価が高まった	転職あるいは独立した	職場外のネットワークが広がった	特に変化なし
13.1%	7.5%	9.3%	4.7%	22.4%	17.8%	1.9%	43.0%

⑪資格取得による収入面での変化

MA N=107

勤務先から祝い金や報奨金が出た	基本給がアップした	資格手当がついた	資格所持に伴う活動による副収入を得た	特に変化なし
7.5%	13.1%	26.2%	3.7%	55.1%

【資格取得に対する自己評価】

⑫資格を取得したことについての総合的判断

SA N=114

非常によかった、メリット大	どちらかというプラス	コストや時間の割にメリット小	まだ判断できない
47.4%	32.5%	13.2%	6.1%

⑬資格を取得して最もよかったと思う点

SA N=91

専門能力や知識が向上	仕事の範囲が拡大	評価や処遇が上昇	収入が増加	人的ネットワーク	職業生活設計のひろがり	社会貢献ができること	将来への備え
25.3%	28.6%	4.4%	7.7%	2.2%	9.9%	5.5%	5.5%

【他の資格との関係】

⑭他の資格も所持している人の割合

0.9%

N= 114

他の主な所持資格

(施工管理技工、測量士の区分での回答者に建築士資格所持者が含まれている)

⑮今後、新たな資格の取得を予定している人の割合

勉強中 3.5%

検討中 15.8%

N=114

【資格と仕事との関係】

⑯現在従事している職業（大分類で多い順トップ3）

SA N=92

専門的・技術的職業	管理的職業	事務的職業
69.6%	12.0%	8.7%

【資格取得とキャリア形成に関する特徴】

男女比約3:1、本調査では高年齢層が多く、4割弱が自営。資格取得は9割強が在職時。取得動機は、「仕事上有利」が最も多く6割弱、次いで「資格が必要な職業に就くため」が4割強。資格の魅力・メリットは「経験や知識を活かせる」が多い。資格取得に際して「仕事との両立」が課題となった人が6割近くにのぼる。資格取得により「周囲からの評価が高まった」「資格手当がついた」など働き方や収入の変化に結びついた人が比較的多く、総合的判断として「非常によかった」という割合が半数近い。

測量士

表の数字は構成比(%)

回答者の属性 (85人)

性別	男性	95.3	女性	4.7						
年齢	20代	2.4	30代	10.6	40代	18.8	50代	29.4	60代以上	38.8
学歴	高校卒	4.7	短大・専修等卒	16.5	大学卒	70.6	大学院卒	4.7	その他	3.5
就業状態	雇用者	65.9	(正規比率	87.5)	自営	11.8	不就業	21.2	不明	1.2

【資格取得時の状況】

①資格を取った時期

SA N=85

在学中・卒業直後	働きながら	仕事を辞めて学習に専念	求職活動中
18.8%	78.8%	-	1.2%

②資格取得動機(回答の多い順にトップ5)

MA N=85

工作上、資格がある ほうが有利だから	資格が必要な職業に 就くため	自分自身の勉強や 自己啓発のため	勤め先からの要請や 勧奨があったから	いずれ何かの役に 立つかもしれない と思ったから
56.5%	29.4%	16.5%	15.3%	15.3%

③資格の魅力、メリット

MA N=85

将来性がある	社会的評価が 高い	経験や知識を 活かせる	適性や志向に 合う	次の資格取得 のステップに なる	ライフスタイル に合った働 き方に役立つ	社会や地域に 貢献できる	取得が比較的 容易
8.2%	12.9%	44.7%	21.2%	16.5%	12.9%	7.1%	29.4%

④学習を始める前の準備

MA N=85

学校や教育訓練 機関の情報収集	資格が活かせる 仕事や就職先の 情報収集	資格取得者の体 験談を聞いた	関連分野に詳 しい人に相談	キャリアコンサ ルタントに相談	必要な費用を 準備	特に準備せず
11.8%	9.4%	4.7%	9.4%	-	9.4%	58.8%

⑤資格取得に要した期間

SA N=85

3か月未満	3か月～6か月未満	6か月～1年未満	1年～2年未満	2年～3年未満	3年以上
23.5%	8.2%	18.8%	22.4%	10.6%	16.5%

⑥資格取得の主な勉強方法

SA N=85

学校	資格取得 スクール	公的職業訓練	業界団体等 の講習会	通信教育	勤務先の勉強 会、OJT	自主的勉強会	自学自習
32.9%	1.2%	1.2%	-	2.4%	10.6%	1.2%	43.5%

⑦利用した経済的支援

MA N=85

教育訓練給付金	無料・実費の 公的職業訓練	学校、団体、公的 機関等の奨学金	勤務先の補助 や貸付制度	利用せず
-	1.2%	1.2%	4.7%	89.4%

⑧資格取得に関して、課題となったこと、苦労したこと(回答の多い順にトップ3及び「特にない」)

MA N=85

仕事との両立	勉強や通学のための時間	資格が実際に役に立つか どうかわからない	特にない
22.4%	8.2%	7.1%	61.2%

【在職中に資格を取得した人の状況】

⑨資格取得活動への職場の対応

SA N=67

積極的に応援	特別の対応なし	あまり歓迎されない 雰囲気	周囲に知られて いなかった	職場に知られない ようにしていた
17.9%	58.2%	4.5%	7.5%	9.0%

⑩資格取得による働き方や処遇の変化

MA N=67

社内で昇進・昇格に結びついた	資格を活かせる部署・担当に異動	社内で担当分野が広がった	職場で表彰された	周囲からの評価が高まった	転職あるいは独立した	職場外のネットワークが広がった	特に変化なし
6.0%	6.0%	9.0%	1.5%	11.9%	1.5%	1.5%	68.7%

⑪資格取得による収入面での変化

MA N=67

勤務先から祝い金や報奨金が出た	基本給がアップした	資格手当がついた	資格所持に伴う活動による副収入を得た	特に変化なし
6.0%	1.5%	29.9%	-	65.7%

【資格取得に対する自己評価】

⑫資格を取得したことについての総合的判断

SA N=85

非常によかった、 メリット大	どちらかという プラス	コストや時間の割に メリット小	まだ判断できない
14.1%	63.5%	8.2%	14.1%

⑬資格を取得して最もよかったと思う点

SA N=66

専門能力や知識が向上	仕事の範囲が拡大	評価や処遇が上昇	収入が増加	人的ネットワーク	職業生活設計のひろがり	社会貢献ができること	将来への備え
27.3%	31.8%	6.1%	10.6%	3.0%	4.5%	4.5%	7.6%

【他の資格との関係】

⑭他の資格も所持している人の割合

83.5%

N= 85

他の主な所持資格(5名以上)

施工管理技士、危険物取扱者、技術士、宅地建物取引主任者、普通自動車免許(二種)、玉掛け技能者、建築士、基本情報技術者、簿記

⑮今後、新たな資格の取得を予定している人の割合

勉強中 16.5%

検討中 24.7%

N=85

【資格と仕事との関係】

⑯現在従事している職業(大分類で多い順トップ3)

SA N=66

専門的・技術的職業	管理的職業	事務的職業、輸送・機械運転の職業
63.6%	16.7%	4.5%

【資格取得とキャリア形成に関する特徴】

ほとんどが男性。資格取得は在職時が約8割、在学時が約2割。取得動機は、「仕事上有利」が最も多く6割弱、次いで「資格が必要な職業に就くため」が約3割。資格の魅力・メリットは「経験や知識を活かせる」が4割強。資格取得に際し、職場が積極的に応援してくれたケースは少ないが、3割の人が「資格手当がついた」としており、収入面に一定程度結びついている。資格取得に対する総合的評価としては、「どちらかというプラス」が6割強。

電気工事士

表の数字は構成比(%)

回答者の属性 (103人)

性別	男性	98.1	女性	1.9						
年齢	20代	1.0	30代	9.7	40代	28.2	50代	34.0	60代以上	27.2
学歴	高校卒	40.8	短大・専修等卒	23.3	大学卒	26.2	大学院卒	1.0	その他・不明	8.7
就業状態	雇用者	57.3	(正規比率	79.7)	自営	23.3	不就業	16.5	その他・不明	2.9

【資格取得時の状況】

①資格を取った時期

SA N=103

在学中・卒業直後	働きながら	仕事を辞めて学習に専念	求職活動中
38.8%	57.3%	1.0%	1.9%

②資格取得動機(回答の多い順にトップ5)

MA N=103

工作上、資格があるほうが有利だから	自分自身の勉強や自己啓発のため	いずれ何かの役に立つかもしれないと思ったから	就職活動に役立てるため	資格が必要な職業に就くため
42.7%	26.2%	20.4%	15.5%	14.6%

③資格の魅力、メリット

MA N=103

将来性がある	社会的評価が高い	経験や知識を活かせる	適性や志向に合う	次の資格取得のステップになる	ライフスタイルに合った働き方に役立つ	社会や地域に貢献できる	取得が比較的容易
9.7%	8.7%	35.0%	24.3%	14.6%	9.7%	1.9%	28.2%

④学習を始める前の準備

MA N=103

学校や教育訓練機関の情報収集	資格を活かせる仕事や就職先の情報収集	資格取得者の体験談を聞いた	関連分野に詳しい人に相談	キャリアコンサルタントに相談	必要な費用を準備	特に準備せず
22.3%	4.9%	5.8%	2.9%	-	8.7%	53.4%

⑤資格取得に要した期間

SA N=103

3か月未満	3か月～6か月未満	6か月～1年未満	1年～2年未満	2年～3年未満	3年以上
25.2%	37.9%	20.4%	9.7%	3.9%	1.9%

⑥資格取得の主な勉強方法

SA N=103

学校	資格取得スクール	公的職業訓練	業界団体等の講習会	通信教育	勤務先の勉強会、OJT	自主的勉強会	自学自習
29.1%	1.9%	4.9%	4.9%	2.9%	10.7%	1.0%	40.8%

⑦利用した経済的支援

MA N=103

教育訓練給付金	無料・実費の公的職業訓練	学校、団体、公的機関等の奨学金	勤務先の補助や貸付制度	利用せず
-	6.8%	1.0%	9.7%	81.6%

⑧資格取得に関して、課題となったこと、苦勞したこと(回答の多い順にトップ3及び「特にない」)

MA N=103

仕事との両立	学費、教材費など費用の負担	相談相手やアドバイザーがいない	特にない
13.6%	9.7%	3.9%	67.0%

【在職中に資格を取得した人の状況】

⑨資格取得活動への職場の対応

SA N=59

積極的に応援	特別の対応なし	あまり歓迎されない 雰囲気	周囲に知られて いなかった	職場に知られない ようにしていた
28.8%	50.8%	-	11.9%	8.5%

⑩資格取得による働き方や処遇の変化

MA N=59

社内で昇進・昇格に結びついた	資格を活かせる部署・担当に異動	社内で担当分野が広がった	職場で表彰された	周囲からの評価が高まった	転職あるいは独立した	職場外のネットワークが広がった	特に変化なし
6.8%	5.1%	8.5%	10.2%	8.5%	-	3.4%	72.9%

⑪資格取得による収入面での変化

MA N=59

勤務先から祝い金や報奨金が出た	基本給がアップした	資格手当がついた	資格所持に伴う活動による副収入を得た	特に変化なし
6.8%	3.4%	16.9%	1.7%	76.3%

【資格取得に対する自己評価】

⑫資格を取得したことについての総合的判断

SA N=103

非常によかった、 メリット大	どちらかという プラス	コストや時間の割に メリット小	まだ判断できない
16.5%	59.2%	7.8%	16.5%

⑬資格を取得して最もよかったと思う点

SA N=78

専門能力や知識が向上	仕事の範囲が拡大	評価や処遇が上昇	収入が増加	人的ネットワーク	職業生活設計のひろがり	社会貢献ができること	将来への備え
37.2%	33.3%	5.1%	1.3%	1.3%	3.8%	2.6%	10.3%

【他の資格との関係】

⑭他の資格も所持している人の割合

43.7%

N= 103

他の主な所持資格(7名以上)
危険物取扱者、溶接技能者、基本情報技術者

⑮今後、新たな資格の取得を予定している人の割合

勉強中 9.7%

検討中 15.5%

N=103

【資格と仕事との関係】

⑯現在従事している職業(大分類で多い順トップ3)

SA N=84

専門的・技術的職業	管理的職業	建設・採掘の職業
27.4%	15.5%	13.1%

【資格取得とキャリア形成に関する特徴】

ほとんどが男性。資格取得時期は4割弱が在学時、6割弱が在職時で、働きながら取得した人がやや多い。取得動機は、「仕事上有利」が最も多く4割強、次いで「自分自身の勉強や自己啓発」「いずれ役に立つかも」などやや中長期的な目的で取り組んだ人もいる。資格の魅力・メリットは「経験や知識を活かせる」など。資格取得により「資格手当がついた」人もいるが、全体に処遇等に大きな変化がないケースが多い。資格取得に対する総合的評価としては、「どちらかというプラス」が約6割。

電気主任技術者

表の数字は構成比(%)

回答者の属性 (101人)

性別	男性	99.0	女性	1.0						
年齢	20代	1.0	30代	9.9	40代	15.8	50代	30.7	60代以上	42.6
学歴	高校卒	18.8	短大・専修等卒	12.9	大学卒	53.5	大学院卒	12.9	その他・不明	2.0
就業状態	雇用者	68.3	(正規比率	81.2)	自営	8.9	不就業	21.8	その他	1.0

【資格取得時の状況】

①資格を取った時期

SA N=101

在学中・卒業直後	働きながら	仕事を辞めて学習に専念	求職活動中
11.9%	85.1%	1.0%	1.0%

②資格取得動機(回答の多い順にトップ5)

MA N=101

工作上、資格がある ほうが有利だから	自分自身の勉強や 自己啓発のため	勤め先からの要請や 勧奨があったから	仕事の範囲を広げたい と思ったから	資格が必要な職業に 就くため
41.6%	37.6%	22.8%	17.8%	15.8%

③資格の魅力、メリット

MA N=101

将来性がある	社会的評価が 高い	経験や知識を 活かせる	適性や志向に 合う	次の資格取得 のステップに なる	ライフスタイルに 合った働き方に 役立つ	社会や地域に 貢献できる	取得が比較的 容易
16.8%	30.7%	64.4%	19.8%	20.8%	9.9%	9.9%	11.9%

④学習を始める前の準備

MA N=101

学校や教育訓練 機関の情報収集	資格が活かせる 仕事や就職先の 情報収集	資格取得者の体 験談を聞いた	関連分野に詳 しい人に相談	キャリアコンサル タントに相談	必要な費用を 準備	特に準備せず
23.8%	3.0%	8.9%	5.0%	-	10.9%	53.5%

⑤資格取得に要した期間

SA N=101

3か月未満	3か月～6か月未満	6か月～1年未満	1年～2年未満	2年～3年未満	3年以上
9.9%	12.9%	21.8%	26.7%	11.9%	16.8%

⑥資格取得の主な勉強方法

SA N=101

学校	資格取得 スクール	公的職業訓練	業界団体等 の講習会	通信教育	勤務先の勉強 会、OJT	自主的勉強会	自学自習
6.9%	2.0%	-	2.0%	7.9%	4.0%	-	76.2%

⑦利用した経済的支援

MA N=101

教育訓練給付金	無料・実費の 公的職業訓練	学校、団体、公的 機関等の奨学金	勤務先の補助 や貸付制度	利用せず
-	1.0%	1.0%	11.9%	84.2%

⑧資格取得に関して、課題となったこと、苦労したこと(回答の多い順にトップ3及び「特にない」)

MA N=101

仕事との両立	勉強や通学のための時間	学習内容や学習の進め方が よくわからない	特にない
43.6%	14.9%	7.9%	39.6%

【在職中に資格を取得した人の状況】

⑨資格取得活動への職場の対応

SA N=86

積極的に応援	特別な対応なし	あまり歓迎されない 雰囲気	周囲に知られて いなかった	職場に知られない ようにしていた
7.0%	64.0%	1.2%	15.1%	10.5%

⑩資格取得による働き方や処遇の変化

MA N=86

社内で昇進・昇格に結びついた	資格を活かせる部署・担当に異動	社内で担当分野が広がった	職場で表彰された	周囲からの評価が高まった	転職あるいは独立した	職場外のネットワークが広がった	特に変化なし
8.1%	10.5%	10.5%	3.5%	11.6%	8.1%	1.2%	60.5%

⑪資格取得による収入面での変化

MA N=86

勤務先から祝い金や報奨金が出た	基本給がアップした	資格手当がついた	資格所持に伴う活動による副収入を得た	特に変化なし
14.0%	4.7%	10.5%	1.2%	74.4%

【資格取得に対する自己評価】

⑫資格を取得したことについての総合的判断

SA N=101

非常によかった、 メリット大	どちらかという プラス	コストや時間の割に メリット小	まだ判断できない
25.7%	54.5%	13.9%	5.9%

⑬資格を取得して最もよかったと思う点

SA N=81

専門能力や知識が向上	仕事の範囲が拡大	評価や処遇が上昇	収入が増加	人的ネットワーク	職業生活設計のひろがり	社会貢献ができること	将来への備え
37.0%	21.0%	9.9%	3.7%	-	9.9%	3.7%	9.9%

【他の資格との関係】

⑭他の資格も所持している人の割合

89.1%

N= 101

他の主な所持資格(5名以上)

電気工事士、危険物取扱者、普通自動車免許(二種)、施工管理技士、技能士(ものづくり、工事、整備関連分野)、技術士、衛生管理者、基本情報技術者、玉掛け技能者、ボイラー技士、語学検定、宅地建物取引主任者

⑮今後、新たな資格の取得を予定している人の割合

勉強中 10.9%

検討中 14.9%

N=101

【資格と仕事との関係】

⑯現在従事している職業(大分類で多い順トップ3)

SA N=79

専門的・技術的職業	管理的職業	サービスの職業
46.8%	17.7%	10.1%

【資格取得とキャリア形成に関する特徴】

ほとんどが男性。資格取得は85%が在職時。取得動機は、「仕事上有利」が最も多く4割強、次いで「自分の勉強や自己啓発」が4割弱、「勤め先の要請・勸奨」も2割強。資格の魅力・メリットは「経験や知識が活かせる」が6割強と多い。資格取得に際して「仕事との両立」が課題となった人が4割強いる。勤務先の要請という人も少なからずいるが、職場の積極的応援を受けたとする人の比率は低い。資格取得に対する総合的評価としては、「どちらかというプラス」が5割強。

施工管理技士

表の数字は構成比(%)

回答者の属性 (101人)

性別	男性	98.0	女性	2.0						
年齢	20代	-	30代	10.9	40代	27.7	50代	31.7	60代以上	29.7
学歴	高校卒	29.7	短大・専修等卒	18.8	大学卒	45.5	大学院卒	3.0	その他	3.0
就業状態	雇用者	71.3	(正規比率	81.9)	自営	12.9	不就業	13.9	不明	2.0

【資格取得時の状況】

①資格を取った時期

SA N=101

在学中・卒業直後	働きながら	仕事を辞めて学習に専念	求職活動中
-	100.0%	-	-

②資格取得動機 (回答の多い順にトップ5)

MA N=101

工作上、資格がある ほうが有利だから	勤め先からの要請や 勧奨があったから	自分自身の勉強や 自己啓発のため	資格が必要な職業に 就くため	昇進・昇格、仕事範囲 の拡大
65.3%	33.7%	28.7%	18.8%	13.9%

③資格の魅力、メリット

MA N=101

将来性がある	社会的評価が 高い	経験や知識を 活かせる	適性や志向に 合う	次の資格取得 のステップに なる	ライフスタイルに合った働 き方に役立つ	社会や地域に 貢献できる	取得が比較的 容易
4.0%	18.8%	58.4%	18.8%	13.9%	9.9%	1.0%	9.9%

④学習を始める前の準備

MA N=101

学校や教育訓練 機関の情報収集	資格が活かせる 仕事や就職先の 情報収集	資格取得者の体 験談を聞いた	関連分野に詳 しい人に相談	キャリアコンサ ルタントに相談	必要な費用を 準備	特に準備せず
19.8%	3.0%	7.9%	1.0%	-	6.9%	56.4%

⑤資格取得に要した期間

SA N=101

3か月未満	3か月～6か月未満	6か月～1年未満	1年～2年未満	2年～3年未満	3年以上
24.8%	17.8%	30.7%	15.8%	5.9%	5.0%

⑥資格取得の主な勉強方法

SA N=101

学校	資格取得 スクール	公的職業訓練	業界団体等 の講習会	通信教育	勤務先の勉強 会、OJT	自主的勉強会	自学自習
-	5.9%	-	10.9%	5.9%	5.9%	1.0%	69.3%

⑦利用した経済的支援

MA N=101

教育訓練給付金	無料・実費の 公的職業訓練	学校、団体、公的 機関等の奨学金	勤務先の補助 や貸付制度	利用せず
-	2.0%	1.0%	20.8%	72.3%

⑧資格取得に関して、課題となったこと、苦労したこと (回答の多い順にトップ3及び「特にない」)

MA N=101

仕事との両立	勉強や通学のための時間	学費、教材費など費用 の負担	特にない
37.6%	12.9%	6.9%	48.5%

【在職中に資格を取得した人の状況】

⑨資格取得活動への職場の対応

SA N=101

積極的に応援	特別な対応なし	あまり歓迎されない 雰囲気	周囲に知られて いなかった	職場に知られない ようにしていた
14.9%	66.3%	1.0%	5.9%	8.9%

⑩資格取得による働き方や処遇の変化

MA N=101

社内で昇進・昇格に結びついた	資格を活かせる部署・担当に異動	社内で担当分野が広がった	職場で表彰された	周囲からの評価が高まった	転職あるいは独立した	職場外のネットワークが広がった	特に変化なし
9.9%	7.9%	13.9%	3.0%	14.9%	8.9%	3.0%	57.4%

⑪資格取得による収入面での変化

MA N=101

勤務先から祝い金や報奨金が出た	基本給がアップした	資格手当がついた	資格所持に伴う活動による副収入を得た	特に変化なし
12.9%	5.9%	20.8%	-	69.3%

【資格取得に対する自己評価】

⑫資格を取得したことについての総合的判断

SA N=101

非常によかった、 メリット大	どちらかという プラス	コストや時間の割に メリット小	まだ判断できない
34.7%	41.6%	14.9%	8.9%

⑬資格を取得して最もよかったと思う点

SA N=77

専門能力や知識が向上	仕事の範囲が拡大	評価や処遇が上昇	収入が増加	人的ネットワーク	職業生活設計のひろがり	社会貢献ができること	将来への備え
39.0%	24.7%	5.2%	11.7%	-	3.9%	5.2%	6.5%

【他の資格との関係】

⑭他の資格も所持している人の割合

47.5%

N= 101

他の主な所持資格(5名以上)
建築士、電気工事士、宅地建物取引主任者

⑮今後、新たな資格の取得を予定している人の割合

勉強中 7.9%

検討中 19.8%

N=101

【資格と仕事との関係】

⑯現在従事している職業(大分類で多い順トップ3)

SA N=85

専門的・技術的職業	管理的職業	建設・採掘の職業
50.6%	16.5%	12.9%

【資格取得とキャリア形成に関する特徴】

ほとんどが男性。在職時に取得した人の比率が100%。取得動機は、「仕事上有利」が最も多く3人に2人、次いで「勤め先の要請・勧奨」が3人に1人。資格の魅力・メリットは「経験や知識を活かせる」が6割弱と突出して多い。勤務先の要請も多い中で、職場の応援を受けたという人の比率は高くないが、「担当分野が広がった」「資格手当がついた」など処遇等に変化があったケースもみられる。資格取得に対する総合的評価としては、3人に1人が「非常によかった」と評価している。

宅地建物取引主任者

表の数字は構成比(%)

回答者の属性 (110人)

性別	男性	82.7	女性	17.3						
年齢	20代	-	30代	9.1	40代	26.4	50代	27.3	60代以上	37.3
学歴	高校卒	12.7	短大・専修等卒	10.9	大学卒	70.9	大学院卒	1.8	その他・不明	3.6
就業状態	雇用者	46.4	(正規比率	78.4)	自営	20.9	不就業	32.7	その他	-

【資格取得時の状況】

①資格を取った時期

SA N=110

在学中・卒業直後	働きながら	仕事を辞めて学習に専念	求職活動中
10.9 %	80.9 %	3.6 %	0.9 %

②資格取得動機(回答の多い順にトップ5)

MA N=110

工作上、資格がある ほうが有利だから	自分自身の勉強や 自己啓発のため	仕事の範囲を広げたい と思ったから	いずれ何かの役に 立つかもしれない と思ったから	勤め先からの要請や 勧奨があったから
45.5%	40.9%	17.3%	17.3%	16.4%

③資格の魅力、メリット

MA N=110

将来性がある	社会的評価が 高い	経験や知識を 活かせる	適性や志向に 合う	次の資格取得 のステップに なる	ライフスタイル に合った働 き方に役立つ	社会や地域に 貢献できる	取得が比較的 容易
19.1%	16.4%	38.2%	20.0%	8.2%	16.4%	6.4%	26.4%

④学習を始める前の準備

MA N=110

学校や教育訓練 機関の情報収集	資格が活かせる 仕事や就職先の 情報収集	資格取得者の体 験談を聞いた	関連分野に詳 しい人に相談	キャリアコンサ ルタントに相談	必要な費用を 準備	特に準備せず
28.2%	6.4%	4.5%	1.8%	-	8.2%	53.6%

⑤資格取得に要した期間

SA N=110

3か月未満	3か月～6か月未満	6か月～1年未満	1年～2年未満	2年～3年未満	3年以上
12.7 %	27.3 %	33.6 %	15.5 %	5.5 %	4.5 %

⑥資格取得の主な勉強方法

SA N=110

学校	資格取得 スクール	公的職業訓練	業界団体等 の講習会	通信教育	勤務先の勉強 会、OJT	自主的勉強会	自学自習
1.8 %	20.9 %	-	0.9 %	4.5 %	5.5 %	0.9 %	62.7 %

⑦利用した経済的支援

MA N=110

教育訓練給付金	無料・実費の 公的職業訓練	学校、団体、公的 機関等の奨学金	勤務先の補助 や貸付制度	利用せず
-	-	-	9.1%	87.3%

⑧資格取得に関して、課題となったこと、苦労したこと(回答の多い順にトップ3及び「特にない」)

MA N=110

仕事との両立	勉強や通学のための時間	学習内容や学習の進め方が よくわからない	特にない
35.5%	16.4%	9.1%	42.7%

【在職中に資格を取得した人の状況】

⑨資格取得活動への職場の対応

SA N=89

積極的に応援	特別の対応なし	あまり歓迎されない 雰囲気	周囲に知られて いなかった	職場に知られない ようにしていた
18.0%	43.8%	3.4%	14.6%	15.7%

⑩資格取得による働き方や処遇の変化

MA N=89

社内で昇進・昇格に結びついた	資格を活かせる部署・担当に異動	社内で担当分野が広がった	職場で表彰された	周囲からの評価が高まった	転職あるいは独立した	職場外のネットワークが広がった	特に変化なし
5.6%	5.6%	7.9%	4.5%	16.9%	5.6%	4.5%	59.6%

⑪資格取得による収入面での変化

MA N=89

勤務先から祝い金や報奨金が出た	基本給がアップした	資格手当がついた	資格所持に伴う活動による副収入を得た	特に変化なし
9.0%	2.2%	28.1%	-	67.4%

【資格取得に対する自己評価】

⑫資格を取得したことについての総合的判断

SA N=110

非常によかった、 メリット大	どちらかという プラス	コストや時間の割に メリット小	まだ判断できない
26.4%	54.5%	9.1%	10.0%

⑬資格を取得して最もよかったと思う点

SA N=89

専門能力や知識が向上	仕事の範囲が拡大	評価や処遇が上昇	収入が増加	人的ネットワーク	職業生活設計のひろがり	社会貢献ができること	将来への備え
33.7%	31.5%	7.9%	6.7%	-	3.4%	1.1%	11.2%

【他の資格との関係】

⑭他の資格も所持している人の割合

7.3%

N=110

他の主な所持資格

(不動産鑑定士、土地家屋調査士の区分での回答者に宅地建物取引主任者の資格所持者が含まれている)

⑮今後、新たな資格の取得を予定している人の割合

勉強中 4.5%

検討中 18.2%

N=110

【資格と仕事との関係】

⑯現在従事している職業（大分類で多い順トップ3）

SA N=74

管理的職業	販売・営業の職業	専門的・技術的職業、事務的職業
33.8%	23.0%	14.9%

【資格取得とキャリア形成に関する特徴】

男性比率が高い。本調査では高年齢層が多い。自営比率は2割。8割が在職時に資格取得。取得動機は、「仕事上有利」、次いで「自分の勉強や自己啓発」が4割超。資格の魅力・メリットは「経験や知識を活かせる」が4割弱。職場からの応援を受けた人は多くはないが、「資格手当がついた」人が3割弱で、処遇等に結びついたケースもみられる。資格取得に対する総合的評価としては、「非常によかった」「どちらかというプラス」を合わせて8割が肯定的評価。

不動産鑑定士

表の数字は構成比(%)

回答者の属性 (25人)

性別	男性	92.0	女性	8.0						
年齢	20代	-	30代	28.0	40代	36.0	50代	24.0	60代以上	12.0
学歴	高校卒	4.0	短大・専修等卒	-	大学卒	88.0	大学院卒	8.0	その他	-
就業状態	雇用者	64.0	(正規比率	100.0)	自営	32.0	不就業	4.0	その他	-

【資格取得時の状況】

①資格を取った時期

SA N=25

在学中・卒業直後	働きながら	仕事を辞めて学習に専念	求職活動中
4.0%	76.0%	16.0%	-

②資格取得動機(回答の多い順にトップ5)

MA N=25

工作上、資格がある ほうが有利だから	資格が必要な職業に 就くため	安定した職業に 就くため	より高度な仕事をし たいと思ったから	自分自身の勉強や 自己啓発のため
44.0%	40.0%	28.0%	28.0%	28.0%

③資格の魅力、メリット

MA N=25

将来性がある	社会的評価が 高い	経験や知識を 活かせる	適性や志向に 合う	次の資格取得 のステップに なる	ライフスタイルに合った働 き方に役立つ	社会や地域に 貢献できる	取得が比較的 容易
20.0%	44.0%	48.0%	40.0%	8.0%	16.0%	12.0%	4.0%

④学習を始める前の準備

MA N=25

学校や教育訓練 機関の情報収集	資格が活かせる 仕事や就職先の 情報収集	資格取得者の体 験談を聞いた	関連分野に詳 しい人に相談	キャリアコンサ ルタントに相談	必要な費用を 準備	特に準備せず
48.0%	28.0%	16.0%	16.0%	-	12.0%	24.0%

⑤資格取得に要した期間

SA N=25

3か月未満	3か月～6か月未満	6か月～1年未満	1年～2年未満	2年～3年未満	3年以上
-	4.0%	24.0%	20.0%	12.0%	36.0%

⑥資格取得の主な勉強方法

SA N=25

学校	資格取得 スクール	公的職業訓練	業界団体等 の講習会	通信教育	勤務先の勉強 会、OJT	自主的勉強会	自学自習
4.0%	44.0%	-	4.0%	12.0%	4.0%	4.0%	28.0%

⑦利用した経済的支援

MA N=25

教育訓練給付金	無料・実費の 公的職業訓練	学校、団体、公的 機関等の奨学金	勤務先の補助 や貸付制度	利用せず
-	-	4.0%	24.0%	56.0%

⑧資格取得に関して、課題となったこと、苦労したこと(回答の多い順にトップ3及び「特にない」)

MA N=25

仕事との両立	勉強や通学のための時間	費用の負担、学習の進め方、学 校等がない、相談相手	特にない
44.0%	32.0%	12.0%	24.0%

【在職中に資格を取得した人の状況】 ……サンプル数が少ないため回答の実数を掲載

⑨資格取得活動への職場の対応

SA N=19

積極的に応援	特別の対応なし	あまり歓迎されない 雰囲気	周囲に知られて いなかった	職場に知られない ようにしていた
8	4	3	1	1

⑩資格取得による働き方や処遇の変化

MA N=19

社内で昇進・昇格に結びついた	資格を活かせる部署・担当に異動	社内で担当分野が広がった	職場で表彰された	周囲からの評価が高まった	転職あるいは独立した	職場外のネットワークが広がった	特に変化なし
7	4	4	-	8	5	3	1

⑪資格取得による収入面での変化

MA N=19

勤務先から祝い金や報奨金が出た	基本給がアップした	資格手当がついた	資格所持に伴う活動による副収入を得た	特に変化なし
5	4	7	2	8

【資格取得に対する自己評価】

⑫資格を取得したことについての総合的判断

SA N=25

非常に良かった、メリット大	どちらかというプラス	コストや時間の割にメリット小	まだ判断できない
76.0%	12.0%	12.0%	-

⑬資格を取得して最も良かったと思う点

SA N=22

専門能力や知識が向上	仕事の範囲が拡大	評価や処遇が上昇	収入が増加	人的ネットワーク	職業生活設計のひろがり	社会貢献ができること	将来への備え
50.0%	13.6%	-	18.2%	9.1%	9.1%	-	-

【他の資格との関係】

⑭他の資格も所持している人の割合

88.0%

N=25

他の主な所持資格(3名以上)

宅地建物取引主任者、簿記、土地家屋調査士、マンション管理士、税理士、ファイナンシャル・プランナー、社会保険労務士、行政書士

⑮今後、新たな資格の取得を予定している人の割合

勉強中 12.0%

検討中 24.0%

N=25

【資格と仕事との関係】

⑯現在従事している職業(大分類で多い順トップ3)

SA N=24

専門的・技術的職業	管理的職業	販売・営業の職業
54.2%	20.8%	12.5%

【資格取得とキャリア形成に関する特徴】

男性比率が高く、約3割が自営。資格取得は在職時が多いが、仕事を辞めて資格取得に専念した比率が比較的高い。取得動機は、「仕事上有利」が最も多く4割強、次いで「資格が必要な職業に就くため」が4割。資格の魅力・メリットは「経験や知識を活かせる」「社会的評価が高い」「適性や志向に合う」など。資格取得時の課題として、4割強の人が「仕事との両立」をあげている。資格取得に対する総合的評価としては、「非常に良かった」が76%と、きわめて高い。

土地家屋調査士

表の数字は構成比(%)

回答者の属性 (47人)

性別	男性	95.7	女性	4.3						
年齢	20代	-	30代	12.8	40代	29.8	50代	38.3	60代以上	19.1
学歴	高校卒	6.4	短大・専修等卒	19.1	大学卒	68.1	大学院卒	2.1	その他	4.3
就業状態	雇用者	23.4	(正規比率	90.9)	自営	72.3	不就業	-	不明	4.3

【資格取得時の状況】

①資格を取った時期

SA N=47

在学中・卒業直後	働きながら	仕事を辞めて学習に専念	求職活動中
4.3%	87.2%	8.5%	-

②資格取得動機(回答の多い順にトップ5)

MA N=47

将来の独立のため	資格が必要な職業に就くため	仕事上、資格があるほうが有利だから	自分自身の勉強や自己啓発のため	より高い収入を得るため
40.4%	38.3%	36.2%	23.4%	19.1%

③資格の魅力、メリット

MA N=47

将来性がある	社会的評価が高い	経験や知識を活かせる	適性や志向に合う	次の資格取得のステップになる	ライフスタイルに合った働き方に役立つ	社会や地域に貢献できる	取得が比較的容易
19.1%	12.8%	40.4%	25.5%	12.8%	17.0%	19.1%	10.6%

④学習を始める前の準備

MA N=47

学校や教育訓練機関の情報収集	資格が活かせる仕事や就職先の情報収集	資格取得者の体験談を聞いた	関連分野に詳しい人に相談	キャリアコンサルタントに相談	必要な費用を準備	特に準備せず
66.0%	4.3%	8.5%	2.1%	-	27.7%	21.3%

⑤資格取得に要した期間

SA N=47

3か月未満	3か月～6か月未満	6か月～1年未満	1年～2年未満	2年～3年未満	3年以上
-	6.4%	14.9%	23.4%	17.0%	38.3%

⑥資格取得の主な勉強方法

SA N=47

学校	資格取得スクール	公的職業訓練	業界団体等の講習会	通信教育	勤務先の勉強会、OJT	自主的勉強会	自学自習
4.3%	27.7%	-	-	25.5%	-	2.1%	40.4%

⑦利用した経済的支援

MA N=47

教育訓練給付金	無料・実費の公的職業訓練	学校、団体、公的機関等の奨学金	勤務先の補助や貸付制度	利用せず
-	2.1%	-	2.1%	87.2%

⑧資格取得に関して、課題となったこと、苦労したこと(回答の多い順にトップ3及び「特にない」)

MA N=47

仕事との両立	勉強や通学のための時間	学費、教材費など費用の負担	特にない
55.3%	42.6%	23.4%	17.0%

【在職中に資格を取得した人の状況】

⑨資格取得活動への職場の対応

SA N=41

積極的に応援	特別の対応なし	あまり歓迎されない 雰囲気	周囲に知られて いなかった	職場に知られない ようにしていた
29.3%	43.9%	-	12.2%	12.2%

⑩資格取得による働き方や処遇の変化

MA N=41

社内で昇進・昇格に結びついた	資格を活かせる部署・担当に異動	社内で担当分野が広がった	職場で表彰された	周囲からの評価が高まった	転職あるいは独立した	職場外のネットワークが広がった	特に変化なし
4.9%	4.9%	7.3%	2.4%	12.2%	36.6%	-	43.9%

⑪資格取得による収入面での変化

MA N=41

勤務先から祝い金や報奨金が出た	基本給がアップした	資格手当がついた	資格所持に伴う活動による副収入を得た	特に変化なし
2.4%	4.9%	9.8%	2.4%	73.2%

【資格取得に対する自己評価】

⑫資格を取得したことについての総合的判断

SA N=47

非常によかった、 メリット大	どちらかという プラス	コストや時間の割に メリット小	まだ判断できない
57.4%	31.9%	8.5%	2.1%

⑬資格を取得して最もよかったと思う点

SA N=42

専門能力や知識が向上	仕事の範囲が拡大	評価や処遇が上昇	収入が増加	人的ネットワーク	職業生活設計のひろがり	社会貢献ができること	将来への備え
40.5%	26.2%	2.4%	7.1%	7.1%	-	4.8%	11.9%

【他の資格との関係】

⑭他の資格も所持している人の割合

80.9%

N= 47

他の主な所持資格(4名以上)

測量士、宅地建物取引主任者、行政書士、司法書士、簿記、施工管理技士

⑮今後、新たな資格の取得を予定している人の割合

勉強中 12.8%

検討中 14.9%

N=47

【資格と仕事との関係】

⑯現在従事している職業(大分類で多い順トップ3)

SA N=45

専門的・技術的職業	管理的職業	その他の職業
80.0%	13.3%	4.4%

【資格取得とキャリア形成に関する特徴】

男性比率が高く、本調査では7割が自営。8割が専門的・技術的職業に従事。資格取得時期は9割弱が在職時。資格取得動機として、「将来の独立のため」が4割で最も多く、「資格が必要な職業に就くため」「仕事上有利」が続く。取得時の課題として、半数以上の人が「仕事との両立」をあげている。資格取得により「転職あるいは独立した」人は4割弱と、資格取得時の目標を実現した人が多い。資格取得に対する総合的判断としては、「非常によかった」が約6割にのぼっている。

マンション管理士

表の数字は構成比(%)

回答者の属性 (46人)

性別	男性	91.3	女性	8.7						
年齢	20代	2.2	30代	6.5	40代	26.1	50代	26.1	60代以上	39.1
学歴	高校卒	15.2	短大・専修等卒	6.5	大学卒	71.7	大学院卒	2.2	その他	4.3
就業状態	雇用者	60.9	(正規比率	75.0)	自営	19.6	不就業	19.6	その他	-

【資格取得時の状況】

①資格を取った時期

SA N=46

在学中・卒業直後	働きながら	仕事を辞めて学習に専念	求職活動中
2.2%	80.4%	4.3%	8.7%

②資格取得動機(回答の多い順にトップ5)

MA N=46

自分自身の勉強や自己啓発のため	仕事上、資格があるほうが有利だから	自分の能力や可能性を試したかったから	仕事の範囲を広げたいと思ったから	いずれ何かの役に立つかもしれないと思ったから
45.7%	39.1%	28.3%	26.1%	19.6%

③資格の魅力、メリット

MA N=46

将来性がある	社会的評価が高い	経験や知識を活かせる	適性や志向に合う	次の資格取得のステップになる	ライフスタイルに合った働き方に役立つ	社会や地域に貢献できる	取得が比較的容易
13.0%	6.5%	50.0%	23.9%	26.1%	15.2%	13.0%	17.4%

④学習を始める前の準備

MA N=46

学校や教育訓練機関の情報収集	資格を活かせる仕事や就職先の情報収集	資格取得者の体験談を聞いた	関連分野に詳しい人に相談	キャリアコンサルタントに相談	必要な費用を準備	特に準備せず
32.6%	2.2%	2.2%	2.2%	-	13.0%	50.0%

⑤資格取得に要した期間

SA N=46

3か月未満	3か月～6か月未満	6か月～1年未満	1年～2年未満	2年～3年未満	3年以上
15.2%	28.3%	26.1%	19.6%	6.5%	4.3%

⑥資格取得の主な勉強方法

SA N=46

学校	資格取得スクール	公的職業訓練	業界団体等の講習会	通信教育	勤務先の勉強会、OJT	自主的勉強会	自学自習
2.2%	10.9%	-	4.3%	17.4%	2.2%	-	60.9%

⑦利用した経済的支援

MA N=46

教育訓練給付金	無料・実費の公的職業訓練	学校、団体、公的機関等の奨学金	勤務先の補助や貸付制度	利用せず
-	-	-	6.5%	89.1%

⑧資格取得に関して、課題となったこと、苦労したこと(回答の多い順にトップ3及び「特にない」)

MA N=46

仕事との両立	資格が実際に役に立つかわからない	勉強や通学のための時間	特にない
32.6%	21.7%	17.4%	39.1%

【在職中に資格を取得した人の状況】

⑨資格取得活動への職場の対応

SA N=37

積極的に応援	特別の対応なし	あまり歓迎されない 雰囲気	周囲に知られて いなかった	職場に知られない ようにしていた
8.1%	56.8%	-	27.0%	8.1%

⑩資格取得による働き方や処遇の変化

MA N=37

社内で昇進・昇格に結びついた	資格を活かせる部署・担当に異動	社内で担当分野が広がった	職場で表彰された	周囲からの評価が高まった	転職あるいは独立した	職場外のネットワークが広がった	特に変化なし
-	2.7%	-	2.7%	13.5%	2.7%	2.7%	78.4%

⑪資格取得による収入面での変化

MA N=37

勤務先から祝い金や報奨金が出た	基本給がアップした	資格手当がついた	資格所持に伴う活動による副収入を得た	特に変化なし
5.4%	-	8.1%	2.7%	81.1%

【資格取得に対する自己評価】

⑫資格を取得したことについての総合的判断

SA N=46

非常によかった、 メリット大	どちらかという プラス	コストや時間の割に メリット小	まだ判断できない
4.3%	39.1%	28.3%	28.3%

⑬資格を取得して最もよかったと思う点

SA N=20

専門能力や知識が向上	仕事の範囲が拡大	評価や処遇が上昇	収入が増加	人的ネットワーク	職業生活設計のひろがり	社会貢献ができること	将来への備え
40.0%	5.0%	5.0%	5.0%	5.0%	10.0%	20.0%	10.0%

【他の資格との関係】

⑭他の資格も所持している人の割合

97.8%

N= 46

他の主な所持資格(4名以上)

宅地建物取引主任者、ファイナンシャル・プランナー、簿記、行政書士、施工管理技士、普通自動車免許(二種)、衛生管理者、建築士、電気工事士、危険物取扱者、秘書検定、社会保険労務士

⑮今後、新たな資格の取得を予定している人の割合

勉強中 23.9%

検討中 32.6%

N=46

【資格と仕事との関係】

⑯現在従事している職業(大分類で多い順トップ3)

SA N=37

管理的職業	事務的職業	専門的・技術的職業
29.7%	24.3%	18.9%

【資格取得とキャリア形成に関する特徴】

男性比率が高い。本調査では高年齢層が多い。資格取得時期は8割が在職時。取得動機は「自分の勉強や自己啓発のため」がトップであり、「仕事上有利」「能力や可能性を試したい」が続く。資格の魅力・メリットとして半数の人が「経験や知識を活かせる」としており、「次の資格取得のステップになる」も4人に1人があげている。中長期的な目標で資格を取得した人が多いことがうかがえる。処遇等の具体的な変化に結びついている人は少なく、総合的評価も3割弱が「まだ判断できない」としている。

基本情報技術者*

表の数字は構成比(%)

回答者の属性 (83人)

性別	男性	84.3	女性	15.7						
年齢	20代	3.6	30代	26.5	40代	42.2	50代	18.1	60代以上	9.6
学歴	高校卒	12.0	短大・専修等卒	21.7	大学卒	60.2	大学院卒	4.8	その他	1.2
就業状態	雇用者	83.1	(正規比率	79.7)	自営	7.2	不就業	9.6	その他	-

【資格取得時の状況】

①資格を取った時期

SA N=83

在学中・卒業直後	働きながら	仕事を辞めて学習に専念	求職活動中
24.1%	73.5%	-	2.4%

②資格取得動機(回答の多い順にトップ5)

MA N=83

工作上、資格がある ほうが有利だから	自分自身の勉強や 自己啓発のため	いずれ何かの役に 立つかもしれない と思ったから	勤め先からの要請や 勧奨があったから	就職活動に役立てる ため
38.6%	27.7%	16.9%	15.7%	14.5%

③資格の魅力、メリット

MA N=83

将来性がある	社会的評価が 高い	経験や知識を 活かせる	適性や志向に 合う	次の資格取得 のステップに なる	ライフスタイル に合った働 き方に役立つ	社会や地域に 貢献できる	取得が比較的 容易
14.5%	8.4%	41.0%	26.5%	34.9%	-	-	18.1%

④学習を始める前の準備

MA N=83

学校や教育訓練 機関の情報収集	資格が活かせる 仕事や就職先の 情報収集	資格取得者の体 験談を聞いた	関連分野に詳 しい人に相談	キャリアコンサ ルタントに相談	必要な費用を 準備	特に準備せず
9.6%	8.4%	2.4%	2.4%	-	7.2%	68.7%

⑤資格取得に要した期間

SA N=83

3か月未満	3か月～6か月未満	6か月～1年未満	1年～2年未満	2年～3年未満	3年以上
28.9%	30.1%	19.3%	15.7%	1.2%	4.8%

⑥資格取得の主な勉強方法

SA N=83

学校	資格取得 スクール	公的職業訓練	業界団体等 の講習会	通信教育	勤務先の勉強 会、OJT	自主的勉強会	自学自習
16.9%	-	-	-	3.6%	8.4%	3.6%	63.9%

⑦利用した経済的支援

MA N=83

教育訓練給付金	無料・実費の 公的職業訓練	学校、団体、公的 機関等の奨学金	勤務先の補助 や貸付制度	利用せず
-	-	1.2%	13.3%	84.3%

⑧資格取得に関して、課題となったこと、苦労したこと(回答の多い順にトップ3及び「特にない」)

MA N=83

仕事との両立	勉強や通学のための時間	費用の負担、学習の進め方、 実際に役立つか	特にない
22.9%	10.8%	8.4%	59.0%

* 第二種情報処理技術者など前身となる資格の取得者を含む

【在職中に資格を取得した人の状況】

⑨資格取得活動への職場の対応

SA N=61

積極的に応援	特別の対応なし	あまり歓迎されない 雰囲気	周囲に知られて いなかった	職場に知られない ようにしていた
16.4%	63.9%	3.3%	6.6%	8.2%

⑩資格取得による働き方や処遇の変化

MA N=61

社内で昇進・昇格に結びついた	資格を活かせる部署・担当に異動	社内で担当分野が広がった	職場で表彰された	周囲からの評価が高まった	転職あるいは独立した	職場外のネットワークが広がった	特に変化なし
13.1%	1.6%	4.9%	4.9%	1.6%	6.6%	1.6%	65.6%

⑪資格取得による収入面での変化

MA N=61

勤務先から祝い金や報奨金が出た	基本給がアップした	資格手当がついた	資格所持に伴う活動による副収入を得た	特に変化なし
31.1%	4.9%	18.0%	1.6%	50.8%

【資格取得に対する自己評価】

⑫資格を取得したことについての総合的判断

SA N=83

非常によかった、 メリット大	どちらかという プラス	コストや時間の割に メリット小	まだ判断できない
12.0%	55.4%	21.7%	10.8%

⑬資格を取得して最もよかったと思う点

SA N=56

専門能力や知識が向上	仕事の範囲が拡大	評価や処遇が上昇	収入が増加	人的ネットワーク	職業生活設計のひろがり	社会貢献ができること	将来への備え
50.0%	5.4%	12.5%	7.1%	-	3.6%	-	14.3%

【他の資格との関係】

⑭他の資格も所持している人の割合

14.5%

N= 83

他の主な所持資格

ITパスポート(資格区分別集計対象とはしていない)

⑮今後、新たな資格の取得を予定している人の割合

勉強中 4.8%

検討中 26.5%

N=83

【資格と仕事との関係】

⑯現在従事している職業(大分類で多い順トップ3)

SA N=75

専門的・技術的職業	管理的職業	事務的職業
62.7%	9.3%	9.3%

【資格取得とキャリア形成に関する特徴】

男性比率が高い。雇用者比率が高い。資格取得時期は在学時と在職時が1:3で在職時が多い。取得動機としては「仕事上有利」が4割弱。資格の魅力・メリットとして「経験や知識を活かせる」のほか、3人に1人が「次の資格取得のステップになる」をあげる。職場から応援された人の比率は低いが、「勤務先から祝い金や報奨金が出た」人が3割強おり、職場で一定の評価をされていることがうかがえる。総合評価としては「どちらかというプラス」が半数強。

応用情報技術者*

表の数字は構成比(%)

回答者の属性 (65人)

性別	男性	87.7	女性	12.3						
年齢	20代	4.6	30代	24.6	40代	35.4	50代	29.2	60代以上	6.2
学歴	高校卒	7.7	短大・専修等卒	12.3	大学卒	55.4	大学院卒	20.0	その他	4.6
就業状態	雇用者	80.0	(正規比率	90.4)	自営	9.2	不就業	9.2	不明	1.5

【資格取得時の状況】

①資格を取った時期

SA N=65

在学中・卒業直後	働きながら	仕事を辞めて学習に専念	求職活動中
16.9%	81.5%	1.5%	-

②資格取得動機(回答の多い順にトップ5)

MA N=65

工作上、資格があるほうが有利だから	自分自身の勉強や自己啓発のため	勤め先からの要請や勧奨があったから	自分の能力や可能性を試したかったから	より高い収入を得るため
56.9%	41.5%	26.2%	20.0%	15.4%

③資格の魅力、メリット

MA N=65

将来性がある	社会的評価が高い	経験や知識を活かせる	適性や志向に合う	次の資格取得のステップになる	ライフスタイルに合った働き方に役立つ	社会や地域に貢献できる	取得が比較的容易
7.7%	7.7%	61.5%	21.5%	38.5%	3.1%	-	13.8%

④学習を始める前の準備

MA N=65

学校や教育訓練機関の情報収集	資格が活かせる仕事や就職先の情報収集	資格取得者の体験談を聞いた	関連分野に詳しい人に相談	キャリアコンサルタントに相談	必要な費用を準備	特に準備せず
10.8%	-	1.5%	-	-	12.3%	69.2%

⑤資格取得に要した期間

SA N=65

3か月未満	3か月～6か月未満	6か月～1年未満	1年～2年未満	2年～3年未満	3年以上
30.8%	27.7%	12.3%	15.4%	6.2%	7.7%

⑥資格取得の主な勉強方法

SA N=65

学校	資格取得スクール	公的職業訓練	業界団体等の講習会	通信教育	勤務先の勉強会、OJT	自主的勉強会	自学自習
1.5%	1.5%	-	-	7.7%	6.2%	-	83.1%

⑦利用した経済的支援

MA N=65

教育訓練給付金	無料・実費の公的職業訓練	学校、団体、公的機関等の奨学金	勤務先の補助や貸付制度	利用せず
-	-	-	9.2%	90.8%

⑧資格取得に関して、課題となったこと、苦労したこと(回答の多い順にトップ3及び「特にない」)

MA N=65

仕事との両立	勉強や通学のための時間	費用の負担、家庭との両立	特にない
30.8%	23.1%	6.2%	50.8%

* 第一種情報処理技術者など前身となる資格の取得者を含む

【在職中に資格を取得した人の状況】

⑨資格取得活動への職場の対応

SA N=53

積極的に応援	特別の対応なし	あまり歓迎されない 雰囲気	周囲に知られて いなかった	職場に知られない ようにしていた
7.5%	67.9%	-	17.0%	3.8%

⑩資格取得による働き方や処遇の変化

MA N=53

社内で昇進・昇格に結びついた	資格を活かせる部署・担当に異動	社内で担当分野が広がった	職場で表彰された	周囲からの評価が高まった	転職あるいは独立した	職場外のネットワークが広がった	特に変化なし
11.3%	1.9%	3.8%	15.1%	18.9%	-	-	47.2%

⑪資格取得による収入面での変化

MA N=53

勤務先から祝い金や報奨金が出た	基本給がアップした	資格手当がついた	資格所持に伴う活動による副収入を得た	特に変化なし
45.3%	1.9%	26.4%	1.9%	35.8%

【資格取得に対する自己評価】

⑫資格を取得したことについての総合的判断

SA N=65

非常によかった、 メリット大	どちらかという プラス	コストや時間の割に メリット小	まだ判断できない
12.3%	69.2%	9.2%	9.2%

⑬資格を取得して最もよかったと思う点

SA N=53

専門能力や知識が向上	仕事の範囲が拡大	評価や処遇が上昇	収入が増加	人的ネットワーク	職業生活設計のひろがり	社会貢献ができること	将来への備え
58.5%	1.9%	17.0%	11.3%	-	1.9%	1.9%	3.8%

【他の資格との関係】

⑭他の資格も所持している人の割合

90.8%

N= 65

他の主な所持資格(3名以上)

基本情報技術者、IT関連企業の能力認定、簿記、ファイナンシャル・プランナー
ITパスポート(資格区分別集計対象とはしていない)

⑮今後、新たな資格の取得を予定している人の割合

勉強中 13.8%

検討中 26.2%

N=65

【資格と仕事との関係】

⑯現在従事している職業(大分類で多い順トップ3)

SA N=58

専門的・技術的職業	管理的職業	事務的職業
70.7%	20.7%	3.4%

【資格取得とキャリア形成に関する特徴】

男性比率が高い。雇用者比率、正規比率が高い。取得時期は8割強が在職時。取得動機としては「仕事上有利」が6割弱。資格の魅力・メリットとして「経験や知識を活かせる」が6割強と多く、4割弱が「次の資格取得のステップになる」をあげる。職場から応援された人の比率は低いが、「勤務先から祝い金や報奨金が出た」人の比率が基本情報技術者を上回る半数近くにのぼり、両資格は一時金で報奨される場合が多いことがうかがえる。総合評価としては「どちらかというプラス」が7割。

日商PC検定

表の数字は構成比(%)

回答者の属性 (82人)

性別	男性	22.0	女性	78.0						
年齢	20代	7.3	30代	25.6	40代	29.3	50代	26.8	60代以上	11.0
学歴	高校卒	26.8	短大・専修等卒	29.3	大学卒	35.4	大学院卒	3.7	その他	4.9
就業状態	雇用者	63.4	(正規比率	48.1)	自営	4.9	不就業	25.6	その他・不明	6.1

【資格取得時の状況】

①資格を取った時期

SA N=82

在学中・卒業直後	働きながら	仕事を辞めて学習に専念	求職活動中
20.7%	51.2%	3.7%	19.5%

②資格取得動機 (回答の多い順にトップ5)

MA N=82

工作上、資格がある ほうが有利だから	自分自身の勉強や 自己啓発のため	就職活動に役立てる ため	自分の能力や可能性を 試したかったから	より高度な仕事、将来 の転職、いずれ役立つ
45.1%	45.1%	34.1%	23.2%	15.9%

③資格の魅力、メリット

MA N=82

将来性がある	社会的評価が 高い	経験や知識を 活かせる	適性や志向に 合う	次の資格取得 のステップに なる	ライフスタイルに合った働 き方に役立つ	社会や地域に 貢献できる	取得が比較的 容易
19.5%	8.5%	34.1%	35.4%	25.6%	18.3%	3.7%	29.3%

④学習を始める前の準備

MA N=82

学校や教育訓練 機関の情報収集	資格が活かせる 仕事や就職先の 情報収集	資格取得者の体 験談を聞いた	関連分野に詳 しい人に相談	キャリアコンサ ルタントに相談	必要な費用を 準備	特に準備せず
41.5%	3.7%	6.1%	1.2%	-	23.2%	34.1%

⑤資格取得に要した期間

SA N=82

3か月未満	3か月～6か月未満	6か月～1年未満	1年～2年未満	2年～3年未満	3年以上
50.0%	30.5%	13.4%	6.1%	-	-

⑥資格取得の主な勉強方法

SA N=82

学校	資格取得 スクール	公的職業訓練	業界団体等 の講習会	通信教育	勤務先の勉強 会、OJT	自主的勉強会	自学自習
11.0%	36.6%	18.3%	-	2.4%	3.7%	-	25.6%

⑦利用した経済的支援

MA N=82

教育訓練給付金	無料・実費の 公的職業訓練	学校、団体、公的 機関等の奨学金	勤務先の補助 や貸付制度	利用せず
-	17.1%	1.2%	11.0%	64.6%

⑧資格取得に関して、課題となったこと、苦労したこと (回答の多い順にトップ3及び「特にない」)

MA N=82

勉強や通学のための時間	学費、教材費など費用 の負担	仕事との両立	特にない
18.3%	13.4%	12.2%	51.2%

【在職中に資格を取得した人の状況】

⑨資格取得活動への職場の対応

SA N=42

積極的に応援	特別な対応なし	あまり歓迎されない 雰囲気	周囲に知られて いなかった	職場に知られない ようにしていた
16.7%	38.1%	-	23.8%	19.0%

⑩資格取得による働き方や処遇の変化

MA N=42

社内で昇進・昇格に結びついた	資格を活かせる部署・担当に異動	社内で担当分野が広がった	職場で表彰された	周囲からの評価が高まった	転職あるいは独立した	職場外のネットワークが広がった	特に変化なし
2.4%	4.8%	16.7%	2.4%	21.4%	14.3%	-	47.6%

⑪資格取得による収入面での変化

MA N=42

勤務先から祝い金や報奨金が出た	基本給がアップした	資格手当がついた	資格所持に伴う活動による副収入を得た	特に変化なし
2.4%	4.8%	7.1%	-	81.0%

【資格取得に対する自己評価】

⑫資格を取得したことについての総合的判断

SA N=82

非常によかった、メリット大	どちらかというプラス	コストや時間の割にメリット小	まだ判断できない
26.8%	56.1%	9.8%	7.3%

⑬資格を取得して最もよかったと思う点

SA N=68

専門能力や知識が向上	仕事の範囲が拡大	評価や処遇が上昇	収入が増加	人的ネットワーク	職業生活設計のひろがり	社会貢献ができること	将来への備え
29.4%	27.9%	14.7%	1.5%	-	4.4%	7.4%	11.8%

【他の資格との関係】

⑭他の資格も所持している人の割合

79.3%

N= 82

他の主な所持資格(6名以上)

簿記、語学検定、IT関連企業の能力認定、秘書検定、普通自動車免許(二種)、ファイナンシャル・プランナー、基本情報技術者、医療事務、ITパスポート(資格区分別集計対象とはしていない)

⑮今後、新たな資格の取得を予定している人の割合

勉強中 14.6%

検討中 29.3%

N=82

【資格と仕事との関係】

⑯現在従事している職業(大分類で多い順トップ3)

SA N=58

事務的職業	専門的・技術的職業	管理的職業
58.6%	12.1%	10.3%

【資格取得とキャリア形成に関する特徴】

女性比率が高い。正規雇用比率が低い。事務的職業従事者が多い。取得時期は約半数が在職時であるが、2割が求職活動中。公的職業訓練の利用率も約2割。取得動機として、「仕事上有利」と「自分自身の勉強や自己啓発」が並び、仕事のために取得する人と中長期的目的の人とが混在することがうかがえる。資格取得により「周囲からの評価が高まった」など働き方の変化に結びついた人もいるが、報奨金等が出た人は少ない。「非常によかった」「どちらかという」を合わせて8割が肯定的評価。

IT関連企業の能力認定*

表の数字は構成比(%)

回答者の属性 (95人)

性別	男性	50.5	女性	49.5						
年齢	20代	4.2	30代	31.6	40代	44.2	50代	9.5	60代以上	10.5
学歴	高校卒	10.5	短大・専修等卒	27.4	大学卒	50.5	大学院卒	6.3	その他	5.3
就業状態	雇用者	66.3	(正規比率	63.5)	自営	7.4	不就業	25.3	その他	1.1

【資格取得時の状況】

①資格を取った時期

SA N=95

在学中・卒業直後	働きながら	仕事を辞めて学習に専念	求職活動中
7.4%	64.2%	6.3%	21.1%

②資格取得動機(回答の多い順にトップ5)

MA N=95

工作上、資格がある ほうが有利だから	自分自身の勉強や 自己啓発のため	就職活動に役立てる ため	勤め先からの要請や 勧奨があったから	仕事の範囲を広げたい と思ったから
46.3%	31.6%	26.3%	18.9%	15.8%

③資格の魅力、メリット

MA N=95

将来性がある	社会的評価が 高い	経験や知識を 活かせる	適性や志向に 合う	次の資格取得 のステップに なる	ライフスタイルに 合った働き方に 役立つ	社会や地域に 貢献できる	取得が比較的 容易
11.6%	16.8%	45.3%	31.6%	21.1%	10.5%	-	23.2%

④学習を始める前の準備

MA N=95

学校や教育訓練 機関の情報収集	資格が活かせる 仕事や就職先の 情報収集	資格取得者の体 験談を聞いた	関連分野に詳 しい人に相談	キャリアコンサル タントに相談	必要な費用を 準備	特に準備せず
30.5%	5.3%	5.3%	4.2%	1.1%	21.1%	47.4%

⑤資格取得に要した期間

SA N=95

3か月未満	3か月～6か月未満	6か月～1年未満	1年～2年未満	2年～3年未満	3年以上
51.6%	33.7%	9.5%	4.2%	-	1.1%

⑥資格取得の主な勉強方法

SA N=95

学校	資格取得 スクール	公的職業訓練	業界団体等 の講習会	通信教育	勤務先の勉強 会、OJT	自主的勉強会	自学自習
4.2%	24.2%	7.4%	1.1%	3.2%	12.6%	-	45.3%

⑦利用した経済的支援

MA N=95

教育訓練給付金	無料・実費の 公的職業訓練	学校、団体、公的 機関等の奨学金	勤務先の補助 や貸付制度	利用せず
-	9.5%	1.1%	24.2%	56.8%

⑧資格取得に関して、課題となったこと、苦勞したこと(回答の多い順にトップ3及び「特にない」)

MA N=95

学費、教材費など費用 の負担	仕事との両立	勉強や通学のための時間	特にない
22.1%	22.1%	11.6%	49.5%

* JAVAプログラミング能力認定、オラクルマスター、シスコ技術者認定、マイクロソフト・オフィス・スペシャリストなど

【在職中に資格を取得した人の状況】

⑨資格取得活動への職場の対応

SA N=61

積極的に応援	特別の対応なし	あまり歓迎されない 雰囲気	周囲に知られて いなかった	職場に知られない ようにしていた
26.2%	31.1%	3.3%	24.6%	11.5%

⑩資格取得による働き方や処遇の変化

MA N=61

社内で昇進・昇格に結びついた	資格を活かせる部署・担当に異動	社内で担当分野が広がった	職場で表彰された	周囲からの評価が高まった	転職あるいは独立した	職場外のネットワークが広がった	特に変化なし
8.2%	4.9%	13.1%	1.6%	18.0%	1.6%	1.6%	62.3%

⑪資格取得による収入面での変化

MA N=61

勤務先から祝い金や報奨金が出た	基本給がアップした	資格手当がついた	資格所持に伴う活動による副収入を得た	特に変化なし
13.1%	3.3%	6.6%	-	77.0%

【資格取得に対する自己評価】

⑫資格を取得したことについての総合的判断

SA N=95

非常によかった、 メリット大	どちらかという プラス	コストや時間の割に メリット小	まだ判断できない
15.8%	52.6%	17.9%	13.7%

⑬資格を取得して最もよかったと思う点

SA N=65

専門能力や知識が向上	仕事の範囲が拡大	評価や処遇が上昇	収入が増加	人的ネットワーク	職業生活設計のひろがり	社会貢献ができること	将来への備え
50.8%	20.0%	6.2%	4.6%	-	3.1%	1.5%	7.7%

【他の資格との関係】

⑭他の資格も所持している人の割合

12.6%

N=95

他の主な所持資格

ITパスポート(資格区分別集計対象とはしていない)

⑮今後、新たな資格の取得を予定している人の割合

勉強中 15.8%

検討中 21.1%

N=95

【資格と仕事との関係】

⑯現在従事している職業(大分類で多い順トップ3)

SA N=71

専門的・技術的職業	事務的職業	管理的職業、サービスの職業
36.6%	36.6%	8.5%

【資格取得とキャリア形成に関する特徴】

男女比はほぼ半々。専門的・技術的職業従事者と事務的職業従事者がそれぞれ3人に1人で並ぶ。取得時期は6割強が在職時、2割強が求職活動中。公的職業訓練の利用率は1割弱。4人に1人が「勤務先の補助や貸付制度」を利用している。取得動機として、「仕事上有利」が半数弱、「自分自身の勉強や自己啓発」が約3割。職場から応援された人の比率は他のIT分野の資格よりやや高いが、収入等へ反映された人の割合は高くない。総合評価としては「どちらかというプラス」が半数強。

簿記

表の数字は構成比(%)

回答者の属性 (96人)

性別	男性	35.4	女性	64.6						
年齢	20代	5.2	30代	25.0	40代	27.1	50代	32.3	60代以上	10.4
学歴	高校卒	37.5	短大・専修等卒	24.0	大学卒	31.3	大学院卒	5.2	その他	2.1
就業状態	雇用者	56.3	(正規比率	63.0)	自営	5.2	不就業	34.4	その他・不明	4.2

【資格取得時の状況】

①資格を取った時期

SA N=96

在学中・卒業直後	働きながら	仕事を辞めて学習に専念	求職活動中
60.4%	27.1%	5.2%	3.1%

②資格取得動機(回答の多い順にトップ5)

MA N=96

工作上、資格がある ほうが有利だから	就職活動に役立てる ため	自分自身の勉強や 自己啓発のため	資格が必要な職業に 就くため	安定した職業に 就くため
30.2%	29.2%	25.0%	19.8%	18.8%

③資格の魅力、メリット

MA N=96

将来性がある	社会的評価が 高い	経験や知識を 活かせる	適性や志向に 合う	次の資格取得 のステップに なる	ライフスタイルに 合った働き方に 役立つ	社会や地域に 貢献できる	取得が比較的 容易
19.8%	11.5%	27.1%	21.9%	16.7%	8.3%	1.0%	15.6%

④学習を始める前の準備

MA N=96

学校や教育訓練 機関の情報収集	資格が活かせる 仕事や就職先の 情報収集	資格取得者の体 験談を聞いた	関連分野に詳 しい人に相談	キャリアコンサ ルタントに相談	必要な費用を 準備	特に準備せず
26.0%	6.3%	2.1%	3.1%	-	8.3%	55.2%

⑤資格取得に要した期間

SA N=96

3か月未満	3か月～6か月未満	6か月～1年未満	1年～2年未満	2年～3年未満	3年以上
19.8%	24.0%	25.0%	22.9%	8.3%	-

⑥資格取得の主な勉強方法

SA N=96

学校	資格取得 スクール	公的職業訓練	業界団体等 の講習会	通信教育	勤務先の勉強 会、OJT	自主的勉強会	自学自習
56.3%	11.5%	3.1%	3.1%	4.2%	-	-	20.8%

⑦利用した経済的支援

MA N=96

教育訓練給付金	無料・実費の 公的職業訓練	学校、団体、公的 機関等の奨学金	勤務先の補助 や貸付制度	利用せず
-	5.2%	3.1%	2.1%	83.3%

⑧資格取得に関して、課題となったこと、苦労したこと(回答の多い順にトップ3及び「特にない」)

MA N=96

勉強や通学のための時間	仕事との両立	学費、教材費など費用 の負担	特にない
17.7%	11.5%	8.3%	62.5%

【在職中に資格を取得した人の状況】

⑨資格取得活動への職場の対応

SA N=26

積極的に応援	特別な対応なし	あまり歓迎されない 雰囲気	周囲に知られて いなかった	職場に知られない ようにしていた
19.2%	46.2%	-	19.2%	15.4%

⑩資格取得による働き方や処遇の変化

MA N=26

社内で昇進・昇格に結びついた	資格を活かせる部署・担当に異動	社内で担当分野が広がった	職場で表彰された	周囲からの評価が高まった	転職あるいは独立した	職場外のネットワークが広がった	特に変化なし
3.8%	7.7%	3.8%	-	7.7%	-	-	76.9%

⑪資格取得による収入面での変化

MA N=26

勤務先から祝い金や報奨金が出た	基本給がアップした	資格手当がついた	資格所持に伴う活動による副収入を得た	特に変化なし
3.8%	-	11.5%	-	84.6%

【資格取得に対する自己評価】

⑫資格を取得したことについての総合的判断

SA N=96

非常によかった、 メリット大	どちらかという プラス	コストや時間の割に メリット小	まだ判断できない
21.9%	55.2%	8.3%	14.6%

⑬資格を取得して最もよかったと思う点

SA N=74

専門能力や知識が向上	仕事の範囲が拡大	評価や処遇が上昇	収入が増加	人的ネットワーク	職業生活設計のひろがり	社会貢献ができること	将来への備え
31.1%	29.7%	16.2%	1.4%	-	4.1%	-	6.8%

【他の資格との関係】

⑭他の資格も所持している人の割合

4.2%

N= 96

他の主な所持資格

(他の資格を併せて所持している人は、ほとんどが他区分で回答している)

⑮今後、新たな資格の取得を予定している人の割合

勉強中 8.3%

検討中 16.7%

N=96

【資格と仕事との関係】

⑯現在従事している職業（大分類で多い順トップ3）

SA N=61

事務的職業	管理的職業	専門的・技術的職業
44.3%	16.4%	13.1%

【資格取得とキャリア形成に関する特徴】

女性比率がやや高い。不就業が多い。事務的職業従事者が多い。取得時期は6割が在学時。取得動機として「仕事上有利」と「就職活動に役立てるため」が約3割であり、在学時に就職活動を意識して取得するケースが多いことがうかがえる。在職中に資格取得した人では、「資格手当がついた」が1割強あるほかは、処遇等に反映されたという割合は小さい。総合評価としては「どちらかというプラス」が半数強で、全体としては8割弱が肯定的評価。

公認会計士

表の数字は構成比(%)

回答者の属性 (51人)

性別	男性	90.2	女性	9.8						
年齢	20代	2.0	30代	43.1	40代	31.4	50代	19.6	60代以上	3.9
学歴	高校卒	-	短大・専修等卒	2.0	大学卒	86.3	大学院卒	9.8	その他	2.0
就業状態	雇用者	60.8	(正規比率	93.5)	自営	37.3	不就業	2.0	その他	-

【資格取得時の状況】

①資格を取った時期

SA N=51

在学中・卒業直後	働きながら	仕事を辞めて学習に専念	求職活動中
51.0%	21.6%	23.5%	2.0%

②資格取得動機(回答の多い順にトップ5)

MA N=51

資格が必要な職業に就くため	安定した職業に就くため	より高い収入を得るため	仕事上、資格があるほうが有利だから	より高度な仕事をしたいと思ったから
43.1%	37.3%	33.3%	29.4%	21.6%

③資格の魅力、メリット

MA N=51

将来性がある	社会的評価が高い	経験や知識を活かせる	適性や志向に合う	次の資格取得のステップになる	ライフスタイルに合った働き方に役立つ	社会や地域に貢献できる	取得が比較的容易
27.5%	58.8%	23.5%	43.1%	7.8%	9.8%	9.8%	2.0%

④学習を始める前の準備

MA N=51

学校や教育訓練機関の情報収集	資格を活かせる仕事や就職先の情報収集	資格取得者の体験談を聞いた	関連分野に詳しい人に相談	キャリアコンサルタントに相談	必要な費用を準備	特に準備せず
80.4%	17.6%	11.8%	3.9%	3.9%	23.5%	9.8%

⑤資格取得に要した期間

SA N=51

3か月未満	3か月～6か月未満	6か月～1年未満	1年～2年未満	2年～3年未満	3年以上
-	2.0%	5.9%	23.5%	33.3%	33.3%

⑥資格取得の主な勉強方法

SA N=51

学校	資格取得スクール	公的職業訓練	業界団体等の講習会	通信教育	勤務先の勉強会、OJT	自主的勉強会	自学自習
11.8%	76.5%	-	-	5.9%	-	-	5.9%

⑦利用した経済的支援

MA N=51

教育訓練給付金	無料・実費の公的職業訓練	学校、団体、公的機関等の奨学金	勤務先の補助や貸付制度	利用せず
-	-	-	7.8%	84.3%

⑧資格取得に関して、課題となったこと、苦労したこと(回答の多い順にトップ3及び「特にない」)

MA N=51

勉強や通学のための時間	学費、教材費など費用の負担	仕事との両立	特にない
47.1%	31.4%	21.6%	23.5%

【在職中に資格を取得した人の状況】 ……サンプル数が少ないため回答の実数を掲載

⑨資格取得活動への職場の対応

SA N=11

積極的に応援	特別の対応なし	あまり歓迎されない 雰囲気	周囲に知られて いなかった	職場に知られない ようにしていた
2	3	1	1	3

⑩資格取得による働き方や処遇の変化

MA N=11

社内で昇進・昇格に結びついた	資格を活かせる部署・担当に異動	社内で担当分野が広がった	職場で表彰された	周囲からの評価が高まった	転職あるいは独立した	職場外のネットワークが広がった	特に変化なし
2	1	1	1	2	5	1	4

⑪資格取得による収入面での変化

MA N=11

勤務先から祝い金や報奨金が出た	基本給がアップした	資格手当がついた	資格所持に伴う活動による副収入を得た	特に変化なし
3	5	3	1	4

【資格取得に対する自己評価】

⑫資格を取得したことについての総合的判断

SA N=51

非常によかった、 メリット大	どちらかという プラス	コストや時間の割に メリット小	まだ判断できない
62.7%	27.5%	5.9%	3.9%

⑬資格を取得して最もよかったと思う点

SA N=46

専門能力や知識が向上	仕事の範囲が拡大	評価や処遇が上昇	収入が増加	人的ネットワーク	職業生活設計のひろがり	社会貢献ができること	将来への備え
41.3%	13.0%	2.2%	23.9%	2.2%	6.5%	2.2%	8.7%

【他の資格との関係】

⑭他の資格も所持している人の割合

78.4%

N= 51

他の主な所持資格(3名以上)

簿記、税理士、語学検定、ファイナンシャル・プランナー、宅地建物取引主任者、証券アナリスト、基本情報技術者、IT関連企業の能力認定、中小企業診断士、行政書士

⑮今後、新たな資格の取得を予定している人の割合

勉強中 11.8%

検討中 25.5%

N=51

【資格と仕事との関係】

⑯現在従事している職業（大分類で多い順トップ3）

SA N=50

専門的・技術的職業	管理的職業	事務的職業
50.0%	24.0%	18.0%

【資格取得とキャリア形成に関する特徴】

男性比率が高い。自営が4割弱。取得時期は在学時が約半数、仕事を辞めて学習に専念した人と働きながら取得した人がそれぞれ2割強と分かれる。資格の魅力・メリットとして「社会的評価が高い」をあげる人が6割近くにのぼる。主な勉強方法は4人に3人が「資格取得スクール」、学習を始める前の準備として8割の人が学校等の情報収集をするなど周知な準備を行っている。課題として半数近くの人が「勉強や通学のための時間」をあげている。総合的評価は「非常によかった」が6割を超える。

税理士

表の数字は構成比(%)

回答者の属性 (55人)

性別	男性	72.7	女性	27.3						
年齢	20代	-	30代	14.5	40代	23.6	50代	36.4	60代以上	25.5
学歴	高校卒	9.1	短大・専修等卒	9.1	大学卒	56.4	大学院卒	20.0	その他	5.5
就業状態	雇用者	47.3	(正規比率	96.2)	自営	41.8	不就業	10.9	その他	-

【資格取得時の状況】

①資格を取った時期

SA N=55

在学中・卒業直後	働きながら	仕事を辞めて学習に専念	求職活動中
7.3%	85.5%	1.8%	1.8%

②資格取得動機(回答の多い順にトップ5)

MA N=55

資格が必要な職業に就くため	工作上、資格があるほうが有利だから	将来の独立のため	自分自身の勉強や自己啓発のため	安定した職業に就くため
36.4%	32.7%	32.7%	21.8%	20.0%

③資格の魅力、メリット

MA N=55

将来性がある	社会的評価が高い	経験や知識を活かせる	適性や志向に合う	次の資格取得のステップになる	ライフスタイルに合った働き方に役立つ	社会や地域に貢献できる	取得が比較的容易
12.7%	29.1%	49.1%	32.7%	-	10.9%	12.7%	9.1%

④学習を始める前の準備

MA N=55

学校や教育訓練機関の情報収集	資格を活かせる仕事や就職先の情報収集	資格取得者の体験談を聞いた	関連分野に詳しい人に相談	キャリアコンサルタントに相談	必要な費用を準備	特に準備せず
47.3%	16.4%	3.6%	7.3%	-	12.7%	34.5%

⑤資格取得に要した期間

SA N=55

3か月未満	3か月～6か月未満	6か月～1年未満	1年～2年未満	2年～3年未満	3年以上
3.6%	-	1.8%	1.8%	5.5%	85.5%

⑥資格取得の主な勉強方法

SA N=55

学校	資格取得スクール	公的職業訓練	業界団体等の講習会	通信教育	勤務先の勉強会、OJT	自主的勉強会	自学自習
7.3%	49.1%	-	-	12.7%	12.7%	-	16.4%

⑦利用した経済的支援

MA N=55

教育訓練給付金	無料・実費の公的職業訓練	学校、団体、公的機関等の奨学金	勤務先の補助や貸付制度	利用せず
-	-	-	7.3%	85.5%

⑧資格取得に関して、課題となったこと、苦労したこと(回答の多い順にトップ3及び「特にない」)

MA N=55

仕事との両立	勉強や通学のための時間	学費、教材費など費用の負担	特にない
40.0%	30.9%	29.1%	30.9%

【在職中に資格を取得した人の状況】

⑨資格取得活動への職場の対応

SA N=47

積極的に応援	特別の対応なし	あまり歓迎されない 雰囲気	周囲に知られて いなかった	職場に知られない ようにしていた
25.5%	46.8%	6.4%	10.6%	8.5%

⑩資格取得による働き方や処遇の変化

MA N=47

社内で昇進・昇格に結びついた	資格を活かせる部署・担当に異動	社内で担当分野が広がった	職場で表彰された	周囲からの評価が高まった	転職あるいは独立した	職場外のネットワークが広がった	特に変化なし
4.3%	2.1%	6.4%	2.1%	21.3%	12.8%	8.5%	57.4%

⑪資格取得による収入面での変化

MA N=47

勤務先から祝い金や報奨金が出た	基本給がアップした	資格手当がついた	資格所持に伴う活動による副収入を得た	特に変化なし
10.6%	8.5%	8.5%	6.4%	66.0%

【資格取得に対する自己評価】

⑫資格を取得したことについての総合的判断

SA N=55

非常によかった、 メリット大	どちらかという プラス	コストや時間の割に メリット小	まだ判断できない
43.6%	34.5%	7.3%	14.5%

⑬資格を取得して最もよかったと思う点

SA N=43

専門能力や知識が向上	仕事の範囲が拡大	評価や処遇が上昇	収入が増加	人的ネットワーク	職業生活設計のひろがり	社会貢献ができること	将来への備え
37.2%	9.3%	4.7%	4.7%	4.7%	9.3%	18.6%	11.6%

【他の資格との関係】

⑭他の資格も所持している人の割合

65.5%

N= 55

他の主な所持資格(4名以上)

簿記、ファイナンシャル・プランナー、行政書士、宅地建物取引主任者、社会保険労務士、語学検定

⑮今後、新たな資格の取得を予定している人の割合

勉強中 9.1%

検討中 14.5%

N=55

【資格と仕事との関係】

⑯現在従事している職業(大分類で多い順トップ3)

SA N=49

専門的・技術的職業	事務的職業	管理的職業
42.9%	34.7%	16.3%

【資格取得とキャリア形成に関する特徴】

男性比率が高い。4割が自営。在職時に取得した人が多い。資格取得動機として、「資格が必要な職業に就くため」に次いで3割強が「仕事上有利」「将来の独立のため」をあげている。主な勉強方法は約半数が「資格取得スクール」、学習を始める前の準備として半数弱の人が学校等の情報収集を行っている。課題として4割が「仕事との両立」をあげている。在職中の資格取得により「転職・独立した」人の割合は1割強。総合的判断として「非常によかった」は4割強で、肯定的判断が全体として8割弱。

証券アナリスト

表の数字は構成比(%)

回答者の属性 (47人)

性別	男性	87.2	女性	12.8						
年齢	20代	4.3	30代	14.9	40代	40.4	50代	36.2	60代以上	4.3
学歴	高校卒	-	短大・専修等卒	4.3	大学卒	68.1	大学院卒	27.7	その他	-
就業状態	雇用者	83.0	(正規比率	97.4)	自営	10.6	不就業	6.4	その他	-

【資格取得時の状況】

①資格を取った時期

SA N=47

在学中・卒業直後	働きながら	仕事を辞めて学習に専念	求職活動中
-	100.0%	-	-

②資格取得動機(回答の多い順にトップ5)

MA N=47

工作上、資格があるほうが有利だから	自分自身の勉強や自己啓発のため	仕事の範囲を広げたいと思ったから	勤め先からの要請や勧奨があったから	より高度な仕事をしたいと思ったから
57.4%	38.3%	34.0%	27.7%	25.5%

③資格の魅力、メリット

MA N=47

将来性がある	社会的評価が高い	経験や知識を活かせる	適性や志向に合う	次の資格取得のステップになる	ライフスタイルに合った働き方に役立つ	社会や地域に貢献できる	取得が比較的容易
21.3%	23.4%	53.2%	31.9%	6.4%	4.3%	4.3%	8.5%

④学習を始める前の準備

MA N=47

学校や教育訓練機関の情報収集	資格を活かせる仕事や就職先の情報収集	資格取得者の体験談を聞いた	関連分野に詳しい人に相談	キャリアコンサルタントに相談	必要な費用を準備	特に準備せず
36.2%	6.4%	8.5%	6.4%	-	14.9%	44.7%

⑤資格取得に要した期間

SA N=47

3か月未満	3か月～6か月未満	6か月～1年未満	1年～2年未満	2年～3年未満	3年以上
4.3%	2.1%	6.4%	29.8%	36.2%	21.3%

⑥資格取得の主な勉強方法

SA N=47

学校	資格取得スクール	公的職業訓練	業界団体等の講習会	通信教育	勤務先の勉強会、OJT	自主的勉強会	自学自習
4.3%	12.8%	-	2.1%	23.4%	8.5%	-	48.9%

⑦利用した経済的支援

MA N=47

教育訓練給付金	無料・実費の公的職業訓練	学校、団体、公的機関等の奨学金	勤務先の補助や貸付制度	利用せず
-	2.1%	2.1%	40.4%	48.9%

⑧資格取得に関して、課題となったこと、苦労したこと(回答の多い順にトップ3及び「特にない」)

MA N=47

仕事との両立	勉強や通学のための時間	学費、教材費など費用の負担	特にない
53.2%	34.0%	10.6%	23.4%

【在職中に資格を取得した人の状況】

⑨資格取得活動への職場の対応

SA N=47

積極的に応援	特別な対応なし	あまり歓迎されない 雰囲気	周囲に知られて いなかった	職場に知られない ようにしていた
19.1%	57.4%	-	12.8%	10.6%

⑩資格取得による働き方や処遇の変化

MA N=47

社内で昇進・昇格に結びついた	資格を活かせる部署・担当に異動	社内で担当分野が広がった	職場で表彰された	周囲からの評価が高まった	転職あるいは独立した	職場外のネットワークが広がった	特に変化なし
4.3%	10.6%	21.3%	10.6%	14.9%	6.4%	8.5%	46.8%

⑪資格取得による収入面での変化

MA N=47

勤務先から祝い金や報奨金が出た	基本給がアップした	資格手当がついた	資格所持に伴う活動による副収入を得た	特に変化なし
17.0%	-	2.1%	4.3%	74.5%

【資格取得に対する自己評価】

⑫資格を取得したことについての総合的判断

SA N=47

非常によかった、メリット大	どちらかというプラス	コストや時間の割にメリット小	まだ判断できない
29.8%	53.2%	12.8%	4.3%

⑬資格を取得して最もよかったと思う点

SA N=39

専門能力や知識が向上	仕事の範囲が拡大	評価や処遇が上昇	収入が増加	人的ネットワーク	職業生活設計のひろがり	社会貢献ができること	将来への備え
53.8%	20.5%	15.4%	2.6%	2.6%	-	-	2.6%

【他の資格との関係】

⑭他の資格も所持している人の割合

89.4%

N= 47

他の主な所持資格(3名以上)

ファイナンシャル・プランナー、簿記、語学検定、宅地建物取引主任者、普通自動車免許(二種)、基本情報技術者、行政書士

⑮今後、新たな資格の取得を予定している人の割合

勉強中 23.4%

検討中 38.3%

N=47

【資格と仕事との関係】

⑯現在従事している職業(大分類で多い順トップ3)

SA N=44

管理的職業	事務的職業	専門的・技術的職業
38.6%	31.8%	18.2%

【資格取得とキャリア形成に関する特徴】

男性比率が高い。雇用者比率、正規比率が高い。取得時期は在職中が100%。動機として、6割近くが「仕事上有利」を、資格の魅力・メリットとして半数強が「経験や知識を活かせる」をあげている。主な勉強方法は約4人に1人が「通信教育」。「勤務先の補助や貸付制度」を利用した割合が4割と高い。課題は半数強の人が「仕事との両立」。2割強が「社内で担当分野が広がった」など、働き方に一定の反映がみられる。総合的判断として8割が肯定的評価で、「非常によかった」は約3割。

ファイナンシャル・プランナー

表の数字は構成比(%)

回答者の属性 (101人)

性別	男性	63.4	女性	36.6						
年齢	20代	1.0	30代	26.7	40代	25.7	50代	33.7	60代以上	12.9
学歴	高校卒	15.8	短大・専修等卒	9.9	大学卒	67.3	大学院卒	5.9	その他	1.0
就業状態	雇用者	73.3	(正規比率	74.3)	自営	6.9	不就業	17.8	その他・不明	2.0

【資格取得時の状況】

①資格を取った時期

SA N=101

在学中・卒業直後	働きながら	仕事を辞めて学習に専念	求職活動中
1.0%	85.1%	5.0%	2.0%

②資格取得動機(回答の多い順にトップ5)

MA N=101

工作上、資格がある ほうが有利だから	自分自身の勉強や 自己啓発のため	勤め先からの要請や 勧奨があったから	いずれ何かの役に 立つかもしれない と思ったから	自分の能力や可能性を 試したかったから
41.6%	40.6%	22.8%	17.8%	12.9%

③資格の魅力、メリット

MA N=101

将来性がある	社会的評価が 高い	経験や知識を 活かせる	適性や志向に 合う	次の資格取得 のステップに なる	ライフスタイル に合った働 き方に役立つ	社会や地域に 貢献できる	取得が比較的 容易
15.8%	8.9%	49.5%	19.8%	16.8%	13.9%	5.9%	11.9%

④学習を始める前の準備

MA N=101

学校や教育訓練 機関の情報収集	資格が活かせる 仕事や就職先の 情報収集	資格取得者の体 験談を聞いた	関連分野に詳 しい人に相談	キャリアコンサ ルタントに相談	必要な費用を 準備	特に準備せず
31.7%	2.0%	6.9%	2.0%	1.0%	14.9%	43.6%

⑤資格取得に要した期間

SA N=101

3か月未満	3か月～6か月未満	6か月～1年未満	1年～2年未満	2年～3年未満	3年以上
25.7%	39.6%	15.8%	11.9%	5.0%	1.0%

⑥資格取得の主な勉強方法

SA N=101

学校	資格取得 スクール	公的職業訓練	業界団体等 の講習会	通信教育	勤務先の勉強 会、OJT	自主的勉強会	自学自習
1.0%	7.9%	-	4.0%	24.8%	3.0%	-	59.4%

⑦利用した経済的支援

MA N=101

教育訓練給付金	無料・実費の 公的職業訓練	学校、団体、公的 機関等の奨学金	勤務先の補助 や貸付制度	利用せず
-	1.0%	1.0%	18.8%	69.3%

⑧資格取得に関して、課題となったこと、苦労したこと(回答の多い順にトップ3及び「特にない」)

MA N=101

仕事との両立	勉強や通学のための時間	資格が実際に役に立つか どうかわからない	特にない
46.5%	15.8%	12.9%	26.7%

【在職中に資格を取得した人の状況】

⑨資格取得活動への職場の対応

SA N=86

積極的に応援	特別な対応なし	あまり歓迎されない 雰囲気	周囲に知られて いなかった	職場に知られない ようにしていた
15.1%	55.8%	5.8%	11.6%	9.3%

⑩資格取得による働き方や処遇の変化

MA N=86

社内で昇進・昇格に結びついた	資格を活かせる部署・担当に異動	社内で担当分野が広がった	職場で表彰された	周囲からの評価が高まった	転職あるいは独立した	職場外のネットワークが広がった	特に変化なし
8.1%	1.2%	4.7%	5.8%	10.5%	3.5%	1.2%	68.6%

⑪資格取得による収入面での変化

MA N=86

勤務先から祝い金や報奨金が出た	基本給がアップした	資格手当がついた	資格所持に伴う活動による副収入を得た	特に変化なし
3.5%	4.7%	7.0%	1.2%	81.4%

【資格取得に対する自己評価】

⑫資格を取得したことについての総合的判断

SA N=101

非常によかった、 メリット大	どちらかという プラス	コストや時間の割に メリット小	まだ判断できない
13.9%	55.4%	13.9%	16.8%

⑬資格を取得して最もよかったと思う点

SA N=70

専門能力や知識が向上	仕事の範囲が拡大	評価や処遇が上昇	収入が増加	人的ネットワーク	職業生活設計のひろがり	社会貢献ができること	将来への備え
64.3%	7.1%	2.9%	4.3%	1.4%	1.4%	2.9%	12.9%

【他の資格との関係】

⑭他の資格も所持している人の割合

4.0%

N= 101

他の主な所持資格

(他の資格と併せて所持している人は、ほとんどが他区分で回答している)

⑮今後、新たな資格の取得を予定している人の割合

勉強中 15.8%

検討中 26.7%

N=101

【資格と仕事との関係】

⑯現在従事している職業（大分類で多い順トップ3）

SA N=82

事務的職業	販売・営業の職業	管理的職業
36.6%	25.6%	15.9%

【資格取得とキャリア形成に関する特徴】

男性比率がやや高い。在職時に取得した人が多い。取得動機として、「仕事上有利」と「自分自身の勉強や自己啓発」が4割強でほぼ並び、仕事のために取得する人と中長期的目的のひとが混在することがうかがえる。主な勉強方法は約4人に1人が「通信教育」、課題として「仕事との両立」をあげる人が多い。勤め先からの要請で取得した人も2割強いるが、職場からの応援を受けたという人は多くはなく、処遇等への反映はあまりみられない。総合評価としては「どちらかというプラス」が半数強。

中小企業診断士

表の数字は構成比(%)

回答者の属性 (58人)

性別	男性	94.8	女性	5.2						
年齢	20代	-	30代	12.1	40代	34.5	50代	24.1	60代以上	29.3
学歴	高校卒	1.7	短大・専修等卒	-	大学卒	69.0	大学院卒	25.9	その他	3.4
就業状態	雇用者	70.7	(正規比率	92.7)	自営	17.2	不就業	12.1	その他	-

【資格取得時の状況】

①資格を取った時期

SA N=58

在学中・卒業直後	働きながら	仕事を辞めて学習に専念	求職活動中
1.7%	91.4%	5.2%	1.7%

②資格取得動機(回答の多い順にトップ5)

MA N=58

自分自身の勉強や自己啓発のため	より高度な仕事をしたいと思ったから	仕事の範囲を広げたいと思ったから	仕事上、資格があるほうが有利だから	自分の能力や可能性を試したかったから
53.4%	37.9%	36.2%	34.5%	22.4%

③資格の魅力、メリット

MA N=58

将来性がある	社会的評価が高い	経験や知識を活かせる	適性や志向に合う	次の資格取得のステップになる	ライフスタイルに合った働き方に役立つ	社会や地域に貢献できる	取得が比較的容易
12.1%	20.7%	56.9%	51.7%	10.3%	17.2%	17.2%	6.9%

④学習を始める前の準備

MA N=58

学校や教育訓練機関の情報収集	資格を活かせる仕事や就職先の情報収集	資格取得者の体験談を聞いた	関連分野に詳しい人に相談	キャリアコンサルタントに相談	必要な費用を準備	特に準備せず
63.8%	12.1%	13.8%	6.9%	-	20.7%	25.9%

⑤資格取得に要した期間

SA N=58

3か月未満	3か月～6か月未満	6か月～1年未満	1年～2年未満	2年～3年未満	3年以上
1.7%	-	25.9%	37.9%	25.9%	8.6%

⑥資格取得の主な勉強方法

SA N=58

学校	資格取得スクール	公的職業訓練	業界団体等の講習会	通信教育	勤務先の勉強会、OJT	自主的勉強会	自学自習
3.4%	27.6%	-	3.4%	34.5%	3.4%	1.7%	19.0%

⑦利用した経済的支援

MA N=58

教育訓練給付金	無料・実費の公的職業訓練	学校、団体、公的機関等の奨学金	勤務先の補助や貸付制度	利用せず
-	1.7%	-	29.3%	53.4%

⑧資格取得に関して、課題となったこと、苦勞したこと(回答の多い順にトップ3及び「特にない」)

MA N=58

仕事との両立	勉強や通学のための時間	資格が実際に役に立つかわからない	特にない
46.6%	37.9%	24.1%	22.4%

【在職中に資格を取得した人の状況】

⑨資格取得活動への職場の対応

SA N=53

積極的に応援	特別の対応なし	あまり歓迎されない 雰囲気	周囲に知られて いなかった	職場に知られない ようにしていた
24.5%	34.0%	-	28.3%	9.4%

⑩資格取得による働き方や処遇の変化

MA N=53

社内で昇進・昇格に結びついた	資格を活かせる部署・担当に異動	社内で担当分野が広がった	職場で表彰された	周囲からの評価が高まった	転職あるいは独立した	職場外のネットワークが広がった	特に変化なし
11.3%	17.0%	20.8%	3.8%	28.3%	15.1%	18.9%	43.4%

⑪資格取得による収入面での変化

MA N=53

勤務先から祝い金や報奨金が出た	基本給がアップした	資格手当がついた	資格所持に伴う活動による副収入を得た	特に変化なし
9.4%	9.4%	17.0%	5.7%	66.0%

【資格取得に対する自己評価】

⑫資格を取得したことについての総合的判断

SA N=58

非常によかった、 メリット大	どちらかという プラス	コストや時間の割に メリット小	まだ判断できない
39.7%	48.3%	6.9%	5.2%

⑬資格を取得して最もよかったと思う点

SA N=51

専門能力や知識が向上	仕事の範囲が拡大	評価や処遇が上昇	収入が増加	人的ネットワーク	職業生活設計のひろがり	社会貢献ができること	将来への備え
37.3%	25.5%	7.8%	2.0%	7.8%	3.9%	3.9%	5.9%

【他の資格との関係】

⑭他の資格も所持している人の割合

79.3%

N= 58

他の主な所持資格(4名以上)

簿記、ファイナンシャル・プランナー、宅地建物取引主任者、語学検定、応用情報技術者、社会保険労務士、行政書士、販売士、技能士(オフィス、サービス関連分野)、基本情報技術者、IT企業の能力認定

⑮今後、新たな資格の取得を予定している人の割合

勉強中 17.2%

検討中 25.9%

N=58

【資格と仕事との関係】

⑯現在従事している職業(大分類で多い順トップ3)

SA N=51

管理的職業	専門的・技術的職業	事務的職業
41.2%	29.4%	21.6%

【資格取得とキャリア形成に関する特徴】

男性比率、雇用者の正規比率が高い。取得時期は9割が在職時。取得動機は「自分の勉強や自己啓発」が5割強、次いで「より高度な仕事をしたい」が4割弱。資格の魅力・メリットとしては半数以上が「経験や知識を活かせる」「適性や志向に合う」をあげる。専門性を現職で活かすことを目的とする人が多いことがうかがえる。主な勉強方法は「通信教育」と「資格スクール」。資格取得により「評価が高まった」「担当分野が広がった」とする人が2割を超える。総合的評価として「非常によかった」は約4割。

社会保険労務士

表の数字は構成比(%)

回答者の属性 (101人)

性別	男性	75.2	女性	24.8						
年齢	20代	-	30代	10.9	40代	31.7	50代	27.7	60代以上	29.7
学歴	高校卒	5.9	短大・専修等卒	7.9	大学卒	77.2	大学院卒	7.9	その他	1.0
就業状態	雇用者	56.4	(正規比率	82.5)	自営	19.8	不就業	20.8	その他・不明	3.0

【資格取得時の状況】

①資格を取った時期

SA N=101

在学中・卒業直後	働きながら	仕事を辞めて学習に専念	求職活動中
4.0%	76.2%	11.9%	2.0%

②資格取得動機(回答の多い順にトップ5)

MA N=101

自分自身の勉強や自己啓発のため	工作上、資格があるほうが有利だから	仕事の範囲を広げたいと思ったから	将来の独立のため	自分の能力や可能性を試したかったから
45.5%	39.6%	30.7%	22.8%	22.8%

③資格の魅力、メリット

MA N=101

将来性がある	社会的評価が高い	経験や知識を活かせる	適性や志向に合う	次の資格取得のステップになる	ライフスタイルに合った働き方に役立つ	社会や地域に貢献できる	取得が比較的容易
24.8%	21.8%	51.5%	36.6%	9.9%	17.8%	17.8%	8.9%

④学習を始める前の準備

MA N=101

学校や教育訓練機関の情報収集	資格を活かせる仕事や就職先の情報収集	資格取得者の体験談を聞いた	関連分野に詳しい人に相談	キャリアコンサルタントに相談	必要な費用を準備	特に準備せず
64.4%	5.9%	9.9%	2.0%	1.0%	12.9%	30.7%

⑤資格取得に要した期間

SA N=101

3か月未満	3か月～6か月未満	6か月～1年未満	1年～2年未満	2年～3年未満	3年以上
4.0%	7.9%	29.7%	22.8%	13.9%	20.8%

⑥資格取得の主な勉強方法

SA N=101

学校	資格取得スクール	公的職業訓練	業界団体等の講習会	通信教育	勤務先の勉強会、OJT	自主的勉強会	自学自習
1.0%	37.6%	-	-	26.7%	-	-	31.7%

⑦利用した経済的支援

MA N=101

教育訓練給付金	無料・実費の公的職業訓練	学校、団体、公的機関等の奨学金	勤務先の補助や貸付制度	利用せず
-	-	-	5.0%	68.3%

⑧資格取得に関して、課題となったこと、苦勞したこと(回答の多い順にトップ3及び「特にない」)

MA N=101

仕事との両立	勉強や通学のための時間	学費、教材費など費用の負担	特にない
43.6%	26.7%	13.9%	24.8%

【在職中に資格を取得した人の状況】

⑨資格取得活動への職場の対応

SA N=77

積極的に応援	特別な対応なし	あまり歓迎されない 雰囲気	周囲に知られて いなかった	職場に知られない ようにしていた
7.8%	31.2%	5.2%	31.2%	24.7%

⑩資格取得による働き方や処遇の変化

MA N=77

社内で昇進・昇格に結びついた	資格を活かせる部署・担当に異動	社内で担当分野が広がった	職場で表彰された	周囲からの評価が高まった	転職あるいは独立した	職場外のネットワークが広がった	特に変化なし
6.5%	7.8%	16.9%	1.3%	20.8%	11.7%	7.8%	53.2%

⑪資格取得による収入面での変化

MA N=77

勤務先から祝い金や報奨金が出た	基本給がアップした	資格手当がついた	資格所持に伴う活動による副収入を得た	特に変化なし
7.8%	3.9%	6.5%	3.9%	79.2%

【資格取得に対する自己評価】

⑫資格を取得したことについての総合的判断

SA N=101

非常によかった、 メリット大	どちらかという プラス	コストや時間の割に メリット小	まだ判断できない
31.7%	45.5%	12.9%	9.9%

⑬資格を取得して最もよかったと思う点

SA N=78

専門能力や知識が向上	仕事の範囲が拡大	評価や処遇が上昇	収入が増加	人的ネットワーク	職業生活設計のひろがり	社会貢献ができること	将来への備え
47.4%	19.2%	5.1%	-	2.6%	1.3%	10.3%	11.5%

【他の資格との関係】

⑭他の資格も所持している人の割合

79.2%

N= 101

他の主な所持資格(5名以上)

簿記、宅地建物取引主任者、ファイナンシャル・プランナー、行政書士、衛生管理者、危険物取扱者、語学検定、旅行業務取扱管理者、普通自動車免許(二種)、基本情報技術者

⑮今後、新たな資格の取得を予定している人の割合

勉強中 10.9%

検討中 24.8%

N=101

【資格と仕事との関係】

⑯現在従事している職業(大分類で多い順トップ3)

SA N=78

事務的職業	管理的職業	専門的・技術的職業
33.3%	30.8%	23.1%

【資格取得とキャリア形成に関する特徴】

男女比は約3:1。自営、不就業がそれぞれ約2割。資格取得時期は4人に3人が在職時。取得動機は「自分の勉強や自己啓発」が5割弱、次いで「仕事上有利」が4割。「将来の独立のため」も2割強。資格の魅力・メリットとしては半数以上が「経験や知識を活かせる」をあげる。主な勉強方法は「資格取得スクール」と「通信教育」。課題は「仕事との両立」。「資格取得活動が職場に知られないようにしていた」人が4人に1人。転職・独立した人は約1割。総合的評価として「非常によかった」は3割強。

弁理士

表の数字は構成比(%)

回答者の属性 (35人)

性別	男性	94.3	女性	5.7						
年齢	20代	-	30代	25.7	40代	40.0	50代	25.7	60代以上	8.6
学歴	高校卒	-	短大・専修等卒	-	大学卒	37.1	大学院卒	62.9	その他	-
就業状態	雇用者	77.1	(正規比率	92.6)	自営	22.9	不就業	-	その他	-

【資格取得時の状況】

①資格を取った時期

SA N=35

在学中・卒業直後	働きながら	仕事を辞めて学習に専念	求職活動中
5.7%	77.1%	8.6%	2.9%

②資格取得動機(回答の多い順にトップ5)

MA N=35

資格が必要な職業に就くため	工作上、資格があるほうが有利だから	より高度な仕事をしたいと思ったから	より高い収入を得るため	仕事の範囲を広げたいと思ったから
51.4%	48.6%	42.9%	28.6%	28.6%

③資格の魅力、メリット

MA N=35

将来性がある	社会的評価が高い	経験や知識を活かせる	適性や志向に合う	次の資格取得のステップになる	ライフスタイルに合った働き方に役立つ	社会や地域に貢献できる	取得が比較的容易
34.3%	34.3%	65.7%	51.4%	2.9%	11.4%	5.7%	-

④学習を始める前の準備

MA N=35

学校や教育訓練機関の情報収集	資格が活かせる仕事や就職先の情報収集	資格取得者の体験談を聞いた	関連分野に詳しい人に相談	キャリアコンサルタントに相談	必要な費用を準備	特に準備せず
80.0%	37.1%	20.0%	11.4%	-	28.6%	11.4%

⑤資格取得に要した期間

SA N=35

3か月未満	3か月～6か月未満	6か月～1年未満	1年～2年未満	2年～3年未満	3年以上
-	2.9%	-	14.3%	14.3%	68.6%

⑥資格取得の主な勉強方法

SA N=35

学校	資格取得スクール	公的職業訓練	業界団体等の講習会	通信教育	勤務先の勉強会、OJT	自主的勉強会	自学自習
-	60.0%	-	-	14.3%	2.9%	2.9%	17.1%

⑦利用した経済的支援

MA N=35

教育訓練給付金	無料・実費の公的職業訓練	学校、団体、公的機関等の奨学金	勤務先の補助や貸付制度	利用せず
-	-	-	5.7%	62.9%

⑧資格取得に関して、課題となったこと、苦勞したこと(回答の多い順にトップ3及び「特にない」)

MA N=35

勉強や通学のための時間	仕事との両立	学費、教材費など費用の負担	特にない
45.7%	42.9%	31.4%	25.7%

【在職中に資格を取得した人の状況】

⑨資格取得活動への職場の対応

SA N=27

積極的に応援	特別の対応なし	あまり歓迎されない 雰囲気	周囲に知られて いなかった	職場に知られない ようにしていた
33.3%	33.3%	11.1%	3.7%	18.5%

⑩資格取得による働き方や処遇の変化

MA N=27

社内で昇進・昇格に結びついた	資格を活かせる部署・担当に異動	社内で担当分野が広がった	職場で表彰された	周囲からの評価が高まった	転職あるいは独立した	職場外のネットワークが広がった	特に変化なし
18.5%	3.7%	25.9%	11.1%	40.7%	33.3%	25.9%	14.8%

⑪資格取得による収入面での変化

MA N=27

勤務先から祝い金や報奨金が出た	基本給がアップした	資格手当がついた	資格所持に伴う活動による副収入を得た	特に変化なし
18.5%	33.3%	14.8%	18.5%	37.0%

【資格取得に対する自己評価】

⑫資格を取得したことについての総合的判断

SA N=35

非常によかった、 メリット大	どちらかという プラス	コストや時間の割に メリット小	まだ判断できない
54.3%	31.4%	5.7%	8.6%

⑬資格を取得して最もよかったと思う点

SA N=30

専門能力や知識が向上	仕事の範囲が拡大	評価や処遇が上昇	収入が増加	人的ネットワーク	職業生活設計のひろがり	社会貢献ができること	将来への備え
26.7%	20.0%	6.7%	-	16.7%	10.0%	-	13.3%

【他の資格との関係】

⑭他の資格も所持している人の割合

65.7%

N= 35

他の主な所持資格(3名以上)

危険物取扱者、行政書士、普通自動車免許(二種)、基本情報技術者、応用情報技術者、語学検定

⑮今後、新たな資格の取得を予定している人の割合

勉強中 14.3%

検討中 20.0%

N=35

【資格と仕事との関係】

⑯現在従事している職業(大分類で多い順トップ3)

SA N=35

専門的・技術的職業	管理的職業	事務的職業、その他の職業
82.9%	11.4%	2.9%

【資格取得とキャリア形成に関する特徴】

男性比率が高い。自営は約2割、雇用者の正規比率が高い。資格取得時期は在職時が8割弱。資格の魅力・メリットとして3人に2人が「経験・知識を活かせる」をあげる。主な勉強方法としては「資格取得スクール」が多く、学校等の情報収集をした人が8割と事前準備を周到に行った人が多い。職場の応援を受けた人が多く、「評価が高まった」が4割、3人に1人が「基本給アップ」、「転職・独立」など、働き方や収入に反映された比率が高い。総合的判断として「非常によかった」が半数を超える。

司法書士

表の数字は構成比(%)

回答者の属性 (67人)

性別	男性	83.6	女性	16.4						
年齢	20代	4.5	30代	20.9	40代	34.3	50代	20.9	60代以上	19.4
学歴	高校卒	10.4	短大・専修等卒	4.5	大学卒	71.6	大学院卒	9.0	その他	4.5
就業状態	雇用者	19.4	(正規比率	100.0)	自営	76.1	不就業	4.5	その他	-

【資格取得時の状況】

①資格を取った時期

SA N=67

在学中・卒業直後	働きながら	仕事を辞めて学習に専念	求職活動中
9.0%	56.7%	26.9%	-

②資格取得動機 (回答の多い順にトップ5)

MA N=67

将来の独立のため	資格が必要な職業に就くため	それまでと違う仕事をしたいと思ったから	仕事上、資格があるほうが有利だから	より高度な仕事、自己啓発、可能性を試す
38.8%	37.3%	23.9%	22.4%	20.9%

③資格の魅力、メリット

MA N=67

将来性がある	社会的評価が高い	経験や知識を活かせる	適性や志向に合う	次の資格取得のステップになる	ライフスタイルに合った働き方に役立つ	社会や地域に貢献できる	取得が比較的容易
11.9%	41.8%	49.3%	43.3%	3.0%	26.9%	22.4%	7.5%

④学習を始める前の準備

MA N=67

学校や教育訓練機関の情報収集	資格を活かせる仕事や就職先の情報収集	資格取得者の体験談を聞いた	関連分野に詳しい人に相談	キャリアコンサルタントに相談	必要な費用を準備	特に準備せず
61.2%	11.9%	10.4%	3.0%	-	22.4%	22.4%

⑤資格取得に要した期間

SA N=67

3か月未満	3か月～6か月未満	6か月～1年未満	1年～2年未満	2年～3年未満	3年以上
4.5%	1.5%	6.0%	22.4%	13.4%	50.7%

⑥資格取得の主な勉強方法

SA N=67

学校	資格取得スクール	公的職業訓練	業界団体等の講習会	通信教育	勤務先の勉強会、OJT	自主的勉強会	自学自習
6.0%	44.8%	-	1.5%	11.9%	3.0%	-	31.3%

⑦利用した経済的支援

MA N=67

教育訓練給付金	無料・実費の公的職業訓練	学校、団体、公的機関等の奨学金	勤務先の補助や貸付制度	利用せず
-	-	3.0%	-	85.1%

⑧資格取得に関して、課題となったこと、苦労したこと (回答の多い順にトップ3及び「特にない」)

MA N=67

仕事との両立	学費、教材費など費用の負担	勉強や通学のための時間	特にない
40.3%	22.4%	17.9%	28.4%

【在職中に資格を取得した人の状況】

⑨資格取得活動への職場の対応

SA N=38

積極的に応援	特別の対応なし	あまり歓迎されない 雰囲気	周囲に知られて いなかった	職場に知られない ようにしていた
21.1%	44.7%	-	7.9%	26.3%

⑩資格取得による働き方や処遇の変化

MA N=38

社内で昇進・昇格に結びついた	資格を活かせる部署・担当に異動	社内で担当分野が広がった	職場で表彰された	周囲からの評価が高まった	転職あるいは独立した	職場外のネットワークが広がった	特に変化なし
-	2.6%	7.9%	-	7.9%	39.5%	2.6%	44.7%

⑪資格取得による収入面での変化

MA N=38

勤務先から祝い金や報奨金が出た	基本給がアップした	資格手当がついた	資格所持に伴う活動による副収入を得た	特に変化なし
-	15.8%	2.6%	10.5%	68.4%

【資格取得に対する自己評価】

⑫資格を取得したことについての総合的判断

SA N=67

非常に良かった、 メリット大	どちらかという プラス	コストや時間の割に メリット小	まだ判断できない
46.3%	38.8%	6.0%	9.0%

⑬資格を取得して最もよかったと思う点

SA N=57

専門能力や知識が向上	仕事の範囲が拡大	評価や処遇が上昇	収入が増加	人的ネットワーク	職業生活設計のひろがり	社会貢献ができること	将来への備え
28.1%	8.8%	-	17.5%	3.5%	8.8%	22.8%	7.0%

【他の資格との関係】

⑭他の資格も所持している人の割合

68.7%

N= 67

他の主な所持資格(4名以上)

行政書士、宅地建物取引主任者、簿記、普通自動車免許(二種)、社会保険労務士、ファイナンシャル・プランナー

⑮今後、新たな資格の取得を予定している人の割合

勉強中 7.5%

検討中 17.9%

N=67

【資格と仕事との関係】

⑯現在従事している職業(大分類で多い順トップ3)

SA N=64

専門的・技術的職業	事務的職業	管理的職業、その他の職業
84.4%	6.3%	4.7%

【資格取得とキャリア形成に関する特徴】

男性比率が高く、4人に3人が自営。取得時期は在職時が6割弱で最も多いが、4人に1人は仕事を辞めて学習に専念している。資格取得動機は「将来の独立のため」が4割弱で最多。資格の魅力・メリットとして約半数の人が「経験・知識を活かせる」をあげる。主な勉強方法としては「資格取得スクール」が多く、学校等の情報収集をした人が6割。在職時に資格取得した人では取得により「転職・独立」が4割、「副収入を得た」人が1割。総合的評価として「非常に良かった」が半数弱。

行政書士

表の数字は構成比(%)

回答者の属性 (116人)

性別	男性	83.6	女性	16.4						
年齢	20代	3.4	30代	12.1	40代	20.7	50代	34.5	60代以上	29.3
学歴	高校卒	5.2	短大・専修等卒	6.0	大学卒	73.3	大学院卒	8.6	その他	6.9
就業状態	雇用者	52.6	(正規比率	86.9)	自営	28.4	不就業	17.2	不明	1.7

【資格取得時の状況】

①資格を取った時期

SA N=116

在学中・卒業直後	働きながら	仕事を辞めて学習に専念	求職活動中
25.0%	58.6%	7.8%	1.7%

②資格取得動機 (回答の多い順にトップ5)

MA N=116

自分自身の勉強や自己啓発のため	自分の能力や可能性を試したかったから	将来の独立のため	仕事上、資格があるほうが有利だから	いずれ何かの役に立つかもしれないと思ったから
50.0%	30.2%	25.0%	19.8%	19.8%

③資格の魅力、メリット

MA N=116

将来性がある	社会的評価が高い	経験や知識を活かせる	適性や志向に合う	次の資格取得のステップになる	ライフスタイルに合った働き方に役立つ	社会や地域に貢献できる	取得が比較的容易
8.6%	8.6%	37.9%	29.3%	42.2%	15.5%	6.9%	46.6%

④学習を始める前の準備

MA N=116

学校や教育訓練機関の情報収集	資格が活かせる仕事や就職先の情報収集	資格取得者の体験談を聞いた	関連分野に詳しい人に相談	キャリアコンサルタントに相談	必要な費用を準備	特に準備せず
30.2%	8.6%	4.3%	1.7%	-	8.6%	52.6%

⑤資格取得に要した期間

SA N=116

3か月未満	3か月～6か月未満	6か月～1年未満	1年～2年未満	2年～3年未満	3年以上
25.9%	22.4%	26.7%	10.3%	6.0%	7.8%

⑥資格取得の主な勉強方法

SA N=116

学校	資格取得スクール	公的職業訓練	業界団体等の講習会	通信教育	勤務先の勉強会、OJT	自主的勉強会	自学自習
1.7%	9.5%	-	-	20.7%	0.9%	0.9%	62.9%

⑦利用した経済的支援

MA N=116

教育訓練給付金	無料・実費の公的職業訓練	学校、団体、公的機関等の奨学金	勤務先の補助や貸付制度	利用せず
-	-	-	-	96.6%

⑧資格取得に関して、課題となったこと、苦労したこと (回答の多い順にトップ3及び「特にない」)

MA N=116

仕事との両立	勉強や通学のための時間	資格が実際に役に立つかわからない	特にない
25.9%	20.7%	20.7%	43.1%

【在職中に資格を取得した人の状況】

⑨資格取得活動への職場の対応

SA N=68

積極的に応援	特別の対応なし	あまり歓迎されない 雰囲気	周囲に知られて いなかった	職場に知られない ようにしていた
-	36.8%	1.5%	27.9%	33.8%

⑩資格取得による働き方や処遇の変化

MA N=68

社内で昇進・昇格に結びついた	資格を活かせる部署・担当に異動	社内で担当分野が広がった	職場で表彰された	周囲からの評価が高まった	転職あるいは独立した	職場外のネットワークが広がった	特に変化なし
-	1.5%	-	1.5%	2.9%	10.3%	2.9%	82.4%

⑪資格取得による収入面での変化

MA N=68

勤務先から祝い金や報奨金が出た	基本給がアップした	資格手当がついた	資格所持に伴う活動による副収入を得た	特に変化なし
1.5%	1.5%	1.5%	-	95.6%

【資格取得に対する自己評価】

⑫資格を取得したことについての総合的判断

SA N=116

非常によかった、メリット大	どちらかというプラス	コストや時間の割にメリット小	まだ判断できない
17.2%	44.0%	17.2%	21.6%

⑬資格を取得して最もよかったと思う点

SA N=71

専門能力や知識が向上	仕事の範囲が拡大	評価や処遇が上昇	収入が増加	人的ネットワーク	職業生活設計のひろがり	社会貢献ができること	将来への備え
23.9%	18.3%	1.4%	2.8%	1.4%	7.0%	7.0%	26.8%

【他の資格との関係】

⑭他の資格も所持している人の割合

67.2%

N= 116

他の主な所持資格(5名以上)

宅地建物取引主任者、簿記、語学検定、普通自動車免許(二種)、ファイナンシャル・プランナー、基本情報技術者、衛生管理者、大型自動車免許

⑮今後、新たな資格の取得を予定している人の割合

勉強中 12.9%

検討中 21.6%

N=116

【資格と仕事との関係】

⑯現在従事している職業(大分類で多い順トップ3)

SA N=94

専門的・技術的職業	事務的職業	管理的職業
30.9%	29.8%	26.6%

【資格取得とキャリア形成に関する特徴】

男女比は約5:1。自営は3割弱。取得時期は6割弱が在職時、4人に1人が在学時。取得動機は「自分の勉強や自己啓発」が5割。「将来の独立のため」も4人に1人。資格の魅力・メリットとして「取得が比較的容易」「次の資格取得のステップ」が4割を超え、現職とは別に中長期的目標を持つ人が多いことがうかがえる。職場の応援は受けず、資格取得の活動を職場に知られないようにしていた人が3人に1人、取得後の働き方の変化も小さい。総合的には肯定的評価が多いが、判断が分かれている。

産業カウンセラー

表の数字は構成比(%)

回答者の属性 (49人)

性別	男性	57.1	女性	42.9						
年齢	20代	2.0	30代	20.4	40代	36.7	50代	28.6	60代以上	12.2
学歴	高校卒	8.2	短大・専修等卒	6.1	大学卒	75.5	大学院卒	6.1	その他・不明	4.1
就業状態	雇用者	77.6	(正規比率	71.1)	自営	12.2	不就業	10.2	その他	-

【資格取得時の状況】

①資格を取った時期

SA N=49

在学中・卒業直後	働きながら	仕事を辞めて学習に専念	求職活動中
-	87.8%	8.2%	2.0%

②資格取得動機(回答の多い順にトップ5)

MA N=49

自分自身の勉強や自己啓発のため	仕事の範囲を広げたいと思ったから	自分の能力や可能性を試したかったから	仕事上、資格があるほうが有利だから	それまでと違う仕事をしたいと思ったから
67.3%	42.9%	28.6%	24.5%	20.4%

③資格の魅力、メリット

MA N=49

将来性がある	社会的評価が高い	経験や知識を活かせる	適性や志向に合う	次の資格取得のステップになる	ライフスタイルに合った働き方に役立つ	社会や地域に貢献できる	取得が比較的容易
4.1%	10.2%	51.0%	65.3%	16.3%	20.4%	28.6%	10.2%

④学習を始める前の準備

MA N=49

学校や教育訓練機関の情報収集	資格が活かせる仕事や就職先の情報収集	資格取得者の体験談を聞いた	関連分野に詳しい人に相談	キャリアコンサルタントに相談	必要な費用を準備	特に準備せず
57.1%	12.2%	10.2%	8.2%	6.1%	26.5%	22.4%

⑤資格取得に要した期間

SA N=49

3か月未満	3か月～6か月未満	6か月～1年未満	1年～2年未満	2年～3年未満	3年以上
4.1%	4.1%	65.3%	20.4%	4.1%	2.0%

⑥資格取得の主な勉強方法

SA N=49

学校	資格取得スクール	公的職業訓練	業界団体等の講習会	通信教育	勤務先の勉強会、OJT	自主的勉強会	自学自習
6.1%	18.4%	-	53.1%	6.1%	-	-	14.3%

⑦利用した経済的支援

MA N=49

教育訓練給付金	無料・実費の公的職業訓練	学校、団体、公的機関等の奨学金	勤務先の補助や貸付制度	利用せず
-	-	-	6.1%	55.1%

⑧資格取得に関して、課題となったこと、苦勞したこと(回答の多い順にトップ3及び「特にない」)

MA N=49

仕事との両立	勉強や通学のための時間	費用の負担、実際に役立つか	特にない
51.0%	46.9%	20.4%	20.4%

【在職中に資格を取得した人の状況】

⑨資格取得活動への職場の対応

SA N=43

積極的に応援	特別な対応なし	あまり歓迎されない 雰囲気	周囲に知られて いなかった	職場に知られない ようにしていた
9.3%	39.5%	2.3%	27.9%	20.9%

⑩資格取得による働き方や処遇の変化

MA N=43

社内で昇進・昇格に結びついた	資格を活かせる部署・担当に異動	社内で担当分野が広がった	職場で表彰された	周囲からの評価が高まった	転職あるいは独立した	職場外のネットワークが広がった	特に変化なし
-	2.3%	16.3%	2.3%	11.6%	11.6%	14.0%	58.1%

⑪資格取得による収入面での変化

MA N=43

勤務先から祝い金や報奨金が出た	基本給がアップした	資格手当がついた	資格所持に伴う活動による副収入を得た	特に変化なし
2.3%	2.3%	2.3%	2.3%	95.3%

【資格取得に対する自己評価】

⑫資格を取得したことについての総合的判断

SA N=49

非常によかった、 メリット大	どちらかという プラス	コストや時間の割に メリット小	まだ判断できない
34.7%	36.7%	14.3%	14.3%

⑬資格を取得して最もよかったと思う点

SA N=35

専門能力や知識が向上	仕事の範囲が拡大	評価や処遇が上昇	収入が増加	人的ネットワーク	職業生活設計のひろがり	社会貢献ができること	将来への備え
31.4%	20.0%	-	-	17.1%	2.9%	20.0%	-

【他の資格との関係】

⑭他の資格も所持している人の割合

93.9%

N= 49

他の主な所持資格(5名以上)

キャリアコンサルタント、衛生管理者、簿記、社会保険労務士、基本情報技術者、語学検定、技能士（オフィス、サービス関連分野）、普通自動車免許（二種）、宅地建物取引主任者、ファイナンシャル・プランナー、秘書検定

⑮今後、新たな資格の取得を予定している人の割合

勉強中 34.7%

検討中 34.7%

N=49

【資格と仕事との関係】

⑯現在従事している職業（大分類で多い順トップ3）

SA N=44

専門的・技術的職業	管理的職業	事務的職業
31.8%	29.5%	27.3%

【資格取得とキャリア形成に関する特徴】

やや男性が多い。取得時期は9割弱が在職時。取得動機は3人に2人が「自分の勉強や自己啓発」、次いで「仕事の範囲を広げたい」が4割強。資格の魅力・メリットとして3人に2人が「適性や志向に合う」をあげる。主な勉強方法は半数強が「業界団体等の講習会」。課題は「仕事との両立」。資格取得により「職場外のネットワークが広がった」とする比率、新たな資格取得に向けて勉強中の人の割合が比較的高い。総合的評価としては「非常によかった」と「どちらかというプラス」それぞれ3分の1強。

キャリアコンサルタント

表の数字は構成比(%)

回答者の属性 (43人)

性別	男性	76.7	女性	23.3						
年齢	20代	2.3	30代	4.7	40代	25.6	50代	30.2	60代以上	37.2
学歴	高校卒	4.7	短大・専修等卒	7.0	大学卒	74.4	大学院卒	9.3	その他	4.7
就業状態	雇用者	69.8	(正規比率	40.0)	自営	18.6	不就業	11.6	その他	-

【資格取得時の状況】

①資格を取った時期

SA N=43

在学中・卒業直後	働きながら	仕事を辞めて学習に専念	求職活動中
-	79.1%	4.7%	14.0%

②資格取得動機 (回答の多い順にトップ5)

MA N=43

工作上、資格がある ほうが有利だから	自分自身の勉強や 自己啓発のため	仕事の範囲を広げたい と思ったから	資格が必要な職業に 就くため	それまでと違う仕事を したいと思ったから
34.9%	34.9%	27.9%	25.6%	23.3%

③資格の魅力、メリット

MA N=43

将来性がある	社会的評価が 高い	経験や知識を 活かせる	適性や志向に 合う	次の資格取得 のステップに なる	ライフスタイルに 合った働き方に 役立つ	社会や地域に 貢献できる	取得が比較的 容易
14.0%	7.0%	65.1%	37.2%	9.3%	27.9%	30.2%	14.0%

④学習を始める前の準備

MA N=43

学校や教育訓練 機関の情報収集	資格が活かせる 仕事や就職先の 情報収集	資格取得者の体 験談を聞いた	関連分野に詳 しい人に相談	キャリアコンサ ルタントに相談	必要な費用を 準備	特に準備せず
53.5%	14.0%	11.6%	11.6%	2.3%	18.6%	25.6%

⑤資格取得に要した期間

SA N=43

3か月未満	3か月～6か月未満	6か月～1年未満	1年～2年未満	2年～3年未満	3年以上
11.6%	37.2%	32.6%	11.6%	7.0%	-

⑥資格取得の主な勉強方法

SA N=43

学校	資格取得 スクール	公的職業訓練	業界団体等 の講習会	通信教育	勤務先の勉強 会、OJT	自主的勉強会	自学自習
4.7%	41.9%	7.0%	11.6%	18.6%	4.7%	-	11.6%

⑦利用した経済的支援

MA N=43

教育訓練給付金	無料・実費の 公的職業訓練	学校、団体、公的 機関等の奨学金	勤務先の補助 や貸付制度	利用せず
-	4.7%	2.3%	20.9%	46.5%

⑧資格取得に関して、課題となったこと、苦労したこと (回答の多い順にトップ3及び「特にない」)

MA N=43

仕事との両立	勉強や通学のための時間	資格が実際に役に立つか どうかわからない	特にない
34.9%	30.2%	23.3%	18.6%

【在職中に資格を取得した人の状況】

⑨資格取得活動への職場の対応

SA N=34

積極的に応援	特別な対応なし	あまり歓迎されない 雰囲気	周囲に知られて いなかった	職場に知られない ようにしていた
23.5%	38.2%	-	23.5%	14.7%

⑩資格取得による働き方や処遇の変化

MA N=34

社内で昇進・昇格に結びついた	資格を活かせる部署・担当に異動	社内で担当分野が広がった	職場で表彰された	周囲からの評価が高まった	転職あるいは独立した	職場外のネットワークが広がった	特に変化なし
-	2.9%	14.7%	-	14.7%	2.9%	38.2%	44.1%

⑪資格取得による収入面での変化

MA N=34

勤務先から祝い金や報奨金が出た	基本給がアップした	資格手当がついた	資格所持に伴う活動による副収入を得た	特に変化なし
-	-	-	5.9%	94.1%

【資格取得に対する自己評価】

⑫資格を取得したことについての総合的判断

SA N=43

非常によかった、 メリット大	どちらかという プラス	コストや時間の割に メリット小	まだ判断できない
27.9%	51.2%	14.0%	7.0%

⑬資格を取得して最もよかったと思う点

SA N=34

専門能力や知識が向上	仕事の範囲が拡大	評価や処遇が上昇	収入が増加	人的ネットワーク	職業生活設計のひろがり	社会貢献ができること	将来への備え
32.4%	23.5%	2.9%	-	20.6%	-	11.8%	2.9%

【他の資格との関係】

⑭他の資格も所持している人の割合

65.1%

N= 43

他の主な所持資格(3名以上)

簿記、語学検定、衛生管理者、普通自動車免許(二種)、ファイナンシャル・プランナー、技能士(オフィス、サービス関連)、IT企業の能力認定、秘書検定

⑮今後、新たな資格の取得を予定している人の割合

勉強中 16.3%

検討中 20.9%

N=43

【資格と仕事との関係】

⑯現在従事している職業(大分類で多い順トップ3)

SA N=38

専門的・技術的職業	事務的職業	管理的職業
34.2%	26.3%	21.1%

【資格取得とキャリア形成に関する特徴】

男女比は約3:1。本調査では高年齢層が多い。雇用者の正規比率は低い。資格取得時期は在職時が約8割。資格取得動機は3人に1人が「仕事上有利」「自分の勉強や自己啓発」をあげる。資格の魅力・メリットは3人に2人が「経験や知識を活かせる」で突出している。主な勉強方法は「資格取得スクール」が約4割。資格取得による変化としては4割弱の人が「職場外のネットワークが広がった」をあげている。社内の処遇や収入面での変化は小さい。総合評価としては「どちらかというプラス」が半数強。

通関士

表の数字は構成比(%)

回答者の属性 (53人)

性別	男性	66.0	女性	34.0						
年齢	20代	1.9	30代	15.1	40代	49.1	50代	20.8	60代以上	13.2
学歴	高校卒	11.3	短大・専修等卒	15.1	大学卒	66.0	大学院卒	-	その他・不明	7.5
就業状態	雇用者	71.7	(正規比率	81.6)	自営	11.3	不就業	17.0	その他	-

【資格取得時の状況】

①資格を取った時期

SA N=53

在学中・卒業直後	働きながら	仕事を辞めて学習に専念	求職活動中
7.5%	79.2%	5.7%	7.5%

②資格取得動機(回答の多い順にトップ5)

MA N=53

工作上、資格がある ほうが有利だから	自分自身の勉強や 自己啓発のため	仕事の範囲を広げたい と思ったから	資格が必要な職業に 就くため	より高度な仕事をし たいと思ったから
47.2%	34.0%	28.3%	24.5%	24.5%

③資格の魅力、メリット

MA N=53

将来性がある	社会的評価が 高い	経験や知識を 活かせる	適性や志向に 合う	次の資格取得 のステップに なる	ライフスタイルに 合った働き方に 役立つ	社会や地域に 貢献できる	取得が比較的 容易
17.0%	20.8%	47.2%	24.5%	9.4%	5.7%	3.8%	9.4%

④学習を始める前の準備

MA N=53

学校や教育訓練 機関の情報収集	資格が活かせる 仕事や就職先の 情報収集	資格取得者の体 験談を聞いた	関連分野に詳 しい人に相談	キャリアコンサル タントに相談	必要な費用を 準備	特に準備せず
45.3%	15.1%	13.2%	3.8%	-	13.2%	24.5%

⑤資格取得に要した期間

SA N=53

3か月未満	3か月～6か月未満	6か月～1年未満	1年～2年未満	2年～3年未満	3年以上
5.7%	26.4%	24.5%	24.5%	15.1%	3.8%

⑥資格取得の主な勉強方法

SA N=53

学校	資格取得 スクール	公的職業訓練	業界団体等 の講習会	通信教育	勤務先の勉強 会、OJT	自主的勉強会	自学自習
3.8%	15.1%	1.9%	1.9%	20.8%	9.4%	-	45.3%

⑦利用した経済的支援

MA N=53

教育訓練給付金	無料・実費の 公的職業訓練	学校、団体、公的 機関等の奨学金	勤務先の補助 や貸付制度	利用せず
-	9.4%	-	7.5%	71.7%

⑧資格取得に関して、課題となったこと、苦労したこと(回答の多い順にトップ3及び「特にない」)

MA N=53

仕事との両立	勉強や通学のための時間	学習内容や学習の進め方が よくわからない	特にない
60.4%	34.0%	18.9%	13.2%

【在職中に資格を取得した人の状況】

⑨資格取得活動への職場の対応

SA N=42

積極的に応援	特別の対応なし	あまり歓迎されない 雰囲気	周囲に知られて いなかった	職場に知られない ようにしていた
21.4%	35.7%	4.8%	14.3%	21.4%

⑩資格取得による働き方や処遇の変化

MA N=42

社内で昇進・昇格に結びついた	資格を活かせる部署・担当に異動	社内で担当分野が広がった	職場で表彰された	周囲からの評価が高まった	転職あるいは独立した	職場外のネットワークが広がった	特に変化なし
14.3%	11.9%	14.3%	9.5%	31.0%	2.4%	4.8%	47.6%

⑪資格取得による収入面での変化

MA N=42

勤務先から祝い金や報奨金が出た	基本給がアップした	資格手当がついた	資格所持に伴う活動による副収入を得た	特に変化なし
9.5%	7.1%	26.2%	2.4%	59.5%

【資格取得に対する自己評価】

⑫資格を取得したことについての総合的判断

SA N=53

非常によかった、 メリット大	どちらかという プラス	コストや時間の割に メリット小	まだ判断できない
28.3%	49.1%	11.3%	11.3%

⑬資格を取得して最もよかったと思う点

SA N=41

専門能力や知識が向上	仕事の範囲が拡大	評価や処遇が上昇	収入が増加	人的ネットワーク	職業生活設計のひろがり	社会貢献ができること	将来への備え
24.4%	17.1%	14.6%	14.6%	4.9%	4.9%	2.4%	7.3%

【他の資格との関係】

⑭他の資格も所持している人の割合

81.1%

N= 53

他の主な所持資格(4名以上)

簿記、語学検定、普通自動車免許(二種)、衛生管理者、危険物取扱者、宅地建物取引主任者、旅行業務取扱管理者、フォークリフト技能者、大型自動車免許、日商P C検定、社会保険労務士

⑮今後、新たな資格の取得を予定している人の割合

勉強中 13.2%

検討中 32.1%

N=53

【資格と仕事との関係】

⑯現在従事している職業(大分類で多い順トップ3)

SA N=44

事務的職業	管理的職業	専門的・技術的職業
40.9%	25.0%	13.6%

【資格取得とキャリア形成に関する特徴】

男女比は約2:1。雇用者の正規比率が高い。資格取得時期は在職時が8割。資格取得動機は「仕事上有利」が5割弱、次いで「自分の勉強や自己啓発」。資格の魅力・メリットは「経験や知識を活かせる」が5割弱。取得時の課題として、6割の人が「仕事との両立」をあげている。資格取得の活動を「職場に知られないようにしていた」人が2割を超えるが、取得後は「評価が高まった」、「資格手当がついた」など処遇に一定の反映がみられる。総合評価は「どちらかというプラス」が約半数。

販売士

表の数字は構成比(%)

回答者の属性 (90人)

性別	男性	70.0	女性	30.0						
年齢	20代	2.2	30代	22.2	40代	37.8	50代	25.6	60代以上	12.2
学歴	高校卒	18.9	短大・専修等卒	12.2	大学卒	56.7	大学院卒	2.2	その他	10.0
就業状態	雇用者	76.7	(正規比率	83.8)	自営	4.4	不就業	15.6	その他	3.3

【資格取得時の状況】

①資格を取った時期

SA N=90

在学中・卒業直後	働きながら	仕事を辞めて学習に専念	求職活動中
18.9%	71.1%	1.1%	6.7%

②資格取得動機(回答の多い順にトップ5)

MA N=90

自分自身の勉強や自己啓発のため	仕事上、資格があるほうが有利だから	勤め先からの要請や勧奨があったから	いずれ何かの役に立つかもしれないと思ったから	仕事の範囲を広げたいと思ったから
36.7%	34.4%	24.4%	23.3%	18.9%

③資格の魅力、メリット

MA N=90

将来性がある	社会的評価が高い	経験や知識を活かせる	適性や志向に合う	次の資格取得のステップになる	ライフスタイルに合った働き方に役立つ	社会や地域に貢献できる	取得が比較的容易
5.6%	11.1%	43.3%	21.1%	20.0%	7.8%	1.1%	27.8%

④学習を始める前の準備

MA N=90

学校や教育訓練機関の情報収集	資格を活かせる仕事や就職先の情報収集	資格取得者の体験談を聞いた	関連分野に詳しい人に相談	キャリアコンサルタントに相談	必要な費用を準備	特に準備せず
27.8%	5.6%	7.8%	3.3%	1.1%	15.6%	52.2%

⑤資格取得に要した期間

SA N=90

3か月未満	3か月～6か月未満	6か月～1年未満	1年～2年未満	2年～3年未満	3年以上
44.4%	34.4%	18.9%	1.1%	-	-

⑥資格取得の主な勉強方法

SA N=90

学校	資格取得スクール	公的職業訓練	業界団体等の講習会	通信教育	勤務先の勉強会、OJT	自主的勉強会	自学自習
10.0%	1.1%	10.0%	6.7%	22.2%	6.7%	3.3%	37.8%

⑦利用した経済的支援

MA N=90

教育訓練給付金	無料・実費の公的職業訓練	学校、団体、公的機関等の奨学金	勤務先の補助や貸付制度	利用せず
-	8.9%	3.3%	26.7%	58.9%

⑧資格取得に関して、課題となったこと、苦労したこと(回答の多い順にトップ3及び「特にない」)

MA N=90

仕事との両立	勉強や通学のための時間	資格が実際に役に立つかわからない	特にない
18.9%	14.4%	10.0%	54.4%

【在職中に資格を取得した人の状況】

⑨資格取得活動への職場の対応

SA N=64

積極的に応援	特別な対応なし	あまり歓迎されない 雰囲気	周囲に知られて いなかった	職場に知られない ようにしていた
12.5%	53.1%	-	20.3%	10.9%

⑩資格取得による働き方や処遇の変化

MA N=64

社内で昇進・昇格に結びついた	資格を活かせる部署・担当に異動	社内で担当分野が広がった	職場で表彰された	周囲からの評価が高まった	転職あるいは独立した	職場外のネットワークが広がった	特に変化なし
10.9%	4.7%	7.8%	9.4%	10.9%	-	1.6%	68.8%

⑪資格取得による収入面での変化

MA N=64

勤務先から祝い金や報奨金が出た	基本給がアップした	資格手当がついた	資格所持に伴う活動による副収入を得た	特に変化なし
7.8%	6.3%	6.3%	1.6%	82.8%

【資格取得に対する自己評価】

⑫資格を取得したことについての総合的判断

SA N=90

非常によかった、 メリット大	どちらかという プラス	コストや時間の割に メリット小	まだ判断できない
5.6%	46.7%	25.6%	22.2%

⑬資格を取得して最もよかったと思う点

SA N=47

専門能力や知識が向上	仕事の範囲が拡大	評価や処遇が上昇	収入が増加	人的ネットワーク	職業生活設計のひろがり	社会貢献ができること	将来への備え
66.0%	10.6%	6.4%	2.1%	2.1%	4.3%	-	4.3%

【他の資格との関係】

⑭他の資格も所持している人の割合

65.6%

N=90

他の主な所持資格(4名以上)

簿記、衛生管理者、普通自動車免許(二種)、語学検定、危険物取扱者、宅地建物取引主任者

⑮今後、新たな資格の取得を予定している人の割合

勉強中 21.1%

検討中 22.2%

N=90

【資格と仕事との関係】

⑯現在従事している職業(大分類で多い順トップ3)

SA N=76

販売・営業の職業	事務的職業	管理的職業
36.8%	28.9%	21.1%

【資格取得とキャリア形成に関する特徴】

男性が7割。雇用者比率、正規比率が高い。資格取得時期は在職時が7割。資格取得動機は3人に1人が「自分の勉強や自己啓発」「仕事上有利」、4人に1人が「勤め先の要請や勧奨」をあげている。資格の魅力・メリットは「経験や知識を活かせる」が4割強。勤務先の要請に応じて取得した人も一定いるが、職場の応援を受けたという人は少なく、処遇等への反映もあまり目立つものがない。総合的判断としては「どちらかというプラス」が半数弱であるが、「非常によかった」は少ない。

消費生活アドバイザー

表の数字は構成比(%)

回答者の属性 (43人)

性別	男性	34.9	女性	65.1						
年齢	20代	-	30代	14.0	40代	20.9	50代	39.5	60代以上	25.6
学歴	高校卒	14.0	短大・専修等卒	9.3	大学卒	72.1	大学院卒	4.7	その他	-
就業状態	雇用者	69.8	(正規比率	53.3)	自営	9.3	不就業	16.3	その他	4.7

【資格取得時の状況】

①資格を取った時期

SA N=43

在学中・卒業直後	働きながら	仕事を辞めて学習に専念	求職活動中
4.7%	69.8%	9.3%	7.0%

②資格取得動機 (回答の多い順にトップ5)

MA N=43

自分自身の勉強や自己啓発のため	いずれ何かの役に立つかもしれないと思ったから	仕事の範囲を広げたいと思ったから	自分の能力や可能性を試したかったから	仕事上有利、違う仕事をしたい
65.1%	32.6%	30.2%	27.9%	23.3%

③資格の魅力、メリット

MA N=43

将来性がある	社会的評価が高い	経験や知識を活かせる	適性や志向に合う	次の資格取得のステップになる	ライフスタイルに合った働き方に役立つ	社会や地域に貢献できる	取得が比較的容易
7.0%	23.3%	60.5%	34.9%	16.3%	11.6%	32.6%	7.0%

④学習を始める前の準備

MA N=43

学校や教育訓練機関の情報収集	資格が活かせる仕事や就職先の情報収集	資格取得者の体験談を聞いた	関連分野に詳しい人に相談	キャリアコンサルタントに相談	必要な費用を準備	特に準備せず
58.1%	18.6%	20.9%	4.7%	-	16.3%	23.3%

⑤資格取得に要した期間

SA N=43

3か月未満	3か月～6か月未満	6か月～1年未満	1年～2年未満	2年～3年未満	3年以上
14.0%	18.6%	34.9%	20.9%	4.7%	7.0%

⑥資格取得の主な勉強方法

SA N=43

学校	資格取得スクール	公的職業訓練	業界団体等の講習会	通信教育	勤務先の勉強会、OJT	自主的勉強会	自学自習
2.3%	2.3%	-	4.7%	55.8%	11.6%	-	23.3%

⑦利用した経済的支援

MA N=43

教育訓練給付金	無料・実費の公的職業訓練	学校、団体、公的機関等の奨学金	勤務先の補助や貸付制度	利用せず
-	-	-	20.9%	67.4%

⑧資格取得に関して、課題となったこと、苦勞したこと (回答の多い順にトップ3及び「特にない」)

MA N=43

勉強や通学のための時間	仕事との両立	家事、育児など家庭との両立	特にない
30.2%	25.6%	18.6%	25.6%

【在職中に資格を取得した人の状況】

⑨資格取得活動への職場の対応

SA N=30

積極的に応援	特別の対応なし	あまり歓迎されない 雰囲気	周囲に知られて いなかった	職場に知られない ようにしていた
33.3%	36.7%	-	20.0%	10.0%

⑩資格取得による働き方や処遇の変化

MA N=30

社内で昇進・昇格に結びついた	資格を活かせる部署・担当に異動	社内で担当分野が広がった	職場で表彰された	周囲からの評価が高まった	転職あるいは独立した	職場外のネットワークが広がった	特に変化なし
-	3.3%	13.3%	16.7%	26.7%	6.7%	10.0%	53.3%

⑪資格取得による収入面での変化

MA N=30

勤務先から祝い金や報奨金が出た	基本給がアップした	資格手当がついた	資格所持に伴う活動による副収入を得た	特に変化なし
10.0%	-	-	6.7%	83.3%

【資格取得に対する自己評価】

⑫資格を取得したことについての総合的判断

SA N=43

非常によかった、 メリット大	どちらかという プラス	コストや時間の割に メリット小	まだ判断できない
46.5%	39.5%	4.7%	9.3%

⑬資格を取得して最もよかったと思う点

SA N=37

専門能力や知識が向上	仕事の範囲が拡大	評価や処遇が上昇	収入が増加	人的ネットワーク	職業生活設計のひろがり	社会貢献ができること	将来への備え
45.9%	13.5%	8.1%	-	10.8%	2.7%	10.8%	2.7%

【他の資格との関係】

⑭他の資格も所持している人の割合

79.1%

N= 43

他の主な所持資格(4名以上)

簿記、語学検定、普通自動車免許(二種)、ファイナンシャル・プランナー、食品衛生管理者、宅地建物取引主任者、行政書士、販売士、秘書検定

⑮今後、新たな資格の取得を予定している人の割合

勉強中 23.3%

検討中 34.9%

N=43

【資格と仕事との関係】

⑯現在従事している職業(大分類で多い順トップ3)

SA N=36

事務的職業	専門的・技術的職業	管理的職業、サービスの職業
33.3%	25.0%	11.1%

【資格取得とキャリア形成に関する特徴】

女性比率がやや高い。資格取得時期は在職時が約7割。取得動機は3人に2人が「自分の勉強や自己啓発」、次いで「いずれ役に立つかも」といった中長期的な目的の人が多く、資格の魅力・メリットとしては「経験や知識を活かせる」を6割の人があげる。主な勉強方法として、半数強の人が「通信教育」を利用している。職場から応援を受けた人が比較的多く、「評価が高まった」「表彰された」など職場から一定の評価を受けている。総合的判断として「非常によかった」が半数弱。

秘書検定

表の数字は構成比(%)

回答者の属性 (95人)

性別	男性	-	女性	100.0						
年齢	20代	6.3	30代	31.6	40代	50.5	50代	11.6	60代以上	-
学歴	高校卒	8.4	短大・専修等卒	52.6	大学卒	36.8	大学院卒	1.1	その他	1.1
就業状態	雇用者	50.5	(正規比率	35.4)	自営	3.2	不就業	44.2	その他	2.1

【資格取得時の状況】

①資格を取った時期

SA N=95

在学中・卒業直後	働きながら	仕事を辞めて学習に専念	求職活動中
71.6%	26.3%	1.1%	1.1%

②資格取得動機 (回答の多い順にトップ5)

MA N=95

就職活動に役立てるため	自分自身の勉強や自己啓発のため	仕事上、資格があるほうが有利だから	自分の能力や可能性を試したかったから	いずれ何かの役に立つかもしれないと思ったから
46.3%	40.0%	29.5%	18.9%	18.9%

③資格の魅力、メリット

MA N=95

将来性がある	社会的評価が高い	経験や知識を活かせる	適性や志向に合う	次の資格取得のステップになる	ライフスタイルに合った働き方に役立つ	社会や地域に貢献できる	取得が比較的容易
5.3%	10.5%	38.9%	50.5%	10.5%	7.4%	2.1%	28.4%

④学習を始める前の準備

MA N=95

学校や教育訓練機関の情報収集	資格が活かせる仕事や就職先の情報収集	資格取得者の体験談を聞いた	関連分野に詳しい人に相談	キャリアコンサルタントに相談	必要な費用を準備	特に準備せず
17.9%	4.2%	2.1%	1.1%	-	11.6%	62.1%

⑤資格取得に要した期間

SA N=95

3か月未満	3か月～6か月未満	6か月～1年未満	1年～2年未満	2年～3年未満	3年以上
54.7%	29.5%	10.5%	4.2%	-	-

⑥資格取得の主な勉強方法

SA N=95

学校	資格取得スクール	公的職業訓練	業界団体等の講習会	通信教育	勤務先の勉強会、OJT	自主的勉強会	自学自習
23.2%	2.1%	-	-	2.1%	1.1%	-	71.6%

⑦利用した経済的支援

MA N=95

教育訓練給付金	無料・実費の公的職業訓練	学校、団体、公的機関等の奨学金	勤務先の補助や貸付制度	利用せず
-	-	1.1%	2.1%	96.8%

⑧資格取得に関して、課題となったこと、苦労したこと (回答の多い順にトップ3及び「特にない」)

MA N=95

仕事との両立	学費、教材費など費用の負担	資格が実際に役に立つかわからない	特にない
6.3%	5.3%	5.3%	77.9%

【在職中に資格を取得した人の状況】

⑨資格取得活動への職場の対応

SA N=25

積極的に応援	特別の対応なし	あまり歓迎されない 雰囲気	周囲に知られて いなかった	職場に知られない ようにしていた
16.0%	20.0%	-	40.0%	16.0%

⑩資格取得による働き方や処遇の変化

MA N=25

社内で昇進・昇格に結びついた	資格を活かせる部署・担当に異動	社内で担当分野が広がった	職場で表彰された	周囲からの評価が高まった	転職あるいは独立した	職場外のネットワークが広がった	特に変化なし
4.0%	4.0%	16.0%	-	8.0%	-	-	72.0%

⑪資格取得による収入面での変化

MA N=25

勤務先から祝い金や報奨金が出た	基本給がアップした	資格手当がついた	資格所持に伴う活動による副収入を得た	特に変化なし
4.0%	4.0%	4.0%	-	88.0%

【資格取得に対する自己評価】

⑫資格を取得したことについての総合的判断

SA N=95

非常によかった、メリット大	どちらかというプラス	コストや時間の割にメリット小	まだ判断できない
8.4%	57.9%	20.0%	13.7%

⑬資格を取得して最もよかったと思う点

SA N=63

専門能力や知識が向上	仕事の範囲が拡大	評価や処遇が上昇	収入が増加	人的ネットワーク	職業生活設計のひろがり	社会貢献ができること	将来への備え
41.3%	11.1%	20.6%	-	-	1.6%	6.3%	11.1%

【他の資格との関係】

⑭他の資格も所持している人の割合

6.3%

N= 95

他の主な所持資格

(他の資格と併せて所持している人は、ほとんどが他区分で回答している)

⑮今後、新たな資格の取得を予定している人の割合

勉強中 4.2%

検討中 25.3%

N=95

【資格と仕事との関係】

⑯現在従事している職業（大分類で多い順トップ3）

SA N=53

事務的職業	サービスの職業	専門的・技術的職業
62.3%	13.2%	11.3%

【資格取得とキャリア形成に関する特徴】

本調査の回答者では女性が100%。不就業が多く、正規雇用比率が低い。現職は6割強が事務的職業に従事。資格取得時期は7割が在学時。取得動機のトップは「就職活動に役立てるため」であり、在学中に就職活動を意識して取得する人が多いことがうかがえる。資格取得時の課題や苦労したことが「特になし」という割合が高い。在職時に取得した人では職場の応援を特に受けていない人が多く、処遇等の変化も小さい。総合評価は「どちらかというプラス」が6割弱。

医療事務

表の数字は構成比(%)

回答者の属性 (96人)

性別	男性	4.2	女性	95.8						
年齢	20代	4.2	30代	36.5	40代	31.3	50代	20.8	60代以上	7.3
学歴	高校卒	35.4	短大・専修等卒	32.3	大学卒	30.2	大学院卒	1.0	その他	1.0
就業状態	雇用者	54.2	(正規比率	25.0)	自営	1.0	不就業	42.7	その他・不明	2.1

【資格取得時の状況】

①資格を取った時期

SA N=96

在学中・卒業直後	働きながら	仕事を辞めて学習に専念	求職活動中
12.5%	25.0%	24.0%	26.0%

②資格取得動機(回答の多い順にトップ5)

MA N=96

工作上、資格がある ほうが有利だから	就職活動に役立てる ため	安定した職業に 就くため	自分自身の勉強や 自己啓発のため	資格が必要な職業に 就くため
39.6%	39.6%	27.1%	27.1%	24.0%

③資格の魅力、メリット

MA N=96

将来性がある	社会的評価が 高い	経験や知識を 活かせる	適性や志向に 合う	次の資格取得 のステップに なる	ライフスタイルに 合った働き方に 役立つ	社会や地域に 貢献できる	取得が比較的 容易
25.0%	6.3%	18.8%	36.5%	8.3%	31.3%	6.3%	28.1%

④学習を始める前の準備

MA N=96

学校や教育訓練 機関の情報収集	資格が活かせる 仕事や就職先の 情報収集	資格取得者の体 験談を聞いた	関連分野に詳 しい人に相談	キャリアコンサ ルタントに相談	必要な費用を 準備	特に準備せず
55.2%	14.6%	6.3%	2.1%	-	25.0%	27.1%

⑤資格取得に要した期間

SA N=96

3か月未満	3か月～6か月未満	6か月～1年未満	1年～2年未満	2年～3年未満	3年以上
18.8%	44.8%	26.0%	9.4%	1.0%	-

⑥資格取得の主な勉強方法

SA N=96

学校	資格取得 スクール	公的職業訓練	業界団体等 の講習会	通信教育	勤務先の勉強 会、OJT	自主的勉強会	自学自習
11.5%	47.9%	3.1%	3.1%	25.0%	-	-	9.4%

⑦利用した経済的支援

MA N=96

教育訓練給付金	無料・実費の 公的職業訓練	学校、団体、公的 機関等の奨学金	勤務先の補助 や貸付制度	利用せず
-	4.2%	1.0%	2.1%	77.1%

⑧資格取得に関して、課題となったこと、苦労したこと(回答の多い順にトップ3及び「特にない」)

MA N=96

資格が実際に役に立つか どうかわからない	家事、育児など家庭 との両立	学費、教材費など費用 の負担	特にない
25.0%	24.0%	17.7%	37.5%

【在職中に資格を取得した人の状況】

⑨資格取得活動への職場の対応

SA N=24

積極的に応援	特別の対応なし	あまり歓迎されない 雰囲気	周囲に知られて いなかった	職場に知られない ようにしていた
12.5%	20.8%	-	25.0%	37.5%

⑩資格取得による働き方や処遇の変化

MA N=24

社内で昇進・昇格に結びついた	資格を活かせる部署・担当に異動	社内で担当分野が広がった	職場で表彰された	周囲からの評価が高まった	転職あるいは独立した	職場外のネットワークが広がった	特に変化なし
-	4.2%	8.3%	-	8.3%	25.0%	4.2%	62.5%

⑪資格取得による収入面での変化

MA N=24

勤務先から祝い金や報奨金が出た	基本給がアップした	資格手当がついた	資格所持に伴う活動による副収入を得た	特に変化なし
4.2%	8.3%	8.3%	-	75.0%

【資格取得に対する自己評価】

⑫資格を取得したことについての総合的判断

SA N=96

非常によかった、 メリット大	どちらかという プラス	コストや時間の割に メリット小	まだ判断できない
14.6%	45.8%	29.2%	10.4%

⑬資格を取得して最もよかったと思う点

SA N=58

専門能力や知識が向上	仕事の範囲が拡大	評価や処遇が上昇	収入が増加	人的ネットワーク	職業生活設計のひろがり	社会貢献ができること	将来への備え
39.7%	29.3%	3.4%	3.4%	3.4%	1.7%	15.5%	3.4%

【他の資格との関係】

⑭他の資格も所持している人の割合

35.4%

N=96

他の主な所持資格(10名以上)

簿記、秘書検定

⑮今後、新たな資格の取得を予定している人の割合

勉強中 6.3%

検討中 20.8%

N=96

【資格と仕事との関係】

⑯現在従事している職業(大分類で多い順トップ3)

SA N=54

事務的職業	サービスの職業	専門的・技術的職業
63.0%	16.7%	9.3%

【資格取得とキャリア形成に関する特徴】

ほとんどが女性。不就業が多く、正規雇用比率が低い。現職は6割強が事務的職業。取得時期は、「求職活動中」「在職時」、「仕事を辞めて学習に専念」がほぼ同程度となっている。取得動機としても「仕事上有利」と「就職活動に役立てるため」が並ぶ。主な勉強方法は5割近くが「資格取得スクール」。最も多くあがった課題は「資格が実際に役立つかどうかわからない」。在職時に取得した人は、4人に1人が転職している。総合評価は「どちらかというプラス」が多いが、3割は「メリット小」との評価。

語学検定(英検・TOEIC・TOEFL など)

表の数字は構成比(%)

回答者の属性 (103人)

性別	男性	37.9	女性	62.1						
年齢	20代	4.9	30代	24.3	40代	32.0	50代	22.3	60代以上	16.5
学歴	高校卒	5.8	短大・専修等卒	16.5	大学卒	68.9	大学院卒	3.9	その他	4.9
就業状態	雇用者	51.5	(正規比率	62.3)	自営	9.7	不就業	38.8	その他	-

【資格取得時の状況】

①資格を取った時期

SA N=103

在学中・卒業直後	働きながら	仕事を辞めて学習に専念	求職活動中
48.5%	41.7%	-	1.9%

②資格取得動機(回答の多い順にトップ5)

MA N=103

自分自身の勉強や自己啓発のため	自分の能力や可能性を試したかったから	就職活動に役立てるため	いずれ何かの役に立つかもしれないと思ったから	仕事上、資格があるほうが有利だから
50.5%	32.0%	14.6%	13.6%	12.6%

③資格の魅力、メリット

MA N=103

将来性がある	社会的評価が高い	経験や知識を活かせる	適性や志向に合う	次の資格取得のステップになる	ライフスタイルに合った働き方に役立つ	社会や地域に貢献できる	取得が比較的容易
12.6%	24.3%	32.0%	31.1%	11.7%	8.7%	1.0%	21.4%

④学習を始める前の準備

MA N=103

学校や教育訓練機関の情報収集	資格が活かせる仕事や就職先の情報収集	資格取得者の体験談を聞いた	関連分野に詳しい人に相談	キャリアコンサルタントに相談	必要な費用を準備	特に準備せず
11.7%	1.0%	2.9%	-	-	8.7%	71.8%

⑤資格取得に要した期間

SA N=103

3か月未満	3か月～6か月未満	6か月～1年未満	1年～2年未満	2年～3年未満	3年以上
43.7%	23.3%	10.7%	9.7%	-	12.6%

⑥資格取得の主な勉強方法

SA N=103

学校	資格取得スクール	公的職業訓練	業界団体等の講習会	通信教育	勤務先の勉強会、OJT	自主的勉強会	自学自習
16.5%	-	-	-	3.9%	1.9%	1.0%	70.9%

⑦利用した経済的支援

MA N=103

教育訓練給付金	無料・実費の公的職業訓練	学校、団体、公的機関等の奨学金	勤務先の補助や貸付制度	利用せず
-	-	1.0%	9.7%	85.4%

⑧資格取得に関して、課題となったこと、苦勞したこと(回答の多い順にトップ3及び「特にない」)

MA N=103

勉強や通学のための時間	仕事との両立	家庭との両立、学習の進め方、実際に役立つか	特にない
17.5%	12.6%	8.7%	57.3%

【在職中に資格を取得した人の状況】

⑨資格取得活動への職場の対応

SA N=43

積極的に応援	特別の対応なし	あまり歓迎されない 雰囲気	周囲に知られて いなかった	職場に知られない ようにしていた
7.0%	48.8%	4.7%	20.9%	11.6%

⑩資格取得による働き方や処遇の変化

MA N=43

社内で昇進・昇格に結びついた	資格を活かせる部署・担当に異動	社内で担当分野が広がった	職場で表彰された	周囲からの評価が高まった	転職あるいは独立した	職場外のネットワークが広がった	特に変化なし
-	2.3%	7.0%	2.3%	9.3%	4.7%	4.7%	72.1%

⑪資格取得による収入面での変化

MA N=43

勤務先から祝い金や報奨金が出た	基本給がアップした	資格手当がついた	資格所持に伴う活動による副収入を得た	特に変化なし
2.3%	-	-	2.3%	93.0%

【資格取得に対する自己評価】

⑫資格を取得したことについての総合的判断

SA N=103

非常によかった、 メリット大	どちらかという プラス	コストや時間の割に メリット小	まだ判断できない
16.5%	61.2%	5.8%	16.5%

⑬資格を取得して最もよかったと思う点

SA N=80

専門能力や知識が向上	仕事の範囲が拡大	評価や処遇が上昇	収入が増加	人的ネットワーク	職業生活設計のひろがり	社会貢献ができること	将来への備え
30.0%	23.8%	10.0%	-	2.5%	5.0%	1.3%	12.5%

【他の資格との関係】

⑭他の資格も所持している人の割合

9.7%

N= 103

他の主な所持資格

(他の資格と併せて所持している人のほとんどは、他区分で回答している)

⑮今後、新たな資格の取得を予定している人の割合

勉強中 13.6%

検討中 24.3%

N=103

【資格と仕事との関係】

⑯現在従事している職業（大分類で多い順トップ3）

SA N=63

事務的職業	専門的・技術的職業	販売・営業の職業
36.5%	25.4%	14.3%

【資格取得とキャリア形成に関する特徴】

やや女性が多い。資格取得時期は在学中が 5 割弱、在職時が 4 割強。取得動機は半数が「自分の勉強や自己啓発」、3 割が「自分の能力や可能性を試したい」であり、主に自己啓発の目標として取り組んでいることがうかがえる。主な勉強方法は「自学自習」が 7 割。職場からも特に応援を受けていないことが多く、取得による処遇等の変化もあまりみられない。総合評価は「どちらかというプラス」が 6 割強。

通訳案内士

表の数字は構成比(%)

回答者の属性 (48人)

性別	男性	52.1	女性	47.9						
年齢	20代	-	30代	4.2	40代	29.2	50代	33.3	60代以上	33.3
学歴	高校卒	-	短大・専修等卒	2.1	大学卒	70.8	大学院卒	20.8	その他	6.3
就業状態	雇用者	33.3	(正規比率	75.0)	自営	45.8	不就業	16.7	その他	4.2

【資格取得時の状況】

①資格を取った時期

SA N=48

在学中・卒業直後	働きながら	仕事を辞めて学習に専念	求職活動中
18.8%	62.5%	4.2%	4.2%

②資格取得動機(回答の多い順にトップ5)

MA N=48

自分自身の勉強や自己啓発のため	自分の能力や可能性を試したかったから	仕事上、資格があるほうが有利だから	資格が必要な職業に就くため	老後の職業・収入確保に役立つと思ったから
50.0%	41.7%	31.3%	22.9%	22.9%

③資格の魅力、メリット

MA N=48

将来性がある	社会的評価が高い	経験や知識を活かせる	適性や志向に合う	次の資格取得のステップになる	ライフスタイルに合った働き方に役立つ	社会や地域に貢献できる	取得が比較的容易
12.5%	22.9%	70.8%	47.9%	6.3%	20.8%	20.8%	6.3%

④学習を始める前の準備

MA N=48

学校や教育訓練機関の情報収集	資格を活かせる仕事や就職先の情報収集	資格取得者の体験談を聞いた	関連分野に詳しい人に相談	キャリアコンサルタントに相談	必要な費用を準備	特に準備せず
39.6%	16.7%	16.7%	8.3%	-	6.3%	20.8%

⑤資格取得に要した期間

SA N=48

3か月未満	3か月～6か月未満	6か月～1年未満	1年～2年未満	2年～3年未満	3年以上
8.3%	14.6%	33.3%	14.6%	10.4%	18.8%

⑥資格取得の主な勉強方法

SA N=48

学校	資格取得スクール	公的職業訓練	業界団体等の講習会	通信教育	勤務先の勉強会、OJT	自主的勉強会	自学自習
6.3%	16.7%	-	-	10.4%	-	-	62.5%

⑦利用した経済的支援

MA N=48

教育訓練給付金	無料・実費の公的職業訓練	学校、団体、公的機関等の奨学金	勤務先の補助や貸付制度	利用せず
-	-	2.1%	-	95.8%

⑧資格取得に関して、課題となったこと、苦労したこと(回答の多い順にトップ3及び「特にない」)

MA N=48

仕事との両立	資格が実際に役に立つかわからない	勉強や通学のための時間	特にない
25.0%	25.0%	20.8%	35.4%

【在職中に資格を取得した人の状況】

⑨資格取得活動への職場の対応

SA N=30

積極的に応援	特別の対応なし	あまり歓迎されない 雰囲気	周囲に知られて いなかった	職場に知られない ようにしていた
-	20.0%	3.3%	43.3%	23.3%

⑩資格取得による働き方や処遇の変化

MA N=30

社内で昇進・昇格に結びついた	資格を活かせる部署・担当に異動	社内で担当分野が広がった	職場で表彰された	周囲からの評価が高まった	転職あるいは独立した	職場外のネットワークが広がった	特に変化なし
-	-	-	3.3%	10.0%	10.0%	13.3%	66.7%

⑪資格取得による収入面での変化

MA N=30

勤務先から祝い金や報奨金が出た	基本給がアップした	資格手当がついた	資格所持に伴う活動による副収入を得た	特に変化なし
3.3%	-	3.3%	13.3%	76.7%

【資格取得に対する自己評価】

⑫資格を取得したことについての総合的判断

SA N=48

非常によかった、メリット大	どちらかというプラス	コストや時間の割にメリット小	まだ判断できない
29.2%	37.5%	16.7%	16.7%

⑬資格を取得して最もよかったと思う点

SA N=32

専門能力や知識が向上	仕事の範囲が拡大	評価や処遇が上昇	収入が増加	人的ネットワーク	職業生活設計のひろがり	社会貢献ができること	将来への備え
25.0%	6.3%	-	3.1%	25.0%	6.3%	3.1%	18.8%

【他の資格との関係】

⑭他の資格も所持している人の割合

87.5%

N= 48

他の主な所持資格(3名以上)

語学検定、旅行業務取扱管理者、普通自動車免許(二種)、電気工事士、電気主任技術者、簿記、行政書士

⑮今後、新たな資格の取得を予定している人の割合

勉強中 6.3%

検討中 22.9%

N=48

【資格と仕事との関係】

⑯現在従事している職業(大分類で多い順トップ3)

SA N=40

専門的・技術的職業	管理的職業	サービスの職業
62.5%	22.5%	7.5%

【資格取得とキャリア形成に関する特徴】

男女比はほぼ半々。自営比率が4割を超える。資格取得時期は在職時が6割強、在学時が2割弱。取得動機は半数が「自分の勉強や自己啓発」、4割が「自分の能力や可能性を試したい」であり、このほか「老後の職業・収入確保に役立つ」をあげる人が2割強いるのが目立つ。2資格取得に要した期間が短期から長期まで分散している。資格取得を職場に知られていない人が多く、職場内の処遇には資格があまり反映されていない。総合的には肯定的評価が多いが、判断がやや分かれている。

旅行業務取扱管理者*

表の数字は構成比(%)

回答者の属性 (115人)

性別	男性	73.0	女性	27.0						
年齢	20代	-	30代	16.5	40代	31.3	50代	25.2	60代以上	27.0
学歴	高校卒	13.9	短大・専修等卒	16.5	大学卒	60.9	大学院卒	6.1	その他	2.6
就業状態	雇用者	65.2	(正規比率	68.0)	自営	9.6	不就業	23.5	その他・不明	1.7

【資格取得時の状況】

①資格を取った時期

SA N=115

在学中・卒業直後	働きながら	仕事を辞めて学習に専念	求職活動中
16.5%	74.8%	2.6%	3.5%

②資格取得動機(回答の多い順にトップ5)

MA N=115

工作上、資格がある ほうが有利だから	自分自身の勉強や 自己啓発のため	勤め先からの要請や 勧奨があったから	資格が必要な職業に 就くため	仕事の範囲を広げたい と思ったから
42.6%	29.6%	28.7%	20.0%	15.7%

③資格の魅力、メリット

MA N=115

将来性がある	社会的評価が 高い	経験や知識を 活かせる	適性や志向に 合う	次の資格取得 のステップに なる	ライフスタイルに 合った働き方に 役立つ	社会や地域に 貢献できる	取得が比較的 容易
11.3%	7.8%	56.5%	44.3%	7.0%	13.9%	2.6%	12.2%

④学習を始める前の準備

MA N=115

学校や教育訓練 機関の情報収集	資格が活かせる 仕事や就職先の 情報収集	資格取得者の体 験談を聞いた	関連分野に詳 しい人に相談	キャリアコンサル タントに相談	必要な費用を 準備	特に準備せず
38.3%	5.2%	7.0%	1.7%	-	15.7%	39.1%

⑤資格取得に要した期間

SA N=115

3か月未満	3か月～6か月未満	6か月～1年未満	1年～2年未満	2年～3年未満	3年以上
20.9%	32.2%	28.7%	11.3%	2.6%	4.3%

⑥資格取得の主な勉強方法

SA N=115

学校	資格取得 スクール	公的職業訓練	業界団体等 の講習会	通信教育	勤務先の勉強 会、OJT	自主的勉強会	自学自習
5.2%	12.2%	1.7%	13.0%	14.8%	14.8%	0.9%	36.5%

⑦利用した経済的支援

MA N=115

教育訓練給付金	無料・実費の 公的職業訓練	学校、団体、公的 機関等の奨学金	勤務先の補助 や貸付制度	利用せず
-	0.9%	0.9%	19.1%	73.9%

⑧資格取得に関して、課題となったこと、苦労したこと(回答の多い順にトップ3及び「特にない」)

MA N=115

仕事との両立	勉強や通学のための時間	学費、教材費など費用 の負担	特にない
30.4%	16.5%	9.6%	50.4%

* 総合旅行業務取扱管理者、国内旅行業務取扱管理者、旧称の旅行業務取扱主任者を含む。

【在職中に資格を取得した人の状況】

⑨資格取得活動への職場の対応

SA N=86

積極的に応援	特別の対応なし	あまり歓迎されない 雰囲気	周囲に知られて いなかった	職場に知られない ようにしていた
19.8%	55.8%	2.3%	10.5%	11.6%

⑩資格取得による働き方や処遇の変化

MA N=86

社内で昇進・昇格に結びついた	資格を活かせる部署・担当に異動	社内で担当分野が広がった	職場で表彰された	周囲からの評価が高まった	転職あるいは独立した	職場外のネットワークが広がった	特に変化なし
12.8%	9.3%	9.3%	-	18.6%	7.0%	-	55.8%

⑪資格取得による収入面での変化

MA N=86

勤務先から祝い金や報奨金が出た	基本給がアップした	資格手当がついた	資格所持に伴う活動による副収入を得た	特に変化なし
3.5%	4.7%	12.8%	1.2%	80.2%

【資格取得に対する自己評価】

⑫資格を取得したことについての総合的判断

SA N=115

非常によかった、 メリット大	どちらかという プラス	コストや時間の割に メリット小	まだ判断できない
25.2%	46.1%	15.7%	13.0%

⑬資格を取得して最もよかったと思う点

SA N=82

専門能力や知識が向上	仕事の範囲が拡大	評価や処遇が上昇	収入が増加	人的ネットワーク	職業生活設計のひろがり	社会貢献ができること	将来への備え
25.6%	24.4%	8.5%	6.1%	2.4%	4.9%	1.2%	11.0%

【他の資格との関係】

⑭他の資格も所持している人の割合

38.3%

N=115

他の主な所持資格(10名以上)

語学検定、簿記

⑮今後、新たな資格の取得を予定している人の割合

勉強中 7.8%

検討中 18.3%

N=115

【資格と仕事との関係】

⑯現在従事している職業(大分類で多い順トップ3)

SA N=87

事務的職業	販売・営業の職業	管理的職業
33.3%	24.1%	14.9%

【資格取得とキャリア形成に関する特徴】

男性比率が比較的高い。取得時期は4人に3人が在職時。取得動機は「仕事上有利」が4割強で最も多く、次いで「自分の勉強や自己啓発」「勤め先の要請や勸奨」が3割弱。資格の魅力・メリットは「経験や知識を活かせる」が6割弱。主な勉強方法として、自学自習のほか、勤務先の勉強会、通信教育、業界団体等の講習会などに回答が分散している。職場からの応援はあまりなく、働き方に大きな変化があった人は少ない。総合評価は7割が肯定的判断。

司書

表の数字は構成比(%)

回答者の属性 (105人)

性別	男性	29.5	女性	70.5						
年齢	20代	2.9	30代	20.0	40代	28.6	50代	37.1	60代以上	11.4
学歴	高校卒	1.9	短大・専修等卒	22.9	大学卒	69.5	大学院卒	5.7	その他	-
就業状態	雇用者	57.1	(正規比率	43.3)	自営	2.9	不就業	36.2	その他・不明	3.8

【資格取得時の状況】

①資格を取った時期

SA N=105

在学中・卒業直後	働きながら	仕事を辞めて学習に専念	求職活動中
73.3%	18.1%	3.8%	1.0%

②資格取得動機(回答の多い順にトップ5)

MA N=105

資格が必要な職業に就くため	自分自身の勉強や自己啓発のため	いずれ何かの役に立つかもしれないと思ったから	仕事上、資格があるほうが有利だから	就職活動に役立てるため
42.9%	32.4%	28.6%	21.0%	18.1%

③資格の魅力、メリット

MA N=105

将来性がある	社会的評価が高い	経験や知識を活かせる	適性や志向に合う	次の資格取得のステップになる	ライフスタイルに合った働き方に役立つ	社会や地域に貢献できる	取得が比較的容易
3.8%	3.8%	37.1%	57.1%	1.9%	17.1%	12.4%	24.8%

④学習を始める前の準備

MA N=105

学校や教育訓練機関の情報収集	資格が活かせる仕事や就職先の情報収集	資格取得者の体験談を聞いた	関連分野に詳しい人に相談	キャリアコンサルタントに相談	必要な費用を準備	特に準備せず
40.0%	13.3%	5.7%	3.8%	1.0%	8.6%	50.5%

⑤資格取得に要した期間

SA N=105

3か月未満	3か月～6か月未満	6か月～1年未満	1年～2年未満	2年～3年未満	3年以上
11.4%	3.8%	10.5%	38.1%	15.2%	21.0%

⑥資格取得の主な勉強方法

SA N=105

学校	資格取得スクール	公的職業訓練	業界団体等の講習会	通信教育	勤務先の勉強会、OJT	自主的勉強会	自学自習
86.7%	1.9%	-	3.8%	4.8%	-	-	1.9%

⑦利用した経済的支援

MA N=105

教育訓練給付金	無料・実費の公的職業訓練	学校、団体、公的機関等の奨学金	勤務先の補助や貸付制度	利用せず
-	-	4.8%	4.8%	88.6%

⑧資格取得に関して、課題となったこと、苦労したこと(回答の多い順にトップ3及び「特にない」)

MA N=105

勉強や通学のための時間	資格が実際に役に立つかわからない	学費、教材費など費用の負担	特にない
17.1%	12.4%	11.4%	58.1%

【在職中に資格を取得した人の状況】 ……サンプル数が少ないため回答の実数を掲載

⑨資格取得活動への職場の対応

SA N=19

積極的に応援	特別の対応なし	あまり歓迎されない 雰囲気	周囲に知られて いなかった	職場に知られない ようにしていた
9	3	-	3	2

⑩資格取得による働き方や処遇の変化

MA N=19

社内で昇進・昇格に結びついた	資格を活かせる部署・担当に異動	社内で担当分野が広がった	職場で表彰された	周囲からの評価が高まった	転職あるいは独立した	職場外のネットワークが広がった	特に変化なし
1	1	4	-	4	3	2	9

⑪資格取得による収入面での変化

MA N=19

勤務先から祝い金や報奨金が出た	基本給がアップした	資格手当がついた	資格所持に伴う活動による副収入を得た	特に変化なし
-	1	2	1	14

【資格取得に対する自己評価】

⑫資格を取得したことについての総合的判断

SA N=105

非常によかった、メリット大	どちらかというとプラス	コストや時間の割にメリット小	まだ判断できない
34.3%	30.5%	21.0%	14.3%

⑬資格を取得して最もよかったと思う点

SA N=68

専門能力や知識が向上	仕事の範囲が拡大	評価や処遇が上昇	収入が増加	人的ネットワーク	職業生活設計のひろがり	社会貢献ができること	将来への備え
55.9%	16.2%	1.5%	4.4%	1.5%	4.4%	8.8%	1.5%

【他の資格との関係】

⑭他の資格も所持している人の割合

29.5%

N= 105

他の主な所持資格(3名以上)

小学校教諭

⑮今後、新たな資格の取得を予定している人の割合

勉強中 2.9%

検討中 16.2%

N=105

【資格と仕事との関係】

⑯現在従事している職業(大分類で多い順トップ3)

SA N=64

事務的職業	専門的・技術的職業	管理的職業、その他の職業
37.5%	32.8%	7.8%

【資格取得とキャリア形成に関する特徴】

男女比 3:7 で女性が多い。不就業が多く、正規雇用比率が低い。資格取得時期は 7 割強が在学時。資格取得動機は「資格が必要な職業に就くため」が 4 割強、次いで「自分の勉強や自己啓発」が 3 割強。資格の魅力・メリットは「適性や志向に合う」が 6 割強。総合的評価としては 3 人に 1 人が「非常によかった」、「どちらかというとプラス」も 3 割強であり、全体として肯定的判断が多いが、「メリット小」も 2 割あり、評価がやや分かれている。

学芸員

表の数字は構成比(%)

回答者の属性 (96人)

性別	男性	27.1	女性	72.9						
年齢	20代	6.3	30代	42.7	40代	25.0	50代	17.7	60代以上	8.3
学歴	高校卒	-	短大・専修等卒	2.1	大学卒	71.9	大学院卒	15.6	その他	10.4
就業状態	雇用者	56.3	(正規比率	61.1)	自営	4.2	不就業	36.5	不明	3.1

【資格取得時の状況】

①資格を取った時期

SA N=96

在学中・卒業直後	働きながら	仕事を辞めて学習に専念	求職活動中
92.7%	6.3%	1.0%	-

②資格取得動機(回答の多い順にトップ5)

MA N=96

自分自身の勉強や自己啓発のため	いずれ何かの役に立つかもしれないと思ったから	資格が必要な職業に就くため	自分の能力や可能性を試したかったから	就職活動に役立てるため
55.2%	47.9%	24.0%	20.8%	19.8%

③資格の魅力、メリット

MA N=96

将来性がある	社会的評価が高い	経験や知識を活かせる	適性や志向に合う	次の資格取得のステップになる	ライフスタイルに合った働き方に役立つ	社会や地域に貢献できる	取得が比較的容易
1.0%	3.1%	35.4%	60.4%	1.0%	13.5%	17.7%	27.1%

④学習を始める前の準備

MA N=96

学校や教育訓練機関の情報収集	資格を活かせる仕事や就職先の情報収集	資格取得者の体験談を聞いた	関連分野に詳しい人に相談	キャリアコンサルタントに相談	必要な費用を準備	特に準備せず
31.3%	15.6%	1.0%	-	1.0%	4.2%	60.4%

⑤資格取得に要した期間

SA N=96

3か月未満	3か月～6か月未満	6か月～1年未満	1年～2年未満	2年～3年未満	3年以上
2.1%	1.0%	4.2%	27.1%	30.2%	34.4%

⑥資格取得の主な勉強方法

SA N=96

学校	資格取得スクール	公的職業訓練	業界団体等の講習会	通信教育	勤務先の勉強会、OJT	自主的勉強会	自学自習
97.9%	-	-	-	-	1.0%	-	-

⑦利用した経済的支援

MA N=96

教育訓練給付金	無料・実費の公的職業訓練	学校、団体、公的機関等の奨学金	勤務先の補助や貸付制度	利用せず
-	1.0%	10.4%	1.0%	88.5%

⑧資格取得に関して、課題となったこと、苦労したこと(回答の多い順にトップ3及び「特にない」)

MA N=96

資格が実際に役に立つかわからない	勉強や通学のための時間	学費、教材費など費用の負担	特にない
25.0%	11.5%	9.4%	58.3%

【在職中に資格を取得した人の状況】 ……サンプル数が少ないため回答の実数を掲載

⑨資格取得活動への職場の対応

SA N=6

積極的に応援	特別の対応なし	あまり歓迎されない 雰囲気	周囲に知られて いなかった	職場に知られない ようにしていた
-	5	-	-	1

⑩資格取得による働き方や処遇の変化

MA N=6

社内で昇進・昇格に結びついた	資格を活かせる部署・担当に異動	社内で担当分野が広がった	職場で表彰された	周囲からの評価が高まった	転職あるいは独立した	職場外のネットワークが広がった	特に変化なし
-	-	1	-	-	-	1	4

⑪資格取得による収入面での変化

MA N=6

勤務先から祝い金や報奨金が出た	基本給がアップした	資格手当がついた	資格所持に伴う活動による副収入を得た	特に変化なし
-	-	-	1	5

【資格取得に対する自己評価】

⑫資格を取得したことについての総合的判断

SA N=96

非常によかった、 メリット大	どちらかという プラス	コストや時間の割に メリット小	まだ判断できない
6.3 %	41.7 %	18.8 %	33.3 %

⑬資格を取得して最もよかったと思う点

SA N=46

専門能力や知識が向上	仕事の範囲が拡大	評価や処遇が上昇	収入が増加	人的ネットワーク	職業生活設計のひろがり	社会貢献ができること	将来への備え
60.9 %	10.9 %	-	2.2 %	2.2 %	-	4.3 %	8.7 %

【他の資格との関係】

⑭他の資格も所持している人の割合

81.3%

N= 96

他の主な所持資格(6名以上)

司書、普通自動車免許(二種)、簿記、秘書検定、語学検定、小学校教諭

⑮今後、新たな資格の取得を予定している人の割合

勉強中 9.4%

検討中 20.8%

N=96

【資格と仕事との関係】

⑯現在従事している職業(大分類で多い順トップ3)

SA N=58

専門的・技術的職業	事務的職業	販売・営業の職業
41.4 %	32.8 %	8.6 %

【資格取得とキャリア形成に関する特徴】

男女比おおよそ 3:7 で女性が多い。不就業が多い。資格取得時期は在学時が 9 割を超える。取得動機は「自分の勉強や自己啓発」が 5 割強、「いずれ何かの役に立つかも」が 5 割弱と、中長期的な目的で取得した人が多い。資格の魅力・メリットとして 6 割が「適性や志向に合う」をあげる。総合的評価は「非常によかった」が少なく、「どちらかというプラス」を含めても肯定的評価が半数に届かず、3 人に 1 人は「まだ判断できない」と評価を保留している。

幼稚園教諭

表の数字は構成比(%)

回答者の属性 (99人)

性別	男性	1.0	女性	99.0						
年齢	20代	3.0	30代	16.2	40代	33.3	50代	35.4	60代以上	12.1
学歴	高校卒	-	短大・専修等卒	67.7	大学卒	32.3	大学院卒	-	その他	-
就業状態	雇用者	37.4	(正規比率	27.0)	自営	1.0	不就業	56.6	その他・不明	5.1

【資格取得時の状況】

①資格を取った時期

SA N=99

在学中・卒業直後	働きながら	仕事を辞めて学習に専念	求職活動中
92.9%	6.1%	1.0%	-

②資格取得動機(回答の多い順にトップ5)

MA N=99

資格が必要な職業に就くため	いずれ何かの役に立つかもしれないと思ったから	仕事上、資格があるほうが有利だから	就職活動に役立てるため	自分自身の勉強や自己啓発のため
59.6%	21.2%	17.2%	16.2%	12.1%

③資格の魅力、メリット

MA N=99

将来性がある	社会的評価が高い	経験や知識を活かせる	適性や志向に合う	次の資格取得のステップになる	ライフスタイルに合った働き方に役立つ	社会や地域に貢献できる	取得が比較的容易
12.1%	6.1%	28.3%	50.5%	4.0%	6.1%	12.1%	15.2%

④学習を始める前の準備

MA N=99

学校や教育訓練機関の情報収集	資格を活かせる仕事や就職先の情報収集	資格取得者の体験談を聞いた	関連分野に詳しい人に相談	キャリアコンサルタントに相談	必要な費用を準備	特に準備せず
43.4%	11.1%	5.1%	2.0%	-	2.0%	42.4%

⑤資格取得に要した期間

SA N=99

3か月未満	3か月～6か月未満	6か月～1年未満	1年～2年未満	2年～3年未満	3年以上
3.0%	1.0%	3.0%	38.4%	29.3%	24.2%

⑥資格取得の主な勉強方法

SA N=99

学校	資格取得スクール	公的職業訓練	業界団体等の講習会	通信教育	勤務先の勉強会、OJT	自主的勉強会	自学自習
93.9%	-	-	-	2.0%	-	-	-

⑦利用した経済的支援

MA N=99

教育訓練給付金	無料・実費の公的職業訓練	学校、団体、公的機関等の奨学金	勤務先の補助や貸付制度	利用せず
-	-	10.1%	1.0%	84.8%

⑧資格取得に関して、課題となったこと、苦労したこと(回答の多い順にトップ3及び「特にない」)

MA N=99

学費、教材費など費用の負担	勉強や通学のための時間	資格が実際に役に立つかわからない	特にない
18.2%	13.1%	5.1%	68.7%

【在職中に資格を取得した人の状況】 ……サンプル数が少ないため回答の実数を掲載

⑨資格取得活動への職場の対応

SA N=6

積極的に応援	特別の対応なし	あまり歓迎されない 雰囲気	周囲に知られて いなかった	職場に知られない ようにしていた
4	2	-	-	-

⑩資格取得による働き方や処遇の変化

MA N=6

社内で昇進・昇格に結びついた	資格を活かせる部署・担当に異動	社内で担当分野が広がった	職場で表彰された	周囲からの評価が高まった	転職あるいは独立した	職場外のネットワークが広がった	特に変化なし
-	-	-	-	1	2	-	4

⑪資格取得による収入面での変化

MA N=6

勤務先から祝い金や報奨金が出た	基本給がアップした	資格手当がついた	資格所持に伴う活動による副収入を得た	特に変化なし
-	2	1	-	3

【資格取得に対する自己評価】

⑫資格を取得したことについての総合的判断

SA N=99

非常によかった、メリット大	どちらかというとプラス	コストや時間の割にメリット小	まだ判断できない
27.3 %	47.5 %	18.2 %	7.1 %

⑬資格を取得して最もよかったと思う点

SA N=74

専門能力や知識が向上	仕事の範囲が拡大	評価や処遇が上昇	収入が増加	人的ネットワーク	職業生活設計のひろがり	社会貢献ができること	将来への備え
41.9 %	10.8 %	6.8 %	1.4 %	-	2.7 %	18.9 %	10.8 %

【他の資格との関係】

⑭他の資格も所持している人の割合

64.6%

N= 99

他の主な所持資格(26名以上)

小学校教諭、保育士

⑮今後、新たな資格の取得を予定している人の割合

勉強中 5.1%

検討中 12.1%

N=99

【資格と仕事との関係】

⑯現在従事している職業（大分類で多い順トップ3）

SA N=39

専門的・技術的職業	事務的職業	販売・営業の職業
48.7 %	20.5 %	12.8 %

【資格取得とキャリア形成に関する特徴】

ほとんどが女性。不就業が半数を超え、雇用者の正規比率も低い。取得時期は在学時が9割を超える。取得動機は「資格が必要な職業に就くため」が6割。資格の魅力・メリットは「適性や志向に合う」が5割で最も多い。仕事に就くために資格取得した人が6割に達するにもかかわらず現状は不就業が多いが、総合的評価としては4人に3人が肯定的判断をしている。よかったと思う点として2割の人が「社会貢献ができること」をあげるなど、就業以外の面からの評価も含むものであることがうかがえる。

小学校教諭

表の数字は構成比(%)

回答者の属性 (91人)

性別	男性	37.4	女性	62.6						
年齢	20代	2.2	30代	6.6	40代	30.8	50代	31.9	60代以上	28.6
学歴	高校卒	-	短大・専修等卒	6.6	大学卒	84.6	大学院卒	3.3	その他	5.5
就業状態	雇用者	60.4	(正規比率	54.5)	自営	1.1	不就業	35.2	その他・不明	3.3

【資格取得時の状況】

①資格を取った時期

SA N=91

在学中・卒業直後	働きながら	仕事を辞めて学習に専念	求職活動中
84.6%	9.9%	3.3%	-

②資格取得動機 (回答の多い順にトップ5)

MA N=91

資格が必要な職業に就くため	安定した職業に就くため	自分の能力や可能性を試したかったから	自分自身の勉強や自己啓発のため	仕事上有利、就職活動
75.8%	26.4%	14.3%	9.9%	8.8%

③資格の魅力、メリット

MA N=91

将来性がある	社会的評価が高い	経験や知識を活かせる	適性や志向に合う	次の資格取得のステップになる	ライフスタイルに合った働き方に役立つ	社会や地域に貢献できる	取得が比較的容易
19.8%	24.2%	40.7%	47.3%	1.1%	11.0%	18.7%	11.0%

④学習を始める前の準備

MA N=91

学校や教育訓練機関の情報収集	資格を活かせる仕事や就職先の情報収集	資格取得者の体験談を聞いた	関連分野に詳しい人に相談	キャリアコンサルタントに相談	必要な費用を準備	特に準備せず
51.6%	4.4%	5.5%	3.3%	-	4.4%	37.4%

⑤資格取得に要した期間

SA N=91

3か月未満	3か月～6か月未満	6か月～1年未満	1年～2年未満	2年～3年未満	3年以上
2.2%	6.6%	7.7%	12.1%	7.7%	62.6%

⑥資格取得の主な勉強方法

SA N=91

学校	資格取得スクール	公的職業訓練	業界団体等の講習会	通信教育	勤務先の勉強会、OJT	自主的勉強会	自学自習
81.3%	-	-	-	4.4%	-	-	9.9%

⑦利用した経済的支援

MA N=91

教育訓練給付金	無料・実費の公的職業訓練	学校、団体、公的機関等の奨学金	勤務先の補助や貸付制度	利用せず
-	1.1%	19.8%	-	78.0%

⑧資格取得に関して、課題となったこと、苦労したこと (回答の多い順にトップ3及び「特にない」)

MA N=91

勉強や通学のための時間	学費、教材費など費用の負担	仕事との両立	特にない
19.8%	16.5%	6.6%	70.3%

【在職中に資格を取得した人の状況】 ……サンプル数が少ないため回答の実数を掲載

⑨資格取得活動への職場の対応

SA N=9

積極的に応援	特別の対応なし	あまり歓迎されない 雰囲気	周囲に知られて いなかった	職場に知られない ようにしていた
6	1	1	1	-

⑩資格取得による働き方や処遇の変化

MA N=9

社内で昇進・昇格に結びついた	資格を活かせる部署・担当に異動	社内で担当分野が広がった	職場で表彰された	周囲からの評価が高まった	転職あるいは独立した	職場外のネットワークが広がった	特に変化なし
1	-	-	-	1	2	1	4

⑪資格取得による収入面での変化

MA N=9

勤務先から祝い金や報奨金が出た	基本給がアップした	資格手当がついた	資格所持に伴う活動による副収入を得た	特に変化なし
-	3	-	-	4

【資格取得に対する自己評価】

⑫資格を取得したことについての総合的判断

SA N=91

非常によかった、 メリット大	どちらかという プラス	コストや時間の割に メリット小	まだ判断できない
60.4%	28.6%	9.9%	1.1%

⑬資格を取得して最もよかったと思う点

SA N=81

専門能力や知識が向上	仕事の範囲が拡大	評価や処遇が上昇	収入が増加	人的ネットワーク	職業生活設計のひろがり	社会貢献ができること	将来への備え
33.3%	17.3%	3.7%	3.7%	7.4%	6.2%	18.5%	7.4%

【他の資格との関係】

⑭他の資格も所持している人の割合

51.6%

N= 91

他の主な所持資格

中学校・高等学校教諭(資格区分別集計対象とはしていない)

⑮今後、新たな資格の取得を予定している人の割合

勉強中 7.7%

検討中 11.0%

N=91

【資格と仕事との関係】

⑯現在従事している職業(大分類で多い順トップ3)

SA N=58

専門的・技術的職業	事務的職業	サービスの職業
62.1%	20.7%	6.9%

【資格取得とキャリア形成に関する特徴】

女性がやや多い。不就業が多い。取得時期は在学時が多いが、1割の人は在職時に取得している。資格取得動機は4人に3人が「資格が必要な職業に就くため」、次いで「安定した職業に就くため」。資格の魅力・メリットとして半数弱の人が「適性や志向に合う」をあげている。総合的判断としては、6割が「非常によかった」としており、「どちらかというプラス」と合わせて9割が肯定的判断となっている。

臨床心理士

表の数字は構成比(%)

回答者の属性 (50人)

性別	男性	30.0	女性	70.0						
年齢	20代	10.0	30代	48.0	40代	28.0	50代	10.0	60代以上	4.0
学歴	高校卒	-	短大・専修等卒	2.0	大学卒	14.0	大学院卒	80.0	その他	4.0
就業状態	雇用者	92.0	(正規比率	54.3)	自営	6.0	不就業	2.0	その他	-

【資格取得時の状況】

①資格を取った時期 SA N=50

在学中・卒業直後	働きながら	仕事を辞めて学習に専念	求職活動中
12.0%	78.0%	8.0%	-

②資格取得動機(回答の多い順にトップ5) MA N=50

資格が必要な職業に就くため	仕事上、資格があるほうが有利だから	自分自身の勉強や自己啓発のため	より高度な仕事をしたいと思ったから	自分の能力や可能性を試したかったから
50.0%	50.0%	38.0%	32.0%	22.0%

③資格の魅力、メリット MA N=50

将来性がある	社会的評価が高い	経験や知識を活かせる	適性や志向に合う	次の資格取得のステップになる	ライフスタイルに合った働き方に役立つ	社会や地域に貢献できる	取得が比較的容易
18.0%	28.0%	66.0%	52.0%	-	24.0%	34.0%	2.0%

④学習を始める前の準備 MA N=50

学校や教育訓練機関の情報収集	資格を活かせる仕事や就職先の情報収集	資格取得者の体験談を聞いた	関連分野に詳しい人に相談	キャリアコンサルタントに相談	必要な費用を準備	特に準備せず
50.0%	16.0%	24.0%	14.0%	2.0%	22.0%	20.0%

⑤資格取得に要した期間 SA N=50

3か月未満	3か月～6か月未満	6か月～1年未満	1年～2年未満	2年～3年未満	3年以上
4.0%	6.0%	12.0%	12.0%	16.0%	48.0%

⑥資格取得の主な勉強方法 SA N=50

学校	資格取得スクール	公的職業訓練	業界団体等の講習会	通信教育	勤務先の勉強会、OJT	自主的勉強会	自学自習
28.0%	-	-	-	4.0%	2.0%	8.0%	56.0%

⑦利用した経済的支援 MA N=50

教育訓練給付金	無料・実費の公的職業訓練	学校、団体、公的機関等の奨学金	勤務先の補助や貸付制度	利用せず
-	2.0%	30.0%	2.0%	64.0%

⑧資格取得に関して、課題となったこと、苦労したこと(回答の多い順にトップ3及び「特にない」) MA N=50

仕事との両立	勉強や通学のための時間	学費、教材費など費用の負担	特にない
58.0%	38.0%	30.0%	12.0%

【在職中に資格を取得した人の状況】

⑨資格取得活動への職場の対応

SA N=39

積極的に応援	特別な対応なし	あまり歓迎されない 雰囲気	周囲に知られて いなかった	職場に知られない ようにしていた
12.8%	43.6%	2.6%	23.1%	17.9%

⑩資格取得による働き方や処遇の変化

MA N=39

社内で昇進・昇格に結びついた	資格を活かせる部署・担当に異動	社内で担当分野が広がった	職場で表彰された	周囲からの評価が高まった	転職あるいは独立した	職場外のネットワークが広がった	特に変化なし
12.8%	7.7%	5.1%	-	33.3%	23.1%	12.8%	41.0%

⑪資格取得による収入面での変化

MA N=39

勤務先から祝い金や報奨金が出た	基本給がアップした	資格手当がついた	資格所持に伴う活動による副収入を得た	特に変化なし
5.1%	17.9%	15.4%	15.4%	59.0%

【資格取得に対する自己評価】

⑫資格を取得したことについての総合的判断

SA N=50

非常によかった、メリット大	どちらかというプラス	コストや時間の割にメリット小	まだ判断できない
60.0%	32.0%	4.0%	4.0%

⑬資格を取得して最もよかったと思う点

SA N=46

専門能力や知識が向上	仕事の範囲が拡大	評価や処遇が上昇	収入が増加	人的ネットワーク	職業生活設計のひろがり	社会貢献ができること	将来への備え
45.7%	17.4%	4.3%	2.2%	8.7%	4.3%	10.9%	2.2%

【他の資格との関係】

⑭他の資格も所持している人の割合

64.0%

N= 50

他の主な所持資格(4名以上)

小学校教諭、精神保健福祉士、普通自動車免許(二種)、語学検定、司書

⑮今後、新たな資格の取得を予定している人の割合

勉強中 6.0%

検討中 24.0%

N=50

【資格と仕事との関係】

⑯現在従事している職業(大分類で多い順トップ3)

SA N=49

専門的・技術的職業	サービスの職業	その他の職業
79.6%	8.2%	6.1%

【資格取得とキャリア形成に関する特徴】

男女比は3:7。雇用者比率が高く、正規比率はやや低い。取得時点は在職時が8割弱。取得動機としては「資格が必要な職業に就くため」と「仕事上有利」が5割。資格の魅力・メリットは3人に2人が「経験や知識を活かせる」。3割が奨学金を利用。課題は6割の人が「仕事との両立」をあげる。在職中に資格取得した人は、「転職」、「基本給のアップ」、「副収入を得る」など処遇等に一定程度結びついている。総合的判断としては6割が「非常によかった」とし、全体で9割が肯定的判断。

専門職大学院学位

表の数字は構成比(%)

回答者の属性 (57人)

性別	男性	82.5	女性	17.5						
年齢	20代	3.5	30代	15.8	40代	31.6	50代	17.5	60代以上	31.6
学歴	高校卒	-	短大・専修等卒	-	大学卒	3.5	大学院卒	89.5	その他	7.0
就業状態	雇用者	61.4	(正規比率	85.7)	自営	10.5	不就業	24.6	不明	3.5

【資格取得時の状況】

①資格を取った時期

SA N=57

在学中・卒業直後	働きながら	仕事を辞めて学習に専念	求職活動中
43.9%	38.6%	15.8%	-

②資格取得動機(回答の多い順にトップ5)

MA N=57

自分自身の勉強や自己啓発のため	より高度な仕事をしたいと思ったから	仕事上、資格があるほうが有利だから	自分の能力や可能性を試したかったから	資格が必要な職業に就くため
43.9%	26.3%	24.6%	19.3%	17.5%

③資格の魅力、メリット

MA N=57

将来性がある	社会的評価が高い	経験や知識を活かせる	適性や志向に合う	次の資格取得のステップになる	ライフスタイルに合った働き方に役立つ	社会や地域に貢献できる	取得が比較的容易
19.3%	31.6%	35.1%	28.1%	3.5%	21.1%	10.5%	-

④学習を始める前の準備

MA N=57

学校や教育訓練機関の情報収集	資格を活かせる仕事や就職先の情報収集	資格取得者の体験談を聞いた	関連分野に詳しい人に相談	キャリアコンサルタントに相談	必要な費用を準備	特に準備せず
22.8%	1.8%	8.8%	5.3%	-	10.5%	50.9%

⑤資格取得に要した期間

SA N=57

3か月未満	3か月～6か月未満	6か月～1年未満	1年～2年未満	2年～3年未満	3年以上
1.8%	-	1.8%	14.0%	28.1%	54.4%

⑥資格取得の主な勉強方法

SA N=57

学校	資格取得スクール	公的職業訓練	業界団体等の講習会	通信教育	勤務先の勉強会、OJT	自主的勉強会	自学自習
70.2%	1.8%	-	-	-	3.5%	-	19.3%

⑦利用した経済的支援

MA N=57

教育訓練給付金	無料・実費の公的職業訓練	学校、団体、公的機関等の奨学金	勤務先の補助や貸付制度	利用せず
-	-	43.9%	3.5%	47.4%

⑧資格取得に関して、課題となったこと、苦労したこと(回答の多い順にトップ3及び「特にない」)

MA N=57

仕事との両立	学費、教材費など費用の負担	勉強や通学のための時間、実際に役に立つかどうか	特にない
26.3%	22.8%	15.8%	28.1%

【在職中に資格を取得した人の状況】

⑨資格取得活動への職場の対応

SA N=22

積極的に応援	特別の対応なし	あまり歓迎されない 雰囲気	周囲に知られて いなかった	職場に知られない ようにしていた
18.2%	36.4%	18.2%	13.6%	9.1%

⑩資格取得による働き方や処遇の変化

MA N=22

社内で昇進・昇格に結びついた	資格を活かせる部署・担当に異動	社内で担当分野が広がった	職場で表彰された	周囲からの評価が高まった	転職あるいは独立した	職場外のネットワークが広がった	特に変化なし
4.5%	9.1%	9.1%	-	36.4%	9.1%	4.5%	31.8%

⑪資格取得による収入面での変化

MA N=22

勤務先から祝い金や報奨金が出た	基本給がアップした	資格手当がついた	資格所持に伴う活動による副収入を得た	特に変化なし
9.1%	13.6%	4.5%	-	72.7%

【資格取得に対する自己評価】

⑫資格を取得したことについての総合的判断

SA N=57

非常によかった、 メリット大	どちらかという プラス	コストや時間の割に メリット小	まだ判断できない
33.3%	38.6%	21.1%	7.0%

⑬資格を取得して最もよかったと思う点

SA N=41

専門能力や知識が向上	仕事の範囲が拡大	評価や処遇が上昇	収入が増加	人的ネットワーク	職業生活設計のひろがり	社会貢献ができること	将来への備え
19.5%	22.0%	9.8%	2.4%	12.2%	4.9%	12.2%	7.3%

【他の資格との関係】

⑭他の資格も所持している人の割合

56.1%

N= 57

他の主な所持資格(4名以上)

語学検定、薬剤師、危険物取扱者、普通自動車免許(二種)

⑮今後、新たな資格の取得を予定している人の割合

勉強中 10.5%

検討中 19.3%

N=57

【資格と仕事との関係】

⑯現在従事している職業(大分類で多い順トップ3)

SA N=41

専門的・技術的職業	管理的職業	事務的職業
75.6%	14.6%	4.9%

【資格取得とキャリア形成に関する特徴】

男性比率が高い。働きながら学位を取得した人が4割弱。取得動機は「自分の勉強や自己啓発」が4割強。資格の魅力・メリットとしては「経験や知識を活かせる」「社会的評価が高い」など。4割超が奨学金を利用。在職者の場合、「あまり歓迎される雰囲気ではなかった」とする回答が2割弱あり、他と比較して高い。しかし、資格取得により「評価が高まった」とする割合も4割弱と高い。総合的判断としては3人に1人が「非常によかった」、「どちらかというプラス」も4割弱あり、全体として肯定的判断。

【WEB モニター調査票】

職業資格の取得とキャリア形成に関する調査

【調査の趣旨】

このアンケート調査は、職業資格の取得とキャリア形成の実態を把握するため、独立行政法人労働政策研究・研修機構(※)が、厚生労働省の要請を受けて行っております。資格取得の支援に向けた労働政策の検討のための基礎資料とすることを目的に実施するものです。あなたの経験を是非ご教示くださいますよう、ご協力のほどよろしくお願い申し上げます。

【記入にあたってのお願い】

1. この調査は、別表でお示しする職業資格をお持ちか、または職業資格の取得を考えておられる25歳以上の方に、ご回答をお願いしております。
2. 特にことわりのない場合、調査の回答時点は、2014年3月1日現在でお答えください。
3. この調査票にご記入いただいた内容は、すべて統計的に処理され、個人名が特定されることはありません。研究目的にのみ利用されますので、ありのままをご記入ください。

(スクリーニング調査)

S1. あなたの現在(2014年3月1日時点)の年齢をおうかがいします。

歳 → 25歳未満は調査終了、それ以外の方はS2へ

S2. あなたが現在お持ちの免許・資格を、ボタンを押して選択してください。複数の資格をお持ちの方は、お持ちの免許・資格すべてについてチェックを入れてください。

免許・資格一覧表

- 一覧表の免許・資格を1つ所持している → 本調査へ(各資格200サンプルに達した時点で調査終了)
- 複数の免許・資格を所持している → S3へ
- 一覧表の免許・資格を所持していない → S4へ

S3. 所持されている免許・資格について、あなたが仕事をする上で重要と考える順に3つまで選択してください。

→ 最も重要と考える資格について本調査へ
 該当資格のサンプル数が上限に達し、調査終了となっている場合は、重要な順に次の順位の資格を選択し、本調査へ

S4. 今後、何らかの職業資格を取得したいと考えていますか。

- いる → 問24へ(1,000サンプルに達した時点で調査終了)
- ない → 調査終了

(本調査)

◇ あなたには、「〇〇(スクリーニング調査からの調査対象資格名)」についてお伺いします。

I 職業資格を取得したときの状況についておうかがいします。

問1 資格の正式な名称を教えてください。(〇級〇〇士、〇〇資格(〇〇分野)、〇〇検定〇点など、レベルやスコア、専門分野などが付記されている場合は、それも含めてお書きください。)

資格名称：

問2 資格を取得したのはいつですか。

(西暦) 年

問3 それは在学中ですか、仕事を始めてからですか。(ひとつだけ)

1. 在学中あるいは卒業直後に取得
2. 働きながら資格を取得
3. それまでの仕事を辞めて学習に専念し、資格を取得
4. 求職活動をしながら資格を取得(職業訓練を受講した場合を含む)
5. その他【 】

問4 資格を取得しようと思った動機は何ですか。(いくつでも)

1. 資格が必要な職業に就くため
2. 安定した職業に就くため
3. 仕事上、資格があるほうが有利だから
4. 就職活動に役立てるため
5. より高い収入を得るため
6. 会社で昇進・昇格ができるから
7. それまでと違う仕事をしたいと思ったから
8. より高度な仕事をしたいと思ったから
9. 仕事の範囲を広げたいと思ったから
10. 勤め先からの要請や勧奨があったから
11. 肩書きや呼称があるとよいと思ったから
12. 自分自身の勉強や自己啓発のため
13. 将来の転職のため
14. 将来の独立のため
15. 老後の職業・収入確保に役立つと思ったから
16. 自分の能力や可能性を試したかったから
17. いずれ何かの役に立つかもしれないと思ったから
18. その他【 】

問5 その資格を選んだのは、どのような点に魅力やメリットを感じたからですか。(いくつでも)

1. 将来性がある
2. 社会的評価が高い
3. 自分の経験や知識を活かせる
4. 自分の適性や志向に合っている
5. つぎの資格取得のステップになる
6. 自分のライフスタイルに合った働き方をするのに役立つ
7. 社会や地域に貢献できる
8. 取得が比較的容易である
9. その他【 】

問6 資格取得の学習を始める前に、どのような準備をしましたか。(いくつでも)

1. 資格取得のための科目・講座がある学校や教育訓練機関の情報を集めた
2. 資格が活かせる仕事や就職先について調べた
3. 資格取得者の体験談を聞いた
4. 関連分野に詳しい人に相談した
5. キャリアコンサルタントに相談した
6. 資格取得に必要な費用を準備した
7. その他【 】
8. 特に準備はしなかった

問7 資格を取得するために、どれくらいの期間がかかりましたか。(ひとつだけ)

1. 3か月未満
2. 3か月以上6か月未満
3. 6か月以上1年未満
4. 1年以上2年未満
5. 2年以上3年未満
6. 3年以上

問8 資格取得のための勉強時間は、1日平均どれくらいでしたか。(ひとつだけ)

1. 1時間未満
2. 1時間以上2時間未満
3. 2時間以上3時間未満
4. 3時間以上
5. 休日や休暇に集中的に勉強した
6. その他【 】

問9 主にどのような方法で資格取得の勉強をしましたか。(ひとつだけ)

1. 学校 → 問9-1へ
2. 資格取得スクールでの受講 (1.の学校を除く)
3. 公的職業訓練の受講
4. 業界団体、専門機関等の講習会
5. 通信教育 (1.の学校による通信教育課程を除く)
6. 勤務先での勉強会や講習、OJT
7. 仲間やサークルでの自主的勉強会
8. 自学自習
9. その他【 】

<問9-1の方のみ>

問9-1 どのような学校に通学されましたか。(おもなものひとつ)

- | | | | | | |
|-----------------------|---|----|----|----|----|
| 1. 専門学校 | → | 昼間 | 夜間 | 通信 | |
| 2. 短大 | → | 昼間 | 夜間 | 通信 | |
| 3. 大学 | → | 昼間 | 夜間 | 通信 | |
| 4. 専門職大学院 | → | 昼間 | 夜間 | 通信 | |
| 5. 大学院 (4.の専門職大学院を除く) | → | 昼間 | 夜間 | 通信 | |
| 6. その他【 | 】 | → | 昼間 | 夜間 | 通信 |

問10 資格を取得するために、総額どれくらいの費用(学費、教材費、受験料、交通費など)がかかりましたか。

(概算) 約 万円

問11 資格を取得するために、金銭的な面でどのような支援を利用しましたか。(いくつでも)

1. 教育訓練給付金を利用した
2. 受講料が無料あるいは実費負担の公的職業訓練（公共職業訓練、求職者支援訓練など）を利用した
3. 学校、団体、公的機関などからの奨学金を利用した
4. 勤務先の補助や貸付など費用に関する支援制度を利用した
5. その他【 】
6. 利用していない

問12 資格の取得に関して、課題となったこと、苦労したことがありますか。(いくつでも)

1. 学費、教材費など費用の負担
2. 勉強や通学のための時間
3. 仕事との両立
4. 家事、育児など家庭との両立
5. 学習内容や学習の進め方がよくわからない
6. 資格が実際に役に立つかどうかわからない
7. 近くに適当な学校・教育訓練機関がない
8. 学校や教育機関がどの程度信頼できるかわからない
9. 相談相手やアドバイザーがない
10. その他【 】
11. 特になし

II 職業資格を取得したことによる影響や、資格に対する考え方についておうかがいします。

<問13～18は問3＝2の方のみ>

【在職中に「〇〇(スクリーニング調査からの調査対象資格名)」の資格を取得した方におうかがいします。】

問13 勤務先には、資格を取得するために利用できる支援制度がありましたか。(それぞれひとつずつ)

有 無

1. 学費や受験料等の補助
2. 学費や受験料等の貸付制度
3. 自己啓発のための休暇
4. 勤務時間の短縮制度
5. 残業の免除
6. 勉強しやすい部署への配置・異動
7. 資格取得に関する相談や情報提供
8. その他【 】

<問13に「ある」と回答した項目のみ>

問13-1 (勤務先の資格を取得するために利用できる支援制度があった方へ)あなたは、その支援を利用しましたか。(それぞれひとつずつ)

利用した 利用しなかった

1. 学費や受験料等の補助
2. 学費や受験料等の貸付制度
3. 自己啓発のための休暇
4. 勤務時間の短縮制度
5. 残業の免除
6. 勉強しやすい部署への配置・異動
7. 資格取得に関する相談や情報提供
8. その他【 】

問14 勤務先にどのような制度や配慮があれば、資格取得に役立つと思いますか。(いくつでも)

1. 学費や受験料等の補助
2. 学費や受験料等の貸付制度
3. 自己啓発のための休暇
4. 勤務時間の短縮制度
5. 残業の免除
6. 勉強しやすい部署への配置・異動
7. 資格取得に関する相談や情報提供
8. その他【
9. 特に役立つものはない

】

問15 資格取得のための活動をしていることへの、職場の対応はどうでしたか。(ひとつだけ)

1. 積極的に応援してくれた
2. 特別の対応はなかった
3. あまり歓迎される雰囲気ではなかった
4. 資格取得をめざしていることは周囲に知られていなかった
5. 資格取得の活動が職場に知られないようにしていた
6. その他【

】

問16 資格を取ったことにより、働き方や処遇に変化がありましたか。(いくつでも)

1. 社内で昇進・昇格に結びついた
2. 資格を活かすことができる部署・担当に異動した
3. 社内で担当分野が広がった
4. 職場で表彰された
5. 周囲からの評価が高まった
6. 転職あるいは独立した
7. 職場外のネットワークが広がった
8. その他【
9. 特に変化はない

】

問17 資格を取ったことにより、収入面で変化がありましたか。(いくつでも)

1. 勤務先から祝い金や報奨金が出た
2. 基本給がアップした
3. 資格手当がつくようになった
4. 資格を所持していることに伴う活動（例えば副業や講演、著作など）によって副収入が得られた
5. その他【
6. 特に変化はない

】

問18 資格を取ったことに関連して、中長期的な職業生活設計の見直しを希望しましたか。(いくつでも)

1. 社内で資格を活かした仕事をする
2. 部署の異動や担当分野の変更・拡大
3. 資格を活かせる会社に転職
4. 独立、自営
5. 関連分野の資格も取得し、対応できる領域を広げること
6. より高度なレベルの資格を取得し、専門性を高めること
7. 資格を活かして社会貢献すること
8. その他【
9. 特に見直したいと思ったことはない

】

<問18で「希望した」項目のみ>

問18-1 (中長期的な職業生活設計の見直しを希望した項目について)希望は実現しましたか。
(それぞれひとつずつ)

実現した 実現していない

1. 社内で資格を活かした仕事をする
2. 部署の異動や担当分野の変更・拡大
3. 資格を活かせる会社に転職
4. 独立、自営
5. 関連分野の資格も取得し、対応できる領域を広げること
6. より高度なレベルの資格を取得し、専門性を高めること
7. 資格を活かして社会貢献すること
8. その他

<問19は問3=3または4の方のみ>

【仕事をいったん辞めて資格を取得した方、求職活動中に資格を取得した方におうかがいします。】

問19 資格を取得したことは、その後の就職活動にどのような効果がありましたか。(ひとつだけ)

1. 資格を活かせる仕事に就くことができた
2. 資格とは直接の関連はないが、希望に合った仕事に就くことができた
3. 就職したが、資格を取得したことは就職活動に効果がなかった
4. 資格取得後に就職活動をしたが、仕事に就けなかった
5. 資格取得後、就職活動をしなかった

<問20はスクリーニング回答数 ≥ 2 の方のみ>

【複数の職業資格をお持ちの方におうかがいします。】

問20 複数の資格を併せて所持していることは、仕事やキャリア形成の上で役立ちましたか。(ひとつだけ)

1. 役立った → 問20-1 へ
2. 複数所持していることによる効果は特にならない
3. わからない

<問20-1、2は問20=1の方のみ>

問20-1 それは、どの資格とどの資格の組み合わせですか。一覧表から選んでください。(いくつでも)

免許・資格一覧表

上記以外の免許・資格(具体的に: _____)

問20-2 複数の資格を所持していることは、どのように役立ちましたか。(いくつでも)

1. より高度な専門性が身についた
2. より広い分野の仕事に対応できるようになった
3. 職場での評価や人事処遇が上昇した
4. 単独の資格の時より収入が増えた
5. 自分のエンプロイアビリティ(雇用されうる能力、就業可能性)への自信が高まった
6. 独立できた
7. その他【 _____ 】

<問21～22はスクリーニング回答数≧1の方>

【職業資格を所持されている方全員におうかがいします】

問21 お答えいただいた資格「〇〇(スクリーニング調査からの調査対象資格名)」と関連のある仕事に就いている(いた)期間は、資格取得前後を通算してどれくらいあります(ありました)か。(ひとつだけ)

1. 全くない
2. 1年未満
3. 1年～3年未満
4. 3年～5年未満
5. 5年～10年未満
6. 10年以上

問22 自分がその資格を取得したことについて、総合的に判断して、どのように評価していますか。(ひとつだけ)

1. 非常によかった、メリットが大きかった → 問22-1 へ
2. どちらかというプラスになった → 問22-1 へ
3. かかったコストや時間のわりに、あまりメリットはなかった
4. まだ判断できない

<問22-1は問22=1または2の方のみ>

問22-1 資格を取得して最もよかったと思うのはどのような点ですか。(ひとつだけ)

1. 専門能力や知識が向上したこと
2. 対応できる仕事の範囲が広がったこと
3. 職場での評価や処遇が高まったこと
4. 収入が増加したこと
5. 人的ネットワークが広がったこと
6. 職業生活設計の選択肢が広がったこと
7. 資格を活かした社会貢献ができること
8. 将来への備えとして安心感が持てること
9. その他【

】

<全員の方へ>

問23 今後、新たな資格を取得することを予定していますか。(いくつでも)

1. 新たな資格取得に向けて勉強中 → 問23-1 へ
2. 新たな資格を取得することを検討中 → 問23-2 へ
3. 現時点で予定はない → 問29 へ

<問23-1は問23=1のみ>

問23-1 勉強中の新たな資格はどのような資格ですか。あてはまるものをすべてお選び下さい。(いくつでも)

免許・資格一覧表

9999 上記以外の免許・資格

問23-1-1 勉強中の資格について、資格の正式な名称を教えてください。(〇級〇〇士、〇〇資格(〇〇分野)、〇〇検定など、レベルや専門分野などがある場合は、それも含めてお書きください。)

具体的な資格名称：

<問23-2は問23=2の方のみ>

問23-2 検討中の新たな資格はどのような資格ですか。あてはまるものをすべてお選び下さい。(いくつでも)

免許・資格一覧表

9999 上記以外の免許・資格

問23-2-1 検討中の資格について、資格の正式な名称を教えてください。(〇級〇〇士、〇〇資格(〇〇分野)、〇〇検定など、レベルや専門分野などがある場合は、それも含めてお書きください。)

具体的な資格名称：

<問23-3は問23=1または2の方のみ>

問23-3 新たな資格の取得を考えるのは、どのような理由からですか。(いくつでも)

1. より高度な専門性を身につけたいから
2. より広い分野の仕事に対応できるようになりたいから
3. 職場での評価や人事処遇を高めたいから
4. 収入を増やしたいから
5. 自分のエンプロイアビリティ（雇用されうる能力、就業可能性）への自信を高めたいから
6. 独立したいから
7. 自分の新たな可能性にチャレンジしたいから
8. 現在の資格だけではキャリアプランの実現に十分ではないから
9. その他【 → 問29へ

<問24～28はスクリーニング回答数=0の方のみ>

【これから職業資格を取得したいと考えておられる方におうかがいします。】

問24 どのような資格を取得したいと考えておられますか。(いくつでも)

免許・資格一覧表 から選択

<問24-1は問24の回答のみ表示>

問24-1 最も取得したいと考える資格を1つ選んでください。(ひとつだけ)

問24-2 最も取得したいと考える資格の正式な名称を教えてください。(〇級〇〇士、〇〇資格(〇〇分野)、〇〇検定など、レベルや専門分野などがある場合は、それも含めてお書きください。)

資格名称：

◇ 以下の質問は、ここで選んだ資格「〇〇(問24-1の資格名)」についてお答えください。

問25 資格を取得しようと思う理由は何ですか。(いくつでも)

1. 資格が必要な職業に就くため
2. 安定した職業に就くため
3. 仕事上、資格があるほうが有利だから
4. 就職活動に役立てるため
5. より高い収入を得るため
6. 会社で昇進・昇格ができるから
7. これまでと違う仕事をしたいから
8. より高度な仕事をしたいから
9. 仕事の範囲を広げたいから
10. 勤め先からの要請や勸奨があるから
11. 肩書きや呼称があるとよいと思うから
12. 自分自身の勉強や自己啓発のため
13. 将来の転職のため
14. 将来の独立のため
15. 老後の職業・収入確保に役立つと思うから
16. 自分の能力や可能性を試したいから
17. いずれ何かの役に立つかもしれないから
18. その他【

】

問26 取得しようとする資格に対して、どのような点に魅力やメリットを感じますか。(いくつでも)

1. 将来性がある
2. 社会的評価が高い
3. 自分の経験や知識を活かせる
4. 自分の適性や志向に合っている
5. つぎの資格取得のステップになる
6. 自分のライフスタイルに合った働き方をするのに役立つ
7. 社会や地域に貢献できる
8. 取得が比較的容易である
9. その他【

】

問27 資格が取得できたら、職業生活設計にどのように反映させたいですか。(いくつでも)

1. 資格を活かした仕事に就きたい
2. 勤務先で部署の異動や担当分野の変更を希望する
3. 転職したい
4. 独立、自営したい
5. 関連分野の資格も取得し、対応できる領域を広げたい
6. より高度なレベルの資格取得にチャレンジし、専門性を高めたい
7. その他【

】

問28 資格の取得に関して、課題となりそうなこと、心配なことがありますか。(いくつでも)

1. 学費、教材費など費用の負担
2. 勉強や通学のための時間
3. 仕事との両立
4. 家事、育児など家庭との両立
5. 学習内容や学習の進め方がよくわからない
6. 資格が実際に役に立つかどうかわからない
7. 近くに適当な学校・教育訓練機関がない
8. 学校や教育機関がどの程度信頼できるかわからない
9. 相談相手やアドバイザーがない
10. その他【
11. 特にない

】

【全員におうかがいします。】

Ⅲ あなたのお仕事の状況についておうかがいします。

問29 あなたが初めて仕事に就かれたのはいつですか。(学生時代のアルバイトは除きます。仕事に就かれた経験のない方は「なし」を選択してください。)

(西暦) 年

「なし」を選択 → フェイス F1へ

問30 あなたは現在仕事をしておられますか。(学生アルバイトは除きます)(ひとつだけ)

1. 雇用されて働いている
2. 自営、会社経営をしている
3. 家業の手伝いをしている
4. 仕事をしていない

<問30=1の方のみ>

問30-1-1 就業形態は以下のどれにあたりますか。(ひとつだけ)

1. 正社員
2. 契約社員(フルタイム)
3. 嘱託社員(定年退職後の再雇用)
4. パート・アルバイト
5. 派遣社員

問30-1-2 勤務先の業種を一覧表から選択してください。(派遣社員の方は現在の派遣先についてお答えください。)(もっともあてはまるものひとつだけ)

業種一覧

問30-1-3 勤務先(会社全体)の従業員数は何人くらいですか。(派遣社員の方は現在の派遣先についてお答えください。)(ひとつだけ)

1. 100人未満
2. 100人以上300人未満
3. 300人以上1,000人未満
4. 1,000人以上

問30-1-4 現在の勤務先での勤続年数は何年くらいですか。出向中の方は元の勤務先からの通算期間でお答えください。派遣社員の方は、派遣元での雇用契約期間でお答えください。(ひとつだけ)

1. 1年未満
2. 1年以上3年未満
3. 3年以上5年未満
4. 5年以上10年未満
5. 10年以上

問30-1-5 週平均の労働時間は何時間くらいですか。(ひとつだけ)

1. 20時間未満
2. 20時間以上30時間未満
3. 30時間以上40時間未満
4. 40時間以上

<問30=2の方のみ>

問30-2-1 業種を一覧表から選択してください。(もっともあてはまるものひとつだけ)

業種一覧

問30-2-2 自営開始(経営者就任)からの年数は何年くらいですか。(ひとつだけ)

1. 5年未満
2. 5年以上10年未満
3. 10年以上

問30-2-3 あなたが雇用している従業員はいますか。(ひとつだけ)

1. いる
2. いない

<問30=4の方のみ>

問30-4-1 主にどのような活動をしておられますか。(学生アルバイトは除きます)(ひとつだけ)

1. 就職活動中
2. 就学中
3. 家事
4. ボランティア
5. その他【 】

<問31～33は問30=1～3の方のみ>

問31-1 あなたの現在の職業を下記から選んでください。(もっともあてはまるものひとつだけ)
あてはまると思うものがない場合は、「その他」欄に主な仕事の内容を具体的に入力してください。

中分類

<問31-2は中分類14～18、24のみ>

問31-2 あなたの現在の職業を下記から選んでください。(もっともあてはまるものひとつだけ)

小分類

問32 「スクリーニング調査からの調査対象資格名」(スクリーニング回答数 ≥ 1 の方)
「これから取得したい資格(問24-1の資格名)」(スクリーニング回答=0の方)
と現在の職業は、どの程度関連性がありますか。(ひとつだけ)

1. 密接に関連している
2. かなり関連性が強い
3. やや関連がある
4. あまり関連がない
5. 全く関連していない

問33 あなたは転職された経験がありますか。(学生時代のアルバイトは除きます)(ひとつだけ)

1. ある
2. ない

<問33-1～2は問33=1の方のみ>

問33-1 あなたは何回転職しましたか。(学生時代のアルバイトは除きます)(ひとつだけ)

→ 約 回

問33-2 転職前(現在の職業の一つ前)の職業を下記から選んでください。
(もっともあてはまるものひとつだけ)
あてはまると思うものがない場合は、「その他」欄に主な仕事の内容を具体的に入力してください。

中分類

<問33-3は中分類14～18、24のみ>

問33-3 転職前(現在の職業の一つ前)の職業を下記から選んでください。
(もっともあてはまるものひとつだけ)

小分類

<問34～35は問30=4の方のみ>

問34-1 仕事に就いた経験のある方は、直近の仕事で従事されていた職業を下記から選んでください。ない方は「なし」を選んでください。(学生時代のアルバイトは除きます)(もっともあてはまるものひとつだけ) 当てはまると思うものがない場合は、「その他」欄に主な仕事の内容を具体的に入力してください。

中分類 職業一覧中分類 99 仕事に就いたことはない

<問34-2は中分類14～18、24のみ>

問34-2 あなたの直近の仕事で従事されていた職業を下記から選んでください。(もっともあてはまるものひとつだけ)

小分類 職業一覧小分類

問35 今後、資格を活かした仕事に就くことを希望しておられますか。(ひとつだけ)

1. できるだけ早く資格を活かして働きたい
2. 求める条件に合った仕事があれば資格を活かして働きたい
3. 自分が就業可能な状況になれば資格を活かして働きたい
4. 資格に関係なく就業したい
5. 働くことは希望していない
6. その他【

】

IV あなたご自身についておうかがいします。

F1 あなたの性別は。(ひとつだけ)

1. 男性
2. 女性

F2 最後に在籍した(している)学校はどれですか。(ひとつだけ)

1. 中学校
2. 高校
3. 専修学校
4. 各種学校
5. 短大・高専
6. 大学
7. 大学院(修士)
8. 大学院(博士)
9. 専門職大学院
10. その他【

】

<F2=2 高校の方のみ>

F2-1 高校の学科はどれですか。(ひとつだけ)

普通、農業、工業、商業、水産、家庭、看護、情報、福祉、その他、総合

< F2-2は、F2=3~9の方のみ >

F2-2 「学校(F2の回答)」の分野はどれですか。(ひとつだけ)

< F2=3~4の方のみ >

工業、農業、医療、衛生、教育・社会福祉、商業実務、服飾・家政 文化・教養、その他

< F2=5の方のみ >

人文、社会、教養、工業、農業、保健、家政、教育、芸術、その他

< F2=6~8の方のみ >

人文科学、社会科学、理学、工学、農学、保健（医・歯学含む）、家政、教育、芸術、その他

< F2=9の方のみ >

ビジネス・技術経営、会計、公共政策、公衆衛生、知的財産、臨床心理、法科大学院、教職大学院、その他

F3 「学校(F2の回答)」を卒業しましたか。(ひとつだけ)

1. 卒業した
2. 中退した
3. 在学中

< F3=1の方のみ >

F3-1 卒業した年は何年ですか。(ひとつだけ)

(西暦) 年

< F3=2の方のみ >

F3-2 中退した年は何年ですか。(ひとつだけ)

(西暦) 年

F4 お住まいの都道府県を選択してください。(ひとつだけ)

1. 北海道・・・47. 沖縄

F5 あなた個人の昨年(2013年1月~12月)の税込み収入はどのくらいですか。(複数の仕事をされている方はその合計をお答えください。)(ひとつだけ)

1. 100万円未満
2. 100万円以上 200万円未満
3. 200万円以上 300万円未満
4. 300万円以上 500万円未満
5. 500万円以上 1,000万円未満
6. 1,000万円以上

これで質問は終わりです。ご協力ありがとうございました。

免許・資格一覧

所持されている資格の名称や制度が変更になっている場合は、後継資格または「その他」にチェックしてください。
級や分野などの区分は原則としてまとめていますので、共通部分の名称に基づいて選択してください。

【技能検定、技術士】

- 1101 技能士（ものづくり、工事、整備関連分野）
- 1102 技能士（オフィス、サービス関連分野）
- 1103 技術士

【介護・福祉関連】

- 1201 訪問介護員 2 級・介護職員初任者研修
- 1202 訪問介護員 1 級・介護職員基礎研修・介護職員実務者研修
- 1203 介護福祉士
- 1204 介護支援専門員（ケアマネージャー）
- 1205 移動支援従業者（ガイドヘルパー）
- 1206 居宅介護従業者（障がい者（児）ホームヘルパー）
- 1207 福祉用具専門相談員
- 1208 精神保健福祉士
- 1209 社会福祉士
- 1210 保育士
- 1211 その他の介護・福祉関係の資格

【医療関連】

- 1301 看護師、准看護師
- 1302 保健師
- 1303 助産師
- 1304 理学療法士
- 1305 作業療法士
- 1306 言語聴覚士
- 1307 視能訓練士
- 1308 臨床検査技師
- 1309 はり師、きゅう師、按摩マッサージ指圧師
- 1310 柔道整復師
- 1311 救急救命士
- 1312 臨床工学技士
- 1313 診療放射線技師
- 1314 歯科衛生士
- 1315 歯科技工士
- 1316 薬剤師
- 1317 登録販売者
- 1318 *医師
- 1319 *歯科医師
- 1320 *獣医師
- 1321 その他の医療保健関連の資格

【生活・衛生関連】

- 1401 栄養士、管理栄養士
- 1402 調理師

- 1403 製菓衛生師
- 1404 理容師
- 1405 美容師
- 1406 *クリーニング師
- 1407 食品衛生管理者
- 1408 色彩検定
- 1409 その他の生活・衛生関連の資格

【製造・安全衛生・車両関連】

- 1501 溶接技能者
- 1502 危険物取り扱い者
- 1503 *有機溶剤作業主任者
- 1504 ボイラー技士
- 1505 安全管理者
- 1506 衛生管理者
- 1507 *公害防止管理者
- 1508 玉掛け技能者
- 1509 フォークリフト技能者
- 1510 クレーン・デリック運転士
- 1511 普通自動車免許（二種）
- 1512 大型自動車免許
- 1513 自動車整備士
- 1514 その他の製造・安全衛生・車両関連の資格（普通自動車免許（一種）二輪免許を除く）

【建築・土木・電気・不動産関連】

- 1601 建築士
- 1602 測量士
- 1603 電気工事士
- 1604 電気主任技術者
- 1605 施工管理技士
- 1606 *建築物環境衛生管理技術者
- 1607 宅地建物取引主任者
- 1608 不動産鑑定士
- 1609 土地家屋調査士
- 1610 マンション管理士
- 1611 その他の建築・土木・電気・不動産関連の資格

【IT・OA関連】

- 1701 *ITパスポート
- 1702 基本情報技術者
- 1703 応用情報技術者
- 1704 日商PC検定
- 1705 IT関連企業の能力認定（JAVAプログラミング能力認定、オラクルマスター、シスコ技術者認定、マイクロソフト・オフィス・スペシャリストなど）
- 1706 その他のIT・OA関連の資格（旧制度の資格を含む）

【経理・財務・法務・労務関連】

- 1801 簿記
- 1802 公認会計士
- 1803 税理士
- 1804 証券アナリスト

- 1805 ファイナンシャル・プランナー
- 1806 中小企業診断士
- 1807 社会保険労務士
- 1808 弁理士
- 1809 司法書士
- 1810 行政書士
- 1811 * 弁護士
- 1812 産業カウンセラー
- 1813 キャリアコンサルタント
- 1814 その他の経理・財務・法務・労務関連の資格

【事務・販売・語学・観光関連】

- 1901 通関士
- 1902 販売士
- 1903 消費生活アドバイザー
- 1904 秘書検定
- 1905 医療事務
- 1906 語学検定（英検・TOEIC・TOEFL など）
- 1907 通訳案内士
- 1908 旅行業務取扱主任者
- 1909 その他の事務・販売・語学・観光関連の資格

【教育関連、その他】

- 2001 司書
- 2002 学芸員
- 2003 幼稚園教諭
- 2004 小学校教諭
- 2005 * 中学校・高等学校教諭
- 2006 その他の教育関連の資格
- 2007 臨床心理士
- 2008 専門職大学院学位

* 印の資格区分については、本調査でサンプルを収集していない。

C 事務的職業

- 25 一般事務の職業
- 26 会計事務の職業
- 31 事務用機器操作の職業 (パソコンオペレーター、キーパンチャーなど)
- 27 その他の事務的職業

D 販売・営業の職業

- 32 商品販売の職業
- 34 営業の職業
- 33 その他の販売・営業の職業

E サービスの職業

- 36 介護サービスの職業 (施設介護員、訪問介護員など)
- 37 保健医療サービスの職業 (歯科助手など)
- 38 生活衛生サービスの職業 (理容師、美容師、クリーニング師など)
- 39 飲食物調理の職業
- 40 接客・給仕の職業
- 41 居住施設・ビル等の管理の職業
- 42 その他のサービスの職業

F 保安の職業

- 43 保安の職業 (警察官、消防員、自衛官、警備員など)

G 農林漁業の職業

- 46 農林漁業の職業

H 生産工程の職業

- 52 金属材料製造、金属加工の職業
- 54 製品製造・加工処理の職業 (化学製品、食品、衣服、印刷など金属以外)
- 57 機械組立の職業
- 60 機械整備・修理の職業 (機械器具修理工、自動車整備工など)
- 62 製品検査の職業
- 63 機械検査の職業
- 64 その他の生産工程の職業

I 輸送・機械運転の職業

- 65 鉄道運転の職業
- 66 自動車運転の職業
- 67 船舶・航空機運転の職業
- 69 定置・建設機械運転の職業 (ボイラーオペレーター、クレーン運転工など)
- 68 その他の輸送の職業

J 建設・採掘の職業

- 71 建設の職業
- 72 電気工事の職業
- 73 土木の職業
- 74 採掘の職業

K 運搬・清掃・包装等の職業

- 75 運搬・清掃・包装等の職業
- 99 その他(具体的に：)

小分類(B 1 医療技術者)

- 141 診療放射線技師
- 142 臨床工学技士
- 143 臨床検査技師
- 144 理学療法士
- 145 作業療法士
- 146 視能訓練士、言語聴覚士
- 147 歯科衛生士
- 148 歯科技工士

(B 2 その他の保健医療の職業)

- 151 栄養士、管理栄養士
- 152 あん摩マッサージ指圧師、はり師、きゅう師
- 153 柔道整復師
- 159 その他の保健医療の職業

(B 3 社会福祉の専門的職業)

- 161 福祉相談・指導専門員
- 162 保育士
- 169 その他の社会福祉の専門的職業

(B 4 法務の職業)

- 173 弁護士
- 174 弁理士
- 175 司法書士
- 179 その他の法務の職業

(B 5 経営・金融・保険の専門的職業)

- 181 公認会計士
- 182 税理士
- 183 社会保険労務士
- 184 金融・保険専門職
- 189 その他の経営・金融・保険の職業

(B 6 その他の専門的職業)

- 241 司書
- 242 学芸員
- 243 カウンセラー
- 249 その他の専門的職業

JILPT 調査シリーズ No.129

職業資格の取得とキャリア形成に関する調査
(WEB調査結果の概要)

発行年月日 2014年10月31日

編集・発行 独立行政法人 労働政策研究・研修機構

〒177-8502 東京都練馬区上石神井4-8-23

(照会先) 研究調整部研究調整課 TEL:03-5991-5104

印刷・製本 有限会社 太平印刷

©2014 JILPT

* 調査シリーズ全文はホームページで提供しております。(URL:<http://www.jil.go.jp/>)